

---

AX7800S・AX5400S ソフトウェアマニュアル

# MIB レファレンス

Ver. 10.10 対応 Rev.1

AX-10-025-J0

## 対象製品

このマニュアルは AX7800S および AX5400S モデルを対象に記載しています。また、AX7800S のソフトウェアおよび AX5400S のソフトウェア、いずれも Ver. 10.10 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、基本ソフトウェア OS-SW および各種オプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

## 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

## 商標一覧

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

JP1 は、(株)日立製作所の日本における商品名称(商標又は、登録商標)です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

NavisRadius は、Lucent Technologies 社の商標です。

NetFlow は米国およびその他の国における米国 Cisco Systems, Inc. の登録商標です。

Octpower は、日本電気(株)の登録商標です。

Odyssey は、米国 Funk Software Inc. の米国における登録商標です。

OpenView は、Hewlett-Packard Company の商標です。

sFlow は、米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。

Solaris は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

## マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

## ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

## 発行

2011年 2月(第14版) AX-10-025-J0

## 著作権

Copyright (c)2005, 2011, ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.

## 変更履歴

### 【Ver. 10.10 Rev.1】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
4.1 サポートトラップおよび発行契機	・ PIM 隣接 ノードに関する記述を追加しました。
4.2 サポートトラップ・PDU 内パラメータ	・ PIM 隣接 ノードに関する記述を追加しました。
4.3 サポートトラップ・PDU 内パラメータ	・ PIM 隣接 ノードに関する記述を追加しました。

なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

### 【Ver. 10.9 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
サポート MIB トラップ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ トラップ名称の先頭にモデル名を付けました。 例：axs ~ ax7800s ~ axs ~ ax5400s ~</li><li>・ 以下は変更前の名称です。<ul style="list-style-type: none"><li>・ axsGsrpStateTransitionTrap</li><li>・ axsEfmoamUdldPortInactivateTrap</li><li>・ axsEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap</li></ul></li></ul>

### 【Ver. 10.7 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ax7800sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )	・ 1000BASE-LHB の記述を追加しました。
ax5400sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )	・ 1000BASE-LHB の記述を追加しました。

このマニュアルで使用する用語を次のとおり変更しました。

・「構成定義情報」を「コンフィグレーション」に、その他「構成定義」を含む用語を「コンフィグレーション」を含む用語に変更。

・「系交替」を「系切替」に変更。

### 【Ver. 10.6 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ax7800sBcuIoBoardType の実装仕様の記述を変更しました。</li><li>・ 電圧情報のオブジェクト識別子を追加しました。</li></ul>
ax7800sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)	・ 電圧情報のオブジェクト識別子を追加しました。

### 【Ver. 10.5 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ipMrouteTable	<ul style="list-style-type: none"> <li>実装仕様に nonstop forwarding 有効時の仕様を追加しました。</li> </ul>

## 【Ver. 10.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
サポートトラップおよび発行契機	<ul style="list-style-type: none"> <li>axsEfmoamUlldPortInactivateTrap を追加しました。</li> <li>axsEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap を追加しました。</li> </ul>
サポートトラップ・PDU 内パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>axsEfmoamUlldPortInactivateTrap を追加しました。</li> <li>axsEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap を追加しました。</li> </ul>
サポートトラップ・PDU 内パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>axsEfmoamUlldPortInactivateTrap を追加しました。</li> <li>axsEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap を追加しました。</li> </ul>

## 【Ver. 10.2 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none"> <li>ipMRouteStdMIB(83), igmpStdMIB(85) を追加しました。</li> </ul>
MIB 一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>ipMRouteStdMIB グループ, igmpStdMIB グループを追加しました。</li> <li>axsStats グループに axsIpStats グループを追加しました。</li> <li>axsStatic グループに axsStaticIpv6Table グループを追加しました。</li> </ul>
interfaces グループ (イーサネットの場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ifInOctets, ifOutOctets のリンクアグリゲーションの記述を変更しました。</li> </ul>
ifMIB (イーサネットの場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ifHCInOctets, ifHCOctets のリンクアグリゲーションの記述を変更しました。</li> </ul>
vrrpOperations グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>vrrpOperations グループの実装仕様に vrrpOperationsTable, vrrpAssociatedIpAddrTable を追加しました。</li> </ul>
vrrpStatistics グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>vrrpStatistics グループの実装仕様に vrrpRouterStatisticsTable を追加しました。</li> </ul>
ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本節を追加しました。</li> </ul>
igmpStdMIB グループ (IGMP MIB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本節を追加しました。</li> </ul>
pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本節を全面的に変更しました。</li> </ul>
axsStats グループ (統計情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>axsIpStats グループを追加しました。</li> <li>axsIpNullInDiscards, axsIpv6NullInDiscards オブジェクトを追加しました。</li> </ul>
axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>axsGsrpVlanGroupId の実装仕様を 1 ~ 128 に変更しました。</li> <li>axsGsrpNeighborVlanGroupId の実装仕様を 1 ~ 128 に変更しました。</li> </ul>
axsStaticIpv6Table グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタティック経路情報のオブジェクト識別子を追加しました。</li> </ul>
ax7800sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線)情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ax7800sPhysLineConnectorType の実装仕様に type10GBASE-SR, type10GBASE-ER を追加しました。</li> </ul>
サポートトラップおよび発行契機	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートトラップおよび発行契機に vrrpTrapProtoError, axsStaticIpv6GatewayStateChange を追加しました。</li> </ul>

項目	追加・変更内容
サポートトラップ・PDU 内パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートトラップ・PDU 内パラメータに vrrpTrapProtoError , axsStaticIpv6GatewayStateChange を追加しました。</li> <li>OSPF トラップおよび BGP トラップの OID 値を変更しました。</li> </ul>

#### 【Ver. 10.1 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
pimMIB グループ (PIM 情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本節を追加しました。</li> </ul>

#### 【Ver. 10.0 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ax7800sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ax7800sNifBoardType 値に以下の NIF を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>8-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER</li> <li>4-port 10GBASE-R(XFP) ( PSU-33 内蔵 )</li> </ul> </li> </ul>

#### 【Ver. 9.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none"> <li>MIB 体系図に axsStatic(38) , snmpV2(6) , snmpModules(3) を追加しました。</li> </ul>
snmpModules(SNMPv3 情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本節を追加しました。</li> </ul>
axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本節を追加しました。</li> </ul>
ax7800sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ax7800sNifBoardType 値に以下の NIF を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>8-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T + 4-port 1000BASE-X(SFP)</li> </ul> </li> </ul>

#### 【Ver. 9.3 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none"> <li>MIB 体系図に axsFlow(8) を追加しました。</li> </ul>
axsQos グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>axsEthShaperAgQueStats グループの実装仕様に axsEthShaperDefAgQueStatsTable を追加しました。</li> </ul>
axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本節を追加しました。</li> </ul>
ax7800sPhysLine グループ (line( 物理回線 ) 情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ax7800sPhysLineTransceiverStatus を追加しました。</li> </ul>
ax5400sNifBoard グループ (NIF 情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ax5400sNifBoardType 値に以下の NIF を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>32-port 10/100/1000BASE-T + 2-port 1000BASE-T or 1000BASE-X</li> </ul> </li> </ul>
ax5400sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ax5400sPhysLineTransceiverStatus を追加しました。</li> </ul>



# はじめに

---

## 対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは AX7800S および AX5400S モデルを対象に記載しています。また、AX7800S のソフトウェアおよび AX5400S のソフトウェア、いずれも Ver. 10.10 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、基本ソフトウェア OS-SW および各種オプションライセンスによってサポートする機能について記載します。なお、Ver. 10.10 以降のソフトウェアでは POS 機能はサポート対象外です。

また、このマニュアルは前回の Ver. 10.10 対応マニュアル発行以降の追加および変更を記載し、Ver. 10.10 Rev.1 としたものです。

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるように使いやすい場所に保管してください。

なお、このマニュアルでは特に断らないかぎり AX7800S と AX5400S に共通の機能について記載しますが、どちらかの機種固有の機能については以下のマークで示します。

### 【AX7800S】:

AX7800S についての記述です。

### 【AX5400S】:

AX5400S についての記述です。

また、このマニュアルでは特に断らないかぎり基本ソフトウェア OS-SW の機能について記載しますが、各種オプションライセンスでサポートする機能については以下のマークで示します。

### 【OP-ADV】:

AX7800S と AX5400S のオプションライセンス OP-ADV についての記述です。

### 【OP-BGP】:

AX7800S と AX5400S のオプションライセンス OP-BGP についての記述です。

### 【OP-ISIS】:

AX7800S と AX5400S のオプションライセンス OP-ISIS についての記述です。

### 【OP-MLT】:

AX7800S と AX5400S のオプションライセンス OP-MLT についての記述です。

### 【OP-OSPF(AX5400S)】:

AX7800S では基本ソフトウェアに含まれますが、AX5400S はオプションライセンス OP-OSPF についての記述になります。

## このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は、ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

## 対象読者

AX7800S または AX5400S を利用したネットワークシステムを構築し、運用するシステム管理者の方を対象としています。

また、次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

## マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す四つの章と付録から構成されています。

## 第 1 章 サポート MIB の概要

本装置が実装する MIB の概要について説明しています。

## 第 2 章 標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)

本装置が実装する標準 MIB の実装仕様について説明しています。

## 第 3 章 プライベート MIB

本装置が実装するプライベート MIB の実装仕様について説明しています。

## 第 4 章 サポート MIB トラップ

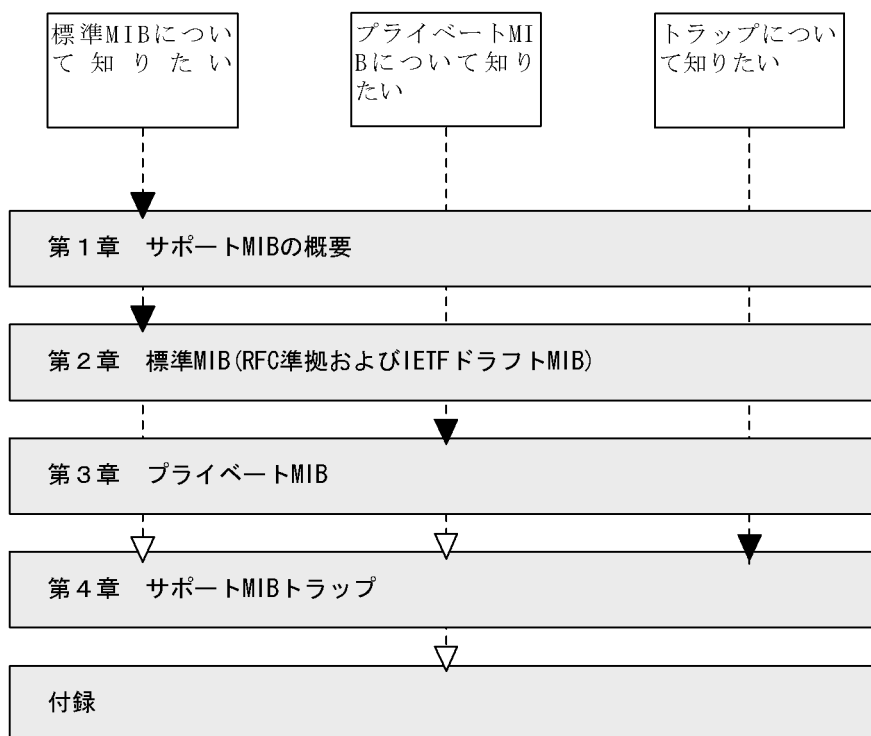
サポート MIB のトラップについて説明しています。

## 付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

プライベート MIB とオブジェクト ID 値の対応について説明しています。

### 読書手順

このマニュアルは次の手順でお読みいただくことをお勧めします。



(凡例)



：必ず読む項目



：必要に応じて読む項目

### このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しておりますので、あわせてご利用ください。

<http://www.alaxala.com>

## マニュアルの読書手順

本装置の導入，セットアップ，日常運用までの作業フローに従って，それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

### ●ハードウェアの構成，およびソフトウェアの機能を知りたい

解説書 Vol.1  
(AX-10-016)

解説書 Vol.2  
(AX-10-017)

### ●ハードウェアの設備条件，取扱方法を調べる

AX7800S  
ハードウェア取扱説明書  
(AX-10-026)

AX5400S  
ハードウェア取扱説明書  
(AX-10-027)

### ●コンフィグレーションの作成方法，設定例

→各コマンドの入力シンタックス，パラメータ詳細

コンフィグレーションガイド  
(AX-10-018)

コンフィグレーション  
コマンドレファレンス Vol.1  
(AX-10-020)

コンフィグレーション  
コマンドレファレンス Vol.2  
(AX-10-021)

### ●運用管理方法，トラブルシューティング

→各コマンドの入力シンタックス，パラメータ詳細

運用ガイド  
(AX-10-019)

運用コマンドレファレンス  
Vol.1  
(AX-10-022)

運用コマンドレファレンス  
Vol.2  
(AX-10-023)

→運用ログ詳細

メッセージ・ログレファレンス  
(AX-10-024)

→MIB詳細

MIBレファレンス  
(AX-10-025)

## このマニュアルでの表記

ABR	Available Bit Rate
AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line

ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
ATM	Asynchronous Transfer Mode
AUX	Auxiliary
BCU	Basic management Control module
BFD	Bidirectional Forwarding Detection
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second *bpsと表記する場合があります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
BSU	Basic packet Switching module
BU	Basic control Unit
CBR	Constant Bit Rate
CDP	Cisco Discovery Protocol
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CIST	Common and Internal Spanning Tree
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CP	multi layer Control Processor
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
CST	Common Spanning Tree
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
Diff-serv	Differentiated Services
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DLCI	Data Link Connection Identifier
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EAP	Extensible Authentication Protocol
EAPOL	EAP Over LAN
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FR	Frame Relay
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GFR	Guaranteed Frame Rate
GSRP	Gigabit Switch Redundancy Protocol
HDLC	High level Data Link Control
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IIH	IS-IS Hello
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
IS	Intermediate System
IS-IS	Information technology - Telecommunications and Information exchange between systems - Intermediate system to Intermediate

	system Intra-Domain routing information exchange protocol for use in conjunction with the Protocol for providing the Connectionless-mode Network Service (ISO 8473)
ISDN	Integrated Services Digital Network
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
IST	Internal Spanning Tree
LAN	Local Area Network
LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing
LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MIB	Management Information Base
MPLS	Multi-Protocol Label Switching
MRU	Maximum Receive Unit
MSTI	Multiple Spanning Tree Instance
MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not Acknowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NIF	Network Interface board
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations, Administration, and Maintenance
OSI	Open Systems Interconnection
OSINLCP	OSI Network Layer Control Protocol
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
PAD	PADding
PAE	Port Access Entity
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol Identifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
POH	Path Over Head
POS	PPP over SONET/SDH
PPP	Point-to-Point Protocol
PPPoE	PPP over Ethernet
PRI	Primary Rate Interface
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
PSU	Packet Switching Module
PVC	Permanent Virtual Channel (Connection)/Permanent Virtual Circuit
QoS	Quality of Service
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REJect
RFC	Request For Comments
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RM	Routing Manager
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding

RQ	ReQuest
RSTP	Rapid Spanning Tree Protocol
SA	Source Address
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SElector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SOH	Section Over Head
SONET	Synchronous Optical Network
SOP	System Operational Panel
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UBR	Unspecified Bit Rate
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
VBR	Variable Bit Rate
VC	Virtual Channel/Virtual Call/Virtual Circuit
VCi	Virtual Channel Identifier
VLAN	Virtual LAN
VP	Virtual Path
VPI	Virtual Path Identifier
VPN	Virtual Private Network
VRRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WDM	Wavelength Division Multiplexing
WFQ	Weighted Fair Queueing
WRED	Weighted Random Early Detection
WS	Work Station
WWW	World-Wide Web
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable

## 常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは、常用漢字を使用することを基本としていますが、次に示す用語については、常用漢字以外を使用しています。

- 宛て（あて）
- 宛先（あてさき）
- 迂回（うかい）
- 鍵（かぎ）
- 個所（かしょ）
- 筐体（きょうたい）
- 桁（けた）
- 毎（ごと）
- 閾値（しきいち）
- 芯（しん）
- 溜まる（たまる）
- 必須（ひつす）
- 輻輳（ふくそう）
- 閉塞（へいそく）

- 漏洩（ろうえい）

### kB( バイト ) などの単位表記について

1kB( キロバイト ) , 1MB( メガバイト ) , 1GB( ギガバイト ) , 1TB( テラバイト ) はそれぞれ  $1,024$  バイト ,  $1,024^2$  バイト ,  $1,024^3$  バイト ,  $1,024^4$  バイトです。



## 目次

### 1

サポート MIB の概要	1
1.1 MIB 体系図	2
1.2 MIB 一覧	4
1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法	12
1.4 MIB の記述形式	13

### 2

標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)	17
2.1 system グループ (MIB-II)	19
2.2 interfaces グループ (MIB-II)	21
2.2.1 interfaces グループ (イーサネットの場合)	21
2.2.2 interfaces グループ (POS の場合) 【AX7800S】	25
2.2.3 interfaces グループ (トンネルインタフェースの場合)	27
2.2.4 interfaces グループ (その他の場合)	29
2.3 at グループ (MIB-II)	33
2.4 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)	34
2.4.1 ip	34
2.4.2 ipAddrTable	35
2.4.3 ipRouteTable	36
2.4.4 ipNetToMediaTable	37
2.4.5 ipForward	38
2.5 icmp グループ (MIB-II)	41
2.6 tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6)	43
2.6.1 tcp	43
2.6.2 ipv6TcpConnTable	44
2.7 udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6)	46
2.7.1 udp	46
2.7.2 ipv6UdpTable	46
2.8 dot3 グループ (Ethernet Like MIB)	48
2.9 ppp グループ (PPP MIB) 【AX7800S】	50
2.9.1 pppLcp	50
2.9.2 pppIp	52
2.10 SONET / SDH グループ (SONET / SDH MIB) 【AX7800S】	54
2.10.1 SONET / SDH Medium グループ	54
2.10.2 SONET / SDH Section グループ	55
2.10.3 SONET / SDH Line グループ	57
2.10.4 SONET / SDH Far End Line グループ	59
2.10.5 SONET / SDH Path グループ	61
2.10.6 SONET / SDH Far End Path グループ	64

2.10.7	SONET / SDH Virtual Tributary グループ	66
2.10.8	SONET / SDH Far End VT グループ	68
2.11	snmp グループ (MIB-II)	71
2.12	ospf グループ (OSPFv2 MIB) <b>【OP-OSPF(AX5400S)】</b>	73
2.12.1	ospfGeneralGroup	73
2.12.2	ospfAreaTable	74
2.12.3	ospfStubAreaTable	75
2.12.4	ospfLsdbTable	76
2.12.5	ospfAreaRangeTable	77
2.12.6	ospfHostTable	77
2.12.7	ospfIfTable	78
2.12.8	ospfIfMetricTable	80
2.12.9	ospfVirtIfTable	80
2.12.10	ospfNbrTable	81
2.12.11	ospfVirtNbrTable	83
2.12.12	ospfExtLsdbTable	84
2.12.13	ospfAreaAggregateTable	84
2.12.14	ospfTrap	85
2.13	bgp グループ (BGP4 MIB) <b>【OP-BGP】</b>	87
2.13.1	bgp	87
2.13.2	bgpPeerTable	87
2.13.3	bgp4PathAttrTable	89
2.14	rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)	91
2.14.1	Ethernet Statistics グループ	91
2.14.2	History Control グループ	93
2.14.3	Ethernet History グループ	94
2.14.4	Alarm グループ	96
2.14.5	Event グループ	97
2.15	dot1dBridge グループ	100
2.15.1	dot1dBase グループ	100
2.15.2	dot1dStp グループ	101
2.15.3	dot1dTp グループ	103
2.15.4	pBridgeMIB グループ	104
2.15.5	qBridgeMIB グループ	106
2.16	ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)	113
2.16.1	ifMIB(イーサネットの場合)	113
2.16.2	ifMIB(POS の場合) <b>【AX7800S】</b>	115
2.16.3	ifMIB(トンネルの場合)	117
2.17	ipv6MIB グループ (IPv6 MIB)	120
2.17.1	ipv6MIB	120
2.17.2	ipv6IfTable	120
2.17.3	ipv6IfStatsTable	121

2.17.4	ipv6AddrPrefixTable	123
2.17.5	ipv6AddrTable	124
2.17.6	ipv6RouteTable	125
2.17.7	ipv6NetToMediaTable	126
2.18	ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB)	128
2.19	vrrpMIB グループ	131
2.19.1	vrrpOperations グループ	131
2.19.2	vrrpStatistics グループ	134
2.20	ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB) <b>【OP-MLT】</b>	138
2.20.1	ipMRouteEnable	138
2.20.2	ipMRouteTable	138
2.20.3	ipMRouteNextHopTable	140
2.20.4	ipMRouteInterfaceTable	141
2.20.5	ipMRouteBoundaryTable	143
2.20.6	ipMRouteScopeNameTable	143
2.20.7	ipMRouteEntryCount	144
2.21	igmpStdMIB グループ (IGMP MIB) <b>【OP-MLT】</b>	146
2.21.1	igmpInterfaceTable	146
2.21.2	igmpCacheTable	147
2.22	pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB) <b>【OP-MLT】</b>	149
2.22.1	pimJoinPruneInterval	149
2.22.2	pimInterfaceTable	149
2.22.3	pimNeighborTable	150
2.22.4	pimIpMRouteTable	151
2.22.5	pimRPTTable	152
2.22.6	pimRPSetTable	153
2.22.7	pimIpMRouteNextHopTable	154
2.22.8	pimCandidateRPTTable	154
2.22.9	pimComponentTable	155
2.23	ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB) <b>【OP-OSPF(AX5400S)】</b>	157
2.23.1	ospfv3GeneralGroup	157
2.23.2	ospfv3AreaTable	158
2.23.3	ospfv3AsLsdbTable	159
2.23.4	ospfv3AreaLsdbTable	160
2.23.5	ospfv3LinkLsdbTable	161
2.23.6	ospfv3IfTable	162
2.23.7	ospfv3VirtIfTable	164
2.23.8	ospfv3NbrTable	165
2.23.9	ospfv3VirtNbrTable	166
2.23.10	ospfv3AreaAggregateTable	167
2.24	IEEE8023-LAG-MIB グループ	169
2.24.1	dot3adAgg グループ	169

2.24.2	dot3adAggPort グループ	170
2.24.3	dot3adTablesLastChanged グループ	174
2.25	802.1X MIB グループ	175
2.26	snmpModules グループ (SNMPv3 情報 MIB)	183
2.26.1	snmpFrameworkMIB グループ (SNMP-FRAMEWORK-MIB)	183
2.26.2	snmpMPDMIB グループ (SNMP-MPD-MIB)	183
2.26.3	snmpTargetMIB グループ (SNMP-TARGET-MIB)	184
2.26.4	snmpNotificationMIB グループ (SNMP-NOTIFICATION-MIB)	188
2.26.5	snmpProxyMIB グループ (SNMP-PROXY-MIB)	190
2.26.6	snmpUsmMIB グループ (SNMP-USER-BASED-SM-MIB)	191
2.26.7	snmpVacmMIB グループ (SNMP-VIEW-BASED-ACM-MIB)	193
2.26.8	snmpCommunityMIB グループ (SNMP-COMMUNITY-MIB)	197

### 3

	プライベート MIB	201
3.1	axsStats グループ (統計情報 MIB)	203
3.1.1	axsPhysStats グループ <b>【AX7800S】</b>	203
3.1.2	axsSonetStats グループ <b>【AX7800S】</b>	204
3.1.3	axsIfStats グループ	206
3.1.4	axsQoS グループ	207
3.1.5	axsDHCP グループ	212
3.1.6	axsVlanStats グループ	213
3.1.7	axsIpStats グループ	214
3.2	axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)	215
3.2.1	axsGsrpGroupTable グループ	215
3.2.2	axsGsrpVlanGroupTable グループ	215
3.2.3	axsGsrpNeighborGroupTable グループ	216
3.2.4	axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ	217
3.3	axsFdb グループ (Fdb グループ MIB)	219
3.4	axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)	220
3.4.1	axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報)	220
3.4.2	axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB)	229
3.5	axsOadp グループ (OADP 情報 MIB)	231
3.5.1	axsOadpGlobalInfo グループ	231
3.5.2	axsOadpPortInfo グループ	232
3.5.3	axsOadpNeighborInfo グループ	232
3.6	axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)	236
3.6.1	axsFlowResources グループ	236
3.6.2	axsFlowFilter グループ	241
3.6.3	axsFlowFilterStats グループ	251
3.6.4	axsFlowQos グループ	254
3.6.5	axsFlowQosStats グループ	279

3.7	axsOspfMIB グループ ( マルチバックボーン OSPF 情報 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】	284
3.7.1	axsOspfGeneralTable	284
3.7.2	axsOspfAreaTable	285
3.7.3	axsOspfStubAreaTable	286
3.7.4	axsOspfLsdbTable	287
3.7.5	axsOspfAreaRangeTable	287
3.7.6	axsOspfIfTable	288
3.7.7	axsOspfIfMetricTable	290
3.7.8	axsOspfVirtIfTable	291
3.7.9	axsOspfNbrTable	291
3.7.10	axsOspfVirtNbrTable	293
3.7.11	axsOspfExtLsdbTable	293
3.7.12	axsOspfAreaAggregateTable	294
3.7.13	axsOspfTrap	295
3.8	axsOspfV3MIB グループ ( マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】	297
3.8.1	axsOspfV3GeneralTable	297
3.8.2	axsOspfV3AreaTable	298
3.8.3	axsOspfV3AsLsdbTable	299
3.8.4	axsOspfV3AreaLsdbTable	300
3.8.5	axsOspfV3LinkLsdbTable	301
3.8.6	axsOspfV3IfTable	302
3.8.7	axsOspfV3VirtIfTable	303
3.8.8	axsOspfV3NbrTable	304
3.8.9	axsOspfV3VirtNbrTable	305
3.8.10	axsOspfV3AreaAggregateTable	306
3.9	axsIIsMIB グループ (IS-IS 情報 MIB) 【OP-ISIS】	308
3.9.1	axsIIsSysTable グループ	308
3.9.2	axsIIsSysLevelTable グループ	308
3.9.3	axsIIsCircTable グループ	309
3.9.4	axsIIsNotificationTable グループ	309
3.10	axsStatic グループ ( スタティック経路情報 MIB)	311
3.10.1	axsStaticTable グループ	311
3.10.2	axsStaticIpv6Table グループ	311
3.11	axsBootManagement グループ ( システム起動情報 MIB)	313
3.12	axsLogin グループ ( ログイン情報 MIB)	314
3.13	axsLldp グループ (LLDP 情報 MIB)	316
3.13.1	axsLldpConfiguration グループ	316
3.13.2	axsLldpStats グループ	317
3.13.3	axsLldpLocalSystemData グループ	318
3.13.4	axsLldpRemoteSystemData グループ	321
3.13.5	axsLldpRemoteOriginInfoData グループ	324
3.14	ax7800sSwitch グループ ( 装置のモデル情報 MIB) 【AX7800S】	326

3.15	ax7800sDevice グループ ( 装置の筐体情報 MIB ) 【AX7800S】	329
3.15.1	ax7800sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )	329
3.15.2	ax7800sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )	330
3.15.3	ax7800sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )	331
3.15.4	ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報 )	332
3.15.5	ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報 )	337
3.15.6	ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 ( 温度情報 )	338
3.15.7	ax7800sBcuBoard グループ (SOP 情報 )	339
3.15.8	ax7800sPsuBoard グループの実装仕様 (PSU 情報 )	340
3.15.9	ax7800sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報 )	342
3.15.10	ax7800sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )	346
3.15.11	ax7800sInterface グループの実装仕様 ( インタフェースインデックス情報 )	347
3.16	ax7800sManagementMIB グループ ( 装置の状態 / 情報の変更を行う ) 【AX7800S】	349
3.16.1	ax7800sFdbClearMIB グループ (FDB Clear 用 MIB)	349
3.17	ax5400sSwitch グループ ( 装置のモデル情報 MIB ) 【AX5400S】	350
3.18	ax5400sDevice グループ ( 装置の筐体情報 MIB ) 【AX5400S】	353
3.18.1	ax5400sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )	353
3.18.2	ax5400sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )	354
3.18.3	ax5400sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )	355
3.18.4	ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報 )	355
3.18.5	ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報 )	359
3.18.6	ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 ( 温度情報 )	360
3.18.7	ax5400sBcuBoard グループ (SOP 情報 )	361
3.18.8	ax5400sBsuBoard グループの実装仕様 (BSU 情報 )	362
3.18.9	ax5400sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報 )	364
3.18.10	ax5400sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )	367
3.18.11	ax5400sInterface グループの実装仕様 ( インタフェースインデックス情報 )	368
3.19	ax5400sManagementMIB グループ ( 装置の状態 / 情報の変更を行う ) 【AX5400S】	370
3.19.1	ax5400sFdbClearMIB グループ (FDB Clear 用 MIB)	370
3.20	icmp グループ (HP プライベート MIB)	371
3.21	sFlow グループ (InMon プライベート MIB)	372

## 4

	サポート MIB トラップ	375
4.1	サポートトラップおよび発行契機	376
4.2	サポートトラップ -PDU 内パラメータ 【AX7800S】	383
4.3	サポートトラップ -PDU 内パラメータ 【AX5400S】	395

## 付録

		407
付録 A	プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値	408
付録 A.1	プライベート MIB	408

付録 A.2 HP プライベート MIB	450
付録 A.3 InMon プライベート MIB	450

索引	453
----	-----

---



# 1

## サポート MIB の概要

---

1.1 MIB 体系図

---

1.2 MIB 一覧

---

1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

---

1.4 MIB の記述形式

---

## 1.1 MIB 体系図

本装置でサポートする MIB 体系図を (1/2) と (2/2) に示します。

図 1-1 MIB 体系図 (1/2)

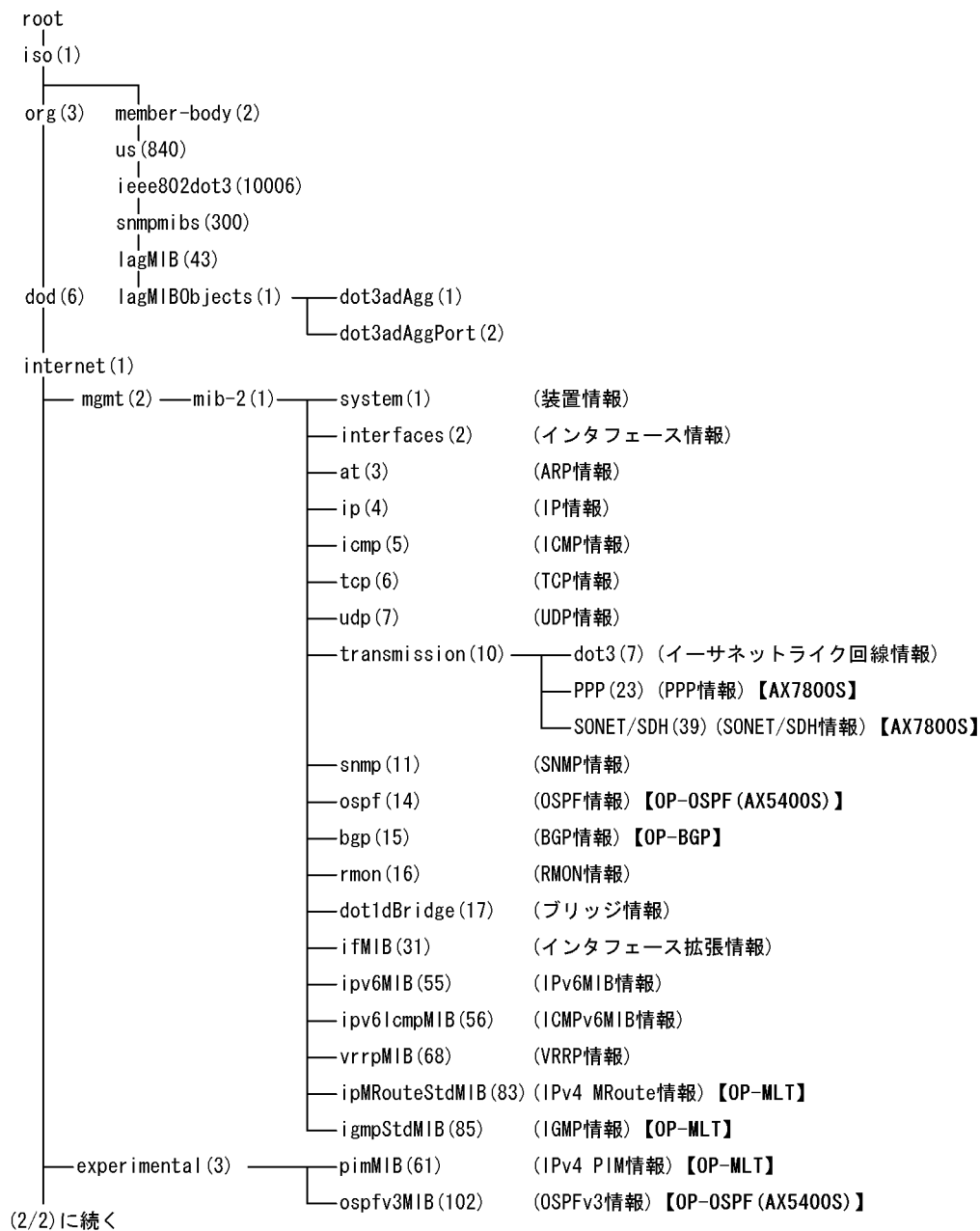
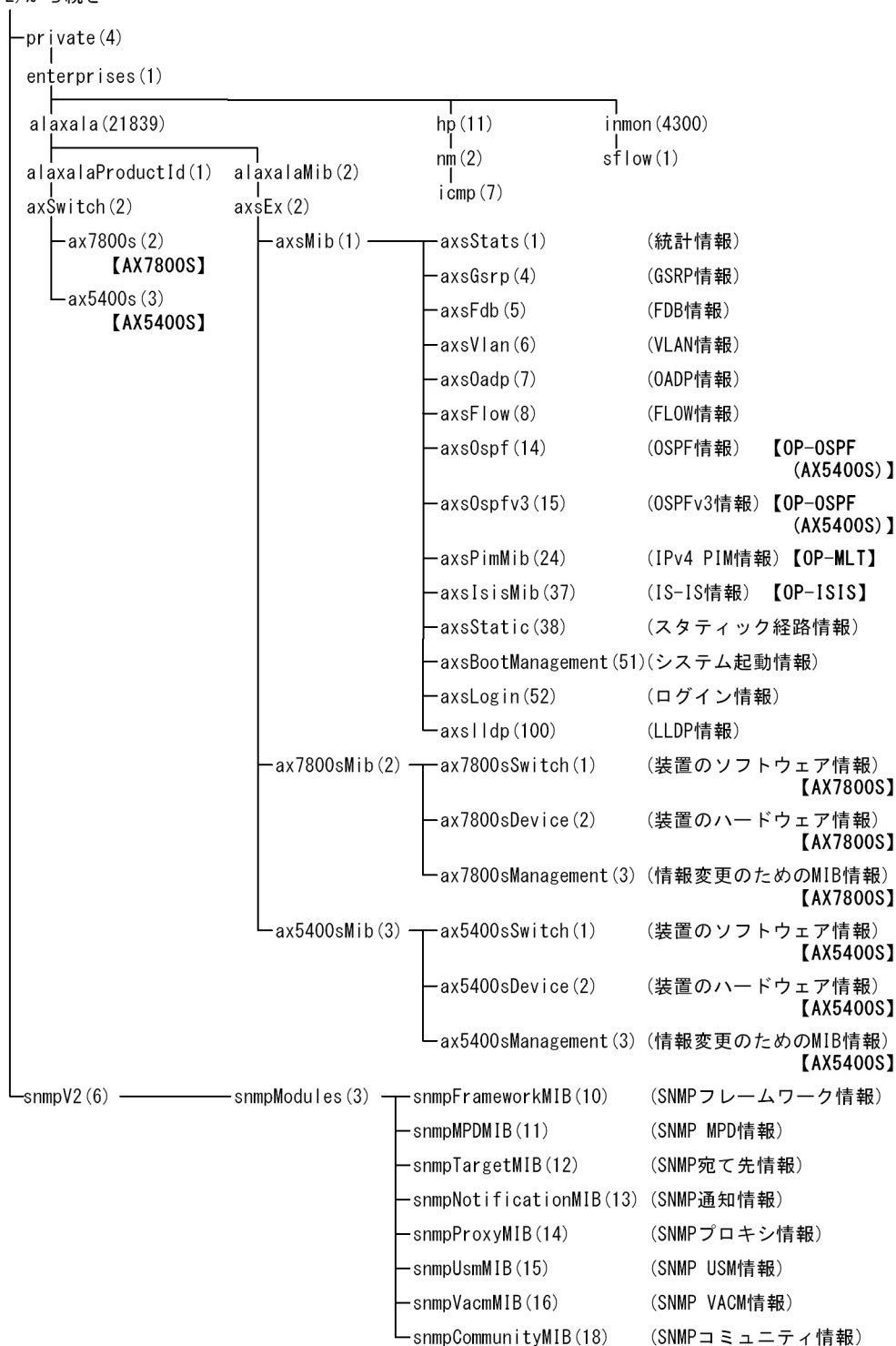


図 1-2 MIB 体系図 (2/2)

(1/2) から続き



## 1.2 MIB 一覧

サポート MIB を次の表に示します。

表 1-1 MIB グループ一覧

MIB グループ		機能	サポ ート
標準 MIB	system グループ	装置に関する情報の MIB です。	
	interfaces グループ	インタフェースに関する情報の MIB です。	
	at グループ	ARP テーブルに関する情報の MIB です。	
	ip グループ	ip	IP 情報の MIB です。
		ipAddrTable	IP アドレスに関するアドレッシングテーブル情報の MIB です。
		ipRouteTable	IP ルーティングテーブルに関する情報の MIB です。
		ipNetToMediaTable	IP アドレス変換テーブルに関する情報の MIB です。
		ipForward	IP フォワーディングテーブルに関する情報の MIB です。
	icmp グループ	ICMP 情報の MIB です。	
	tcp グループ	tcp	TCP 情報の MIB です。
		ipv6TcpConnTable	IPv6 に関する TCP 情報の MIB です。
	udp グループ	udp	UDP 情報の MIB です。
		ipv6UdpTable	IPv6 に関する UDP 情報の MIB です。
	egp グループ	EGP 情報の MIB です。	×
	dot3 グループ	イーサネットライク回線に関する情報の MIB です。	
	ppp グループ 【AX7800S】	pppLcp	PPP 情報の MIB です。
		pppIp	LocalPPP の IP パラメータと統計に関する MIB です。
	SONET/SDH グループ 【AX7800S】	SONET / SDH Medium グループ	SONET / SDH メディア情報の MIB です。
		SONET / SDH Section グループ	SONET / SDH セクション情報の MIB です。
		SONET / SDH Line グループ	SONET / SDH ライン情報の MIB です。
		SONET / SDH Far End Line グループ	SONET / SDH Far End ライン情報の MIB です。
		SONET / SDH Path グループ	SONET / SDH パス情報の MIB です。
		SONET / SDH Far End Path グループ	SONET / SDH Far End パス情報の MIB です。
		SONET / SDH Virtual Tributary グループ	SONET / SDH Virtual Tributary 情報の MIB です。 ×

MIB グループ		機能	サポ ート
	SONET / SDH Far End VT グループ	SONET / SDH Far End VT 情報の MIB です。	×
	snmp グループ	SNMP 情報の MIB です。	
ospf グループ 【OP-OSPF(AX5400 S)】	ospfGeneralGroup	OSPF 情報の MIB です。	
	ospfAreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfStubAreaTable	エリアボーダールータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブルの MIB です。	
	ospfLsdbTable	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfAreaRangeTable	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfHostTable	ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックの MIB 情報です。	×
	ospfIfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfIfMetricTable	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfVirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfNbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfVirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfExtLsdbTable	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) テーブルに関する MIB です。	
	ospfAreaAggregateTable	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレステーブルに関する MIB です。	
	ospfTrap	トラップに関する MIB です。	
bgp グループ 【OP-BGP】	bgp	BGP 情報の MIB です。	
	bgpPeerTable	bgp ピアテーブルに関する MIB です。	
	bgpPathAttrTable	BGP4 から受信したパス情報に関する MIB です。	
rmon グループ	Ethernet Statistics Group	イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルの MIB です。	
	History Control Group	イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルに関する MIB です。	
	Ethernet History Group	イーサネットの統計情報の来歴テーブルに関する MIB です。	
	Alarm Group	アラームテーブルに関する情報の MIB です。	

## 1. サポート MIB の概要

MIB グループ			機能	サポ ート
		Host Group	Host グループに関する情報の MIB です。	×
		Host Top"N"	HostTopN グループに関する情報の MIB です。	×
		Matrix	Matrix グループに関する情報の MIB です。	×
		Filter	Filter グループに関する情報の MIB です。	×
		Packet Capture	PacketCapture グループに関する情報の MIB です。	×
		Event Group	RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブルに関する MIB です。	
dot1dBridge グループ	dot1dBase グループ	ブリッジの情報です。		
	dot1dStp グループ	スパンニングツリー・プロトコルの情報です。		
	dot1dTp グループ	ブリッジのフォワーディング情報です。		
	dot1dStatic グループ	フィルタリング情報です。	×	
	pBridgeMIB グループ	優先制御とマルチキャスト・フィルタリングの情報です。		
	qBridgeMIB グループ	仮想ブリッジ情報です。		
ifMIB グループ			インタフェース拡張情報の MIB です。	
ipv6MIB グループ	ipv6MIB ipv6 general グループ	IPv6 インタフェースに関する MIB です。		
	ipv6IfTable	ネットワークレイヤインタフェース (V6) のテーブルに関する MIB です。		
	ipv6IfStatsTable	IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報テーブルに関する MIB です。		
	ipv6AddrPrefixTable	IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブルに関する MIB です。		
	ipv6AddrTable	インタフェースアドレステーブルに関する MIB です。		
	ipv6RouteTable	IPv6 ルーティングテーブルに関する MIB です。		
	ipv6NetToMediaTable	IPv6 アドレス変換テーブルに関する MIB です。		
ipv6IcmpMIB グループ			IPv6 ICMP MIB です。	
vrrpMIB グループ	vrrpOperations グループ	VRRP ルータの構成と制御情報に関する MIB です。		
	vrrpStatistics グループ	VRRP パケットに関する統計情報の MIB です。		
	vrrpNotifications グループ	VRRP ルータから送出される VRRP トラップに関する MIB 情報です。	×	
ipMRouteStdMIB グループ【OP-MLT】	ipMRouteEnable	IP マルチキャストの動作有無に関する MIB です。		
	ipMRouteTable	IP マルチキャスト経路表に関する MIB です。		
	ipMRouteNextHopTable	下流インタフェースごとの NextHop (次送信先) 表に関する MIB です。		

MIB グループ			機能	サポ ート
		ipMRouteInterfaceTable	マルチキャストインタフェース表に関する MIB です。	
		ipMRouteBoundaryTable	マルチキャスト境界表に関する MIB です。	×
		ipMRouteScopeNameTable	マルチキャスト領域名表に関する MIB です。	×
		ipMRouteEntryCount	IP マルチキャスト経路表のエントリ数に関する MIB です。	
igmpStdMIB グループ 【OP-MLT】		igmpInterfaceTable	IGMP インタフェース表に関する MIB です。	
		igmpCacheTable	特定インタフェースの IGMP グループ表に関する MIB です。	
pimMIB グループ 【OP-MLT】		pimJoinPruneInterval	PIM-SM Join/Prune メッセージ送信周期に関する MIB です。	
		pimInterfaceTable	PIM インタフェース表に関する MIB です。	
		pimNeighborTable	PIM 隣接ルータ表に関する MIB です。	
		pimIpMRouteTable	PIM 経路表に関する MIB です。	×
		pimRPTable	PIM version1 用の RP 情報表に関する MIB です。	×
		pimRPSetTable	RP 候補情報表に関する MIB です。	×
		pimIpMRouteNextHopTable	PIM 経路の NextHop (次送信先) 表に関する MIB です。	×
		pimCandidateRPTable	RP 候補のときに広告するグループ情報表に関する MIB です。	×
		pimComponentTable	PIM ドメインを特定するコンポーネント表に関する MIB です。	×
ospfv3MIB グループ 【OP-OSPF(AX5400S)】		ospfv3GeneralGroup	OSPFv3 情報の MIB です。	
		ospfv3AreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
		ospfv3AsLsdbTable	OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
		ospfv3AreaLsdbTable	OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
		ospfv3LinkLsdbTable	OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
		ospfv3IfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
		ospfv3VirtIfTable	ルータが接続する仮想リンクのインタフェース情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
		ospfv3NbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルに関する MIB です。	

## 1. サポート MIB の概要

MIB グループ			機能	サポ ート
		ospfv3VirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	
		ospfv3AreaAggregateTable	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6Prefix のテーブルに関する MIB です。	
	IEEE8023-LAG-MIB グループ	dot3adAgg グループ	Aggregator に関する情報です。	
		dot3adAggPort グループ	すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 情報です。	
	802.1X MIB グループ		802.1X に関する MIB です。	
	snmpModules グループ	snmpFrameworkMIB グループ	SNMP フレームワークに関する MIB です。	
		snmpMPDMIB グループ	SNMP メッセージとディスパッチャに関する MIB です。	
		snmpTargetMIB グループ	SNMP 宛て先情報に関する MIB です。	
		snmpNotificationMIB グループ	SNMP 通知情報に関する MIB です。	
		snmpProxyMIB グループ	SNMP プロキシに関する MIB です。	×
		snmpUsmMIB グループ	SNMP ユーザベースセキュリティモデルに関する MIB です。	
		snmpVacmMIB グループ	SNMP ビューベースアクセス制御モデルに関する MIB です。	
		snmpCommunityMIB グループ	SNMPv1,v2c,v3 の共存に関する MIB です。	×
プライ ベート MIB	axsStats グループ	axsPhysStats グループ 【AX7800S】	POS 物理層およびチャネルのエラー統計情報に関する MIB です。	
		axsSonetStats グループ 【AX7800S】	SONET インタフェース統計の MIB です。	
		axsIfStats グループ	メガ単位インタフェース統計の MIB です。	
		axsQoS グループ	QoS 統計情報に関する MIB です。	
		axsDHCP グループ	DHCP サーバに関する統計情報の MIB です。	
		axsVlanStats グループ	VLAN に関する統計情報の MIB です。	
		axsIpStats グループ	IP に関する統計情報	
	axsGsrpMIB グループ	axsGsrpGroupTable グループ	GSRP グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
		axsGsrpVlanGroupTable グループ	GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
		axsGsrpNeighborGroupTable グループ	対向装置の GSRP グループ情報を格納するテーブル	
		axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ	対向装置の GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
	axsFdb グループ	axsFdbCounterTable	FDB 学習数に関する情報テーブルに関する MIB です。	

MIB グループ		機能	サポ ート
axsVlan グループ	axsVlanBridge グループ	VLAN ごとの Bridge-MIB に関する MIB です。	
	axsVlanTagTranslation グループ	Tag 変換機能に関する情報テーブルの MIB です。	
axsOadp グループ	axsOadpGlobalInfo グループ	OADP 機能の運用状態に関する MIB です。	
	axsOadpPortInfo グループ	OADP ポート情報に関する MIB です。	
	axsOadpNeighborInfo グループ	OADP 隣接ノードに関する MIB です。	
axsFlow グループ	axsFlowResources グループ	装置当たりのフローフィルタ機能, フロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に関する MIB です。	
	axsFlowFilter グループ	フローフィルタ検出条件 (Inbound) のテーブル情報に関する MIB です。	
	axsFlowFilterStats グループ	フローフィルタ検出条件 (Inbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報のテーブル情報に関する MIB です。	
	axsFlowQos グループ	通常フロー検出条件 (Inbound) のテーブル情報に関する MIB です。	
	axsFlowQosStats グループ	通常フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報に関する MIB です。	
axsOspfMIB グループ 【OP-OSPF(AX5400 S)】	axsOspfGeneralTable	OSPF 情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
	axsOspfDomainAreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfStubAreaTable	エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブルに関する MIB です。	
	axsOspfLsdbTable	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfAreaRangeTable	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfIfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfIfMetricTable	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfVirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfNbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfVirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfExtLsdbTable	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブルの MIB です。	

## 1. サポート MIB の概要

MIB グループ			機能	サポ ート
axsOspfV3 グループ 【OP-OSPF(AX5400 S)】	axsOspfAreaAggregateTable		IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブルの MIB です。	
	axsOspfTrap		トラップに関する MIB です。	
	axsOspfV3GeneralTable		OSPFv3 情報の MIB です。	
	axsOspfV3AreaTable		ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfV3AsLsdbTable		OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfV3AreaLsdbTable		OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfV3LinkLsdbTable		OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfV3IfTable		ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリストの MIB です。	
	axsOspfV3VirtIfTable		ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfV3NbrTable		仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfV3VirtNbrTable		仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfV3AreaAggregateTable		Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブルに関する MIB です。	
axsIsisMib グループ 【OP-ISIS】	axsIsisSysTable グループ		IS-IS 情報が含まれる MIB です。	
	axsIsisSysLevelTable グループ		IS-IS プロトコルのレベル情報が含まれる MIB です。	
	axsIsisCircTable グループ		IS-IS インタフェース情報が含まれる MIB です。	
	axsIsisNotificationTable グループ		IS-IS トラップ付随情報が含まれる MIB です。	
axsStatic グループ	axsStaticTable グループ		スタティック情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
	axsStaticIpv6Table グループ		ipv6 スタティック情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
axsBootManagement グループ			システム起動に関する MIB です。	
axsLogin グループ			ログインに関する MIB です。	
axsLldp グループ	axsLldpConfiguration グループ		LLDP のコンフィグレーションの MIB です。	
	axsLldpStats グループ		LLDP の統計情報の MIB です。	
	axsLldpLocalSystemData グループ		LLDP の本装置に関する情報の MIB です。	

MIB グループ		機能	サポ ート
	axsllldpRemoteSystemData グループ	LLDP の本装置と接続している隣接装置に関する情報の MIB です。	
	axsllldpRemoteOriginInfo Data グループ	LLDP の弊社独自 TLV 情報の MIB です。	
ax7800sSwitch グループ 【AX7800S】		装置のモデル情報の MIB です。	
ax7800sDevice 【AX7800S】	ax7800sChassis グループ	装置の筐体情報の MIB です。	
	ax7800sBcuBoard グループ	装置の BCU 情報の MIB です。	
	ax7800sPsuBoard グループ	装置の PSU 情報の MIB です。	
	ax7800sNifBoard グループ	装置の NIF 情報の MIB です。	
	ax7800sPhysLine グループ	装置の回線情報の MIB です。	
	ax7800sInterface グループ	装置の回線 IP アドレス情報の MIB です。	
ax7800sManagement MIB グループ 【AX7800S】	ax7800sFdbClearMIB グループ	FDB 情報をクリアするための MIB です。	
ax5400sSwitch グループ 【AX5400S】		装置のモデル情報の MIB です。	
ax5400sDevice 【AX5400S】	ax5400sChassis グループ	装置の筐体情報の MIB です。	
	ax5400sBcuBoard グループ	装置の BCU 情報の MIB です。	
	ax5400sBsuBoard グループ	装置の BSU 情報の MIB です。	
	ax5400sNifBoard グループ	装置の NIF 情報の MIB です。	
	ax5400sPhysLine グループ	装置の回線情報の MIB です。	
	ax5400sInterface グループ	装置の回線 IP アドレス情報の MIB です。	
ax5400sManagement MIB グループ 【AX5400S】	ax5400sFdbClearMIB グループ	FDB 情報をクリアするための MIB です。	
icmp グループ (HP プライベート MIB)		HP 社のプライベート MIB です。	
sFlow グループ (InMon プライベート MIB)		InMon 社のプライベート MIB です。sFlow 統計に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	

(凡例) : 本装置でサポートしています。 × : 本装置ではサポートしていません。

## 1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

---

プライベート MIB 定義ファイル (ASN.1) は、ソフトウェアと共に提供いたします。

## 1.4 MIB の記述形式

このマニュアルで記述しているサポート MIB の記述形式について説明します。各 MIB はグループごとに識別子および実装仕様を記述しています。

### 識別子

オブジェクト識別子の公認された記述形式です。

(例) プライベート MIB `axsStats` グループの識別子の記述形式とオブジェクト ID 値を次に示します。

```
識別子      axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1
```

プライベート MIB のオブジェクト ID 値については、「付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値」を参照してください。

### 実装仕様

各 MIB の実装仕様を表で説明しています。`axsStats` グループの実装仕様を例に、表の項目について説明します。`axsStats` グループの実装仕様の例を次の表に示します。

表 1-2 `axsStats` グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	<code>axsIfStatsTable</code> { <code>axsIfStats 1</code> }	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブル。	
2	<code>axsIfStatsEntry</code> { <code>axsIfStatsTable 1</code> }	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。 [ <code>index</code> ] { <code>axsIfStatsIndex</code> }	
3	<code>axsIfStatsIndex</code> { <code>axsIfStatsEntry 1</code> }	NOT-ACCESSIBLE	NA	本装置のインタフェースインデックス。IfIndex と同じ。	
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

### オブジェクト識別子

MIB のオブジェクト識別子の名称を示しています。

### SYNTAX

プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味を次の表に示します。なお、SYNTAX はプライベート MIB の実装仕様だけで説明しています。

表 1-3 プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
1	Counter	0..4,294,967,295( $2^{32}-1$ ) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
2	Counter32	0..4,294,967,295( $2^{32}-1$ ) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
3	Counter64	0..18,446,744,073,709,551,615( $2^{64}-1$ ) まで増加し、また 0 に戻る整数値。 SNMPv1 では未サポート。
4	DisplayString	0 個以上 255 文字以下の文字列 (各バイトは、NVT ASCII 値)。
5	Gauge	値は増減できる、0 またはそれ以上の整数 (0..4,294,967,295)。

## 1. サポート MIB の概要

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
6	INTEGER	-2147483648..2147483647( $-2^{31}..2^{31}-1$ ) の範囲の整数情報を表す。
7	Integer32	-2147483648..2147483647( $-2^{31}..2^{31}-1$ ) の範囲の整数情報を表す。
8	OCTET STRING	0 個以上の文字列 (8 ビット単位)。各バイトは、0-255。
9	IpAddress	4 バイトの OCTET STRING(32 ビットの IP アドレスを格納)。
10	Ipv6Address	16 バイトの OCTET STRING(128 ビットの IPv6 アドレスを格納)。
11	OBJECT IDENTIFIER	サブ識別子の順序固定リストを格納。
12	MacAddress	IEEE802.1a で定義された正規の順序で表される 802MAC アドレス。 OCTET STRING タイプ。
13	RowStatus	概念上の行エントリの生成や削除を制御するための SYNTAX タイプ。
14	TimeStamp	あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で計るタイムスタンプ。
15	TimeTicks	正の整数で、あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒で表す。
16	BITS	名前付きビット列に対応するビットに 1 を割り当て、0 個以上の文字列 (8 ビット単位) で表す。
17	NOT-ACCESSIBLE	アクセス不可。
18	PortList	ポートのビットマップとなっており、有効なポートに対応するビットに 1 を割り当てる。本装置では、ポートの ifindex 番号に対応したビットに 1 を割り当てる。
19	VlanIndex	VLAN のインデックス番号 (1..4095) を表す。
20	VlanIdOrZero	VLAN のインデックス番号 (1..4095) または該当する VLAN がないとき 0 で表す。
21	AddressFamilyNumbers	IANA が割り当てたアドレス番号。
22	BridgeId	スパンニングツリーで使用するブリッジ識別子。OCTET STRING タイプ。
23	InetAddress	インターネットアドレスを表す。OCTET STRING タイプ。
24	InetAddressType	インターネットアドレスのタイプを表す。
25	InterfaceIndex	システムが管理している ifIndex 番号。1..2147483647( $2^{31}-1$ ) の範囲の整数値。
26	OwnerString	0 以上 127 文字以下の文字列。管理上割り当てられたリソースの所有者の名前を表す。DisplayString タイプ。
27	SnmpAdminString	管理情報を含む文字列。DisplayString タイプ。
28	TimeFilter	正の整数で、あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒で表すインデックス番号。
29	Timeout	100 分の 1 秒単位の STP タイマ。
30	TruthValue	真偽値を表す。

### アクセス

- R/O：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Onlyであることを示します。
- R/W：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Writeであることを示します。
- R/NW：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Writeですが、本装置では Read\_Only となっていることを示します。
- AN：規格ドキュメント上の MIB アクセスが accessible-for-notifyであることを示します。Object の取得および設定ができませんが、トラップの variable として読み取ることができます。
- NA：規格ドキュメント上の MIB アクセスが not-accessibleであることを示します。
- R/C：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Createであることを示します。

- R/NC：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Create ですが，本装置では Read\_Only となっていることを示します。

実装仕様

[規格]：規格ドキュメントの規格概要を記述しています。

[実装]：本装置での実装仕様を記述しています。

実装有無

- ：本装置でサポート（応答）する MIB を示しています。ただし，アクセス欄が「NA」の場合，MIB の応答はしません。また使用する機能によって応答するものが変わりますので注意してください。
- ：本装置でサポート（応答）する MIB ですが，統計カウンタで本装置がカウントできないため，固定値を応答する MIB を示しています。
- x：本装置でサポート（応答）しない MIB を示しています。



# 2

## 標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)

この章では本装置で使用する標準 MIB の実装仕様について説明します。

2.1	system グループ (MIB-II)
2.2	interfaces グループ (MIB-II)
2.3	at グループ (MIB-II)
2.4	ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)
2.5	icmp グループ (MIB-II)
2.6	tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6)
2.7	udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6)
2.8	dot3 グループ (Ethernet Like MIB)
2.9	ppp グループ (PPP MIB) 【AX7800S】
2.10	SONET / SDH グループ ( SONET / SDH MIB ) 【AX7800S】
2.11	snmp グループ (MIB-II)
2.12	ospf グループ (OSPFv2 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】
2.13	bgp グループ (BGP4 MIB) 【OP-BGP】
2.14	rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)
2.15	dot1dBridge グループ
2.16	ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)
2.17	ipv6MIB グループ (IPv6 MIB)
2.18	ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB)
2.19	vrrpMIB グループ
2.20	ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB) 【OP-MLT】
2.21	igmpStdMIB グループ (IGMP MIB) 【OP-MLT】

---

2.22	pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB) 【OP-MLT】
2.23	ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】
2.24	IEEE8023-LAG-MIB グループ
2.25	802.1X MIB グループ
2.26	snmpModules グループ (SNMPv3 情報 MIB)

---

## 2.1 system グループ (MIB-II)

### (1) 識別子

system OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.1

### (2) 実装仕様

system グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-1 system グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sysDescr {system 1}	R/O	<p>[規格] ハードウェア, OS, ネットワーク OS の名称またはバージョン No。 [実装] 会社名 装置型名 装置モデル ソフトウェア名称 ソフトウェア型名 ソフトウェアバージョン ソフトウェア略称を含む文字列。 (例) AX7800S の場合 "Alaxala AX7800S AX-xxxx-xx [AX78xxS-xx] Switching Software AX-xxxx-xx Ver. 10.6 [OS-xx]" AX-xxxx-xx: 装置型名 AX78xxS-xx: 装置モデル Switching Software: ソフトウェア名称 AX-xxxx-xx: ソフトウェア型名 Ver. 10.6: ソフトウェアバージョン OS-xx: ソフトウェア略称 AX5400S の場合 "Alaxala AX5400S AX-xxxx-xx [AX54xxS-xx] Switching Software AX-xxxx-xx Ver. 10.6 [OS-xx]" AX-xxxx-xx: 装置型名 Alaxala AX54xxS-xx: 装置モデル Switching Software: ソフトウェア名称 AX-xxxx-xx: ソフトウェア型名 Ver. 10.6: ソフトウェアバージョン OS-xx: ソフトウェア略称</p>	
2	sysObjectID {system 2}	R/O	<p>[規格] ネットワーク管理サブシステムのベンダの認証 ID。 [実装] 固定値。  AX7800S の場合 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2 AX5400S の場合 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3</p>	
3	sysUpTime {system 3}	R/O	<p>[規格] システムが起動してからの累積時間 (10 ミリ秒カウンタ)。 [実装] 運用系 BCU 起動時からの累積時間。</p>	
4	sysContact {system 4}	R/W	<p>[規格] 管理ノードに関する連絡先。 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。</p>	
5	sysName {system 5}	R/W	<p>[規格] 管理ノードの名称, 管理ノードのドメイン名。 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。</p>	

## 2.1 system グループ (MIB-II)

項 番	オブジェクト識別子	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
6	sysLocation {system 6}	R/W	[規格] 管理ノードの設置場所 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。	
7	sysServices {system 7}	R/O	[規格] サービスを示す値。 [実装] 78 固定。	

## 2.2 interfaces グループ (MIB-II)

### 2.2.1 interfaces グループ (イーサネットの場合)

次に示す interfaces グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R **【AX7800S】**
- 10GBASE-W **【AX7800S】**

#### (1) 識別子

interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2

#### (2) 実装仕様

イーサネットの場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-2 interfaces グループの実装仕様 (イーサネットの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属するインタフェース情報のリスト。 INDEX { ifIndex } [実装] 規格に同じ。	
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1 から ifNumber までの連続した値。 [実装] 規格と同じ。また、インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。なお、コンフィグレーションと実装が不一致の場合、または NIF close 中の場合、"Unknown" という文字列を表示します。	
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースのタイプ。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Line の ifIndex の場合：Ethernet-csmacd(6)。</li> <li>• Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：l3ipvlan(136)。</li> <li>• VLAN の ifIndex の場合：l2vlan(135)。</li> <li>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：ieee8023adLag(161)。</li> </ul>	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで送受信できるデータグラムの最大サイズ (オクテット)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合: 規格に同じ。 ただし, IP 定義を入力後は IP MTU 値を表示します。</li> <li>Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合: Line 情報と同じ。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifindex の場合: Line 情報と同じ。</li> </ul> <p>詳細は, 「解説書 Vol.1 11.5.3 MTU とフラグメント」を参照してください。</p>	
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (bit/s)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合: コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は, 当該インタフェースの回線速度を表示し, 設定されている場合はその設定値を表示する。</li> <li>Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合: Line 情報と同じ。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合: 0 固定。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: リンクアグリゲーショングループに属する回線の Line 情報のうち最大速度のもの。</li> </ul>	
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	<p>[規格] このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合: MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。ただし, NIF close 中の場合は表示しません。</li> <li>Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合: 00 00 00 00 00 00 固定。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合: VLAN に割り当てられた MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: リンクアグリゲーショングループの MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。ただし, 該当する NIF がすべて close 中の場合, 00 00 00 00 00 00 を応答します。</li> </ul>	
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	<p>[規格] このインタフェースの望ましい状態。 { up(1), down(2), testing(3) }</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合: デフォルトは up(1), コンフィグレーションで disable 指定時は down(2) になります。line のコンフィグレーションが設定されていない場合, およびコンフィグレーションで PSU/BSU, NIF に disable が設定されている場合, SetRequest オペレーションを用いて値を変更することはできません。</li> <li>Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合: デフォルトは up(1), コンフィグレーションで Tag-VLAN 連携 disable 指定時は down(2) になります。また, コンフィグレーションで PSU/BSU, NIF, Line に disable が設定されている場合, またはリンクアグリゲーションに disable が設定されている場合, SetRequest オペレーションを用いて値を変更することはできません。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合: デフォルトは up(1), コンフィグレーションで VLAN disable 指定時は down(2) になります。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: デフォルトは up(1), コンフィグレーションでリンクアグリゲーション disable 指定時は down(2) になります。</li> </ul>	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	<p>[ 規格 ] このインタフェースの現在の状態。  { up(1),  down(2),  testing(3) }</p> <p>[ 実装 ] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Line の ifIndex の場合：規格に同じ。</li> <li>• Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：規格に同じ。</li> <li>• VLAN の場合：規格に同じ。</li> <li>• リンクアグリゲーションの場合：規格に同じ。</li> </ul>	
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	<p>[ 規格 ] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime。[ 単位：1/100 秒 ]</p> <p>[ 実装 ] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Line の ifIndex の場合：規格に同じ。ただし、CP ダウン時は 0 を応答します。</li> <li>• Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：規格に同じ。ただし、CP ダウン時は 0 を応答します。</li> <li>• VLAN の ifIndex の場合：規格に同じ。ただし、CP ダウン時は 0 を応答します。</li> <li>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。ただし、CP ダウン時は 0 を応答します。</li> </ul>	
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	<p>[ 規格 ] このインタフェースで受信したオクテットの数。</p> <p>[ 実装 ] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Line の ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。</li> <li>• Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。</li> </ul>	
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	<p>[ 規格 ] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[ 実装 ] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Line の ifIndex の場合：規格に同じ。</li> <li>• Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。</li> </ul>	
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	<p>[ 規格 ] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット（ブロードキャスト，マルチキャストパケット）の数。</p> <p>[ 実装 ] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Line の ifIndex の場合：規格に同じ。</li> <li>• Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。</li> </ul>	
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	<p>[ 規格 ] パケット自身にはエラーはないが、上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数（バッファなしなどで破棄された受信パケットの数）。</p> <p>[ 実装 ] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Line の ifIndex の場合：受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。</li> <li>• Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。</li> </ul>	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	<p>[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：FCS エラー，ショートパケット，最大パケット長オーバー，衝突されたパケット，パケットフォーマット不正，端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。</li> <li>Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：FCS エラー，ショートパケット，最大パケット長オーバー，衝突されたパケット，パケットフォーマット不正，端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。</li> </ul>	
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	<p>[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し，破棄したパケットの数。</p> <p>[実装] 0 固定。</p>	
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで送信したパケットのオクテットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテットの数。</li> <li>Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテット数。</li> </ul>	
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常なユニキャスト・パケットの数 (MAC DA の I/G ビット = '0' パケットの数)。</li> <li>Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常なユニキャスト・パケット数 (MAC DA の I/G ビット = '0' パケットの数)。</li> </ul>	
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケットの数 (MAC DA の I/G ビット = '1' パケットの数。ただし，MAC パケットは除く。また，SMT は含む)。</li> <li>Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケット数 (MAC DA の I/G ビット = '1' パケットの数。ただし，MAC パケットは除く。また，SMT は含む)。</li> </ul>	
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	<p>[規格] パケット自身にエラーはなく，送信処理で破棄されたパケットの数 (送信バッファ不足など)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：送信 FIFO Overflow (アンダーラン) のため廃棄したイベントの数。</li> <li>Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：送信 FIFO Overflow (アンダーラン) のため廃棄したイベント数。</li> </ul>	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	[規格] エラーが原因で送信できなかったパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：アンダーラン、過剰衝突、過剰遅延したパケットの数。 • Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：アンダーラン、過剰衝突、過剰遅延したパケット数。	
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0 固定。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：リンクアグリゲーショングループに属する回線の送信パケットキューサイズを合計したもの。	
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：1.3.6.1.2.1.10.7 を応答する。ただし、非正常時は、0.0 を応答する。 • Tag-VLAN 連携の ifIndex の場合：0.0 固定。 • VLAN の ifIndex の場合：0.0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：0.0 固定。	

## 2.2.2 interfaces グループ (POS の場合) 【AX7800S】

次に示す interface グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

### (1) 識別子

interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2

### (2) 実装仕様

POS の場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-3 interfaces グループの実装仕様 (POS の場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変化します。	
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属するインタフェース情報のリスト。 INDEX { ifIndex } [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1 から ifNumber までの連続した値。 [実装] 規格と同じ。また、インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変化します。	
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。なお、コンフィグレーションと実装が不一致の場合、または NIF close 中の場合、"Unknown" という文字列を表示します。	
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースのタイプ。 [実装] インタフェースによる。 • PPP の場合：ppp(23) • SONET/SDH の場合：sonet(39)	
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	[規格] このインタフェースで送受信できるデータグラムの最大サイズ（オクテット）。 [実装] 送信できるデータグラムの最大サイズ。ただし、ifOperStatus が UP 時以外は 0 を応答します。	
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (bit/s)。 [実装] コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は、当該インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。	
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	[規格] ネットワークレイヤ直下のインタフェースアドレス。 [実装] 値なし（データレングス 0）。	
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	[規格] インタフェースの望ましいステータス。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] デフォルトは up(1)、コンフィグレーションで disable 指定時は down(2) になります。また、コンフィグレーションで PSU/BSU、NIF に disable が設定されている場合、SetRequest オペレーションを用いて値を変更することはできません。	
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	[規格] インタフェースの現在のステータス。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] 規格に同じ。	
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化したときの sysUpTime。 [実装] 規格に同じ。ただし、CP がダウン時は、-1 を応答します。	
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	[規格] インタフェースで受信したオクテットの数。 [実装] 開始フラグおよび FCS を除いた、総受信オクテット数。	
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 [実装] 受信 PPP パケットの数。制御パケットを含む（レイヤ 2 以下の制御パケットもカウント対象とする）。	
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット（ブロードキャスト、マルチキャストパケット）の数。 [実装] 0 固定（PPP パケットはすべてユニキャスト・パケットとして扱うためカウントしない）。	
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	[規格] パケット自身にはエラーは検出されないが、上位プロトコルに渡すことのできなかつたパケットの数（バッファなしなどで破棄された受信パケットの数）。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。 [実装] CRC エラー、アボートフレーム、ショートフレーム、ロングフレームの回線エラーによって破棄されたパケットの数。	
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し、破棄したパケットの数。 [実装] 0 固定。	
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	[規格] インタフェースで送信したパケットのオクテット数。 [実装] 開始フラグおよび FCS を除いた、総送信オクテット数（レイヤ 2 以下の制御パケットもカウント対象とする）。	
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 [実装] 回線側に送信要求を発行したパケットの数。制御パケットを含む。	
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定（PPP パケットはすべてユニキャスト・パケットとして扱うためカウントしない）。	
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	[規格] パケット自身にエラーはなく、送信処理で破棄されたパケットの数（送信バッファ不足など）。 [実装] 規格に同じ。	
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	[規格] エラーのため送信できなかったパケットの数。 [実装] アンダーラン、アボートフレームの回線エラーによって破棄されたパケットの数。	
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] 回線への送信待ちキューに積まれているパケットの数。	
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB への参考文献。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。 [実装] {0 0}。	

### 2.2.3 interfaces グループ (トンネルインタフェースの場合)

#### (1) 識別子

```
interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2
```

#### (2) 実装仕様

トンネルインタフェースの場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-4 interfaces グループの実装仕様 (トンネルインタフェースの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属するインタフェース情報のリスト。 INDEX { ifIndex } [実装] 規格に同じ。	
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1 から ifNumber までの連続した値。 [実装] 規格と同じ。また、インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。	
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースのタイプ。 [実装] 規格に同じ。 トンネル：tunnel(131)	
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	[規格] 送受信パケットの最大長。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：規格に同じ。	
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度の見積もり (bit/s)。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：0 固定	
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：値なし	
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	[規格] このインタフェースの望ましい状態。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] インタフェースによる。 トンネル：デフォルトは up(1)、コンフィグレーションで disable 指定時は down(2) になります。	
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の状態。 { up(1), down(2), testing(3) } [実装] インタフェースによる。 トンネル：規格に同じ。	
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime。[単位：1/100 秒] [実装] インタフェースによる。 トンネル：規格に同じ。	
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：カプセル化した IP ヘッダを除く IP パケットの総受信オクテット数。	
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル：上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。	
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット（ブロードキャスト、マルチキャストパケット）の数。 [実装] 0 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	[規格] パケット自身にはエラーはないが、上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数(バッファなしなどで破棄された受信パケットの数)。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 破棄されたパケットの数をカウント。	
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: FCS エラー, ショートパケット, 最大パケット長オーバー, 衝突されたパケット, パケットフォーマット不正, 端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数をカウント。	
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し, 破棄したパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 破棄した, IP 以外のパケットの数。	
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したパケットのオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: カプセル化した IP ヘッダを除く IP パケットの総受信オクテット数。	
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。	
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	[規格] パケット自身にエラーはなく, 送信処理で破棄されたパケットの数(送信バッファ不足など)。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 破棄したパケットの数をカウント。	
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	[規格] エラーが原因で送信できなかったパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: アンダーラン, バイトカウントのミスマッチ, 過剰衝突, 過剰遅延, または送信タイムアウトしたパケットの数。	
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: 送信待ちキューに積まれているパケットの数。	
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB への参照。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。 [実装] インタフェースによる。 トンネル: {0.0} 固定。	

## 2.2.4 interfaces グループ (その他の場合)

ローカルループバック, RM イーサネットポート (AX5400S ではリモートマネージメントポート) の場合の interfaces グループについて説明します。

### (1) 識別子

```
interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2
```

## (2) 実装仕様

ローカルループバック，RM イーサネットポート（AX5400S ではリモートマネージメントポート）の場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-5 interfaces グループの実装仕様（その他の場合）

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	〔規格〕このシステムで，提供するネットワークインタフェースの数。 〔実装〕規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると，このオブジェクトの値も変わります。	
2	ifTable {interfaces 2}	NA	〔規格〕インタフェースエンティティのテーブル。 〔実装〕規格に同じ。	
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	〔規格〕サブネットワークレイヤに属すインタフェース情報のリスト。 INDEX {ifIndex} 〔実装〕規格に同じ。	
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	〔規格〕このインタフェースを識別するための番号。1 から ifNumber までの連続した値。 〔実装〕規格と同じ。また，インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると，このオブジェクトの値も変わります。	
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	〔規格〕インタフェースに関する情報。 〔実装〕インタフェース種別ごとの固定文字列。	
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	〔規格〕インタフェースのタイプ。 〔実装〕規格に同じ。 RM イーサネット：CSMA-CD(6) ローカルループバック：softwareLoopback(24)	
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	〔規格〕送受信パケットの最大長。 〔実装〕インタフェースによる。 RM イーサネット：規格に同じ。 ローカルループバック：1536 固定。	
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	〔規格〕このインタフェースの現在の回線速度の見積もり (bit/s)。 〔実装〕インタフェースによる。 RM イーサネット：規格に同じ。 ローカルループバック：0 固定。	
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	〔規格〕このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。 〔実装〕インタフェースによる。 RM イーサネット：MAC アドレスをキャノニカルにした値 ローカルループバック：値なし。	
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	〔規格〕このインタフェースの望ましい状態。 { up(1), down(2), testing(3) } 〔実装〕インタフェースによる。 RM イーサネット：デフォルトは up(1)，コンフィグレーションで disable 指定時は down(2) になります。 ローカルループバック：up(1) 固定。	
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	〔規格〕このインタフェースの現在の状態。 { up(1), down(2), testing(3) } 〔実装〕インタフェースによる。 RM イーサネット：up(1), down(2) だけ。 ローカルループバック：up(1) 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime。[単位: 1/100 秒] [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット: 規格に同じ。 ローカルループバック: 規格に同じ。	
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット: MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総受信オクテット数。 ローカルループバック: IP パケットの総受信オクテット数。	
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット: 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 ローカルループバック: IP パケットで上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。	
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット (ブロードキャスト, マルチキャストパケット) の数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット: 上位プロトコルへ通知したブロードキャストまたはマルチキャストパケットの数。 ローカルループバック: IP パケットで上位プロトコルへ通知したブロードキャストまたはマルチキャストパケットの数。	
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	[規格] パケット自身にはエラーはないが, 上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数 (バッファなしなどで破棄された受信パケットの数)。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット: 破棄したパケットの数をカウント。 ローカルループバック: 破棄したパケットの数をカウント。	
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット: FCS エラー, ショートパケット, 最大パケット長オーバー, 衝突されたパケット, パケットフォーマット不正, 端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数をカウント。 ローカルループバック: 0 固定。	
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し, 破棄されたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット: 破棄した, IP 以外のパケットの数。 ローカルループバック: 破棄した, IP 以外のパケットの数。	
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したパケットのオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット: MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総送信オクテット数。 ローカルループバック: IP パケットの総送信オクテット数。	
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 RM イーサネット: MAC DA の I/G ビット = '0' のパケットの数。 ローカルループバック: IP パケットで上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	<p>〔規格〕上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。</p> <p>〔実装〕インタフェースによる。</p> <p>RM イーサネット：MAC DA の I/G ビット=1' のパケットの数。</p> <p>ローカルループバック：IP パケットで上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。</p>	
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	<p>〔規格〕パケット自身にエラーはなく、送信処理で破棄されたパケットの数（送信バッファ不足など）。</p> <p>〔実装〕インタフェースによる。</p> <p>RM イーサネット：破棄したパケットの数をカウント。</p> <p>ローカルループバック：破棄したパケットの数をカウント。</p>	
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	<p>〔規格〕エラーが原因で送信できなかったパケットの数。</p> <p>〔実装〕インタフェースによる。</p> <p>RM イーサネット：アンダーラン，バイトカウントのミスマッチ，過剰衝突，過剰遅延，または送信タイムアウトしたパケットの数。</p> <p>ローカルループバック：0 固定。</p>	
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	<p>〔規格〕送信パケットキューのサイズ。</p> <p>〔実装〕インタフェースによる。</p> <p>RM イーサネット：送信待ちキューに積まれているパケットの数。</p> <p>ローカルループバック：送信待ちキューに積まれているパケットの数。</p>	
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	<p>〔規格〕インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。</p> <p>〔実装〕インタフェースによる。</p> <p>RM イーサネット：{0.0} 固定。</p> <p>ローカルループバック：{0.0} 固定。</p>	

## 2.3 at グループ (MIB-II)

### (1) 識別子

at OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 3}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.3

### (2) 実装仕様

at グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-6 at グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	atTable {at 1}	NA	[規格] アドレス変換テーブルは "フィジカル" アドレス相当値に対する NetworkAddress のテーブル。いくつかのインタフェースはアドレス相当値を決定するために変換テーブルを使用しません。このようなタイプの場合は、アドレス変換テーブルは空であり、エントリの数はゼロとなります。 [実装] 規格に同じ。ネットワークアドレスから物理アドレスへの対応関係を示します。	
2	atEntry {atTable 1}	NA	[規格] 各エントリは "フィジカル" アドレス相当値に対する一つの NetworkAddress に関係するリストです。 INDEX { atIfIndex, atNetAddress } [実装] 規格に同じ。	
3	atIfIndex {atEntry 1}	R/NW	[規格] 対応するインタフェースの ifIndex の値。 [実装] atPhysAddress を持つインタフェースの ifIndex。ただし、Read_Only です。	
4	atPhysAddress {atEntry 2}	R/O	[規格] 物理アドレス。 [実装] 媒体に依存した ARP テーブルに依存する MAC アドレス。	
5	atNetAddress {atEntry 3}	R/O	[規格] 媒体に依存した atPhysAddress に対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.4 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)

### 2.4.1 ip

#### (1) 識別子

ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.4

#### (2) 実装仕様

ip グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-7 ip グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipForwarding {ip 1}	R/NW	[ 規格 ] IP 中継機能の可否 (ゲートウェイとして動作するか)。 { gateway(1), host(2) } [ 実装 ] gateway(1) 固定。ただし, Read_Only です。	
2	ipDefaultTTL {ip 2}	R/NW	[ 規格 ] IP ヘッダ中の TTL に設定するデフォルト値。 [ 実装 ] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
3	ipInReceives {ip 3}	R/O	[ 規格 ] すべてのインタフェースから受信した IP データグラムの総数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
4	ipInHdrErrors {ip 4}	R/O	[ 規格 ] IP ヘッダのエラーのために破棄された受信データグラムの数。 [ 実装 ] IP ヘッダチェックサムエラー, バージョンエラー, TTL オーバ・ヘッダ長異常, 形式エラーなどの IP パケットをカウントします。	
5	ipInAddrErrors {ip 5}	R/O	[ 規格 ] IP ヘッダ中の宛先アドレスが有効ではないために破棄されたパケット数。 [ 実装 ] 宛先アドレスのクラスが A, B, C, D ではない時カウントします。	
6	ipForwDatagrams {ip 6}	R/O	[ 規格 ] 中継を必要だと判断したパケット数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
7	ipInUnknownProtos {ip 7}	R/O	[ 規格 ] 受信した自分宛て IP パケットで認識できないプロトコルがサポートしていないプロトコルであるため, 破棄した IP データグラムの数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
8	ipInDiscards {ip 8}	R/O	[ 規格 ] エラー以外の理由で破棄された送信 IP データグラムの総数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
9	ipInDelivers {ip 9}	R/O	[ 規格 ] 上位レイヤに通知した IP データグラムの数。 [ 実装 ] 自装置宛てへの受信 IP パケット数。	
10	ipOutRequests {ip 10}	R/O	[ 規格 ] 上位レイヤが IP パケット送信要求を行った IP データグラムの総数。 [ 実装 ] 自装置から送信した IP パケット数。	
11	ipOutDiscards {ip 11}	R/O	[ 規格 ] エラー以外の理由で破棄された IP データグラムの数。 [ 実装 ] IP パケット送信時送信バッファ不足または輻輳制御によって廃棄したパケット数。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ipOutNoRoutes {ip 12}	R/O	[規格] 送信経路が指定されないために破棄した IP データグラムの数。 [実装] パケット中継時、宛先ネットワークがルーティングテーブルにない時カウントします。	
13	ipReasmTimeout {ip 13}	R/O	[規格] リアセンブリ待ちしているフラグメントパケットのホールド最大秒数。 [実装] 規格に同じ。	
14	ipReasmReqds {ip 14}	R/O	[規格] リアセンブリする必要のある受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
15	ipReasmOKs {ip 15}	R/O	[規格] リアセンブリが成功した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
16	ipReasmFails {ip 16}	R/O	[規格] リアセンブリが失敗した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
17	ipFragOKs {ip 17}	R/O	[規格] フラグメントが成功した IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
18	ipFragFails {ip 18}	R/O	[規格] フラグメントを失敗した IP データグラムの数。 [実装] フラグメントする必要があるにもかかわらず、IP ヘッダの DF ビットがオンであったためにフラグメントができなかった場合カウントします。フラグメント用バッファ獲得失敗の場合カウントします。	
19	ipFragCreates {ip 19}	R/O	[規格] フラグメンテーションの結果として生成された IP データグラムのフラグメントの数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.4.2 ipAddrTable

### (1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipAddrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 20}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.20
```

### (2) 実装仕様

ipAddrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-8 ipAddrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipAddrTable {ip 20}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスに関連するアドレッシング情報のテーブル (IP アドレス別のアドレス情報テーブル)。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipAddrEntry {ipAddrTable 1}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスの一つのためのアドレッシング情報のリスト。 [実装] 規格に同じ。	
3	ipAdEntAddr {ipAddrEntry 1}	R/O	[規格] IP アドレス。 [実装] ポートの IP アドレス。	
4	ipAdEntIfIndex {ipAddrEntry 2}	R/O	[規格] このエントリが適用するインタフェースのインデックス値。 ifIndex と同じ値。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ipAdEntNetMask {ipAddrEntry 3}	R/O	[規格] このエントリの IP アドレスに関するサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipAdEntBcastAddr {ipAddrEntry 4}	R/O	[規格] IP ブロードキャスト送信時のアドレスの最下位ビットの値。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipAdEntReasmMaxSize {ipAddrEntry 5}	R/O	[規格] インタフェースで受信した IP フラグメント分割された入力 IP データグラムからリアセンブルできる最大 IP パケットのサイズ。 [実装] 規格に同じ。	

### 2.4.3 ipRouteTable

#### (1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
ipRouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 21}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.21
```

#### (2) 実装仕様

ipRouteTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-9 ipRouteTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipRouteTable {ip 21}	NA	[規格] このエンティティの IP ルーティングテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipRouteEntry {ipRouteTable 1}	NA	[規格] 特定のディスティネーションへの経路情報。 [実装] 規格に同じ。	
3	ipRouteDest {ipRouteEntry 1}	R/NW	[規格] この経路のディスティネーション IP アドレス。 [実装] ルーティングテーブル中の宛先ネットワークアドレス。ただし、Read_Only です。	
4	ipRouteIfIndex {ipRouteEntry 2}	R/NW	[規格] この経路のファーストホップの存在するインタフェースのインデックス値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ルーティングテーブル内にフォワーディングしないルートが存在します。このルートの ipAdEntIfIndex は 0 とします。	
5	ipRouteMetric1 {ipRouteEntry 3}	R/NW	[規格] この経路のプライマリ・ルーティングメトリック。 [実装] ルーティングテーブルのホップ数。ただし、Read_Only です。	
6	ipRouteMetric2 {ipRouteEntry 4}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ipRouteMetric3 {ipRouteEntry 5}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 未使用のため -1 固定。ただし、Read_Only です。	
8	ipRouteMetric4 {ipRouteEntry 6}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 未使用のため -1 固定。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	ipRouteNextHop {ipRouteEntry 7}	R/NW	[ 規格 ] この経路のネクストホップの IP アドレス (ブロードキャスト・メディアで接続されたルートの場合、そのインタフェース上のエージェントアドレス・アドレスになる)。 [ 実装 ] ルーティングテーブル中のファーストホップ IP アドレス。ただし、Read_Only です。装置ではルーティングテーブル内にフォワーディングしないルートが存在します。このルートの ipRouteNextHop は 0.0.0.0 とします。	
10	ipRouteType {ipRouteEntry 8}	R/O	[ 規格 ] 経路のタイプ。 {other(1), invalid(2), direct(3), indirect(4)} [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、Read_Only。	
11	ipRouteProto {ipRouteEntry 9}	R/O	[ 規格 ] 経路を学習したルーティング構造。 {other(1), local(2), netmgmt(3), icmp(4), egp(5), ggp(6), hello(7), rip(8), is-is(9), es-is(10), ciscoIgrp(11), bbnSpfIgp(12), ospf(13), bgp(14)} [ 実装 ] 規格に同じ。	
12	ipRouteAge {ipRouteEntry 10}	R/NW	[ 規格 ] この経路が更新されてからの経過時間。[ 単位 : 秒 ] [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
13	ipRouteMask {ipRouteEntry 11}	R/NW	[ 規格 ] ipRouteDest に関するサブネットマスク値。 [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
14	ipRouteMetric5 {ipRouteEntry 12}	R/NW	[ 規格 ] 代替ルーティングメトリック。 [ 実装 ] -1 固定。ただし、Read_Only です。	
15	ipRouteInfo {ipRouteEntry 13}	R/O	[ 規格 ] このルートで信頼できる特定のルーティングプロトコルを定義する MIB へのレファレンス。 [ 実装 ] {0.0} 固定。	

## 2.4.4 ipNetToMediaTable

### (1) 識別子

```

ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipNetToMediaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 22}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.22

```

### (2) 実装仕様

ipNetToMediaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-10 ipNetToMediaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipNetToMediaTable {ip 22}	NA	[規格] IP アドレスから物理アドレスへのマッピングに使用される IP アドレス変換テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipNetToMediaEntry {ipNetToMediaTable 1}	NA	[規格] 物理アドレスに対応した一つの IP アドレスのリスト。 INDEX {ipNetToMediaIfIndex, ipNetToMediaNetAddress} [実装] 規格に同じ。	
3	ipNetToMediaIfIndex {ipNetToMediaEntry 1}	R/NW	[規格] 有効となるインタフェース ID 番号。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
4	ipNetToMediaPhysAddress {ipNetToMediaEntry 2}	R/NW	[規格] メディアに依存した物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	ipNetToMediaNetAddress {ipNetToMediaEntry 3}	R/NW	[規格] メディアに依存した物理アドレスに対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ipNetToMediaType {ipNetToMediaEntry 4}	R/NW	[規格] マッピングのタイプ。 {other(1), invalid(2), dynamic(3), static(4)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ipRoutingDiscards {ip 23}	R/O	[規格] 有効であっても廃棄が選択されたルーティングエントリの数。 例えばルーティングテーブルバッファ不足によって廃棄されたエントリの数。 [実装] 0 固定。	

### 2.4.5 ipForward

ipForward グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1354

#### (1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
ipForward OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 24}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.24
```

#### (2) 実装仕様

ipForward グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-11 ipForward グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipForwardNumber {ipForward 1}	R/O	[規格] フォワーディングテーブルエントリの数。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipForwardTable {ipForward 2}	NA	[規格] 各経路に関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ipForwardEntry {ipForwardTable 1}	NA	[規格] 各経路の情報のリスト。 INDEX {ipForwardDest, ipForwardProto, ipForwardPolicy, ipForwardNextHop} [実装] 規格に同じ。	
4	ipForwardDest {ipForwardEntry 1}	R/O	[規格] この経路の宛先アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipForwardMask {ipForwardEntry 2}	R/NW	[規格] 宛先と論理積をとるためのマスク。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
6	ipForwardPolicy {ipForwardEntry 3}	R/O	[規格] 複数のパスルートから一つを選択する条件 (通常は TOS)。 [実装] 固定値 0。	
7	ipForwardNextHop {ipForwardEntry 4}	R/O	[規格] ルート上の次システムのアドレス。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipForwardIfIndex {ipForwardEntry 5}	R/NW	[規格] この経路のネクストホップと接続されるローカルインタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
9	ipForwardType {ipForwardEntry 6}	R/NW	[規格] 経路のタイプ。 { その他 (1), 無効 (2), ローカル (3), リモート (4) } [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
10	ipForwardProto {ipForwardEntry 7}	R/O	[規格] この経路を学習したプロトコル。 { other(1), local(2), netmgmt(3), icmp(4), egp(5), ggp(6), hello(7), rip(8), is-is(9), es-is(10), ciscoIgrp(11), bbnSpfIgp(12), ospf(13), bgp(14), idpr(15) } [実装] 規格に同じ。	
11	ipForwardAge {ipForwardEntry 8}	R/NW	[規格] この経路が学習, または更新されてからの経過時間。 [単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	
12	ipForwardInfo {ipForwardEntry 9}	R/NW	[規格] 経路のプロトコル別付加情報。 [実装] 固定値 {0.0}。ただし, Read_Only です。	
13	ipForwardNextHopAS {ipForwardEntry 10}	R/NW	[規格] 次ホップの自律システム番号。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 なお, 4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため, 該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合, 23456(AS_TRANS) を設定します。	
14	ipForwardMetric1 {ipForwardEntry 11}	R/NW	[規格] この経路に対するメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
15	ipForwardMetric2 {ipForwardEntry 12}	R/NW	[規格] この経路に対する代替ルートのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	

## 2.4 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
16	ipForwardMetric3 {ipForwardEntry 13}	R/NW	[規格] この経路に対する代替ルートのもトリック。 [実装] 固定値 (-1)。ただし, Read_Only です。	
17	ipForwardMetric4 {ipForwardEntry 14}	R/NW	[規格] この経路についての代替ルートのもトリック。 [実装] 固定値 (-1)。ただし, Read_Only です。	
18	ipForwardMetric5 {ipForwardEntry 15}	R/NW	[規格] この経路についての代替ルートのもトリック。 [実装] 固定値 (-1)。ただし, Read_Only です。	

## 2.5 icmp グループ (MIB-II)

### (1) 識別子

icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 5}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.5

### (2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-12 icmp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	icmpInMsgs {icmp 1}	R/O	[規格] このエンティティが受信した ICMP メッセージ総数。 [実装] 規格に同じ。	
2	icmpInErrors {icmp 2}	R/O	[規格] 受信した ICMP メッセージエラーの数 (チェックサムエラー, フレーム長エラーなど)。 [実装] 規格に同じ。	
3	icmpInDestUnreachs {icmp 3}	R/O	[規格] 受信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
4	icmpInTimeExcds {icmp 4}	R/O	[規格] 受信した ICMP Time Exceed メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
5	icmpInParmProbs {icmp 5}	R/O	[規格] 受信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
6	icmpInSrcQuenchs {icmp 6}	R/O	[規格] 受信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
7	icmpInRedirects {icmp 7}	R/O	[規格] 受信した ICMP Network Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
8	icmpInEchos {icmp 8}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
9	icmpInEchoReps {icmp 9}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
10	icmpInTimestamps {icmp 10}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
11	icmpInTimestampReps {icmp 11}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
12	icmpInAddrMasks {icmp 12}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 要求メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	
13	icmpInAddrMaskReps {icmp 13}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 応答メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	
14	icmpOutMsgs {icmp 14}	R/O	[規格] 送信を試みた ICMP メッセージの総数 (エラーの場合も含む)。 [実装] 規格に同じ。	
15	icmpOutErrors {icmp 15}	R/O	[規格] エラーによって送信されなかった ICMP メッセージ数。 [実装] バッファなしの場合だけカウント。	
16	icmpOutDestUnreachs {icmp 16}	R/O	[規格] 送信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
17	icmpOutTimeExcds {icmp 17}	R/O	[規格] 送信した ICMP Time Exceeded メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.5 icmp グループ (MIB-II)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	icmpOutParmProbs {icmp 18}	R/O	[規格] 送信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
19	icmpOutSrcQuenchs {icmp 19}	R/O	[規格] 送信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
20	icmpOutRedirects {icmp 20}	R/O	[規格] 送信した ICMP Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
21	icmpOutEchos {icmp 21}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
22	icmpOutEchoReps {icmp 22}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
23	icmpOutTimestamps {icmp 23}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
24	icmpOutTimestampReps {icmp 24}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
25	icmpOutAddrMasks {icmp 25}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
26	icmpOutAddrMaskReps {icmp 26}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.6 tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6)

tcp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2452 (December 1998)

### 2.6.1 tcp

#### (1) 識別子

tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6

#### (2) 実装仕様

tcp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-13 tcp グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	tcpRtoAlgorithm {tcp 1}	R/O	[規格] 再送に使用するタイムアウト時間を決定するアルゴリズム。 {other(1), constant(2), rsre(3), vanj(4)} [実装] vanj(4) 固定。	
2	tcpRtoMin {tcp 2}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最小値。[単位: ミリ秒] [実装] 1000 固定。	
3	tcpRtoMax {tcp 3}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最大値。[単位: ミリ秒] [実装] 64000 固定。	
4	tcpMaxConn {tcp 4}	R/O	[規格] サポートできる TCP コネクションの総数。最大コネクション数が動的である場合, -1 を応答する。 [実装] -1 固定。	
5	tcpActiveOpens {tcp 5}	R/O	[規格] TCP コネクションが CLOSE 状態から SYN-SENT 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	
6	tcpPassiveOpens {tcp 6}	R/O	[規格] TCP コネクションが LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	
7	tcpAttemptFails {tcp 7}	R/O	[規格] TCP コネクションが SYN-SENT, SYN-RCVD 状態から CLOSE 状態に推移した回数に SYN-RCVD 状態から LISTEN 状態に推移した回数を加えたもの。 [実装] 規格に同じ。	
8	tcpEstabResets {tcp 8}	R/O	[規格] TCP コネクションが ESTABLISHED, CLOSE-WAIT 状態から CLOSE 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	
9	tcpCurrEstab {tcp 9}	R/O	[規格] ESTABLISHED, CLOSE-WAIT の状態の TCP コネクションの総数。 [実装] 規格に同じ。	
10	tcpInSegs {tcp 10}	R/O	[規格] エラーセグメントを含む受信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	tcpOutSegs {tcp 11}	R/O	[規格] 送信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	
12	tcpRetransSegs {tcp 12}	R/O	[規格] 再送セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	
13	tcpConnTable {tcp 13}	NA	[規格] TCP コネクション固有の情報をテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
14	tcpConnEntry {tcpConnTable 1}	NA	[規格] 特定の TCP コネクションに関するエントリ情報。 INDEX {tcpConnLocalAddress, tcpConnLocalPort, tcpConnRemAddress, tcpConnRemPort} [実装] 規格に同じ。	
15	tcpConnState {tcpConnEntry 1}	R/NW	[規格] TCP コネクションの状態。 {closed(1), listen(2), synSent(3), synReceived(4), established(5), finWait1(6), finWait2(7), closeWait(8), lastAck(9), closing(10), timeWait(11), deleteTCB(12)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
16	tcpConnLocalAddress {tcpConnEntry 2}	R/O	[規格] この TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
17	tcpConnLocalPort {tcpConnEntry 3}	R/O	[規格] この TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
18	tcpConnRemAddress {tcpConnEntry 4}	R/O	[規格] この TCP コネクションのリモート IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
19	tcpConnRemPort {tcpConnEntry 5}	R/O	[規格] この TCP コネクションのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
20	tcpInErrs {tcp 14}	R/O	[規格] 受信したエラーセグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	
21	tcpOutRsts {tcp 15}	R/O	[規格] RST フラグを持つセグメントの送信数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.6.2 ipv6TcpConnTable

### (1) 識別子

```

tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}

ipv6TcpConnTable OBJECT IDENTIFIER ::= {tcp 16}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6.16

```

### (2) 実装仕様

ipv6TcpConnTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-14 ipv6TcpConnTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6TepConnTable {tcp 16}	NA	[ 規格 ]TCP コネクションテーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
2	ipv6TepConnEntry {ipv6TepConnTable 1}	NA	[ 規格 ] テーブルのエントリ。 INDEX {ipv6TepConnLocalAddress, ipv6TepConnLocalPort, ipv6TepConnRemAddress, ipv6TepConnRemPort, ipv6TepConnIfIndex} [ 実装 ] 規格に同じ。	
3	ipv6TepConnLocalAddress {ipv6TepConnEntry 1}	NA	[ 規格 ]TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
4	ipv6TepConnLocalPort {ipv6TepConnEntry 2}	NA	[ 規格 ]TCP コネクションのローカルポート番号。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
5	ipv6TepConnRemAddress {ipv6TepConnEntry 3}	NA	[ 規格 ]TCP コネクションのリモート IP アドレス。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
6	ipv6TepConnRemPort {ipv6TepConnEntry 4}	NA	[ 規格 ]TCP コネクションのリモートポート番号。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
7	ipv6TepConnIfIndex {ipv6TepConnEntry 5}	NA	[ 規格 ]TCP コネクションのローカルインタフェース番号。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
8	ipv6TepConnState {ipv6TepConnEntry 6}	R/NW	[ 規格 ]TCP コネクションのステート。 {closed(1), listen(2), synSent(3), synReceived(4), established(5), finWait1(6), finWait2(7), closeWait(8), lastAck(9), closing(10), timeWait(11), deleteTCB(12)} [ 実装 ] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	

## 2.7 udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6)

udp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2454 (December 1998)

### 2.7.1 udp

#### (1) 識別子

udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7

#### (2) 実装仕様

udp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-15 udp グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	udpInDatagrams {udp 1}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した UDP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
2	udpNoPorts {udp 2}	R/O	[規格] 宛先ポートに上位アプリケーションが存在しない受信 UDP データグラム総数。 [実装] 規格に同じ。	
3	udpInErrors {udp 3}	R/O	[規格] udpNoPorts 以外の理由でアプリケーションに通知できなかった UDP データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
4	udpOutDatagrams {udp 4}	R/O	[規格] 上位アプリケーションが送信した UDP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	
5	udpTable {udp 5}	NA	[規格] UDP リスナーの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
6	udpEntry {udpTable 1}	NA	[規格] 特定の UDP リスナーに関するエントリ数。 INDEX {udpLocalAddress, udpLocalPort} [実装] 規格に同じ。	
7	udpLocalAddress {udpEntry 1}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
8	udpLocalPort {udpEntry 2}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	

### 2.7.2 ipv6UdpTable

#### (1) 識別子

udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}  
ipv6UdpTable OBJECT IDENTIFIER ::= {udp 6}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7.6

#### (2) 実装仕様

ipv6UdpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-16 ipv6UdpTable グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	ipv6UdpTable {udp 6}	NA	[ 規格 ]UDP リスナーの情報を含むテーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
2	ipv6UdpEntry {ipv6UdpTable 1}	NA	[ 規格 ] 特定の UDP リスナーについての情報。 INDEX {ipv6UdpLocalAddress, ipv6UdpLocalPort, ipv6UdpIfIndex} [ 実装 ] 規格に同じ。	
3	ipv6UdpLocalAddress {ipv6UdpEntry 1}	NA	[ 規格 ]UDP リスナーに対するローカル IPv6 アドレス。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
4	ipv6UdpLocalPort {ipv6UdpEntry 2}	NA	[ 規格 ]UDP リスナーに対するローカルポート番号。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
5	ipv6UdpIfIndex {ipv6UdpEntry 3}	R/O	[ 規格 ]UDP リスナーに対するローカルインタフェース番号。 [ 実装 ] 規格に同じ。	

## 2.8 dot3 グループ (Ethernet Like MIB)

dot3 グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1643

次に示す dot3 グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R **【AX7800S】**
- 10GBASE-W **【AX7800S】**

### (1) 識別子

dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 7}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.7

### (2) 実装仕様

dot3 グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-17 dot3 グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3StatsTable {dot3 2}	NA	[規格] 特定のシステムに接続されたイーサネットライクなインタフェースの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot3StatsEntry {dot3StatsTable 1}	NA	[規格] イーサネットライクなメディアへの特定のインタフェースの統計情報リスト。 INDEX {dot3StatsIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	dot3StatsIndex {dot3StatsEntry 1}	R/O	[規格] イーサネットライクなメディアへのインタフェースのインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot3StatsAlignmentErrors {dot3StatsEntry 2}	R/O	[規格] 正しいフレーム長ではなく、かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
5	dot3StatsFCSErrors {dot3StatsEntry 3}	R/O	[規格] 正しいフレーム長で、かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
6	dot3StatsSingleCollisionFrames {dot3StatsEntry 4}	R/O	[規格] 1 回のコリジョンだけで送信が成功したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot3StatsMultipleCollisionFrames {dot3StatsEntry 5}	R/O	[規格] 特定のインタフェースで 2 回以上のコリジョンで送信が成功したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
8	dot3StatsSQETestErrors {dot3StatsEntry 6}	R/O	[規格] SQE TEST ERROR メッセージが発生した回数。 [実装] 0 固定。	
9	dot3StatsDeferredTransmissions {dot3StatsEntry 7}	R/O	[規格] 伝送路ビジーによって最初の送信が遅れたフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	dot3StatsLateCollisions {dot3StatsEntry 8}	R/O	[規格] 512 ビット時間経過後で、コリジョンを検出した回数。 [実装] 規格に同じ。	
11	dot3StatsExcessiveCollisions {dot3StatsEntry 9}	R/O	[規格] 過度の衝突 (16 回) による転送失敗数。 [実装] 規格に同じ。	
12	dot3StatsInternalMacTransmitErrors {dot3StatsEntry 10}	R/O	[規格] MAC サブレイヤ内での送信障害によって送信が失敗した回数。 [実装] 規格に同じ。ただし、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T および 1000BASE-X は 0 固定。	
13	dot3StatsCarrierSenseErrors {dot3StatsEntry 11}	R/O	[規格] 送信時にキャリアがなかった回数。 [実装] 規格に同じ。	
14	dot3StatsFrameTooLongs {dot3StatsEntry 13}	R/O	[規格] 最大許容フレーム長を超えた受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
15	dot3StatsInternalMacReceiveErrors {dot3StatsEntry 16}	R/O	[規格] MAC サブレイヤ内での受信エラーによって受信が失敗したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
16	dot3StatsEtherChipSet {dot3StatsEntry 17}	R/O	[規格] インタフェースで使われているチップセットを示すオブジェクト識別子。 [実装] 0.0 固定	

注 フレーム長とは、MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「解説書 Vol.1 4.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

## 2.9 ppp グループ (PPP MIB)【AX7800S】

本装置で実装する ppp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1471  
( The Definitions of Managed Objects for the Link Control Protocol of the Point-to-Point Protocol )
- RFC1473  
( The Definitions of Managed Objects for the IP Network Control Protocol of the Point-to-Point Protocol )

次に示す ppp グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

### 2.9.1 pppLcp

#### (1) 識別子

ppp OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 23}

pppLcp OBJECT IDENTIFIER ::= {ppp 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.23.1

pppLink OBJECT IDENTIFIER ::= {pppLcp 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.23.1.1

#### (2) 実装仕様

pppLcp の実装仕様を次の表に示します。

表 2-18 pppLcp の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pppLinkStatusTable {pppLink 1}	NA	[ 規格 ] PPP リンク関連のパラメータを含むテーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
2	pppLinkStatusEntry {pppLinkStatusTable 1}	NA	[ 規格 ] 特定の PPP リンクの管理情報リスト。 INDEX {ifIndex} [ 実装 ] 規格に同じ。	
3	pppLinkStatusPhysicalIndex {pppLinkStatusEntry 1}	R/O	[ 規格 ] PPP が動作しているインタフェースを識別する ifindex 値。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
4	pppLinkStatusBadAddresses {pppLinkStatusEntry 2}	R/O	[ 規格 ] 不正 A パートパケット数。 [ 実装 ] 未実装。	×
5	pppLinkStatusBadControls {pppLinkStatusEntry 3}	R/O	[ 規格 ] 不正 C パートパケット数。 [ 実装 ] 未実装。	×
6	pppLinkStatusPacketToLongs {pppLinkStatusEntry 4}	R/O	[ 規格 ] 最大長オーバによって廃棄されたパケット数。 [ 実装 ] 未実装。	×
7	pppLinkStatusBadFCSs {pppLinkStatusEntry 5}	R/O	[ 規格 ] 不正 FCS パケット数。 [ 実装 ] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	pppLinkStatusLocalMRU {pppLinkStatusEntry 6}	R/O	[規格] ローカル MRU 長。 [実装] 規格に同じ。ただし、リンク UP 時だけ有効です。	
9	pppLinkStatusRemoteMRU {pppLinkStatusEntry 7}	R/O	[規格] リモート MRU 長。 [実装] 規格に同じ。ただし、リンク UP 時だけ有効です。	
10	pppLinkStatusLocalToPeerACMap {pppLinkStatusEntry 8}	R/O	[規格] Local から Remote への ACC マップ。 [実装] 未実装。	×
11	pppLinkStatusPeerToLocalACMap {pppLinkStatusEntry 9}	R/O	[規格] Remote から Local への ACC マップ。 [実装] 未実装。	×
12	pppLinkStatusLocalToRemoteProtocolCompression {pppLinkStatusEntry 10}	R/O	[規格] Local から Remote へ送信時のプロトコルフィールド圧縮可否。 { enabled(1), disabled(2) } [実装] 未実装。	×
13	pppLinkStatusRemoteToLocalProtocolCompression {pppLinkStatusEntry 11}	R/O	[規格] Remote から Local へ送信時のプロトコルフィールド圧縮可否。 { enabled(1), disabled(2) } [実装] 未実装。	×
14	pppLinkStatusLocalToRemoteACCompression {pppLinkStatusEntry 12}	R/O	[規格] Local から Remote へ送信時の A/C パート圧縮可否。 { enabled(1), disabled(2) } [実装] 未実装。	×
15	pppLinkStatusRemoteToLocalACCompression {pppLinkStatusEntry 13}	R/O	[規格] Remote から Local へ送信時の A/C パート圧縮可否。 { enabled(1), disabled(2) } [実装] 未実装。	×
16	pppLinkStatusTransmitFcsSize {pppLinkStatusEntry 14}	R/O	[規格] 送信パケットの FCS 長 (ビットオーダ)。 [実装] 未実装。	×
17	pppLinkStatusReceiveFcsSize {pppLinkStatusEntry 15}	R/O	[規格] 受信パケットの FCS 長 (ビットオーダ)。 [実装] 未実装。	×
18	pppLinkConfigTable {pppLink 2}	NA	[規格] PPP リンクの LCP 構成パラメータを含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
19	pppLinkConfigEntry {pppLinkConfigTable 1}	NA	[規格] 特定の PPP リンクの構成情報リスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	
20	pppLinkConfigInitialMRU {pppLinkConfigEntry 1}	R/NW	[規格] Local から Remote への最大受信ユニット長。ここが 0 ならデフォルトとみなされます。 [実装] デフォルト値であった場合でも、その値を表示する以外は規格に同じです。ただし、Read_Only です。	
21	pppLinkConfigReceiveACMap {pppLinkConfigEntry 2}	R/W	[規格] Local が受信で使う非同期制御キャラクターマップ。受信リンクで使う ACC マップは Local の受信 ACC マップと Remote の送信 ACC マップの組み合わせとなります。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
22	pppLinkConfigTransmitACCMap {pppLinkConfigEntry 3}	R/W	[規格]Local が送信で使う非同期制御キャラクターマップ。Local が送信で使う ACC マップは Local の送信 ACC マップと Remote の受信 ACC マップの組み合わせとなります。 [実装] 未実装。	×
23	pppLinkConfigMagicNumber {pppLinkConfigEntry 4}	R/W	[規格]マジックナンバーネゴの有無。 {false(1), true(2)} [実装] 未実装。	×
24	pppLinkConfigFcsSize {pppLinkConfigEntry 5}	R/W	[規格]FCS ネゴのサイズ。 [実装] 未実装。	×

## 2.9.2 pppIp

### (1) 識別子

ppp OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 23}

pppIp OBJECT IDENTIFIER ::= {ppp 3}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.23.3

### (2) 実装仕様

pppIp の実装仕様を次の表に示します。

表 2-19 pppIp の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pppIpTable {pppIp 1}	NA	[規格]Local PPP の IP パラメータと統計を含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	pppIpEntry {pppIpTable 1}	NA	[規格] 特定の PPP リンクのステータス情報リスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	pppIpOperStatus {pppIpEntry 1}	R/O	[規格]IP ネットワークプロトコルの実行状態。 {opened(1), not-opened(2)} [実装] 規格に同じ。	
4	pppIpLocalToRemoteCompressionProtocol {pppIpEntry 2}	R/O	[規格]Local から Remote への転送実行時、IP 圧縮使用の有無。 {none(1), vj-tcp(2)} [実装] 未実装。	×
5	pppIpRemoteToLocalCompressionProtocol {pppIpEntry 3}	R/O	[規格]Remote から Local への転送実行時、IP 圧縮使用の有無。 {none(1), vj-tcp(2)} [実装] 未実装。	×
6	pppIpRemoteMaxSlotId {pppIpEntry 4}	R/O	[規格]リンクで使用中の最大スロットパラメータ(リモート)。VJ-TCP 未使用時、0。 [実装] 未実装。	×
7	pppIpLocalMaxSlotId {pppIpEntry 5}	R/O	[規格]リンクで使用中の最大スロットパラメータ(ローカル)。VJ-TCP 未使用時、0。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	pppIpConfigTable {pppIp 2}	NA	[ 規格 ]Local PPP の IPCP 構成パラメータを含むテーブル。 [ 実装 ] 未実装。	×
9	pppIpConfigEntry {pppIpConfigTable 1}	NA	[ 規格 ] 特定の PPP リンクの IPCP 情報リスト。 INDEX {ifIndex} [ 実装 ] 未実装。	×
10	pppIpConfigAdminStatus {pppIpConfigEntry 1}	R/W	[ 規格 ]IP ネットワークプロトコルの管理上の状態。 { open(1) , close(2) } [ 実装 ] 未実装。	×
11	pppIpConfigCompression {pppIpConfigEntry 2}	R/W	[ 規格 ]Local の IP 圧縮ネゴの有無。 { none(1), vj-tcp(2) } [ 実装 ] 未実装。	×

## 2.10 SONET / SDH グループ (SONET / SDH MIB)【AX7800S】

SONET / SDH グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3592 (September 2003)

次に示す SONET / SDH グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

### 2.10.1 SONET / SDH Medium グループ

#### (1) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetMedium OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.1
```

#### (2) 実装仕様

SONET / SDH Medium グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-20 SONET / SDH Medium グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetMediumTable {sonetMedium 1}	NA	[規格]SONET/SDH インタフェースの構成情報を扱う。 [実装]規格に同じ。	
2	sonetMediumEntry {sonetMediumTable 1}	NA	[規格]sonetMediumTable のエントリ。 [実装]規格に同じ。	
3	sonetMediumType {sonetMediumEntry 1}	R/NW	[規格]インタフェースのタイプ。 {sonet(1), sdh(2)} [実装]規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
4	sonetMediumTimeElapsed {sonetMediumEntry 2}	R/O	[規格]カレントの測定期間が始まってからの経過時間 [単位: 秒] (1 ~ 900)。 [実装]規格に同じ。	
5	sonetMediumValidIntervals {sonetMediumEntry 3}	R/O	[規格]データが収集される 15 分間隔の値 (0 ~ 96)。 [実装]規格に同じ。	
6	sonetMediumLineCoding {sonetMediumEntry 4}	R/NW	[規格]Line Coding の値。 {sonetMediumOther(1), sonetMediumB3ZS(2), sonetMediumCMI(3), sonetMediumNRZ(4), sonetMediumRZ(5)} [実装]sonetMediumNRZ(4) 固定。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	sonetMediumLineType {sonetMediumEntry 5}	R/NW	[規格]Line タイプ。 {sonetOther(1), sonetShortSingleMode(2), sonetLongSingleMode(3), sonetMultiMode(4), sonetCoax(5), sonetUTP(6)} [実装]規格に同じ。ただし, Read_Only です。 sonetShortSingleMode(2) : 2km 版シングルモード sonetLongSingleMode(3) : 40km/80km 版シングルモード sonetMultiMode(4) : マルチモード	
8	sonetMediumCircuitIdentifier {sonetMediumEntry 6}	R/NW	[規格]通信業者の回線識別子を含む, 識別情報。主にトラブルシュートを容易にするための情報 (0 ~ 255)。 [実装]レンジ 0 の値。ただし, Read_Only です。	
9	sonetMediumInvalidIntervals {sonetMediumEntry 7}	R/O	[規格]データが収集できない 15 分間隔の値 (0 ~ 96)。 [実装]規格に同じ。	
10	sonetMediumLoopbackConfig {sonetMediumEntry 8}	R/NW	[規格]loopback 状態。 {sonetNoLoop(0), sonetFacilityLoop(1), sonetTerminalLoop(2), sonetOtherLoop(3)} [実装]規格に同じ。ただし, Read_Only です。 sonetNoLoop(0) : 非回線テスト sonetFacilityLoop(1) : 回線テスト (ネットワークラインループバックテスト) sonetTerminalLoop(2) : 回線テスト (ループコネクタループバックテスト) sonetOtherLoop(3) : 回線テスト (モジュール内部ループバックテスト)	
11	sonetSESthresholdSet {sonetMedium 2}	R/NW	[規格]SES の閾値。 {other(1), belcore1991(2), ansi1993(3), itu1995(4), ansi1997(5)} [実装]ansi1993(3) 固定。ただし, Read_Only です。	

## 2.10.2 SONET / SDH Section グループ

### (1) SONET / SDH Section Current Table

#### (a) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetSection OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.2
```

#### (b) 実装仕様

SONET / SDH Section Current Table グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-21 SONET / SDH Section Current Table グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetSectionCurrentTable {sonetSection 1}	NA	[規格]SONET/SDH セクションの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装]規格に同じ。	
2	sonetSectionCurrentEntry {sonetSectionCurrentTable 1}	NA	[規格]sonetSectionCurrentTable のエントリ。 [実装]規格に同じ。	
3	sonetSectionCurrentStatus {sonetSectionCurrentEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの回線状態をビットマップ値で示します。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">ビット</div> <div style="margin-right: 10px;">状態</div> <div> 1 sonetSectionNoDefect  2 sonetSectionLOS  4 sonetSectionLOF </div> </div> [実装] 規格に同じ。	
4	sonetSectionCurrentESs {sonetSectionCurrentEntry 2}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH セクションにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• S-BIP8 &gt; = 1</li> <li>• LOF &gt; = 1</li> <li>• LOS &gt; = 1</li> </ul> [実装] 規格に同じ。	
5	sonetSectionCurrentSESs {sonetSectionCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH セクションにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• OC-48c/STM-16 POS : S-BIP8 &gt; = 2392</li> <li>• OC-192c/STM-64 POS : S-BIP8 &gt; = 8854</li> <li>• LOF &gt; = 1</li> <li>• LOS &gt; = 1</li> </ul> [実装] 規格に同じ。	
6	sonetSectionCurrentSEFSs {sonetSectionCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH セクションにおける SEFS の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• LOF &gt; = 1</li> <li>• LOS &gt; = 1</li> </ul> [実装] 規格に同じ。	
7	sonetSectionCurrentCVs {sonetSectionCurrentEntry 5}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH セクションにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• S-BIP8 &gt; = 1</li> </ul> ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

## (2) SONET / SDH Section Interval Table

## (a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetSection OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 2}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.2

## (b) 実装仕様

SONET / SDH Section Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-22 SONET / SDH Section Interval Table の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	sonetSectionIntervalTable {sonetSection 2}	NA	[ 規格 ]SONET/SDH セクションの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
2	sonetSectionIntervalEntry {sonetSectionIntervalTable 1}	NA	[ 規格 ]sonetSectionIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [ 実装 ]15 分間隔を 96 個蓄積する。	
3	sonetSectionIntervalNumber {sonetSectionIntervalEntry 1}	NA	[ 規格 ] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 ( 1 ~ 96 )。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
4	sonetSectionIntervalESs {sonetSectionIntervalEntry 2}	R/O	[ 規格 ] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH セクションにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• S-BIP8 &gt; = 1</li> <li>• LOF &gt; = 1</li> <li>• LOS &gt; = 1</li> </ul> [ 実装 ] 規格に同じ。	
5	sonetSectionIntervalSESs {sonetSectionIntervalEntry 3}	R/O	[ 規格 ] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH セクションにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• OC-48c/STM-16 POS : S-BIP8 &gt; = 2392</li> <li>• OC-192c/STM-64 POS : S-BIP8 &gt; = 8854</li> <li>• LOF &gt; =1</li> <li>• LOS &gt; =1</li> </ul> [ 実装 ] 規格に同じ。	
6	sonetSectionIntervalSEFSs {sonetSectionIntervalEntry 4}	R/O	[ 規格 ] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH セクションにおける SEFS の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• LOF &gt; = 1</li> <li>• LOS &gt; = 1</li> </ul> [ 実装 ] 規格に同じ。	
7	sonetSectionIntervalCVs {sonetSectionIntervalEntry 5}	R/O	[ 規格 ] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH セクションにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• S-BIP8 &gt; = 1</li> </ul> ただし、SES 発生中はカウントしない。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
8	sonetSectionIntervalValidData {sonetSectionIntervalEntry 6}	R/O	[ 規格 ] このエントリの有効 / 無効を示す。 [ 実装 ] 規格に同じ。	

### 2.10.3 SONET / SDH Line グループ

#### ( 1 ) SONET / SDH Line Current Table

##### ( a ) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetLine OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 3}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.3

### (b) 実装仕様

SONET / SDH Line Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-23 SONET / SDH Line Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetLineCurrentTable {sonetLine 1}	NA	[規格]SONET/SDH ラインの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装]規格に同じ。	
2	sonetLineCurrentEntry {sonetLineCurrentTable 1}	NA	[規格]sonetLineTable のエントリ。 [実装]規格に同じ。	
3	sonetLineCurrentStatus {sonetLineCurrentEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの回線状態をビットマップ値で示します。 ビット            状態 1    sonetLineNoDefect 2    sonetLineAIS 4    sonetLineRDI [実装] 規格に同じ。	
4	sonetLineCurrentESs {sonetLineCurrentEntry 2}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH ラインにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどちらかが満たされる場合に 1 カウントする。 • L-BIP384 または 1536 > = 1 • L-AIS > = 1 [実装] 規格に同じ。	
5	sonetLineCurrentSESs {sonetLineCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH ラインにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : L-BIP384 > = 2459 • OC-192c/STM-64 POS : L-BIP1536 > = 9835 • L-AIS > = 1 [実装] 規格に同じ。	
6	sonetLineCurrentCVs {sonetLineCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH ラインにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-BIP384 または 1536 > = 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	
7	sonetLineCurrentUASs {sonetLineCurrentEntry 5}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH ラインにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	

## (2) SONET / SDH Line Interval Table

### (a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetLine OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 3}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.3

(b) 実装仕様

SONET / SDH Line Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-24 SONET / SDH Line Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetLineIntervalTable {sonetLine 2}	NA	[規格]SONET/SDH ラインの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	sonetLineIntervalEntry {sonetLineIntervalTable 1}	NA	[規格]sonetLineIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装]15 分間隔を 96 個蓄積する。	
3	sonetLineIntervalNumber {sonetLineIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 ( 1 ~ 96 )。 [実装] 規格に同じ。	
4	sonetLineIntervalESs {sonetLineIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH ラインにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどちらかが満たされる場合に 1 カウントする。 • L-BIP384 または 1536 > = 1 • L-AIS > = 1 [実装] 規格に同じ。	
5	sonetLineIntervalSESs {sonetLineIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH ラインにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : L-BIP384 > = 2459 • OC-192c/STM-64 POS : L-BIP1536 > = 9835 • L-AIS > = 1 [実装] 規格に同じ。	
6	sonetLineIntervalCVs {sonetLineIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH ラインにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-BIP384 または 1536 > = 1 ただし, SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	
7	sonetLineIntervalUASs {sonetLineIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH ラインにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし, 連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	
8	sonetLineIntervalValidData {sonetLineIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.10.4 SONET / SDH Far End Line グループ

### (1) SONET / SDH Far End Line Current Table

(a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetFarEndLine OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 4}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.4

#### (b) 実装仕様

SONET / SDH Far End Line Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-25 SONET / SDH Far End Line Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndLineCurrentTable {sonetFarEndLine 1}	NA	[規格]SONET/SDH Far End ラインの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装]規格に同じ。	
2	sonetFarEndLineCurrentEntry {sonetFarEndLineCurrentTable 1}	NA	[規格]sonetFarEndLineTable のエントリ。 [実装]規格に同じ。	
3	sonetFarEndLineCurrentESs {sonetFarEndLineCurrentEntry 1}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• L-REI &gt; = 1</li> <li>• L-RDI &gt; = 1</li> </ul> [実装]規格に同じ。	
4	sonetFarEndLineCurrentSESSs {sonetFarEndLineCurrentEntry 2}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• OC-48c/STM-16 POS : L-REI &gt; = 2459</li> <li>• OC-192c/STM-64 POS : L-REI &gt; = 9835</li> <li>• L-RDI &gt; = 1</li> </ul> [実装]規格に同じ。	
5	sonetFarEndLineCurrentCVs {sonetFarEndLineCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• L-REI &gt; = 1</li> </ul> ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装]規格に同じ。	
6	sonetFarEndLineCurrentUASs {sonetFarEndLineCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装]規格に同じ。	

## (2) SONET / SDH Far End Line Interval Table

#### (a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1

sonetFarEndLine OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjects 4}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.1.4

## (b) 実装仕様

SONET / SDH Far End Line Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-26 SONET / SDH Far End Line Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndLineIntervalTable {sonetFarEndLineIntervalTable 1}	NA	[規格]SONET/SDH Far End ラインの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [実装]規格に同じ。	
2	sonetFarEndLineIntervalEntry {sonetFarEndLineIntervalTable 1}	NA	[規格]sonetFarEndLineIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装]15 分間隔を 96 個蓄積する。	
3	sonetFarEndLineIntervalNumber {sonetFarEndLineIntervalEntry 1}	NA	[規格]統計設定が可能な 15 分単位の間隔 ( 1 ~ 96 )。 [実装]規格に同じ。	
4	sonetFarEndLineIntervalES {sonetFarEndLineIntervalEntry 2}	R/O	[規格]過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-REI > = 1 • L-RDI > = 1 [実装]規格に同じ。	
5	sonetFarEndLineIntervalSESS {sonetFarEndLineIntervalEntry 3}	R/O	[規格]過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : L-REI > = 2459 • OC-192c/STM-64 POS : L-REI > = 9835 • L-RDI > = 1 [実装]規格に同じ。	
6	sonetFarEndLineIntervalCVs {sonetFarEndLineIntervalEntry 4}	R/O	[規格]過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • L-REI > = 1 ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装]規格に同じ。	
7	sonetFarEndLineIntervalUASs {sonetFarEndLineIntervalEntry 5}	R/O	[規格]過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End ラインにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装]規格に同じ。	
8	sonetFarEndLineIntervalValidData {sonetFarEndLineIntervalEntry 6}	R/O	[規格]このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装]規格に同じ。	

## 2.10.5 SONET / SDH Path グループ

## (1) SONET / SDH Path Current Table

## (a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 2}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2

sonetPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsPath 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2.1

## (b) 実装仕様

SONET / SDH Path Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-27 SONET / SDH Path Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetPathCurrentTable {sonetPath 1}	NA	[規格]SONET/SDH パスの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装]規格に同じ。	
2	sonetPathCurrentEntry {sonetPathCurrentTable 1}	NA	[規格]sonetPathTable のエントリ。 [実装]規格に同じ。	
3	sonetPathCurrentWidth {sonetPathCurrentEntry 1}	R/NW	[規格]帯域の値。 { sts1(1), sts3cSTM1(2), sts12cSTM4(3), sts24c(4), sts48cSTM16(5), sts192cSTM64(6), sts768cSTM256(7) } [実装]規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
4	sonetPathCurrentStatus {sonetPathCurrentEntry 2}	R/O	[規格]インタフェースの回線状態をビットマップ値で示します。 ビット 状態 1 sonetPathNoDefect 2 sonetPathSTSLOP 4 sonetPathSTSAIS 8 sonetPathSTSARDI 16 sonetPathUnequipped 32 sonetPathSignalLabelMismatch [実装]規格に同じ。	
5	sonetPathCurrentESSs {sonetPathCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH パスにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • P-BIP8 > = 1 • P-AIS > = 1 • P-LOP > = 1 • RDI P-AIS > = 1 • RDI P-UNEQ > = 1 [実装]規格に同じ。	
6	sonetPathCurrentSESs {sonetPathCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH パスにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • OC-48c/STM-16 POS : P-BIP8 > = 2400 • OC-192c/STM-64 POS : P-BIP8 > = 2400 • P-AIS > = 1 • P-LOP > = 1 • RDI P-AIS > = 1 • RDI P-UNEQ > = 1 [実装]規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	sonetPathCurrentCVs {sonetPathCurrentEntry 5}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH パスにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 • P-BIP8 > = 1  ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	
8	sonetPathCurrentUASs {sonetPathCurrentEntry 6}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH パスにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	

## (2) SONET / SDH Path Interval Table

### (a) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2

sonetPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsPath 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2.1
```

### (b) 実装仕様

SONET / SDH Path Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-28 SONET / SDH Path Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetPathIntervalTable {sonetPath 2}	NA	[規格]SONET/SDH パスの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	sonetPathIntervalEntry {sonetPathIntervalTable 1}	NA	[規格]sonetPathIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装]15 分間隔を 96 個蓄積する。	
3	sonetPathIntervalNumber {sonetPathIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の区間 ( 1 ~ 96 )。 [実装] 規格に同じ。	
4	sonetPathIntervalESs {sonetPathIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH パスにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 • P-BIP8 > = 1 • P-AIS > = 1 • P-LOP > = 1 • RDI P-AIS > = 1 • RDI P-UNEQ > = 1 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	sonetPathIntervalSESS {sonetPathIntervalEntry 3}	R/O	<p>[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH パスにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• OC-48c/STM-16 POS : P-BIP8 &gt; = 2400</li> <li>• OC-192c/STM-64 POS : P-BIP8 &gt; = 2400</li> <li>• P-AIS &gt; = 1</li> <li>• P-LOP &gt; = 1</li> <li>• RDI P-AIS &gt; = 1</li> <li>• RDI P-UNEQ &gt; = 1</li> </ul> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
6	sonetPathIntervalCVs {sonetPathIntervalEntry 4}	R/O	<p>[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH パスにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• P-BIP8 &gt; = 1</li> </ul> <p>ただし, SES 発生中はカウントしない。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
7	sonetPathIntervalUASs {sonetPathIntervalEntry 5}	R/O	<p>[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH パスにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし, 連続して 10 秒ない場合はカウントしない。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
8	sonetPathIntervalValid Data {sonetPathIntervalEntry 6}	R/O	<p>[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	

## 2.10.6 SONET / SDH Far End Path グループ

### (1) SONET / SDH Far End Path Current Table

#### (a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 2}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2

sonetFarEndPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsPath 2}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2.2

#### (b) 実装仕様

SONET / SDH Far End Path Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-29 SONET / SDH Far End Path Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndPathCurrentTable {sonetFarEndPath 1}	NA	<p>[規格] SONET/SDH Far End パスの現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
2	sonetFarEndPathCurrentEntry {sonetFarEndPathCurrentTable 1}	NA	<p>[規格] sonetFarEndPathTable のエントリ。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	sonetFarEndPathCurrentESs {sonetFarEndPathCurrentEntry 1}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどちらかが満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• P-REI &gt; = 1</li> <li>• P-RDI &gt; = 1</li> </ul> [実装] 規格に同じ。	
4	sonetFarEndPathCurrentSESSs {sonetFarEndPathCurrentEntry 2}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• OC-48c/STM-16 POS : P-REI &gt; = 2400</li> <li>• OC-192c/STM-64 POS : P-REI &gt; = 2400</li> <li>• P-RDI &gt; = 1</li> </ul> [実装] 規格に同じ。	
5	sonetFarEndPathCurrentCVs {sonetFarEndPathCurrentEntry 3}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• P-REI &gt; = 1</li> </ul> ただし, SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	
6	sonetFarEndPathCurrentUASs {sonetFarEndPathCurrentEntry 4}	R/O	[規格]15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし, 連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	

## (2) SONET / SDH Far End Path Interval Table

### (a) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2

sonetFarEndPath OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsPath 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.2.2
```

### (b) 実装仕様

SONET / SDH Far End Path Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-30 SONET / SDH Far End Path Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndPathIntervalTable {sonetFarEndPath 2}	NA	[規格]SONET/SDH Far End パスの 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	sonetFarEndPathIntervalEntry {sonetFarEndPathIntervalTable 1}	NA	[規格]sonetFarEndPathIntervalTable のエントリ。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [実装]15 分間隔を 96 個蓄積する。	
3	sonetFarEndPathIntervalNumber {sonetFarEndPathIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 ( 1 ~ 96 )。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	sonetFarEndPathIntervalESs {sonetFarEndPathIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける ES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどちらかが満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• P-REI &gt; = 1</li> <li>• P-RDI &gt; = 1</li> </ul> [実装] 規格に同じ。	
5	sonetFarEndPathIntervalSESSs {sonetFarEndPathIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける SES の発生回数。1 秒間に以下の条件のどれかが満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• OC-48c/STM-16 POS:P-REI &gt; = 2400</li> <li>• OC-192c/STM-64 POS:P-REI &gt; = 2400</li> <li>• P-RDI &gt; = 1</li> </ul> [実装] 規格に同じ。	
6	sonetFarEndPathIntervalCVs {sonetFarEndPathIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける CV の発生回数。1 秒間に以下の条件が満たされる場合に 1 カウントする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• P-REI &gt; = 1</li> </ul> ただし、SES 発生中はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	
7	sonetFarEndPathIntervalUASs {sonetFarEndPathIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End パスにおける UAS の発生回数。SES の連続 10 秒により 10 カウントし、連続して 10 秒ない場合はカウントしない。 [実装] 規格に同じ。	
8	sonetFarEndPathIntervalValidData {sonetFarEndPathIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.10.7 SONET / SDH Virtual Tributary グループ

### (1) SONET / SDH VT Current Table

#### (a) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3

sonetVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsVT 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3.1
```

#### (b) 実装仕様

SONET / SDH VT Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-31 SONET / SDH VT Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetVTCurrentTable {sonetVT 1}	NA	[規格]SONET/SDH VT の現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	sonetVTCurrentEntry {sonetVTCurrentTable 1}	NA	[ 規格 ]sonetVTTable のエントリ。 [ 実装 ] 未実装。	×
3	sonetVTCurrentWidth {sonetVTCurrentEntry 1}	R/NW	[ 規格 ] 帯域の値。 {vtWidth15VC11(1), vtWidth2VC12(2), vtWidth3(3), vtWidth6VC2(4), vtWidth6c(5)} [ 実装 ] 未実装。	×
4	sonetVTCurrentStatus {sonetVTCurrentEntry 2}	R/O	[ 規格 ] インタフェースの回線状態をビットマップ値で示します。 ビット 状態 1 sonetVTNoDefect 2 sonetVTLOP 4 sonetVTPathAIS 8 sonetVTPathRDI 16 sonetVTPathRFI 32 sonetVTUnequipped 64 sonetVTSignalLabelMismatch [ 実装 ] 未実装。	×
5	sonetVTCurrentES {sonetVTCurrentEntry 3}	R/O	[ 規格 ]15 分間の SONET/SDH VT における ES の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×
6	sonetVTCurrentSESSs {sonetVTCurrentEntry 4}	R/O	[ 規格 ]15 分間の SONET/SDH VT における SES の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×
7	sonetVTCurrentCVs {sonetVTCurrentEntry 5}	R/O	[ 規格 ]15 分間の SONET/SDH VT における CV の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×
8	sonetVTCurrentUASs {sonetVTCurrentEntry 6}	R/O	[ 規格 ]15 分間の SONET/SDH VT における UAS の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×

## ( 2 ) SONET / SDH VT Interval Table

### ( a ) 識別子

```
sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3

sonetVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsVT 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3.1
```

### ( b ) 実装仕様

SONET / SDH VT Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-32 SONET / SDH VT Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetVTIntervalTable {sonetVT 2}	NA	[ 規格 ]SONET/SDH VT の 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [ 実装 ] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	sonetVTIntervalEntry {sonetVTIntervalTable 1}	NA	[規格]sonetVTIntervalTable のエントリ。 [実装] 未実装。	×
3	sonetVTIntervalNumber {sonetVTIntervalEntry 1}	NA	[規格] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 (1 ~ 96)。 [実装] 未実装。	×
4	sonetVTIntervalESs {sonetVTIntervalEntry 2}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH VT における ES の発生回数。 [実装] 未実装。	×
5	sonetVTIntervalSESs {sonetVTIntervalEntry 3}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH VT における SES の発生回数。 [実装] 未実装。	×
6	sonetVTIntervalCVs {sonetVTIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH VT における CV の発生回数。 [実装] 未実装。	×
7	sonetVTIntervalUASs {sonetVTIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH VT における UAS の発生回数。 [実装] 未実装。	×
8	sonetVTIntervalValidData {sonetVTIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 未実装。	×

## 2.10.8 SONET / SDH Far End VT グループ

### (1) SONET / SDH Far End VT Current Table

#### (a) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 3}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3

sonetFarEndVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsVT 2}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3.2

#### (b) 実装仕様

SONET / SDH Far End VT Current Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-33 SONET / SDH Far End VT Current Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndVTCurrentTable {sonetFarEndVT 1}	NA	[規格]SONET/SDH Far End VT の現在時点から 15 分間のさまざまな統計情報を含むテーブル。 [実装] 未実装。	×
2	sonetFarEndVTCurrentEntry {sonetFarEndVTCurrentTable 1}	NA	[規格]sonetFarEndVTCurrentTable のエントリ。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	sonetFarEndVTCurrentESs {sonetFarEndVTCurrentEntry 1}	R/O	[ 規格 ]15 分間の SONET/SDH Far End VT における ES の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×
4	sonetFarEndVTCurrentSESs {sonetFarEndVTCurrentEntry 2}	R/O	[ 規格 ]15 分間の SONET/SDH Far End VT における SES の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×
5	sonetFarEndVTCurrentCVs {sonetFarEndVTCurrentEntry 3}	R/O	[ 規格 ]15 分間の SONET/SDH Far End VT における CV の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×
6	sonetFarEndVTCurrentUASs {sonetFarEndVTCurrentEntry 4}	R/O	[ 規格 ]15 分間の SONET/SDH Far End VT における UAS の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×

## ( 2 ) SONET / SDH Far End VT Interval Table

### ( a ) 識別子

sonetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 39}

sonetObjectsVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetMIB 3}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3

sonetFarEndVT OBJECT IDENTIFIER ::= {sonetObjectsVT 2}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.39.3.2

### ( b ) 実装仕様

SONET / SDH Far End VT Interval Table の実装仕様を次の表に示します。

表 2-34 SONET / SDH Far End VT Interval Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sonetFarEndVTIntervalTable {sonetFarEndVT 2}	NA	[ 規格 ]SONET/SDH Far End VT の 24 時間運用時で 15 分間隔で蓄積したさまざまな統計情報のテーブル。15 分間隔を最低 4 個蓄積しておく必要がある。デフォルト値は 32。 [ 実装 ] 未実装。	×
2	sonetFarEndVTIntervalEntry {sonetFarEndVTIntervalTable 1}	NA	[ 規格 ]sonetFarEndVTIntervalTable のエントリ。 [ 実装 ] 未実装。	×
3	sonetFarEndVTIntervalNumber {sonetFarEndVTIntervalEntry 1}	NA	[ 規格 ] 統計設定が可能な 15 分単位の間隔 ( 1 ~ 96 )。 [ 実装 ] 未実装。	×
4	sonetFarEndVTIntervalESs {sonetFarEndVTIntervalEntry 2}	R/O	[ 規格 ] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End VT における ES の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×
5	sonetFarEndVTIntervalSESs {sonetFarEndVTIntervalEntry 3}	R/O	[ 規格 ] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End VT における SES の発生回数。 [ 実装 ] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	sonetFarEndVTIntervalCVs {sonetFarEndVTIntervalEntry 4}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End VT における CV の発生回数。 [実装] 未実装。	×
7	sonetFarEndVTIntervalUASs {sonetFarEndVTIntervalEntry 5}	R/O	[規格] 過去の 24 時間で蓄積した 15 分間の SONET/SDH Far End VT における UAS の発生回数。 [実装] 未実装。	×
8	sonetFarEndVTIntervalValidData {sonetFarEndVTIntervalEntry 6}	R/O	[規格] このエントリの有効 / 無効を示す。 [実装] 未実装。	×

## 2.11 snmp グループ (MIB-II)

### (1) 識別子

snmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 11}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.11

### (2) 実装仕様

snmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-35 snmp グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpInPkts {snmp 1}	R/O	[規格]SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
2	snmpOutPkts {snmp 2}	R/O	[規格]SNMP 送信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
3	snmpInBadVersions {snmp 3}	R/O	[規格] 未サポートバージョン受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
4	snmpInBadCommunityNames {snmp 4}	R/O	[規格] 未使用コミュニティの SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
5	snmpInBadCommunityUses {snmp 5}	R/O	[規格] そのコミュニティでは許されていないオペレーションを示す受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
6	snmpInASNParseErrs {snmp 6}	R/O	[規格]ASN.1 エラーの受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
7	snmpInBadTypes {snmp 7}	R/O	[規格] 受信した未知の PDU タイプの総数。 [実装] 規格に同じ。	
8	snmpInTooBigs {snmp 8}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
9	snmpInNoSuchNames {snmp 9}	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
10	snmpInBadValues {snmp 10}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
11	snmpInReadOnlys {snmp 11}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
12	snmpInGenErrs {snmp 12}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
13	snmpInTotalReqVars {snmp 13}	R/O	[規格]MIB の収集が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	
14	snmpInTotalSetVars {snmp 14}	R/O	[規格]MIB の設定が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	
15	snmpInGetRequests {snmp 15}	R/O	[規格] 受信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
16	snmpInGetNexts {snmp 16}	R/O	[規格] 受信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	snmpInSetRequests {snmp 17}	R/O	[規格] 受信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
18	snmpInGetResponses {snmp 18}	R/O	[規格] 受信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
19	snmpInTraps {snmp 19}	R/O	[規格] 受信したトラップ PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
20	snmpOutTooBigs {snmp 20}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
21	snmpOutNoSuchNames {snmp 21}	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
22	snmpOutBadValues {snmp 22}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
23	snmpOutReadOnlys {snmp 23}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
24	snmpOutGenErrs {snmp 24}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
25	snmpOutGetRequests {snmp 25}	R/O	[規格] 送信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
26	snmpOutGetNexts {snmp 26}	R/O	[規格] 送信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
27	snmpOutSetRequests {snmp 27}	R/O	[規格] 送信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
28	snmpOutGetResponses {snmp 28}	R/O	[規格] 送信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
29	snmpOutTraps {snmp 29}	R/O	[規格] 送信したトラップ PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
30	snmpEnableAuthenTraps {snmp 30}	R/NW	[規格] authentication-failure Trap を発行できるかどうかを示す。 {enable(1), disable(2)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	

## 2.12 ospf グループ (OSPFv2 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】

ospf グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1850

### 2.12.1 ospfGeneralGroup

#### (1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfGeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.1

#### (2) 実装仕様

ospfGeneralGroup グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-36 ospfGeneralGroup グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfRouterId {ospfGeneralGroup 1}	R/NW	[規格] 自律システム内のルータ識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
2	ospfAdminStat {ospfGeneralGroup 2}	R/NW	[規格] ルータの OSPF 管理状態。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
3	ospfVersionNumber {ospfGeneralGroup 3}	R/O	[規格] OSPF プロトコルのバージョン番号。 [実装] 規格に同じ (version2 固定)。	
4	ospfAreaBdrRtrStatus {ospfGeneralGroup 4}	R/O	[規格] そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	
5	ospfASBdrRtrStatus {ospfGeneralGroup 5}	R/NW	[規格] そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 { true(1), false(2) } [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfExternLsaCount {ospfGeneralGroup 6}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfExternLsaCksumSum {ospfGeneralGroup 7}	R/O	[規格] LSDB 中の外部 LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfTOSupport {ospfGeneralGroup 8}	R/NW	[規格] そのルータが TOS ベースルーティングをサポートするかどうかのフラグ。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。ただし、Read_Only です。	
9	ospfOriginateNewLsas {ospfGeneralGroup 9}	R/O	[規格] 生成された新しい LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ospfRxNewLsas {ospfGeneralGroup 10}	R/O	[規格] 新しい情報を持った LSA を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfExtLsdbLimit {ospfGeneralGroup 11}	R/NW	[規格] LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。 [実装] -1 固定。ただし、Read_Only です。	
12	ospfMulticastExtensions {ospfGeneralGroup 12}	R/NW	[規格] マルチキャスト拡張版 OSPF のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示します。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。 [実装] マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。ただし、Read_Only です。	
13	ospfExitOverflowInterval {ospfGeneralGroup 13}	R/O	[規格] エントリがオーバーフローステータスになるまでの時間。[単位: 秒] [実装] 未実装。	×
14	ospfDemandExtensions {ospfGeneralGroup 14}	R/O	[規格] このルータでの Demand ルーティングのサポート。 {true(1), false(2)} [実装] 未実装。	×

## 2.12.2 ospfAreaTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.2
```

### (2) 実装仕様

ospfAreaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-37 ospfAreaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaTable {ospf 2}	NA	[規格] ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfAreaEntry {ospfAreaTable 1}	NA	[規格] 各エリアの情報リスト。 INDEX {ospfAreaId} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfAreaId {ospfAreaEntry 1}	R/O	[規格] エリアを識別する番号。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfAuthType {ospfAreaEntry 2}	R/NW	[規格] そのエリアで採用する認証のタイプ。 {なし (0), シンプルパスワード (1), md5(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	ospfImportAsExtern {ospfAreaEntry 3}	R/NW	[規格] そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 {importExternal (1), importNoExternal (2), importNssa (3)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ospfSpfRuns {ospfAreaEntry 4}	R/O	[規格] このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfAreaBdrRtrCount {ospfAreaEntry 5}	R/O	[規格] このエリア内で到達できるエリアボーダルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfAsBdrRtrCount {ospfAreaEntry 6}	R/O	[規格] このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfAreaLsaCount {ospfAreaEntry 7}	R/O	[規格] AS 外部 LSA を除く、このエリアの LSDB 中の LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfAreaLsaCksumSum {ospfAreaEntry 8}	R/O	[規格] このエリアの LSDB に含まれる LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfAreaSummary {ospfAreaEntry 9}	R/NW	[規格] エリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 {noAreaSummary(1), sendAreaSummary(2)} [実装] sendAreaSummary(2) 固定。ただし、Read_Only です。	
12	ospfAreaStatus {ospfAreaEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	

## 2.12.3 ospfStubAreaTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfStubAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.3
```

### (2) 実装仕様

ospfStubAreaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-38 ospfStubAreaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfStubAreaTable {ospf 3}	NA	[規格] エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfStubAreaEntry {ospfStubAreaTable 1}	NA	[規格] 各スタブエリアの情報リスト。 INDEX {ospfStubAreaId,ospfStubTOS} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfStubAreaId {ospfStubAreaEntry 1}	R/O	[規格] スタブエリアの ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfStubTOS {ospfStubAreaEntry 2}	R/O	[規格] そのスタブエリアでのサービスのタイプ。 [実装] 規格に同じ (ただし、0 固定)。	
5	ospfStubMetric {ospfStubAreaEntry 3}	R/NW	[規格] そのスタブエリアでのサービスタイプに対応したメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfStubStatus {ospfStubAreaEntry 4}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ospfStubMetricType {ospfStubAreaEntry 5}	R/NW	[規格] デフォルトルートとして広告したメトリックのタイプを示します。 {ospfMetric(1), comparableCost(2), nonComparable(3)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

## 2.12.4 ospfLsdbTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.4
```

### (2) 実装仕様

ospfLsdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-39 ospfLsdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfLsdbTable {ospf 4}	NA	[規格] OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfLsdbEntry {ospfLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfLsdbAreaId, ospfLsdbType, ospfLsdbLsid, ospfLsdbRouterId} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfLsdbAreaId {ospfLsdbEntry 1}	R/O	[規格] この LSA の受信元エリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfLsdbType {ospfLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 { ルータ (1), ネットワーク (2), サマリー (3), AS サマリー (4), AS 外部リンク (5), マルチキャスト (6), nssa 外部リンク (7)} [実装] 規格に同じ。	
5	ospfLsdbLsid {ospfLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 個々のルーティングドメインを識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfLsdbRouterId {ospfLsdbEntry 4}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfLsdbSequence {ospfLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfLsdbAge {ospfLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	
9	ospfLsdbChecksum {ospfLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ospfLsdbAdvertisement {ospfLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.12.5 ospfAreaRangeTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfAreaRangeTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.5
```

### (2) 実装仕様

ospfAreaRangeTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-40 ospfAreaRangeTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaRangeTable {ospf 5}	NA	[規格] ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfAreaRangeEntry {ospfAreaRangeTable 1}	NA	[規格] ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するリスト。 INDEX {ospfAreaRangeAreaId, ospfAreaRangeNet} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfAreaRangeAreaId {ospfAreaRangeEntry 1}	R/O	[規格] 属するエリアの ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfAreaRangeNet {ospfAreaRangeEntry 2}	R/O	[規格] この範囲内のネット / サブネットの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfAreaRangeMask {ospfAreaRangeEntry 3}	R/NW	[規格] ospfAreaRangeNet にかけるサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfAreaRangeStatus {ospfAreaRangeEntry 4}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	
7	ospfAreaRangeEffect {ospfAreaRangeEntry 5}	R/NW	[規格] 広告するエリアの範囲を示します。 { エリア外に広告されるサブネット (1) エリア外に広告しないサブネット (2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

## 2.12.6 ospfHostTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfHostTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.6
```

### (2) 実装仕様

ospfHostTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-41 ospfHostTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfHostTable {ospf 6}	NA	[規格] ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックのテーブル。 [実装] 未実装。	×
2	ospfHostEntry {ospfHostTable 1}	NA	[規格] ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックの情報リスト。 INDEX {ospfHostIpAddress, ospfHostTOS} [実装] 未実装。	×
3	ospfHostIpAddress {ospfHostEntry 1}	R/O	[規格] そのホストの IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
4	ospfHostTOS {ospfHostEntry 2}	R/O	[規格] このルートのサービスのタイプ。 [実装] 未実装。	×
5	ospfHostMetric {ospfHostEntry 3}	R/NW	[規格] サービスタイプに対応したメトリック。 [実装] 未実装。	×
6	ospfHostStatus {ospfHostEntry 4}	R/NW	[規格] エントリのステータスを示します。 [実装] 未実装。	×
7	ospfHostAreaID {ospfHostEntry 5}	R/O	[規格] 属しているホストのエリア。デフォルトは、OSPF インタフェースを含むエリアか、0.0.0.0。 [実装] 未実装。	×

## 2.12.7 ospfIfTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.7
```

### (2) 実装仕様

ospfIfTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-42 ospfIfTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfIfTable {ospf 7}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfIfEntry {ospfIfTable 1}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX {ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfIfIpAddress {ospfIfEntry 1}	R/O	[規格] この OSPF インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfAddressLessIf {ospfIfEntry 2}	R/O	[規格] このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfIfAreaId {ospfIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ospfIfType {ospfIfEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースタイプ。 {ブロードキャスト(1), ノンブロードキャスト(2), Point-Point(3), Point-Multipoint(5)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
7	ospfIfAdminStat {ospfIfEntry 5}	R/NW	[規格] インタフェースの管理状態。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
8	ospfIfRtrPriority {ospfIfEntry 6}	R/NW	[規格] このインタフェースのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
9	ospfIfTransitDelay {ospfIfEntry 7}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
10	ospfIfRetransInterval {ospfIfEntry 8}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
11	ospfIfHelloInterval {ospfIfEntry 9}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
12	ospfIfRtrDeadInterval {ospfIfEntry 10}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
13	ospfIfPollInterval {ospfIfEntry 11}	R/NW	[規格] 非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の, 不活動隣接局への Hello パケット送信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
14	ospfIfState {ospfIfEntry 12}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 {down(1), loopback(2), waiting(3), PtoP(4), DR(5), BDR(6), other(7)} [実装] 規格に同じ。	
15	ospfIfDesignatedRouter {ospfIfEntry 13}	R/O	[規格] デジグネーテッドルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
16	ospfIfBackupDesignatedRouter {ospfIfEntry 14}	R/O	[規格] バックアップデジグネーテッドルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
17	ospfIfEvents {ospfIfEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変化したか, エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
18	ospfIfAuthKey {ospfIfEntry 16}	R/NW	[規格] このインタフェースでの認証キー。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
19	ospfIfStatus {ospfIfEntry 17}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし, Read_Only です。	
20	ospfIfMulticastForwarding {ospfIfEntry 18}	R/NW	[規格] このインタフェースでマルチキャストする方法。 {blocked(1), multicast(2), unicast(3)} [実装] blocked(1) 固定。ただし, Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
21	ospfIfDemand {ospfIfEntry 19}	R/O	[規格] このインタフェースで Demand OSPF 手順を行うかどうかを示します。 [実装] 未実装。	×
22	ospfIfAuthType {ospfIfEntry 20}	R/O	[規格] インタフェースの認証方式を示します。 {なし (0), シンプルパスワード (1), MD5(2), IANA が規定したもの (3 ~ 255)} [実装] 未実装。	×

## 2.12.8 ospfIfMetricTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfIfMetricTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.8
```

### (2) 実装仕様

ospfIfMetricTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-43 ospfIfMetricTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfIfMetricTable {ospf 8}	NA	[規格] 各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfIfMetricEntry {ospfIfMetricTable 1}	NA	[規格] 各インタフェースのサービスタイプメトリックの情報リスト。 INDEX {ospfIfMetricIpAddress, ospfIfMetricAddressLessIf, ospfIfMetricTOS} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfIfMetricIpAddress {ospfIfMetricEntry 1}	R/O	[規格] この OSPF インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfIfMetricAddressLessIf {ospfIfMetricEntry 2}	R/O	[規格] このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効なインタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfIfMetricTOS {ospfIfMetricEntry 3}	R/O	[規格] このインタフェースのサービスのタイプ。 [実装] 0 固定。	
6	ospfIfMetricValue {ospfIfMetricEntry 4}	R/NW	[規格] このインタフェースのこのサービスタイプのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfIfMetricStatus {ospfIfMetricEntry 5}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	

## 2.12.9 ospfVirtIfTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
```

ospfVirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 9}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.9

## (2) 実装仕様

ospfVirtIfTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-44 ospfVirtIfTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfVirtIfTable {ospf 9}	NA	[規格] ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfVirtIfEntry {ospfVirtIfTable 1}	NA	[規格] 各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX {ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfVirtIfAreaId {ospfVirtIfEntry 1}	R/O	[規格] その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfVirtIfNeighbor {ospfVirtIfEntry 2}	R/O	[規格] 仮想の隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfVirtIfTransitDelay {ospfVirtIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
6	ospfVirtIfRetransInterval {ospfVirtIfEntry 4}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
7	ospfVirtIfHelloInterval {ospfVirtIfEntry 5}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
8	ospfVirtIfRtrDeadInterval {ospfVirtIfEntry 6}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
9	ospfVirtIfState {ospfVirtIfEntry 7}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 {down(1), PtoP(4)} [実装] 規格に同じ。	
10	ospfVirtIfEvents {ospfVirtIfEntry 8}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変化したか, エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfVirtIfAuthKey {ospfVirtIfEntry 9}	R/NW	[規格] このインタフェースでの認証キー。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
12	ospfVirtIfStatus {ospfVirtIfEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし, Read_Only です。	
13	ospfVirtIfAuthType {ospfVirtIfEntry 11}	R/W	[規格] パーチャルインタフェースの認証方式を示します。 [実装] 未実装。	×

## 2.12.10 ospfNbrTable

### (1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

```
ospfNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.10
```

## (2) 実装仕様

ospfNbrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-45 ospfNbrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfNbrTable {ospf 10}	NA	[ 規格 ] 仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
2	ospfNbrEntry {ospfNbrTable 1}	NA	[ 規格 ] 各隣接局の情報リスト。 INDEX {ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex} [ 実装 ] 規格に同じ。	
3	ospfNbrIpAddress {ospfNbrEntry 1}	R/O	[ 規格 ] 隣接ルータの IP アドレス。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
4	ospfNbrAddressLessIndex {ospfNbrEntry 2}	R/O	[ 規格 ] 隣接ルータのインタフェースがアドレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
5	ospfNbrRtrId {ospfNbrEntry 3}	R/O	[ 規格 ] 隣接ルータのルータ ID。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
6	ospfNbrOptions {ospfNbrEntry 4}	R/O	[ 規格 ] 隣接ルータのオプション実行能力。 Bit 0, サービスタイプベースルーティング Bit 1, 外部エリアの処理 Bit 2, IP マルチキャストルーティング Bit 3, NSSA と関係したエリア [ 実装 ] 規格に同じ。	
7	ospfNbrPriority {ospfNbrEntry 5}	R/NW	[ 規格 ] 隣接ルータのプライオリティ。 [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfNbrState {ospfNbrEntry 6}	R/O	[ 規格 ] この隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)} [ 実装 ] 規格に同じ。	
9	ospfNbrEvents {ospfNbrEntry 7}	R/O	[ 規格 ] 隣接ルータとの関係で、状態が変化したか、エラーが発生した回数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
10	ospfNbrLsRetransQLen {ospfNbrEntry 8}	R/O	[ 規格 ] 再送キューの現在の長さ。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
11	ospfNbmaNbrStatus {ospfNbrEntry 9}	R/NW	[ 規格 ] このエントリのステータスを示します。 [ 実装 ] active(1) 固定。ospfIfType が nbma 時だけアクセスできます。ただし、Read_Only です。	
12	ospfNbmaNbrPermanence {ospfNbrEntry 10}	R/NW	[ 規格 ] 隣接ルータとルーティングする方法。 {dynamic(1) permanent(2)} [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	ospfNbrHelloSuppressed {ospfNbrEntry 11}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 未実装。	×

## 2.12.11 ospfVirtNbrTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfVirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.11
```

### (2) 実装仕様

ospfVirtNbrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-46 ospfVirtNbrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfVirtNbrTable {ospf 11}	NA	[規格] 仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfVirtNbrEntry {ospfVirtNbrTable 1}	NA	[規格] 各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX { ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfVirtNbrArea {ospfVirtNbrEntry 1}	R/O	[規格] 通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfVirtNbrRtrId {ospfVirtNbrEntry 2}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfVirtNbrIpAddr {ospfVirtNbrEntry 3}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfVirtNbrOptions {ospfVirtNbrEntry 4}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのオプション実行能力。 Bit 1, サービスタイプベースルーティング Bit 2, IP マルチキャストルーティング [実装] 規格に同じ。	
7	ospfVirtNbrState {ospfVirtNbrEntry 5}	R/O	[規格] この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)} [実装] 規格に同じ。	
8	ospfVirtNbrEvents {ospfVirtNbrEntry 6}	R/O	[規格] この仮想リンクの状態が変化したか, エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfVirtNbrLsRetransQLen {ospfVirtNbrEntry 7}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ospfVirtNbrHelloSuppressed {ospfVirtNbrEntry 8}	R/O	[規格]Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 未実装。	×

## 2.12.12 ospfExtLsdbTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfExtLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.12
```

### (2) 実装仕様

ospfExtLsdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-47 ospfExtLsdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfExtLsdbTable {ospf 12}	NA	[規格]OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfExtLsdbEntry {ospfExtLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfExtLsdbType, ospfExtLsdbLsid, ospfExtLsdbRouterId} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfExtLsdbType {ospfExtLsdbEntry 1}	R/O	[規格]LSA のタイプ。 {asExternalLink(5)} [実装] 規格に同じ。	
4	ospfExtLsdbLsid {ospfExtLsdbEntry 2}	R/O	[規格] リンクステータス ID。リンクステータス ID はルータ ID または IP アドレスのどちらかを含むフィールドです。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfExtLsdbRouterId {ospfExtLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 自律システム内の生成元ルータを一意に識別するための 32 ビット番号。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfExtLsdbSequence {ospfExtLsdbEntry 4}	R/O	[規格]LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfExtLsdbAge {ospfExtLsdbEntry 5}	R/O	[規格]LSA が生成されてからの経過時間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	
8	ospfExtLsdbChecksum {ospfExtLsdbEntry 6}	R/O	[規格]Age フィールドを含めない, 広告内容のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfExtLsdbAdvertisment {ospfExtLsdbEntry 7}	R/O	[規格] ヘッダを含む完全な全体 LSA。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.12.13 ospfAreaAggregateTable

### (1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
```

ospfAreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 14}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.14

## (2) 実装仕様

ospfAreaAggregateTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-48 ospfAreaAggregateTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaAggregateTable {ospf 14}	NA	[規格] IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfAreaAggregateEntry {ospfAreaAggregateTable 1}	NA	[規格] IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのリスト。 INDEX {ospfAreaAggregateAreaID, ospfAreaAggregateLsdbType, ospfAreaAggregateNet, ospfAreaAggregateMask} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfAreaAggregateAreaID {ospfAreaAggregateEntry 1}	R/O	[規格] アドレス集約したエリア。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfAreaAggregateLsdbType {ospfAreaAggregateEntry 2}	R/O	[規格] アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 {summaryLink(3), nssaExternalLink(7)} [実装] 規格に同じ。	
5	ospfAreaAggregateNet {ospfAreaAggregateEntry 3}	R/O	[規格] ネットワークまたはサブネットの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfAreaAggregateMask {ospfAreaAggregateEntry 4}	R/O	[規格] ネットワークまたはサブネットに関するサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfAreaAggregateStatus {ospfAreaAggregateEntry 5}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	
8	ospfAreaAggregateEffect {ospfAreaAggregateEntry 6}	R/NW	[規格] 範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 {advertiseMatching(1), doNotAdvertiseMatching(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

## 2.12.14 ospfTrap

### (1) 識別子

ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfTrap OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 16}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.16

ospfTrapControl OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfTrap 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.16.1

## (2) 実装仕様

ospfTrap グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-49 ospfTrap グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfTrapControl {ospfTrap 1}	NA	[規格] トラップに関する取得情報。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfSetTrap {ospfTrapControl 1}	R/NW	[規格] トラップ可能なイベントを示すビットマップ。各ビットが ospfTraps のオブジェクトを示す。 2 <sup>1</sup> ビット (0x00000002): ospfVirtIfStateChange ~ 2 <sup>16</sup> ビット (0x00010000): ospfIfStateChange [実装] 規格に同じ。ただし、0x100fe 固定で、Read_Only です。	
3	ospfConfigErrorType {ospfTrapControl 2}	R/O	[規格] 最後に発生したトラップのエラーイベント。 badVersion (1), areaMismatch (2), unknownNbmaNbr (3), unknownVirtualNbr (4), authTypeMismatch (5), authFailure (6), netMaskMismatch (7), helloIntervalMismatch (8), deadIntervalMismatch (9), optionMismatch (10) [実装] トラップの発行に関わらず最後に発生したエラーイベント。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0 です。	
4	ospfPacketType {ospfTrapControl 3}	R/O	[規格] 最後のトラップで使用された、エラーパケット種別 hello (1) dbDescript (2) lsReq (3) lsUpdate (4) lsAck (5) [実装] トラップの発行に関わらず最後のエラーパケット種別。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0 です。	
5	ospfPacketSrc {ospfTrapControl 4}	R/O	[規格] 最後のトラップで使用された、エラーパケットの送信元アドレス [実装] トラップの発行に関わらず、最後のエラーパケットの送信元アドレス。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0.0.0.0 です。	
6	ospfTraps {ospfTrap 2}	NA	[規格] トラップ広告。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.13 bgp グループ (BGP4 MIB)【OP-BGP】

bgp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1657

### 2.13.1 bgp

#### (1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15

#### (2) 実装仕様

bgp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-50 bgp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgpVersion {bgp 1}	R/O	[規格] サポートしているバージョンをビットマップ形式で表現します。オクテット内の最上位ビットをビット 0 として、サポートするバージョン番号 -1 のビットをセットします。 [実装] 規格に同じ。	
2	bgpLocalAs {bgp 2}	R/O	[規格] ローカルの自律システム番号。 [実装] 規格に同じ。 なお、4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため、該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合、23456(AS_TRANS) を設定します。	

### 2.13.2 bgpPeerTable

#### (1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}  
bgpPeerTable OBJECT IDENTIFIER ::= {bgp 3}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15.3

#### (2) 実装仕様

bgpPeerTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-51 bgpPeerTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgpPeerTable {bgp 3}	NA	[規格] bgp ピアテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	bgpPeerEntry {bgpPeerTable 1}	NA	[規格] bgp ピアのコネクションに関する情報のテーブル。 INDEX { bgpPeerRemoteAddr } [実装] 規格に同じ。	
3	bgpPeerIdentifier {bgpPeerEntry 1}	R/O	[規格] このエントリの bgp ピアの BGP 識別子。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.13 bgp グループ (BGP4 MIB) 【OP-BGP】

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	bgpPeerState {bgpPeerEntry 2}	R/O	[規格]BGP ピアとのコネクションの状態。 {idle(1), connect(2), active(3), opensent(4), openconfirm(5), established(6)} [実装]規格に同じ。	
5	bgpPeerAdminStatus {bgpPeerEntry 3}	R/NW	[規格]BGP ピアのコネクションの望まれる状態。BGPstart イベントの生成によって start へ, BGPstop イベントの生成によって stop へ移行します。 {stop(1), start(2)} [実装]start(2) 固定。ただし, Read_Only です。	
6	bgpPeerNegotiatedVersion {bgpPeerEntry 4}	R/O	[規格]ピア間でネゴシエートした BGP のバージョン。 [実装]規格に同じ。	
7	bgpPeerLocalAddr {bgpPeerEntry 5}	R/O	[規格]このエントリの BGP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装]規格に同じ。	
8	bgpPeerLocalPort {bgpPeerEntry 6}	R/O	[規格]ピア間での TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装]規格に同じ。	
9	bgpPeerRemoteAddr {bgpPeerEntry 7}	R/O	[規格]このエントリの BGP コネクションのリモートの IP アドレス。 [実装]規格に同じ。	
10	bgpPeerRemotePort {bgpPeerEntry 8}	R/O	[規格]ピア間での TCP コネクションのリモートのポート番号。 [実装]規格に同じ。	
11	bgpPeerRemoteAs {bgpPeerEntry 9}	R/O	[規格]リモートの自律システム番号。 [実装]規格に同じ。 なお, 4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため, 該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合, 23456(AS_TRANS)を設定します。	
12	bgpPeerInUpdates {bgpPeerEntry 10}	R/O	[規格]このコネクションで受信した BGP UPDATE メッセージの数。 [実装]規格に同じ。	
13	bgpPeerOutUpdates {bgpPeerEntry 11}	R/O	[規格]このコネクションで送信した BGP UPDATE メッセージの数。 [実装]規格に同じ。	
14	bgpPeerInTotalMessages {bgpPeerEntry 12}	R/O	[規格]このコネクションでリモートピアから受信したメッセージの数。 [実装]規格に同じ。	
15	bgpPeerOutTotalMessages {bgpPeerEntry 13}	R/O	[規格]このコネクションでリモートピアへ送信したメッセージの数。 [実装]規格に同じ。	
16	bgpPeerLastError {bgpPeerEntry 14}	R/O	[規格]このコネクション上のピアによって理解された最後のエラーコードとサブコード。 [実装]規格に同じ。	
17	bgpPeerFsmEstablishedTransitions {bgpPeerEntry 15}	R/O	[規格]FSM が Established 状態になった回数。 [実装]規格に同じ。	
18	bgpPeerFsmEstablishedTime {bgpPeerEntry 16}	R/O	[規格]Established 状態になってから, または最後に Established 状態であったからの時間。[単位: 秒] [実装]規格に同じ。	
19	bgpPeerConnectRetryInterval {bgpPeerEntry 17}	R/NW	[規格]ConnectRetry タイマ値。 [実装]規格に同じ。ただし, Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	bgpPeerHoldTime {bgpPeerEntry 18}	R/O	[規格] ピアと確立された HOLD タイマ値。 [実装] 規格に同じ。	
21	bgpPeerKeepAlive {bgpPeerEntry 19}	R/O	[規格] ピアと確立された KeepAlive タイマ値。 [実装] 規格に同じ。	
22	bgpPeerHoldTimeConfigured {bgpPeerEntry 20}	R/NW	[規格] この BGP スピーカのこのピアに対して構成設定された Hold タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
23	bgpPeerKeepAliveConfigured {bgpPeerEntry 21}	R/NW	[規格] この BGP スピーカのこのピアに対し構成設定された keepAlive タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
24	bgpPeerMinASOriginationInterval {bgpPeerEntry 22}	R/NW	[規格] MinASOriginationInterval タイマ値。 [実装] UPDATE メッセージの広告間隔。[単位: 秒] External ピアだけアクセス可。ただし, Read_Only です。	
25	bgpPeerMinRouteAdvertisementInterval {bgpPeerEntry 23}	R/NW	[規格] MinRouteAdvertisementInterval タイマ値。 [実装] UPDATE メッセージの広告間隔。[単位: 秒] Internal ピアだけアクセスできます。ただし, Read_Only です。	
26	bgpPeerInUpdateElapsedTime {bgpPeerEntry 24}	R/O	[規格] 最後の update メッセージを受信してからの経過時間。 [実装] 規格に同じ。	
27	bgpIdentifier {bgp 4}	R/O	[規格] ローカルシステムの BGP 識別子。 [実装] 規格に同じ。	

### 2.13.3 bgp4PathAttrTable

#### (1) 識別子

```

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}

bgp4PathAttrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {bgp 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15.6

```

#### (2) 実装仕様

bgp4PathAttrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-52 bgp4PathAttrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgp4PathAttrTable {bgp 6}	NA	[規格] 全 BGP4 から受信した宛先ネットワークまでのパス情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	bgp4PathAttrEntry {bgp4PathAttrTable 1}	NA	[規格] 宛先ネットワークまでのパス情報のリスト。 INDEX {bgp4PathAttrIpAddressPrefix, bgp4PathAttrIpAddressPrefixLen, bgp4PathAttrPeer} [実装] 規格に同じ。	
3	bgp4PathAttrPeer {bgp4PathAttrEntry 1}	R/O	[規格] パス情報が学習されたピアの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	bgp4PathAttrIpAddressPrefixLen {bgp4PathAttrEntry 2}	R/O	[規格] Network Layer Reachability Information field の IP アドレスのビット長。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	bgp4PathAttrIpAddrPrefix {bgp4PathAttrEntry 3}	R/O	[規格] Network Layer Reachability Information field の IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
6	bgp4PathAttrOrigin {bgp4PathAttrEntry 4}	R/O	[規格] パス情報の生成元。 {igp(1), egp(2), incomplete(3)} [実装] 規格に同じ。	
7	bgp4PathAttrASPathSegment {bgp4PathAttrEntry 5}	R/O	[規格] AS パスセグメントの列。 [実装] 規格に同じ。 なお、4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため、該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合、23456(AS_TRANS) を設定します。	
8	bgp4PathAttrNextHop {bgp4PathAttrEntry 6}	R/O	[規格] ルート上の次ホップルータのアドレス。 [実装] 規格に同じ。	
9	bgp4PathAttrMultiExitDisc {bgp4PathAttrEntry 7}	R/O	[規格] Multi Exit 属性。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	
10	bgp4PathAttrLocalPref {bgp4PathAttrEntry 8}	R/O	[規格] 生成元 BGP4 スピーカの優先度。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	
11	bgp4PathAttrAtomicAggregate {bgp4PathAttrEntry 9}	R/O	[規格] AtomicAggregate 属性。 {lessSpecificRouteNotSelected(1), lessSpecificRouteSelected(2)} [実装] 規格に同じ。	
12	bgp4PathAttrAggregatorAS {bgp4PathAttrEntry 10}	R/O	[規格] 経路集約した最後の BGP4 スピーカの AS 番号。 [実装] 規格に同じ。 なお、4 バイト AS 番号の MIB は未サポートのため、該当 AS 番号が 4 バイト AS 番号の場合、23456(AS_TRANS) を設定します。	
13	bgp4PathAttrAggregatorAddr {bgp4PathAttrEntry 11}	R/O	[規格] 経路集約した最後の BGP4 スピーカの IP アドレス。0.0.0.0 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	
14	bgp4PathAttrCalcLocalPref {bgp4PathAttrEntry 12}	R/O	[規格] 広告された経路に対し受信 BGP4 スピーカによって計算された優先度。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	
15	bgp4PathAttrBest {bgp4PathAttrEntry 13}	R/O	[規格] この経路が BGP4 のベストルートとして選択されたかどうかを示します。 {false(1), true(2)} [実装] 規格に同じ。	
16	bgp4PathAttrUnknown {bgp4PathAttrEntry 14}	R/O	[規格] この BGP4 スピーカが理解できない一つまたはそれ以上のパス属性。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.14 rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)

rmon グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1757

### 2.14.1 Ethernet Statistics グループ

次に示す Ethernet Statistics グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R **【AX7800S】**
- 10GBASE-W **【AX7800S】**

#### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

statistics OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1

etherStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {statistics 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1.1
```

#### (2) 実装仕様

Ethernet Statistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-53 Ethernet Statistics グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherStatsTable {statistics 1}	NA	[規格] イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルを示します。 [実装] 規格に同じ。	
2	etherStatsEntry {etherStatsTable 1}	NA	[規格] 特定イーサネットインタフェースの統計情報を記憶するエントリを示します。 INDEX {etherStatsIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	etherStatsIndex {etherStatsEntry 1}	R/O	[規格] 特定の etherStats エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	etherStatsDataSource {etherStatsEntry 2}	R/NW	[規格] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	etherStatsDropEvents {etherStatsEntry 3}	R/O	[規格] リソース不足によって、パケットを取りこぼすというイベントが発生した回数。実際の取りこぼし数を示すのではなく、取りこぼしを検出した回数です。 [実装] 規格に同じ。	
6	etherStatsOctets {etherStatsEntry 4}	R/O	[規格] bad パケットを含むネットワークで受信したオクテット (バイト) 数。 [実装] bad パケットを含むネットワークで送受信したオクテット (バイト) 数。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	etherStatsPkts {etherStatsEntry 5}	R/O	[規格]bad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの受信数。 [実装]bad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの送受信数。	
8	etherStatsBroadcastPkts {etherStatsEntry 6}	R/O	[規格]bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの受信数。 [実装]bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの送受信数。	
9	etherStatsMulticastPkts {etherStatsEntry 7}	R/O	[規格]bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの受信数。 [実装]bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの送受信数。	
10	etherStatsCRCAlignErrors {etherStatsEntry 8}	R/O	[規格]FCS エラーパケット受信数。 [実装]規格に同じ。	
11	etherStatsUndersizePkts {etherStatsEntry 9}	R/O	[規格]ショートサイズパケット(データ長 64 オクテット未満)受信数。 [実装]規格に同じ。	
12	etherStatsOversizePkts {etherStatsEntry 10}	R/O	[規格]オーバサイズパケット(データ長 1518 オクテットを超えた)受信数。 [実装]オーバサイズパケット(最大データ長を超えた)受信数。	
13	etherStatsFragments {etherStatsEntry 11}	R/O	[規格]ショートサイズパケット(データ長 64 オクテット未満)受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装]規格に同じ。	
14	etherStatsJabbers {etherStatsEntry 12}	R/O	[規格]オーバサイズパケット(データ長 1518 オクテットを超えた)受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装]オーバサイズパケット(最大データ長を超えた)受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。	
15	etherStatsCollisions {etherStatsEntry 13}	R/O	[規格]コリジョン数。 [実装]規格に同じ。	
16	etherStatsPkts64Octets {etherStatsEntry 14}	R/O	[規格]データ長 64 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 64 オクテットのパケット送受信数。	
17	etherStatsPkts65to127Octets {etherStatsEntry 15}	R/O	[規格]データ長 65 ~ 127 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 65 ~ 127 オクテットのパケット送受信数。	
18	etherStatsPkts128to255Octets {etherStatsEntry 16}	R/O	[規格]データ長 128 ~ 255 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 128 ~ 255 オクテットのパケット送受信数。	
19	etherStatsPkts256to511Octets {etherStatsEntry 17}	R/O	[規格]データ長 256 ~ 511 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 256 ~ 511 オクテットのパケット送受信数。	
20	etherStatsPkts512to1023Octets {etherStatsEntry 18}	R/O	[規格]データ長 512 ~ 1023 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 512 ~ 1023 オクテットのパケット送受信数。	
21	etherStatsPkts1024to1518Octets {etherStatsEntry 19}	R/O	[規格]データ長 1024 ~ 1518 オクテットのパケット受信数。 [実装]データ長 1024 ~ 1518 オクテットのパケット送受信数。	
22	etherStatsOwner {etherStatsEntry 20}	R/NW	[規格]エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。 [実装]'system' と文字列を応答します。ただし, Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
23	etherStatsStatus {etherStatsEntry 21}	R/NW	[規格] エントリの状態を示す。 {valid(1), createRequest(2), underCreation(3), invalid(4)} [実装] valid(1) 固定。ただし、Read_Only です。	

注 データ長とは、MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「解説書 Vol.1 4.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

## 2.14.2 History Control グループ

次に示す History Control グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R **【AX7800S】**
- 10GBASE-W **【AX7800S】**

### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2

historyControlTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.1
```

### (2) 実装仕様

History Control グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-54 History Control グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	historyControlTable {history 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	historyControlEntry {historyControlTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルのリスト。 INDEX {historyControlIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 32 エントリまで。	
3	historyControlIndex {historyControlEntry 1}	R/O	[規格] 特定の historyControl エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	historyControlDataSource {historyControlEntry 2} 1	R/W	[規格] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。	
5	historyControlBucketsRequested {historyControlEntry 3} 1	R/W	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータ数の要求数 (デフォルト値 50)。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	historyControlBucketsGranted {historyControlEntry 4}	R/O	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータの認可数。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] historyControlBucketsRequested と同じ値。ただし、historyControlBucketsRequested が 50 以上なら 50 固定となります。	
7	historyControlInterval {historyControlEntry 5} 1	R/W	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータのサンプリング間隔。[単位: 秒] 値の範囲は、1 ~ 3600(デフォルト値 1800)。 [実装] 規格に同じ。	
8	historyControlOwner {historyControlEntry 6} 1	R/W	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	
9	historyControlStatus {historyControlEntry 7}	R/W	[規格] エントリの状態を示します。 {valid(1), createRequest(2), underCreation(3), invalid(4)} [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid(1) を Set します。 削除するときは invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set したあとで Get すると underCreation(3) を応答し、valid(1) を Set したあとで Get すると valid(1) を応答します。 すでにエントリがある場合は、いったん invalid(4) を Set してエントリを削除してから追加してください。 <sup>2</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>valid(1): historyControlDataSource で取得できる interface の統計情報が取得でき、historyControlInterval の間にサンプリングできます。</li> <li>invalid(4): 該当 interface のコンフィグレーションの IP 情報がなかったり、該当 NIF が close 状態であるときなど、interface の統計情報が取得できません。また、historyInterval の間にサンプリングできません。</li> </ul>	

注 1 コンフィグレーションコマンドでも定義できます。「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 history-control (RMON イーサネットヒストリグループの制御情報の設定)」を参照してください。

注 2 コンフィグレーションコマンドで設定したヒストリグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションコマンドで設定した history 設定を削除してから再設定してください。

### 2.14.3 Ethernet History グループ

次に示す Ethernet History グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R **【AX7800S】**
- 10GBASE-W **【AX7800S】**

#### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}
```

```
history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2
```

```
etherHistoryTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 2}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.2

## (2) 実装仕様

Ethernet History グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-55 Ethernet History グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherHistoryTable {history 2}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	etherHistoryEntry {etherHistoryTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブルのリスト。 INDEX {etherHistoryIndex, etherHistorySampleIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	etherHistoryIndex {etherHistoryEntry 1}	R/O	[規格] historyControlIndex のインデックス値と同じ値。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	etherHistorySampleIndex {etherHistoryEntry 2}	R/O	[規格] 同じ etherHistoryIndex の値の中でユニークな値で 1 から順次値を設定します。値の範囲は 1 ~ 2147483647。 [実装] 規格に同じ。	
5	etherHistoryIntervalStart {etherHistoryEntry 3}	R/O	[規格] 統計情報の取得開始時間。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	
6	etherHistoryDropEvents {etherHistoryEntry 4}	R/O	[規格] サンプリング時にパケットの取りこぼしを検出した回数。 [実装] 規格に同じ。	
7	etherHistoryOctets {etherHistoryEntry 5}	R/O	[規格] 特定時間内での受信したオクテット (バイト) 数。bad packets を含みます。 [実装] 特定時間内での送受信したオクテット (バイト) 数。	
8	etherHistoryPkts {etherHistoryEntry 6}	R/O	[規格] 特定時間内での総パケット受信。bad packets, broadcast packets, multicast packets を含みます。 [実装] 特定時間内での総パケット送受信。	
9	etherHistoryBroadcastPkts {etherHistoryEntry 7}	R/O	[規格] 特定時間内での broadcast パケットの受信数。bad, multicast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での broadcast パケットの送受信数。	
10	etherHistoryMulticastPkts {etherHistoryEntry 8}	R/O	[規格] 特定時間内での multicast パケットの受信数。bad, broadcast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での multicast パケットの送受信数。	
11	etherHistoryCRCAlignErrors {etherHistoryEntry 9}	R/O	[規格] 特定時間内での FCS エラーパケット受信数。 [実装] 規格に同じ。	
12	etherHistoryUndersizePkts {etherHistoryEntry 10}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (データ長 64 オクテット未満) 受信数。 [実装] 規格に同じ。	
13	etherHistoryOversizePkts {etherHistoryEntry 11}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバサイズパケット (データ長 1518 オクテットを超えた) 受信数。 [実装] 特定時間内でのオーバサイズパケット (最大データ長を超えた) 受信数。	
14	etherHistoryFragments {etherHistoryEntry 12}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (データ長 64 オクテット未満) 受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	etherHistoryJabbers {etherHistoryEntry 13}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバサイズパケット (データ長 1518 オクテットを超えた) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] 特定時間内でのオーバサイズパケット (最大データ長を超えた) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。	
16	etherHistoryCollisions {etherHistoryEntry 14}	R/O	[規格] 特定時間内でのコリジョン数。 [実装] 規格に同じ。	
17	etherHistoryUtilization {etherHistoryEntry 15}	R/O	[規格] 物理レイヤの利用率の見積り。値の範囲は, 0 ~ 10000。 [実装] 利用率を示します。 半二重回線の場合の利用率は, $\{\text{パケット数} \times (9.6+6.4) + (\text{オクテット数} \times 0.8)\} \div \{\text{時間間隔} \times \text{回線速度}\} \times 1000$ で計算します。 全二重回線の場合の利用率は, $\{\text{パケット数} \times (9.6+6.4) + (\text{オクテット数} \times 0.8)\} \div \{\{\text{時間間隔} \times \text{回線速度}\} \times 2\} \times 1000$ で計算します。	

注1 コンフィグレーションコマンドでも定義できます。「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 history-control (RMON イーサネットヒストリグループの制御情報の設定)」を参照してください。

注2 データ長とは, MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては, 「解説書 Vol.1 4.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

## 2.14.4 Alarm グループ

### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

alarm OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3

alarmTable OBJECT IDENTIFIER ::= {alarm 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3.1
```

### (2) 実装仕様

Alarm グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-56 Alarm グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	alarmTable {alarm 1}	NA	[規格] アラームテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	alarmEntry {alarmTable 1}	NA	[規格] アラームテーブルのリスト。 INDEX {alarmIndex} [実装] 規格に同じ。ただし, 最大 128 エントリまで。	
3	alarmIndex {alarmEntry 1}	R/O	[規格] alarmTable 中の行エントリを一意に識別する識別子。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	alarmInterval {alarmEntry 2} <sup>1</sup>	R/W	[規格] 閾値と比較する間隔。[単位: 秒] 設定できる範囲は 1 ~ (2 <sup>32</sup> -1) [実装] 規格に同じ。	
5	alarmVariable {alarmEntry 3} <sup>1</sup>	R/W	[規格] サンプリングする MIB のオブジェクト識別子。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	alarmSampleType {alarmEntry 4} <sup>1</sup>	R/W	[規格] 値を閾値と比較する方法を指定します。 {absoluteValue(1), deltaValue(2)} [実装] 規格に同じ。	
7	alarmValue {alarmEntry 5}	R/O	[規格] 前回のサンプリング時の統計値。 [実装] 規格に同じ。	
8	alarmStartupAlarm {alarmEntry 6} <sup>1</sup>	R/W	[規格] 最初にアラームを生成するタイミング。 {risingAlarm(1), fallingAlarm(2), rising Or fallingAlarm(3)} [実装] 規格に同じ。	
9	alarmRisingThreshold {alarmEntry 7} <sup>1</sup>	R/W	[規格] サンプリングした統計に対する上方閾値。 [実装] 規格に同じ。	
10	alarmFallingThreshold {alarmEntry 8} <sup>1</sup>	R/W	[規格] サンプリングした統計に対する下方閾値。 [実装] 規格に同じ。	
11	alarmRisingEventIndex {alarmEntry 9} <sup>1</sup>	R/W	[規格] 上方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
12	alarmFallingEventIndex {alarmEntry 10} <sup>1</sup>	R/W	[規格] 下方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
13	alarmOwner {alarmEntry 11} <sup>1</sup>	R/W	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	
14	alarmStatus {alarmEntry 12}	R/W	[規格] エントリの状態を示します。 [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid(1) を Set します。 削除するときは invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set したあとで Get すると underCreation(3) を応答し、valid(1) を Set したあとで Get すると valid(1) を応答します。 すでにエントリがある場合は、いったん invalid(4) を Set してエントリを削除してから追加してください。 <sup>2</sup> • valid(1) : alarmVariable に設定されたオブジェクトの情報を alarmInterval の間にサンプリングできます。 • invalid(4) : alarmVariable に設定されたオブジェクトが存在しません。または、alarmInterval の間にサンプリングできませんでした。	

注 1 コンフィグレーションコマンドでも定義できます。「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 alarm (RMON アラームグループの制御情報の設定)」を参照してください。

注 2 コンフィグレーションコマンドで設定したアラームグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションコマンドで設定した alarm 設定を削除してから再設定してください。

## 2.14.5 Event グループ

### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

event OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9
```

```
eventTable OBJECT IDENTIFIER ::= {event 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9.1
```

## (2) 実装仕様

Event グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-57 Event グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	eventTable {event 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	eventEntry {eventTable 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのリスト。 INDEX {eventIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 16 エントリまで。	
3	eventIndex {eventEntry 1}	R/O	[規格] eventEntry リストのインデックス値。これは、logEntry リストの logEventIndex と同等の値です。設定できる範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	eventDescription {eventEntry 2} <sup>1</sup>	R/W	[規格] このリストの説明。最大 127 文字の文字列。 [実装] 79 文字以内の文字列。	
5	eventType {eventEntry 3} <sup>1</sup>	R/W	[規格] イベント通知方法を示します。 {none(1), log(2), snmp-trap(3), log-and-trap(4)} [実装] 規格に同じ。	
6	eventCommunity {eventEntry 4} <sup>1</sup>	R/W	[規格] eventType に Trap を指定したときに発行される Trap のコミュニティ名。最大 127 文字の文字列。 [実装] 60 文字以内の文字列。	
7	eventLastTimeSent {eventEntry 5}	R/O	[規格] イベントが最後に生成されたときの sysUpTime 値。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	
8	eventOwner {eventEntry 6} <sup>1</sup>	R/W	[規格] このエンティティを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。最大 127 文字。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	
9	eventStatus {eventEntry 7}	R/W	[規格] このエントリの状態を示します。 {valid(1), createRequest(2), underCreation(3), invalid(4)} [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid(1) を Set します。 削除するときは invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set したあとで Get すると underCreation(3) を応答し、valid(1) を Set したあとで Get すると valid(1) を応答します。 すでにエントリがある場合は、いったん invalid(4) を Set してエントリを削除してから追加してください。 <sup>2</sup>	
10	logTable {event 2}	NA	[規格] log されたイベントのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
11	logEntry {logTable 1}	NA	[規格] log されたイベントのリスト。 INDEX {logEventIndex, logIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 128 エントリまで。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	logEventIndex {logEntry 1}	R/O	[規格] このログを生成することになったイベントを示すインデックス。この値は、eventIndex と同じ値を持つイベントを示します。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
13	logIndex {logEntry 2}	R/O	[規格] 同じイベントに対するログのインデックス。値の範囲は 1 ~ 2147483647。 [実装] 規格に同じ。	
14	logTime {logEntry 3}	R/O	[規格] このログリストが生成されたときの sysUpTime 値。 [実装] 規格に同じ。	
15	logDescription {logEntry 4}	R/O	[規格] このログリストの基になったイベントに関するコメント。最大 255 文字の文字列。 [実装] 最大 72 文字の文字列で応答。	

注 1 コンフィグレーションコマンドでも定義できます。「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 event (RMON イベントグループの制御情報の設定)」を参照してください。

注 2 コンフィグレーションコマンドで設定したイベントグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションコマンドで設定した event 設定を削除してから再設定してください。

## 2.15 dot1dBridge グループ

dot1dBridge グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1493.txt
- RFC1525.txt
- RFC2674)

### 2.15.1 dot1dBase グループ

#### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}
dot1dBase OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.1
```

#### (2) 実装仕様

dot1dBase グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-58 dot1dBase グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dBaseBridgeAddresses {dot1dBase 1}	R/O	[規格]ブリッジの MAC アドレス。 [実装]規格に同じ。	
2	dot1dBaseNumPorts {dot1dBase 2}	R/O	[規格]ブリッジのポート数。 [実装]規格に同じ。	
3	dot1dBaseType {dot1dBase 3}	R/O	[規格]ブリッジが実行できるブリッジングのタイプ。 {unknown(1), transparent-only(2), sourceroute-only(3), rt(4)} [実装]transparent-only(2) 固定。	
4	dot1dBasePortTable {dot1dBase 4}	NA	[規格]ブリッジの各ポート情報のテーブル。 [実装]規格に同じ。	
5	dot1dBasePortEntry {dot1dBasePortTable 1}	NA	[規格]ブリッジの各ポート情報のリスト。 [index] {dot1dBasePort} [実装]規格に同じ。	
6	dot1dBasePort {dot1dBasePortEntry 1}	R/O	[規格]ポートのポート番号 (1 ~ 65535)。 [実装]規格に同じ。	
7	dot1dBasePortIfIndex {dot1dBasePortEntry 2}	R/O	[規格]このポートに対応するインタフェースが MIB-II に定義されたオブジェクトのインスタンスの値。 [実装]規格に同じ。	
8	dot1dBasePortCircuit {dot1dBasePortEntry 3}	R/O	[規格]dot1dBasePortIfIndex で設定された同一のインスタンスの値を持つポートの識別子。 [実装]{0.0} 固定。	
9	dot1dBasePortDelayExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 4}	R/O	[規格]通過遅延による廃棄フレームの総数。 [実装]0 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	dot1dBasePortMtuExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 5}	R/O	[規格] データオーバーフローによる廃棄フレームの総数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.15.2 dot1dStp グループ

### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dStp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.2
```

### (2) 実装仕様

dot1dStp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-59 dot1dStp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dStpProtocolSpecification {dot1dStp 1}	R/O	[規格] ブリッジが実行しているスパンニング・ツリーのバージョン。 {unknown(1), decLb100(2), ieee8021d(3)} [実装] 3 固定。	
2	dot1dStpPriority {dot1dStp 2}	R/NW	[規格] ブリッジプライオリティの値 (0 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
3	dot1dStpTimeSinceTopologyChange {dot1dStp 3}	R/O	[規格] トポロジ変化が起きてからの経過時間。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	
4	dot1dStpTopChanges {dot1dStp 4}	R/O	[規格] トポロジ変化回数。 [実装] 規格に同じ。	
5	dot1dStpDesignatedRoot {dot1dStp 5}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートブリッジ識別子の値。 [実装] 規格に同じ。	
6	dot1dStpRootCost {dot1dStp 6}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートバスコストの値。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot1dStpRootPort {dot1dStp 7}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートポートの値。 [実装] 規格に同じ。ただし、ルートポートが存在しない場合は 0 を表示。	
8	dot1dStpMaxAge {dot1dStp 8}	R/O	[規格] ブリッジで保持している最大年齢時間。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	
9	dot1dStpHelloTime {dot1dStp 9}	R/O	[規格] ブリッジで保持している Hello 時間。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	
10	dot1dStpHoldTime {dot1dStp 10}	R/O	[規格] ブリッジで保持している Hold 時間。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	
11	dot1dStpForwardDelay {dot1dStp 11}	R/O	[規格] ブリッジで保持している転送遅延時間。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	dot1dStpBridgeMaxAge {dot1dStp 12}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている最大年齢時間 (600 ~ 4000)。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	
13	dot1dStpBridgeHelloTime {dot1dStp 13}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている Hello 時間 (100 ~ 1000)。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	
14	dot1dStpBridgeForwardDelay {dot1dStp 14}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている転送遅延時間 (400 ~ 3000)。[単位: 1/100 秒] [実装] 規格に同じ。	
15	dot1dStpPortTable {dot1dStp 15}	NA	[規格] スパニング・ツリー・プロトコルのためのポート情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
16	dot1dStpPortEntry {dot1dStpPortTable 1}	NA	[規格] スパニング・ツリー・プロトコル状態に関するポートごとの情報のリスト。 [index] { ifindex } [実装] 規格に同じ。	
17	dot1dStpPort {dot1dStpPortEntry 1}	R/O	[規格] スパニング・ツリー対象ポートのポート番号 (1 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
18	dot1dStpPortPriority {dot1dStpPortEntry 2}	R/NW	[規格] ポート優先度 (0 ~ 255)。 [実装] 規格に同じ。	
19	dot1dStpPortState {dot1dStpPortEntry 3}	R/O	[規格] ポートの現在の状態。 {disabled(1), blocking(2), listening(3), learning(4), forwarding(5), broken(6)} [実装] 規格に同じ。	
20	dot1dStpPortEnable {dot1dStpPortEntry 4}	R/NW	[規格] ポートの有効 / 無効な状態。 { enabled(1), disabled(2) } [実装] 規格に同じ。	
21	dot1dStpPortPathCost {dot1dStpPortEntry 5}	R/NW	[規格] ポートのパスコスト値 (1 ~ 65535)。 [実装] 0 ~ 200000000。ポートのリンクがダウンしている場合は 0 を表示。	
22	dot1dStpPortDesignatedRoot {dot1dStpPortEntry 6}	R/O	[規格] 構成 BPDU 中のルートブリッジ識別子。 [実装] 規格に同じ。	
23	dot1dStpPortDesignatedCost {dot1dStpPortEntry 7}	R/O	[規格] 指定ポートのパスコスト値。 [実装] 規格に同じ。	
24	dot1dStpPortDesignatedBridge {dot1dStpPortEntry 8}	R/O	[規格] 指定ブリッジのブリッジ識別子。 [実装] 規格に同じ。	
25	dot1dStpPortDesignatedPort {dot1dStpPortEntry 9}	R/O	[規格] 指定ブリッジのポート識別子。 (SIZE (2)) [実装] 規格に同じ。	
26	dot1dStpPortForwardTransitions {dot1dStpPortEntry 10}	R/O	[規格] ポートが学習状態から転送状態に遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.15.3 dot1dTp グループ

### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dTp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.4
```

### (2) 実装仕様

dot1dTp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-60 dot1dTp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dTpLearnedEntryDiscards {dot1dTp 1}	R/O	[規格] フォワーディングデータベースに保存する領域がないために廃棄されたフォワーディング情報の数。 [実装] 0 固定。	
2	dot1dTpAgingTime {dot1dTp 2}	R/NW	[規格] ダイナミックに学習したフォワーディング情報をエージング・アウトさせるためのタイムアウト期間 (10 ~ 1000000)。[単位: 秒]。 [実装] 規格に同じ。	
3	dot1dTpFdbTable {dot1dTp 3}	NA	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト・エントリの情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
4	dot1dTpFdbEntry {dot1dTpFdbTable 1}	NA	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス情報。 [index] {dot1dTpFdbAddress} [実装] 未実装。	×
5	dot1dTpFdbAddress {dot1dTpFdbEntry 1}	R/O	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
6	dot1dTpFdbPort {dot1dTpFdbEntry 2}	R/O	[規格] dot1dTpFdbAddress の対応するインスタンス値と同じ送信元アドレス値を持つフレームを送信したポートのポート番号。 [実装] 未実装。	×
7	dot1dTpFdbStatus {dot1dTpFdbEntry 3}	R/O	[規格] フィルタリングデータベースの状態。 {other(1), invalid(2), learned(3), self(4), mgmt(5)} [実装] 未実装。	×
8	dot1dTpPortTable {dot1dTp 4}	NA	[規格] 全ポートの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot1dTpPortEntry {dot1dTpPortTable 1}	NA	[規格] 各ポートの情報リスト。 [index] {dot1dTpPort} [実装] 規格に同じ。	
10	dot1dTpPort {dot1dTpPortEntry 1}	R/O	[規格] このエントリが含む管理情報がどのポートに対するかを示すポート番号 (1 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
11	dot1dTpPortMaxInfo {dot1dTpPortEntry 2}	R/O	[規格] このポートの送受信情報フィールドの最大サイズ。 [実装] 規格に同じ。	
12	dot1dTpPortInFrames {dot1dTpPortEntry 3}	R/O	[規格] このポートの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	dot1dTpPortOutFrames {dot1dTpPortEntry 4}	R/O	[規格] このポートの送信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
14	dot1dTpPortInDiscards {dot1dTpPortEntry 5}	R/O	[規格] 有効な受信フレームの廃棄数。 [実装] 規格に同じ。	
15	dot1dTpHCPortTable {dot1dTp 5}	NA	[規格] 高収容能力ポートの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
16	dot1dTpHCPortEntry {dot1dTpHCPortTable 1}	NA	[規格] 高収容能力ポートの情報リスト。 [index] {dot1dTpPort} [実装] 規格に同じ。	
17	dot1dTpHCPortInFrames {dot1dTpHCPortEntry 1}	R/O	[規格] 高収容能力ポートの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
18	dot1dTpHCPortOutFrames {dot1dTpHCPortEntry 2}	R/O	[規格] 高収容能力ポートの送信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
19	dot1dTpHCPortInDiscards {dot1dTpHCPortEntry 3}	R/O	[規格] 高収容能力ポートで受信され廃棄されたフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
20	dot1dTpPortOverflowTable {dot1dTp 6}	NA	[規格] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
21	dot1dTpPortOverflowEntry {dot1dTpPortOverflowTable 1}	NA	[規格] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報リスト。 [index] {dot1dTpPort} [実装] 規格に同じ。	
22	dot1dTpPortInOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 1}	R/O	[規格] dot1dTpPortInFrames のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 規格に同じ。	
23	dot1dTpPortOutOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 2}	R/O	[規格] dot1dTpPortOutFrames のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 規格に同じ。	
24	dot1dTpPortInOverflowDiscards {dot1dTpPortOverflowEntry 3}	R/O	[規格] dot1dTpPortInDiscards のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.15.4 pBridgeMIB グループ

### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}
```

```
pBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 6}
```

```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.6
```

```
pBridgeMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 1}
dot1dExtBase OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 1}
dot1dPriority OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 2}
dot1dGarp OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 3}
dot1dGmrp OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 4}
```

```

pBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 2}
pBridgeGroups       OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 1}
pBridgeCompliances  OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 2}

```

## (2) 実装仕様

pBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-61 pBridgeMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dDeviceCapabilities {dot1dExtBase 1}	R/O	[ 規格 ] 装置が実装する IEEE 802.1D と 802.1Q のオプション。 {dot1dExtendedFilteringServices(0), dot1dTrafficClasses(1), dot1qStaticEntryIndividualPort(2), dot1qIVLCapable(3), dot1qSVLCapable(4), dot1qHybridCapable(5), dot1qConfigurablePvidTagging(6), dot1dLocalVlanCapable(7)} [ 実装 ] {dot1dTrafficClasses(1), dot1qIVLCapable(3), dot1qConfigurablePvidTagging(6)} マネージャによって文字として表示されます。	
2	dot1dTrafficClassesEnabled {dot1dExtBase 2}	R/NW	[ 規格 ] ブリッジのトラフィッククラスサポート状態。 {true(1), false(2)} [ 実装 ] true(1)	
3	dot1dGmrpStatus {dot1dExtBase 3}	R/NW	[ 規格 ] GMRP の状態。 {enabled(1), disabled(2)} [ 実装 ] disabled(2)	
4	dot1dPortCapabilitiesTable {dot1dExtBase 4}	NA	[ 規格 ] ポートの能力情報テーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
5	dot1dPortCapabilitiesEntry {dot1dPortCapabilitiesTable 1}	NA	[ 規格 ] ポートの能力情報リスト。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
6	dot1dPortCapabilitiesEntry 1 {dot1dPortCapabilitiesEntry 1}	R/O	[ 規格 ] ポートの IEEE 802.1D と 802.1Q の状態。 {dot1qDot1qTagging(0), dot1qConfigurableAcceptableFrameTypes(1), dot1qIngressFiltering(2)} [ 実装 ] dot1qIngressFiltering(2) マネージャによって文字として表示されます。	
7	dot1dPortPriorityTable {dot1dPriority 1}	NA	[ 規格 ] ポートの優先度情報テーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
8	dot1dPortPriorityEntry {dot1dPortPriorityTable 1}	NA	[ 規格 ] ポートの優先度情報リスト。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
9	dot1dPortDefaultUserPriority {dot1dPortPriorityEntry 1}	R/NW	[ 規格 ] ポートのデフォルトイングレスユーザ優先度 (0 ~ 7)。 [ 実装 ] 0	
10	dot1dPortNumTrafficClasses {dot1dPortPriorityEntry 2}	R/NW	[ 規格 ] ポートのイングレストラフィッククラス番号 (1 ~ 8)。 [ 実装 ] 1	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	dot1dTrafficClassTable {dot1dPriority 3}	NA	[規格] トラフィッククラスの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
12	dot1dTrafficClassEntry {dot1dTrafficClassTable 1}	NA	[規格] トラフィッククラスの情報リスト。 [index] {dot1dBasePort , dot1dTrafficClassPriority} [実装] 規格に同じ。	
13	dot1dTrafficClassPriority {dot1dTrafficClassEntry 1}	NA	[規格] トラフィッククラスの優先度 (0 ~ 7)。 [実装] 規格に同じ。	
14	dot1dTrafficClass {dot1dTrafficClassEntry 2}	R/NW	[規格] トラフィッククラス (0 ~ 7)。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.15.5 qBridgeMIB グループ

### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}
```

```
qBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 7}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.7

```
qBridgeMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 1}
dot1qBase OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 1}
dot1qTp OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 2}
dot1qStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 3}
dot1qVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 4}
qBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 2}
qBridgeGroups OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 1}
qBridgeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 2}
dot1dPortPair OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 10}
```

### (2) 実装仕様

qBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-62 qBridgeMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1qVlanVersionNumber {dot1qBase 1}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q のバージョン番号。 {version1(1)} [実装] 1	
2	dot1qMaxVlanId {dot1qBase 2}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN ID の最大数。 [実装] 4095	
3	dot1qMaxSupportedVlans {dot1qBase 3}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN の最大数。 [実装] 4095	
4	dot1qNumVlans {dot1qBase 4}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN の現在数。 [実装] 規格に同じ。	
5	dot1qGvrpStatus {dot1qBase 5}	R/NW	[規格] GVRP の管理状態。 [実装] disabled(2)	
6	dot1qFdbTable {dot1qTp 1}	NA	[規格] フィルタリングデータベースのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	dot1qFdbEntry {dot1qFdbTable 1}	NA	[規格] フィルタリングデータベースのリスト。 [index] {dot1qFdbId} [実装] 規格に同じ。	
8	dot1qFdbId {dot1qFdbEntry 1}	NA	[規格] フィルタリングデータベースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot1qFdbDynamicCount {dot1qFdbEntry 2}	R/O	[規格] フィルタリングデータベースにある動的エントリ数。 [実装] 0 固定。	
10	dot1qTpFdbTable {dot1qTp 2}	NA	[規格] トランスペアレントなフィルタリングデータベースの情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
11	dot1qTpFdbEntry {dot1qTpFdbTable 1}	NA	[規格] トランスペアレントなフィルタリングデータベースの情報リスト。 [index] {dot1qFdbId , dot1qTpFdbAddress} [実装] 未実装。	×
12	dot1qTpFdbAddress {dot1qTpFdbEntry 1}	NA	[規格] トランスペアレントなフィルタリングデータベースにあるユニキャスト MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
13	dot1qTpFdbPort {dot1qTpFdbEntry 2}	R/O	[規格] トランスペアレントなフィルタリングデータベースにあるポート番号 (0 ~ 65535)。 [実装] 未実装。	×
14	dot1qTpFdbStatus {dot1qTpFdbEntry 3}	R/O	[規格] FDB の状態。 {other(1), invalid(2), learned(3), self(4), mgmt(5)} [実装] 未実装。	×
15	dot1qTpGroupTable {dot1qTp 3}	NA	[規格] トランスペアレントなグループの情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
16	dot1qTpGroupEntry {dot1qTpGroupTable 1}	NA	[規格] トランスペアレントなグループの情報リスト。 [index] {dot1qVlanIndex , dot1qTpGroupAddress} [実装] 未実装。	×
17	dot1qTpGroupAddress {dot1qTpGroupEntry 1}	NA	[規格] トランスペアレントなグループにある宛先 MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
18	dot1qTpGroupEgressPorts {dot1qTpGroupEntry 2}	R/O	[規格] トランスペアレントなグループにあるイングレスポートの全セット。 [実装] 未実装。	×
19	dot1qTpGroupLearnt {dot1qTpGroupEntry 3}	R/O	[規格] トランスペアレントなグループにある学習されたポートのサブセット。 [実装] 未実装。	×
20	dot1qForwardAllTable {dot1qTp 4}	NA	[規格] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
21	dot1qForwardAllEntry {dot1qForwardAllTable 1}	NA	[規格] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。 [index] {dot1qVlanIndex} [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
22	dot1qForwardAllPorts {dot1qForwardAllEntry 1}	R/O	[規格] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。 [実装] 未実装。	×
23	dot1qForwardAllStaticPorts {dot1qForwardAllEntry 2}	R/NW	[規格] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。 [実装] 未実装。	×
24	dot1qForwardAllForbiddenPorts {dot1qForwardAllEntry 3}	R/NW	[規格] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送しない VLAN のポートのセット。 [実装] 未実装。	×
25	dot1qForwardUnregisteredTable {dot1qTp 5}	NA	[規格] 未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
26	dot1qForwardUnregisteredEntry {dot1qForwardUnregisteredTable 1}	NA	[規格] 未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。 [index] {dot1qVlanIndex} [実装] 規格に同じ。	
27	dot1qForwardUnregisteredPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 1}	R/O	[規格] 未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。 [実装] 規格に同じ。	
28	dot1qForwardUnregisteredStaticPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 2}	R/NW	[規格] 未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
29	dot1qForwardUnregisteredForbiddenPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 3}	R/NW	[規格] 未登録のマルチキャストグループを転送しない VLAN の静的なポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
30	dot1qStaticUnicastTable {dot1qStatic 1}	NA	[規格] 静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
31	dot1qStaticUnicastEntry {dot1qStaticUnicastTable 1}	NA	[規格] 静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報リスト。 [index] {dot1qFdbId , dot1qStaticUnicastAddress , dot1qStaticUnicastReceivePort} [実装] 規格に同じ。	
32	dot1qStaticUnicastAddress {dot1qStaticUnicastEntry 1}	NA	[規格] 静的なユニキャストアドレスの宛先 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
33	dot1qStaticUnicastReceivePort {dot1qStaticUnicastEntry 2}	NA	[規格] 静的なユニキャストアドレスを受信するポート番号 (0 ~ 65535)。 [実装] 0	
34	dot1qStaticUnicastAllowedToGoTo {dot1qStaticUnicastEntry 3}	R/NW	[規格] 静的なユニキャストアドレスをフラッドするポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
35	dot1qStaticUnicastStat us {dot1qStaticUnicastEnt ry 4}	R/NW	[規格] 静的なユニキャストアドレスのエントリ状態。 {other(1), invalid(2), permanent(3), deleteOnReset(4), deleteOnTimeout(5)} [実装] permanent(3) 固定。	
36	dot1qStaticMulticastTa ble {dot1qStatic 2}	NA	[規格] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを 転送する VLAN のフィルタリング情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
37	dot1qStaticMulticastEn try {dot1qStaticMulticastTa ble 1}	NA	[規格] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを 転送する VLAN のフィルタリング情報リスト。 [index] {dot1qVlanIndex , dot1qStaticMulticastAddress , dot1qStaticMulticastReceivePort} [実装] 規格に同じ。	
38	dot1qStaticMulticastAd dress {dot1qStaticMulticastE ntry 1}	NA	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの宛先 MAC ア ドレス。 [実装] 規格に同じ。	
39	dot1qStaticMulticastRe ceivePort {dot1qStaticMulticastE ntry 2}	NA	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレ スを受信するポート番号。(0 ~ 65535) [実装] 規格に同じ。	
40	dot1qStaticMulticastSt aticEgressPorts {dot1qStaticMulticastE ntry 3}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレ スを転送するポートのセット。 [実装] 未実装。	×
41	dot1qStaticMulticastFo rbiddenEgressPorts {dot1qStaticMulticastE ntry 4}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレ スを転送しないポートのセット。 [実装] 未実装。	×
42	dot1qStaticMulticastSt atus {dot1qStaticMulticastE ntry 5}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストのエントリ状 態。 {other(1), invalid(2), permanent(3), deleteOnReset(4), deleteOnTimeout(5)} [実装] 未実装。	×
43	dot1qVlanNumDeletes {dot1qVlan 1}	R/O	[規格] VLAN エントリの削除回数。 [実装] 規格に同じ。	
44	dot1qVlanCurrentTable {dot1qVlan 2}	NA	[規格] VLAN の現在の構成情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
45	dot1qVlanCurrentEntry {dot1qVlanCurrentTabl e 1}	NA	[規格] VLAN の現在の構成情報リスト。 [index] {dot1qVlanTimeMark , dot1qVlanIndex} [実装] 未実装。	×
46	dot1qVlanTimeMark {dot1qVlanCurrentEntr y 1}	NA	[規格] エントリのタイムフィルタ。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
47	dot1qVlanIndex {dot1qVlanCurrentEntry 2}	NA	[ 規格 ]VLAN ID。 [ 実装 ] 未実装。	×
48	dot1qVlanFdbId {dot1qVlanCurrentEntry 3}	R/O	[ 規格 ]VLAN が使用するフィルタリングデータベース ID。 [ 実装 ] 未実装。	×
49	dot1qVlanCurrentEgressPorts {dot1qVlanCurrentEntry 4}	R/O	[ 規格 ] タグ付またはタグなしフレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。 [ 実装 ] 未実装。	×
50	dot1qVlanCurrentUntaggedPorts {dot1qVlanCurrentEntry 5}	R/O	[ 規格 ] タグなしフレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。 [ 実装 ] 未実装。	×
51	dot1qVlanStatus {dot1qVlanCurrentEntry 6}	R/O	[ 規格 ]VLAN 状態。 {other(1), permanent(2), dynamicGvrp(3)} [ 実装 ] 未実装。	×
52	dot1qVlanCreationTime {dot1qVlanCurrentEntry 7}	R/O	[ 規格 ]VLAN 作成時の sysUpTime 値。 [ 実装 ] 未実装。	×
53	dot1qVlanStaticTable {dot1qVlan 3}	NA	[ 規格 ]VLAN の静的構成情報テーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
54	dot1qVlanStaticEntry {dot1qVlanStaticTable 1}	NA	[ 規格 ]VLAN の静的構成情報リスト。 [index] {dot1qVlanIndex} [ 実装 ] 規格に同じ。	
55	dot1qVlanStaticName {dot1qVlanStaticEntry 1}	R/NW	[ 規格 ]VLAN の静的な識別名。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
56	dot1qVlanStaticEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 2}	R/NW	[ 規格 ]VLAN の静的なエグレスリストにあるポートのセット。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
57	dot1qVlanForbiddenEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 3}	R/NW	[ 規格 ]VLAN のエグレスリストに入ることが禁止されているポートのセット。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
58	dot1qVlanStaticUntaggedPorts {dot1qVlanStaticEntry 4}	R/NW	[ 規格 ]VLAN のエグレスパケットを送信するタグなしポートのセット。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
59	dot1qVlanStaticRowStatus {dot1qVlanStaticEntry 5}	R/NW	[ 規格 ] エントリの状態。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
60	dot1qNextFreeLocalVlanIndex {dot1qVlan 4}	R/O	[ 規格 ] 次に利用できる VLAN インデックス (0 または 4096 ~ 2147483647)。 [ 実装 ] 0 または 4096	
61	dot1qPortVlanTable {dot1qVlan 5}	NA	[ 規格 ] ポートの VLAN 構成情報テーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
62	dot1qPortVlanEntry {dot1qPortVlanTable 1}	NA	[ 規格 ] ポートの VLAN 構成情報リスト。 [ 実装 ] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
63	dot1qPvid {dot1qPortVlanEntry 1}	R/NW	[規格] タグなしフレームまたは優先度タグフレームに割り付ける PVID VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	
64	dot1qPortAcceptableFrameTypes {dot1qPortVlanEntry 2}	R/NW	[規格] ポートの受信できるフレームタイプを決定します。 {admitAll(1), admitOnlyVlanTagged(2)} [実装] admitAll(1)	
65	dot1qPortIngressFiltering {dot1qPortVlanEntry 3}	R/NW	[規格] ポートに進入するフレームをフィルタリングします。 [実装] 規格に同じ。	
66	Dot1qPortGvrpStatus {dot1qPortVlanEntry 4}	R/NW	[規格] ポートの GVRP 状態。 [実装] disabled(2)	
67	Dot1qPortGvrpFailedRegistrations {dot1qPortVlanEntry 5}	R/O	[規格] ポートの GVRP 失敗登録総数。 [実装] 未実装。	×
68	dot1qPortGvrpLastPduOrigin {dot1qPortVlanEntry 6}	R/O	[規格] ポートで受信した最後の GVRP のソース MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
69	dot1qPortVlanStatisticsTable {dot1qVlan 6}	NA	[規格] ポートの VLAN 統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
70	dot1qPortVlanStatisticsEntry {dot1qPortVlanStatisticsTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 統計情報リスト。 [index] {dot1dBasePort, dot1qVlanIndex} [実装] 規格に同じ。	
71	dot1qTpVlanPortInFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信した有効フレーム数。 [実装] 規格に同じ。ただし、AX5400S は 0 固定。	
72	dot1qTpVlanPortOutFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VLAN のポートで送信した有効フレーム数。 [実装] 規格に同じ。ただし、AX5400S は 0 固定。	
73	dot1qTpVlanPortInDiscards {dot1qPortVlanStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。 [実装] 規格に同じ。ただし、AX5400S は 0 固定。	
74	dot1qTpVlanPortInOverflowFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 4}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortInFrames カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 規格に同じ。ただし、AX5400S は 0 固定。	
75	dot1qTpVlanPortOutOverflowFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 5}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortOutFrames カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 規格に同じ。ただし、AX5400S は 0 固定。	
76	dot1qTpVlanPortInOverflowDiscards {dot1qPortVlanStatisticsEntry 6}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortInDiscards カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 規格に同じ。ただし、AX5400S は 0 固定。	
77	dot1qPortVlanHCStatisticsTable {dot1qVlan 7}	NA	[規格] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
78	dot1qPortVlanHCStatisticsEntry {dot1qPortVlanHCStatisticsTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報リスト。 [index] {dot1dBasePort , dot1qVlanIndex} [実装] 規格に同じ。	
79	dot1qTpVlanPortHCInFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信した有効フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
80	dot1qTpVlanPortHCOutFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VLAN のポートで送信した有効フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
81	dot1qTpVlanPortHCInDiscards {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
82	dot1qLearningConstraintsTable {dot1qVlan 8}	NA	[規格] 学習制約テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
83	dot1qLearningConstraintsEntry {dot1qLearningConstraintsTable 1}	NA	[規格] 学習制約リスト。 [index] {dot1qConstraintVlan , dot1qConstraintSet} [実装] 規格に同じ。	
84	dot1qConstraintVlan {dot1qLearningConstraintsEntry 1}	NA	[規格] エントリによって制約される VLAN。 [実装] 規格に同じ。	
85	dot1qConstraintSet {dot1qLearningConstraintsEntry 2}	NA	[規格] 制約セット識別子 (0 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
86	dot1qConstraintType {dot1qLearningConstraintsEntry 3}	R/NW	[規格] 制約タイプ。 {independent(1) , shared(2)} [実装] independent(1) 固定。	
87	dot1qConstraintStatus {dot1qLearningConstraintsEntry 4}	R/NW	[規格] 制約状態。 [実装] 規格に同じ。	
88	dot1qConstraintSetDefault {dot1qVlan 9}	R/NW	[規格] 制約セットのデフォルト値 (0 ~ 65535)。 [実装] 0	
89	dot1qConstraintTypeDefault {dot1qVlan 10}	R/NW	[規格] 制約セットのタイプ。 {independent(1) , shared(2)} [実装] independent(1) 固定。	

## 2.16 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)

ifMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2233(November 1997)

### 2.16.1 ifMIB(イーサネットの場合)

次に示す ifMIB グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R **【AX7800S】**
- 10GBASE-W **【AX7800S】**

#### (1) 識別子

```
ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}

ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.31.1
```

#### (2) 実装仕様

イーサネットの場合の ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-63 ifMIB グループの実装仕様 (イーサネットの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifXTable {ifMIBObjects 1}	NA	[規格] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ifXEntry {ifXTable 1}	NA	[規格] インタフェース情報の追加リスト。 AUGMENTS {ifEntry} [実装] 規格に同じ。	
3	ifName {ifXEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの名称。 [実装] コンフィグレーションで設定されたインタフェース名称。	
4	ifInMulticastPkts {ifXEntry 2}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	
5	ifInBroadcastPkts {ifXEntry 3}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	
6	ifOutMulticastPkts {ifXEntry 4}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ifOutBroadcastPkts {ifXEntry 5}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	
8	ifHCInOctets {ifXEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総受信オクテット数。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。	
9	ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。ifInUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	
10	ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。ifInMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	
11	ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	
12	ifHCOctets {ifXEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総送信オクテット数。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテット数。	
13	ifHCOUcastPkts {ifXEntry 11}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。ifOutUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	
14	ifHCOMulticastPkts {ifXEntry 12}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 • Line の ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	ifHCOutBroadcastPkts {ifXEntry 13}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：規格に同じ。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。</li> </ul>	
16	ifLinkUpDownTrapEnable {ifXEntry 14}	R/O	<p>[規格] このインタフェースが、LinkUp/LinkDown によってトラップを通知するかを示す。 {enable(1), disable(2)}</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：規格に同じ。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：規格に同じ。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。</li> </ul>	
17	ifHighSpeed {ifXEntry 15}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (Mbit/s)。Mbit/s 未満は四捨五入。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は、当該インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：リンクアグリゲーショングループに属する回線の Line 情報のうち最大速度のもの。</li> </ul>	
18	ifPromiscuousMode {ifXEntry 16}	R/O	<p>[規格] 受信モードを示す。 {true(1), false(2)}</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：ブルータ設定時は true(1)、ブルータ設定以外なら false(2)。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：false(2)。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：false(2)。</li> </ul>	
19	ifConnectorPresent {ifXEntry 17}	R/O	<p>[規格] 物理回線との接続状態。 {true(1), false(2)}</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：true(1)。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：false(2)。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：false(2)。</li> </ul>	
20	ifAlias {ifXEntry 18}	R/O	<p>[規格] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。</p> <p>[実装] コンフィグレーションで各インタフェースに設定されている補足説明。</p>	
21	ifCounterDiscontinuityTime {ifXEntry 19}	R/O	<p>[規格] カウント情報が非連続な状態になった時の sysUpTime。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Line の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>VLAN の ifIndex の場合：0 固定。</li> <li>リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：0 固定。</li> </ul>	

## 2.16.2 ifMIB(POS の場合)【AX7800S】

OC-48c/STM-16 POS , OC-192c/STM-64 POS の場合について説明します。

### (1) 識別子

ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}

ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.31.1

## (2) 実装仕様

POS の場合の ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-64 ifMIB グループの実装仕様 (POS の場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifXTable {ifMIBObjects 1}	NA	[規格] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ifXEntry {ifXTable 1}	NA	[規格] インタフェース情報の追加リスト。 AUGMENTS {ifEntry} [実装] 規格に同じ。	
3	ifName {ifXEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの名称。 [実装] コンフィグレーションで設定されたインタフェース名称。	
4	ifInMulticastPkts {ifXEntry 2}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	
5	ifInBroadcastPkts {ifXEntry 3}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	
6	ifOutMulticastPkts {ifXEntry 4}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	
7	ifOutBroadcastPkts {ifXEntry 5}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	
8	ifHCInOctets {ifXEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。 [実装] 開始フラグおよび FCS を除いた、総受信オクテット数。制御パケット含む (レイヤ 2 以下の制御パケットもカウント対象とする)。	
9	ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 ifInUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 受信 PPP パケットの数。制御パケット含む。	
10	ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 ifInMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	
11	ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	
12	ifHCOctets {ifXEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。 [実装] 開始フラグおよび FCS を除いた、総送信オクテット数 (レイヤ 2 以下の制御パケットもカウント対象とする)。	
13	ifHCOUcastPkts {ifXEntry 11}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 ifOutUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 回線側に送信要求を発行したパケットの数。制御パケットを含む。	
14	ifHCOMulticastPkts {ifXEntry 12}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	ifHCOutBroadcastPkts {ifXEntry 13}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	
16	ifLinkUpDownTrapEnable {ifXEntry 14}	R/NW	[規格] このインタフェースが、LinkUp/LinkDown によってトラップを通知するかを示す。 { enable(1), disable(2) } [実装] 規格に同じ。	
17	ifHighSpeed {ifXEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (Mbit/s) 。Mbit/s 未満は四捨五入。 [実装] コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は、当該インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。	
18	ifPromiscuousMode {ifXEntry 16}	R/NW	[規格] 受信モードを示す。 { true(1), false(2) } [実装] false(2) 固定。	
19	ifConnectorPresent {ifXEntry 17}	R/O	[規格] 物理回線との接続状態。 { true(1), false(2) } [実装] 規格に同じ。	
20	ifAlias {ifXEntry 18}	R/NW	[規格] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。 [実装] コンフィグレーションで各インタフェースに設定されている補足説明。	
21	ifCounterDiscontinuityTime {ifXEntry 19}	R/O	[規格] カウント情報が非連続の状態になった時の sysUpTime。 [実装] 0 固定。	

### 2.16.3 ifMIB(トンネルの場合)

#### (1) 識別子

```
ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}

ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.31.1
```

#### (2) 実装仕様

トンネルの場合の ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-65 ifMIB グループの実装仕様 (トンネルの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifXTable {ifMIBObjects 1}	NA	[規格] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ifXEntry {ifXTable 1}	NA	[規格] インタフェース情報の追加リスト。 AUGMENTS {ifEntry} [実装] 規格に同じ。	
3	ifName {ifXEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの名称。 [実装] コンフィグレーションで設定されたインタフェース名称。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ifInMulticastPkts {ifXEntry 2}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	
5	ifInBroadcastPkts {ifXEntry 3}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	
6	ifOutMulticastPkts {ifXEntry 4}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	
7	ifOutBroadcastPkts {ifXEntry 5}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] 0 固定。	
8	ifHCInOctets {ifXEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。 [実装] カプセル化した IP ヘッダを除く IP パケットの総受信オクテット数。	
9	ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 ifInUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。	
10	ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 ifInMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	
11	ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	
12	ifHCOctets {ifXEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。 [実装] カプセル化した IP ヘッダを除く IP パケットの総送信オクテット数。	
13	ifHCOUcastPkts {ifXEntry 11}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 ifOutUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。	
14	ifHCOmulticastPkts {ifXEntry 12}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	
15	ifHCObroadcastPkts {ifXEntry 13}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] 0 固定。	
16	ifLinkUpDownTrapEnable {ifXEntry 14}	R/NW	[規格] このインタフェースが、LinkUp/LinkDown によってトラップを通知するかを示す。 {enable(1), disable(2)} [実装] disable(2) 固定。	
17	ifHighSpeed {ifXEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (Mbit/s)。Mbit/s 未満は四捨五入。 [実装] 0 固定。	
18	ifPromiscuousMode {ifXEntry 16}	R/NW	[規格] 受信モードを示す。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。	
19	ifConnectorPresent {ifXEntry 17}	R/O	[規格] 物理回線との接続状態。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	ifAlias {ifXEntry 18}	R/NW	[ 規格 ] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。 [ 実装 ] コンフィグレーションで各インタフェースに設定されている補足説明。	
21	ifCounterDiscontinuityTime {ifXEntry 19}	R/O	[ 規格 ] カウンタ情報が非連続の状態になったときの sysUpTime。 [ 実装 ] 0 固定。	

## 2.17 ipv6MIB グループ (IPv6 MIB)

ipv6MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2465 (December 1998)

### 2.17.1 ipv6MIB

#### (1) 識別子

```
ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}
```

```
ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1
```

```
ipv6Forwarding OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.1
```

#### (2) 実装仕様

ipv6MIB の実装仕様を次の表に示します。

表 2-66 ipv6MIB の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6Forwarding {ipv6MIBObjects 1}	R/NW	[規格]IPv6 中継機能の可否。 {forwarding(1), notForwarding(2)} [実装]規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
2	ipv6DefaultHopLimit {ipv6MIBObjects 2}	R/NW	[規格]IPv6 ヘッダ中の Hop Limit フィールドに設定される default 値。 DEFVAL {64} [実装]固定値：64。ただし、Read_Only です。	
3	ipv6Interfaces {ipv6MIBObjects 3}	R/O	[規格]IPv6 インタフェースの総数。 [実装]規格に同じ。	
4	ipv6IfTableLastChange {ipv6MIBObjects 4}	R/O	[規格]ipv6IfTable が最後に更新された sysUpTime の値。 [実装]規格に同じ。	

### 2.17.2 ipv6IfTable

#### (1) 識別子

```
ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}
```

```
ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1
```

```
ipv6IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.5
```

#### (2) 実装仕様

ipv6IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-67 ipv6IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfTable {ipv6MIBObjects 5}	NA	[規格] ネットワークレイヤインタフェース (V6) の Table。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6IfEntry {ipv6IfTable 1}	NA	[規格] ネットワークレイヤインタフェース (V6) の Entry。 INDEX {ipv6IfIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6IfIndex {ipv6IfEntry 1}	NA	[規格] IPv6 インタフェースのインデックス番号。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6IfDescr {ipv6IfEntry 2}	R/NW	[規格] IPv6 インタフェースの情報 (文字)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
5	ipv6IfLowerLayer {ipv6IfEntry 3}	R/O	[規格] ネットワークインタフェースレイヤの直下のレイヤを示す ObjectID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6IfEffectiveMtu {ipv6IfEntry 4}	R/O	[規格] 該当インタフェースで送受信できる MTU 長 (octet 長)。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6IfReasmMaxSize {ipv6IfEntry 5}	R/O	[規格] 該当インタフェースで受信したデータグラムをリアセンブルできる最大 IPv6 データグラム長。 [実装] 65535 固定。	
8	ipv6IfIdentifier {ipv6IfEntry 6}	R/NW	[規格] 該当インタフェースのアドレστοークン。該当インタフェースの UP によって取得できます。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
9	ipv6IfIdentifierLength {ipv6IfEntry 7}	R/NW	[規格] 該当インタフェースのアドレστοークンのビット長。 [実装] 64 固定。ただし, Read_Only です。	
10	ipv6IfPhysicalAddress {ipv6IfEntry 8}	R/O	[規格] 該当インタフェースの物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
11	ipv6IfAdminStatus {ipv6IfEntry 9}	R/NW	[規格] 該当インタフェースの運用状態。 { up(1), down(2) } [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
12	ipv6IfOperStatus {ipv6IfEntry 10}	R/O	[規格] 該当インタフェースの動作状態。 { up(1), down(2), noIfIdentifier(3), unknown(4), notPresent(5) } [実装] up(1),down(2),testing(3) を応答。	
13	ipv6IfLastChange {ipv6IfEntry 11}	R/O	[規格] 該当インタフェースの動作状態が最後に変化したときの sysUpTime の値。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.17.3 ipv6IfStatsTable

### (1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6IfStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 6}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.6

## (2) 実装仕様

ipv6IfStatsTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-68 ipv6IfStatsTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfStatsTable {ipv6MIBObjects 6}	NA	[規格] IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6IfStatsEntry {ipv6IfStatsTable 1}	NA	[規格] IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報エントリ。 INDEX {ipv6IfIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6IfStatsInReceives {ipv6IfStatsEntry 1}	R/O	[規格] 受信したデータグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6IfStatsInHdrErrors {ipv6IfStatsEntry 2}	R/O	[規格] V6 ヘッダのエラーによって廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6IfStatsInTooBigErrors {ipv6IfStatsEntry 3}	R/O	[規格] MTU 長オーバのため中継できなかった受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6IfStatsInNoRoutes {ipv6IfStatsEntry 4}	R/O	[規格] 該当ルートなしのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6IfStatsInAddrErrors {ipv6IfStatsEntry 5}	R/O	[規格] V6 アドレスが有効ではないため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipv6IfStatsInUnknownProtos {ipv6IfStatsEntry 6}	R/O	[規格] 未サポートプロトコルのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ipv6IfStatsInTruncatedPkts {ipv6IfStatsEntry 7}	R/O	[規格] 不完全なデータのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ipv6IfStatsInDiscards {ipv6IfStatsEntry 8}	R/O	[規格] データ自身には問題がないが廃棄（リソース不足など）された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
11	ipv6IfStatsInDelivers {ipv6IfStatsEntry 9}	R/O	[規格] IPv6 上位レイヤに通知したデータグラム数 (ICMP 含む)。 [実装] 規格に同じ。	
12	ipv6IfStatsOutForwDatagrams {ipv6IfStatsEntry 10}	R/O	[規格] 中継されて送信したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
13	ipv6IfStatsOutRequests {ipv6IfStatsEntry 11}	R/O	[規格] 自 V6 プロトコルから送信しようとしたデータグラム数 (ICMP 含む)。 [実装] 規格に同じ。	
14	ipv6IfStatsOutDiscards {ipv6IfStatsEntry 12}	R/O	[規格] データ自身には問題がないが廃棄（リソース不足など）された送信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
15	ipv6IfStatsOutFragOKs {ipv6IfStatsEntry 13}	R/O	[規格] 出力インタフェースでフラグメント 1 に成功したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
16	ipv6IfStatsOutFragFails {ipv6IfStatsEntry 14}	R/O	[規格] フラグメントに失敗した送信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ipv6IfStatsOutFragCreates {ipv6IfStatsEntry 15}	R/O	[規格] フラグメントした結果生成された送信データグラムフラグメント数。 [実装] 規格に同じ。	
18	ipv6IfStatsReasmReqds {ipv6IfStatsEntry 16}	R/O	[規格] そのインタフェースでリアセンブルを必要としたデータグラムフラグメント数。 [実装] 規格に同じ。	
19	ipv6IfStatsReasmOKs {ipv6IfStatsEntry 17}	R/O	[規格] リアセンブルに成功したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
20	ipv6IfStatsReasmFails {ipv6IfStatsEntry 18}	R/O	[規格] リアセンブルに失敗した回数。 [実装] 規格に同じ。	
21	ipv6IfStatsInMcastPkts {ipv6IfStatsEntry 19}	R/O	[規格] 受信したマルチキャストパケット数。 [実装] 規格に同じ。	
22	ipv6IfStatsOutMcastPkts {ipv6IfStatsEntry 20}	R/O	[規格] 送信したマルチキャストパケット数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.17.4 ipv6AddrPrefixTable

### (1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6AddrPrefixTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 7}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.7

### (2) 実装仕様

ipv6AddrPrefixTable の実装仕様を次の表に示します。

なお、本 MIB で扱うプレフィックス情報は、RA (ルータ広告) で配布するプレフィックス情報が対象となります。

表 2-69 ipv6AddrPrefixTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6AddrPrefixTable {ipv6MIBObjects 7}	NA	[規格] IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6AddrPrefixEntry {ipv6AddrPrefixTable 1}	NA	[規格] アドレス prefix のエントリ。 INDEX {ipv6IfIndex, ipv6AddrPrefix, ipv6AddrPrefixLength} [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6AddrPrefix {ipv6AddrPrefixEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースの prefix。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6AddrPrefixLength {ipv6AddrPrefixEntry 2}	NA	[規格] prefix の長さ。[単位: ビット] [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6AddrPrefixOnLinkFlag {ipv6AddrPrefixEntry 3}	R/O	[規格] オンリンクフラグ。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ipv6AddrPrefixAutonomousFlag {ipv6AddrPrefixEntry 4}	R/O	[規格] 自律設定有効フラグ。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6AddrPrefixAdvPreferredLifetime {ipv6AddrPrefixEntry 5}	R/O	[規格] 推奨有効期間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	
8	ipv6AddrPrefixAdvValidLifetime {ipv6AddrPrefixEntry 6}	R/O	[規格] 最終有効期間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	

## 2.17.5 ipv6AddrTable

### (1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6AddrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 8}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.8

### (2) 実装仕様

ipv6AddrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-70 ipv6AddrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6AddrTable {ipv6MIBObjects 8}	NA	[規格] インタフェースアドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6AddrEntry {ipv6AddrTable 1}	NA	[規格] インタフェースアドレスエントリ。 INDEX {ipv6IfIndex, ipv6AddrAddress} [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6AddrAddress {ipv6AddrEntry 1}	NA	[規格] IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6AddrPfxLength {ipv6AddrEntry 2}	R/O	[規格] prefix レンクス。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6AddrType {ipv6AddrEntry 3}	R/O	[規格] アドレスタイプ。 {stateless(1), stateful(2), unknown(3)} [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6AddrAnycastFlag {ipv6AddrEntry 4}	R/O	[規格] Anycast アドレスかどうかのフラグ。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ipv6AddrStatus {ipv6AddrEntry 5}	R/O	[ 規格 ] アドレスステータス。 {preferred(1), deprecated(2), invalid(3), inaccessible(4), unknown(5)} [ 実装 ] 規格に同じ。	
8	ipv6RouteNumber {ipv6MIBObjects 9}	R/O	[ 規格 ] 有効な V6 ルーティングエントリの総数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
9	ipv6DiscardedRoutes {ipv6MIBObjects 10}	R/O	[ 規格 ] 有効であっても廃棄された V6 ルーティングエントリの総数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	

## 2.17.6 ipv6RouteTable

### (1) 識別子

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6RouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 11}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.11

### (2) 実装仕様

ipv6RouteTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-71 ipv6RouteTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6RouteTable {ipv6MIBObjects 11}	NA	[ 規格 ] IPv6 ルーティングテーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
2	ipv6RouteEntry {ipv6RouteTable 1}	NA	[ 規格 ] IPv6 ルーティングエントリ。 {ipv6RouteDest, ipv6RoutePfxLength, ipv6RouteIndex} [ 実装 ] 規格に同じ。	
3	ipv6RouteDest {ipv6RouteEntry 1}	NA	[ 規格 ] V6Dest アドレス。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
4	ipv6RoutePfxLength {ipv6RouteEntry 2}	NA	[ 規格 ] prefix レンクス (ビット長)。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
5	ipv6RouteIndex {ipv6RouteEntry 3}	NA	[ 規格 ] ルートのインデックス。 [ 実装 ] 1 固定。	
6	ipv6RouteIfIndex {ipv6RouteEntry 4}	R/O	[ 規格 ] IPv6 インタフェースインデックス。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
7	ipv6RouteNextHop {ipv6RouteEntry 5}	R/O	[ 規格 ] ネクストホップ。ネクストホップがない場合 "::0"。 [ 実装 ] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	ipv6RouteType {ipv6RouteEntry 6}	R/O	[規格] ルートのタイプ。 {other(1), discard(2), local(3), remote(4)} [実装] 規格に同じ。	
9	ipv6RouteProtocol {ipv6RouteEntry 7}	R/O	[規格] このルートを学習したルーティングメカニズム。 {other(1), local(2), netmgmt(3), ndisc(4), rip(5), ospf(6), bgp(7), idrp(8), igrp(9)} [実装] • 次に示す以外のすべての経路: other(1) • ダイレクト経路: local(2) • スタティック経路: netmgmt(3) • RIPng 経路: rip(5) • OSPFv3 経路: ospf(6) • BGP4+ 経路: bgp(7)	
10	ipv6RoutePolicy {ipv6RouteEntry 8}	R/O	[規格] ルートポリシー。 [実装] 0 固定。	
11	ipv6RouteAge {ipv6RouteEntry 9}	R/O	[規格] 最後に update してからの経過時間。[単位: 秒] [実装] 規格に同じ。	
12	ipv6RouteNextHopRDI {ipv6RouteEntry 10}	R/O	[規格] ネクストホップの RDI。 [実装] 0 固定。	
13	ipv6RouteMetric {ipv6RouteEntry 11}	R/O	[規格] ルーティングメトリック。 [実装] 規格に同じ。	
14	ipv6RouteWeight {ipv6RouteEntry 12}	R/O	[規格] ルートの優先度 (低い値が優先度が高い)。 [実装] 0 固定。	
15	ipv6RouteInfo {ipv6RouteEntry 13}	R/O	[規格] このルートを学習したルーティングプロトコル MIB へのリファレンス。 [実装] {0.0} 固定。	
16	ipv6RouteValid {ipv6RouteEntry 14}	R/NW	[規格] 有効かどうかのフラグ。 DEFVAL {true} [実装] true 固定。ただし, Read_Only です。	

## 2.17.7 ipv6NetToMediaTable

### (1) 識別子

```

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6NetToMediaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.12

```

### (2) 実装仕様

ipv6NetToMediaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-72 ipv6NetToMediaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6NetToMediaTable {ipv6MIBObjects 12}	NA	[ 規格 ] IPv6 アドレス変換テーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
2	ipv6NetToMediaEntry {ipv6NetToMediaTable 1}	NA	[ 規格 ] フィジカルアドレスに対応した一つの IPv6 アドレスを含むエントリ。 INDEX {ipv6IfIndex, ipv6NetToMediaNetAddress} [ 実装 ] 規格に同じ。	
3	ipv6NetToMediaNetAddress {ipv6NetToMediaEntry 1}	NA	[ 規格 ] メディアに依存した物理アドレスに対応する IPv6 アドレス。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
4	ipv6NetToMediaPhysAddress {ipv6NetToMediaEntry 2}	R/O	[ 規格 ] メディアに依存した物理アドレス。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
5	ipv6NetToMediaType {ipv6NetToMediaEntry 3}	R/O	[ 規格 ] マッピングのタイプ。 {other(1), dynamic(2), static(3), local(4)} [ 実装 ] 規格に同じ。	
6	ipv6IfNetToMediaState {ipv6NetToMediaEntry 4}	R/O	[ 規格 ] NDP テーブルの各エントリの到達可能性状態。 {reachable(1), stale(2), delay(3), probe(4), invalid(5), unknown(6)} [ 実装 ] 規格に同じ。	
7	ipv6IfNetToMediaLastUpdated {ipv6NetToMediaEntry 5}	R/O	[ 規格 ] NDP テーブルの各エントリが最後に更新された時の sysUpTime。 [ 実装 ] 0 固定。	
8	ipv6NetToMediaValid {ipv6NetToMediaEntry 6}	R/NW	[ 規格 ] エントリが有効かどうかを示すフラグ。 DEFVAL {true} [ 実装 ] true 固定。ただし、Read_Only です。	

## 2.18 ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB)

ipv6IcmpMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2466 (December 1998)

### (1) 識別子

```
ipv6IcmpMIB MODULE-IDENTITY ::= {mib-2 56}
```

```
ipv6IcmpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6IcmpMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.56.1
```

### (2) 実装仕様

ipv6IcmpMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-73 ipv6IcmpMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfIcmpTable {ipv6IcmpMIBObjects 1}	NA	[規格]IPv6 ICMP 統計情報。 [実装]規格に同じ。	
2	ipv6IfIcmpEntry {ipv6IfIcmpTable 1}	NA	[規格]ICMPv6 統計情報エントリ。 INDEX {ipv6IfEntry} [実装]規格に同じ。	
3	ipv6IfIcmpInMsgs {ipv6IfIcmpEntry 1}	R/O	[規格]このインタフェースで受信した ICMP メッセージの総数 (エラーを含む)。 [実装]規格に同じ。	
4	ipv6IfIcmpInErrors {ipv6IfIcmpEntry 2}	R/O	[規格]受信した ICMP メッセージでエラーを検出したメッセージの総数。 [実装]規格に同じ。	
5	ipv6IfIcmpInDestUnreachs {ipv6IfIcmpEntry 3}	R/O	[規格]DestUnreachs の受信メッセージ数。 [実装]規格に同じ。	
6	ipv6IfIcmpInAdminProhibits {ipv6IfIcmpEntry 4}	R/O	[規格]DestUnreachs 内の AdminProhibit メッセージを受信した総数。 [実装]規格に同じ。	
7	ipv6IfIcmpInTimeExcds {ipv6IfIcmpEntry 5}	R/O	[規格]TimeExceed 受信メッセージ数。 [実装]規格に同じ。	
8	ipv6IfIcmpInParmProblems {ipv6IfIcmpEntry 6}	R/O	[規格]ParmProblem 受信メッセージ数。 [実装]規格に同じ。	
9	ipv6IfIcmpInPktTooBigs {ipv6IfIcmpEntry 7}	R/O	[規格]PktTooBig 受信メッセージ数。 [実装]規格に同じ。	
10	ipv6IfIcmpInEchos {ipv6IfIcmpEntry 8}	R/O	[規格]Echo 受信メッセージ数。 [実装]規格に同じ。	
11	ipv6IfIcmpInEchoReplies {ipv6IfIcmpEntry 9}	R/O	[規格]EchoReply 受信メッセージ数。 [実装]規格に同じ。	
12	ipv6IfIcmpInRouterSolicits {ipv6IfIcmpEntry 10}	R/O	[規格]RouterSolicit 受信メッセージ数。 [実装]規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	ipv6IcmpInRouterAdvertisements {ipv6IcmpEntry 11}	R/O	[規格]RouterAdvertisement 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
14	ipv6IcmpInNeighborSolicits {ipv6IcmpEntry 12}	R/O	[規格]NeighborSolicit 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
15	ipv6IcmpInNeighborAdvertisements {ipv6IcmpEntry 13}	R/O	[規格]Neighbor Advertisement 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
16	ipv6IcmpInRedirects {ipv6IcmpEntry 14}	R/O	[規格]Redirect 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
17	ipv6IcmpInGroupMemberQueries {ipv6IcmpEntry 15}	R/O	[規格]GroupMemberQuery 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
18	ipv6IcmpInGroupMemberResponses {ipv6IcmpEntry 16}	R/O	[規格]GroupMemberResponse 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
19	ipv6IcmpInGroupMemberReductions {ipv6IcmpEntry 17}	R/O	[規格]GroupMemberReduction 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
20	ipv6IcmpOutMsgs {ipv6IcmpEntry 18}	R/O	[規格] このインタフェースで送信した ICMP メッセージの総数 (エラーを含む)。 [実装] 規格に同じ。	
21	ipv6IcmpOutErrors {ipv6IcmpEntry 19}	R/O	[規格] 送信した ICMP メッセージでエラーを検出したメッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。さらに MTU 長が 1280 以下のインタフェースで、IPv4 over IPv6 トンネルを設定した場合、エラーとなったパケット数。	
22	ipv6IcmpOutDestUnreaches {ipv6IcmpEntry 20}	R/O	[規格]DestUnreaches の送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
23	ipv6IcmpOutAdminProhibits {ipv6IcmpEntry 21}	R/O	[規格]DestUnreaches 内の AdminProhibit メッセージを送信した総数。 [実装] 規格に同じ。	
24	ipv6IcmpOutTimeExceeds {ipv6IcmpEntry 22}	R/O	[規格]TimeExceed 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
25	ipv6IcmpOutParmProblems {ipv6IcmpEntry 23}	R/O	[規格]ParmProblem 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
26	ipv6IcmpOutPktTooBig {ipv6IcmpEntry 24}	R/O	[規格]PktTooBig 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
27	ipv6IcmpOutEchos {ipv6IcmpEntry 25}	R/O	[規格]Echo 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
28	ipv6IcmpOutEchoReplies {ipv6IcmpEntry 26}	R/O	[規格]EchoReply 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
29	ipv6IcmpOutRouterSolicits {ipv6IcmpEntry 27}	R/O	[規格]RouterSolicit 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
30	ipv6IfIcmpOutRouterAdvertisements {ipv6IfIcmpEntry 28}	R/O	[ 規格 ]RouterAdvertisement 送信メッセージ数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
31	ipv6IfIcmpOutNeighborSolicits {ipv6IfIcmpEntry 29}	R/O	[ 規格 ]NeighborSolicit 送信メッセージ数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
32	ipv6IfIcmpOutNeighborAdvertisements {ipv6IfIcmpEntry 30}	R/O	[ 規格 ]Neighbor Advertisement 送信メッセージ数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
33	ipv6IfIcmpOutRedirects {ipv6IfIcmpEntry 31}	R/O	[ 規格 ]Redirect 送信メッセージ数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
34	ipv6IfIcmpOutGroupMemberQueries {ipv6IfIcmpEntry 32}	R/O	[ 規格 ]GroupMemberQuery 送信メッセージ数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
35	ipv6IfIcmpOutGroupMemberResponses {ipv6IfIcmpEntry 33}	R/O	[ 規格 ]GroupMemberResponse 送信メッセージ数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
36	ipv6IfIcmpOutGroupMemberReductions {ipv6IfIcmpEntry 34}	R/O	[ 規格 ]GroupMemberReduction 送信メッセージ数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	

## 2.19 vrrpMIB グループ

vrrpMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2787(March 2000)
- draft-ietf-vrrp-unified-mib-04.txt(September 2006)

### 2.19.1 vrrpOperations グループ

#### (1) 識別子

```
vrrpMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 68}

vrrpOperations OBJECT IDENTIFIER ::= {vrrpMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.68.1
```

#### (2) 実装仕様

vrrpOperations グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-74 vrrpOperations グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	アク セス	実装仕様	実装 有無
1	vrrpNodeVersion {vrrpOperations 1}	R/O	[規格] 本装置でサポートしている VRRP のバージョン。 [実装] 規格に同じ。	
2	vrrpNotificationCntl {vrrpOperations 2}	R/NW	[規格] vrrp 用 SNMP 拡張 trap の発行有無。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
3	vrrpOperTable {vrrpOperations 3}	NA	[規格] VRRP ルータのための, オペレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
4	vrrpOperEntry {vrrpOperTable 1}	NA	[規格] vrrpOper テーブルのエントリ。 INDEX {ifIndex, vrrpOperVrId} [実装] 規格に同じ。	
5	vrrpOperVrId {vrrpOperEntry 1}	NA	[規格] 仮想ルータの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
6	vrrpOperVirtualMacAd dr {vrrpOperEntry 2}	R/O	[規格] 仮想ルータの仮想 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
7	vrrpOperState {vrrpOperEntry 3}	R/O	[規格] 現在の VRRP 動作状態。 {initialize(1), backup(2), master(3)} [実装] 規格に同じ。	
8	vrrpOperAdminState {vrrpOperEntry 4}	R/NW	[規格] VRRP 機能の enable/disable 状態。 {up(1), down(2)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
9	vrrpOperPriority {vrrpOperEntry 5}	R/NW	[規格] 仮想ルータの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
10	vrrpOperIpAddrCount {vrrpOperEntry 6}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス数。 [実装] 1 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	vrrpOperMasterIpAddr {vrrpOperEntry 7}	R/O	[規格] Master ルータの実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
12	vrrpOperPrimaryIpAddr {vrrpOperEntry 8}	R/NW	[規格] 仮想ルータが使用する実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
13	vrrpOperAuthType {vrrpOperEntry 9}	R/NW	[規格] 仮想ルータ間で交換される vrrp プロトコルの認証タイプ。 { noAuthentication(1), -- VRRP protocol exchanges are not -- authenticated. simpleTextPassword(2), -- Exchanges are authenticated by a -- clear text password. ipAuthenticationHeader(3) -- Exchanges are authenticated using -- the IP authentication header.} [実装] 認証なし、またはテキストだけ。ただし、Read_Only です。	
14	vrrpOperAuthKey {vrrpOperEntry 10}	R/NW	[規格] vrrpOperAuthType の値によって設定される認証用のキー。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
15	vrrpOperAdvertisementInterval {vrrpOperEntry 11}	R/NW	[規格] VRRP パケットの送出間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
16	vrrpOperPreemptMode {vrrpOperEntry 12}	R/NW	[規格] 優先度の高い仮想ルータが、優先度の低い仮想ルータの代行を行うかの制御をします。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
17	vrrpOperVirtualRouterUpTime {vrrpOperEntry 13}	R/O	[規格] 仮想ルータの動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。	
18	vrrpOperProtocol {vrrpOperEntry 14}	R/NW	[規格] 仮想ルータの動作プロトコル。 {ip(1), bridge(2), decnet(3), other(4)} [実装] ip(1) 固定。ただし、Read_Only です。	
19	vrrpOperRowStatus {vrrpOperEntry 15}	R/NW	[規格] vrrpOperTable のアクセス状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
20	vrrpAssoIpAddrTable {vrrpOperations 4}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
21	vrrpAssoIpAddrEntry {vrrpAssoIpAddrTable 1}	NA	[規格] vrrpAssoIpAddr テーブルのエントリ。 INDEX {ifIndex, vrrpOperVrId, vrrpAssoIpAddr} [実装] 規格に同じ。	
22	vrrpAssoIpAddr {vrrpAssoIpAddrEntry 1}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
23	vrrpAssoIpAddrRowStatus {vrrpAssoIpAddrEntry 2}	R/NW	[規格] vrrpAssoIpAddrTable のアクセス状態。 {active(1), createAndGo(4)} [実装] active(1) に固定。ただし、Read_Only です。	
24	vrrpTrapPacketSrc {vrrpOperations 5}	AN	[規格] IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
25	vrrpTrapAuthErrorType {vrrpOperations 6}	AN	[規格] 認証タイプの不一致要因。 {invalidAuthType(1), authTypeMismatch(2), authFailure(3)} [実装] 規格に同じ。	
26	vrrpOperationsTable {vrrpOperations 7}	NA	[規格] VRRP ルータのためのオペレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
27	vrrpOperationsEntry {vrrpOperationsTable 1}	NA	[規格] vrrpOperations テーブルのエントリ。 INDEX {vrrpOperationInetAddrType, vrrpOperationsVrId, ifIndex} [実装] 規格に同じ。	
28	vrrpOperationsInetAddrType {vrrpOperationsEntry 1}	NA	[規格] 現在のタイプ。 {ipv4(1), ipv6(2)} [実装] 規格に同じ。	
29	vrrpOperationsVrId {vrrpOperationsEntry 2}	NA	[規格] 仮想ルータの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
30	vrrpOperationsVirtualMacAddr {vrrpOperationsEntry 3}	R/O	[規格] 仮想ルータの仮想 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
31	vrrpOperationsState {vrrpOperationsEntry 4}	R/O	[規格] 現在の VRRP 動作状態。 {initialize(1), backup(2), master(3)} [実装] 規格に同じ。	
32	vrrpOperationsPriority {vrrpOperationsEntry 5}	R/NW	[規格] 仮想ルータの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
33	vrrpOperationsVersion {vrrpOperationsEntry 6}	R/NW	[規格] 実行している VRRP のバージョン。 {vrrpv2 (1), vrrpv3 (2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
34	vrrpOperationsAddrCount {vrrpOperationsEntry 7}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス数。 [実装] 1 固定。	
35	vrrpOperationsMasterIpAddress {vrrpOperationsEntry 9}	R/O	[規格] Master ルータの実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
36	vrrpOperationsPrimaryIpAddress {vrrpOperationsEntry 10}	R/NW	[規格] 仮想ルータが使用する実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
37	vrrpOperationsAdvInterval {vrrpOperationsEntry 11}	R/NW	[規格] VRRP パケットの送出間隔。[単位：1/100 秒] 1 ~ 4096 [実装] 100 ~ 25,500。ただし、Read_Only です。	
38	vrrpOperationsPreemptMode {vrrpOperationsEntry 12}	R/NW	[規格] 優先度の高い仮想ルータが、優先度の低い仮想ルータの代行を行うかの制御をする。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
39	vrrpOperationsAcceptMode {vrrpOperationsEntry 13}	R/NW	[規格] アドレスオーナーではない場合でも仮想 IP 宛のパケットを受信するかの制御をする。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
40	vrrpOperationsUpTime {vrrpOperationsEntry 14}	R/O	[規格] 仮想ルータの動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。	
41	vrrpOperationsRowStatus {vrrpOperationsEntry 15}	R/NW	[規格] vrrpOperTable のアクセス状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
42	vrrpAssociatedIpAddressTable {vrrpOperations 8}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
43	vrrpAssociatedIpAddressEntry {vrrpAssociatedIpAddressTable 1}	NA	[規格] vrrpAssoIpAddress テーブルのエントリ。 INDEX {vrrpAssociatedInetAddressType, vrrpOperationsVrId, ifIndex, vrrpAssociatedIpAddress} [実装] 規格に同じ。	
44	vrrpAssociatedInetAddressType {vrrpAssociatedIpAddressEntry 2}	NA	[規格] vrrpAssociatedIpAddress のアドレスタイプ。 {ipv4(1), ipv6(2)} [実装] 規格に同じ。	
45	vrrpAssociatedIpAddress {vrrpAssociatedIpAddressEntry 3}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
46	vrrpAssociatedIpAddressRowStatus {vrrpAssociatedIpAddressEntry 4}	R/NW	[規格] vrrpAssoIpAddressTable のアクセス状態。 {active(1), createAndGo(4), createAndWait(5)} [実装] active(1) に固定。ただし、Read_Only です。	
47	vrrpTrapNewMasterReason {vrrpOperations 9}	AN	[規格] マスタに遷移した契機。 {priority(0), preempted(1), masterNoResponse(2)} [実装] 規格に同じ。	
48	vrrpTrapProtoErrReason {vrrpOperations 10}	AN	[規格] ADVERTISEMENT パケットを破棄した理由。 {hopLimitError(0), versionError(1), checksumError(2), vridError(3)} [実装] vridError(3) は非対応です。vridError(3) で ADVERTISEMENT パケットを破棄した場合、vrrpTrapProtoError は発生しません。	

## 2.19.2 vrrpStatistics グループ

### (1) 識別子

```

vrrpMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 68}

vrrpStatistics OBJECT IDENTIFIER ::= {vrrpMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.68.2

```

## (2) 実装仕様

vrrpStatistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-75 vrrpStatistics グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vrrpRouterChecksumErrors {vrrpStatistics 1}	R/O	[規格] チェックサム不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
2	vrrpRouterVersionErrors {vrrpStatistics 2}	R/O	[規格] バージョン不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
3	vrrpRouterVrIdErrors {vrrpStatistics 3}	R/O	[規格] 仮想ルータの VRID 不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
4	vrrpRouterStatsTable {vrrpStatistics 4}	NA	[規格] 仮想ルータの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
5	vrrpRouterStatsEntry {vrrpRouterStatsTable 1}	NA	[規格] vrrpRouterStats テーブルのエントリ。 INDEX {ifIndex, vrrpOperVrId} [実装] 規格に同じ。	
6	vrrpStatsBecomeMaster {vrrpRouterStatsEntry 1}	R/O	[規格] Master へ遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。	
7	vrrpStatsAdvertiseRcvd {vrrpRouterStatsEntry 2}	R/O	[規格] VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
8	vrrpStatsAdvertiseIntervalErrors {vrrpRouterStatsEntry 3}	R/O	[規格] ADVERTISEMENT インターバル不正で受信した, VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
9	vrrpStatsAuthFailures {vrrpRouterStatsEntry 4}	R/O	[規格] VRRP 認証エラーパケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
10	vrrpStatsIpTtlErrors {vrrpRouterStatsEntry 5}	R/O	[規格] VRRP 不正 TTL パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
11	vrrpStatsPriorityZeroPktsRcvd {vrrpRouterStatsEntry 6}	R/O	[規格] 優先度 0 である VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
12	vrrpStatsPriorityZeroPktsSent {vrrpRouterStatsEntry 7}	R/O	[規格] 優先度 0 の VRRP パケットの総送信数。 [実装] 規格に同じ。	
13	vrrpStatsInvalidTypePktsRcvd {vrrpRouterStatsEntry 8}	R/O	[規格] Type フィールド不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
14	vrrpStatsAddressListErrors {vrrpRouterStatsEntry 9}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	vrrpStatsInvalidAuthType {vrrpRouterStatsEntry 10}	R/O	[規格] 認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
16	vrrpStatsAuthTypeMismatch {vrrpRouterStatsEntry 11}	R/O	[規格] 認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
17	vrrpStatsPacketLengthErrors {vrrpRouterStatsEntry 12}	R/O	[規格] length 値不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
18	vrrpRouterStatisticsTable {vrrpStatistics 5}	NA	[規格] 仮想ルータの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
19	vrrpRouterStatisticsEntry {vrrpRouterStatisticsTable 1}	NA	[規格] vrrpRouterStatistics テーブルのエントリ。 INDEX {vrrpOperationsIpVersion, vrrpOperationsVrId, ifIndex} [実装] 規格に同じ。	
20	vrrpStatisticsBecomeMaster {vrrpRouterStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] Master へ遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。	
21	vrrpStatisticsAdvertiseRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
22	vrrpStatisticsAdvIntervalErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] ADVERTISEMENT インターバル不正で受信した, VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
23	vrrpStatisticsIpTtlErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 4}	R/O	[規格] VRRP 不正 TTL パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
24	vrrpStatisticsPriZeroPktsRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 5}	R/O	[規格] 優先度 0 である VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
25	vrrpStatisticsPriZeroPktsSent {vrrpRouterStatisticsEntry 6}	R/O	[規格] 優先度 0 の VRRP パケットの総送信数。 [実装] 規格に同じ。	
26	vrrpStatisticsInvalidTypePktsRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 7}	R/O	[規格] Type フィールド不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
27	vrrpStatisticsAddressListErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 8}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
28	vrrpStatisticsPacketLengthErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 11}	R/O	[ 規格 ] length 値不正パケットの総受信数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
29	vrrpStatisticsDiscontinuityTime {vrrpRouterStatisticsEntry 12}	R/O	[ 規格 ] 最新の動作開始時間。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
30	vrrpStatisticsRefreshRate {vrrpRouterStatisticsEntry 13}	R/O	[ 規格 ] 最小のポーリング間隔。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
31	vrrpStatisticsInvalidAuthType {vrrpRouterStatisticsEntry 14}	R/O	[ 規格 ] パケット認証タイプ不正パケットの総受信数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	

## 2.20 ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB) 【OP-MLT】

ipMRouteStdMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2932 (October 2000)

### 注意事項

本 MIB はマルチキャスト経路制御プロトコルとして PIM-SM を使用している場合だけ有効です。

### 2.20.1 ipMRouteEnable

#### (1) 識別子

```
ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}
ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}
ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1
ipMRouteEnable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.1
```

#### (2) 実装仕様

ipMRouteEnable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-76 ipMRouteEnable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteEnable {ipMRoute 1}	R/NW	[規格]IP マルチキャストの動作有無。 {enabled(1), disabled(2)} [実装]PIM-SM 動作時は enabled(1)。IP マルチキャスト未動作時および PIM-DM, DVMRP 動作時は disabled(2)。	

### 2.20.2 ipMRouteTable

#### (1) 識別子

```
ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}
ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}
ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1
ipMRouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.2
```

#### (2) 実装仕様

ipMRouteTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-77 ipMRouteTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteTable {ipMRoute 2}	NA	[規格] IP マルチキャスト経路表。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipMRouteEntry {ipMRouteTable 1}	NA	[規格] IP マルチキャスト経路表エントリ。 INDEX {ipMRouteGroup, ipMRouteSource, ipMRouteSourceMask} [実装] 規格に同じ。	
3	ipMRouteGroup {ipMRouteEntry 1}	NA	[規格] 経路情報のグループアドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipMRouteSource {ipMRouteEntry 2}	NA	[規格] 経路情報の送信元アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipMRouteSourceMask {ipMRouteEntry 3}	NA	[規格] 経路情報の送信元アドレスのネットワークマスク。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipMRouteUpstreamNeighbor {ipMRouteEntry 4}	R/O	[規格] 上流隣接ルータのアドレス。上流隣接ルータ不明の場合は、0.0.0.0。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipMRouteInIfIndex {ipMRouteEntry 5}	R/O	[規格] 上流インタフェースの ifIndex 値。複数上流インタフェース可能な場合は、0。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipMRouteUpTime {ipMRouteEntry 6}	R/O	[規格] 経路情報を学習してからの経過時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	
9	ipMRouteExpiryTime {ipMRouteEntry 7}	R/O	[規格] 経路情報の生存残時間。生存時間タイマが動作していない場合は、0。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	
10	ipMRoutePkts {ipMRouteEntry 8}	R/O	[規格] 経路情報に一致するパケットを受信した数。 [実装] 規格に同じ。系切替時は 0 に初期化します。 nonstop-forwarding が有効な場合に系切替したときは、マルチキャスト中継エントリの再学習が終了してからの該当受信パケット数になります（マルチキャスト中継エントリの再学習終了までは 0）。 <b>【AX7800S】</b>	
11	ipMRouteDifferentInIfPackets {ipMRouteEntry 9}	R/O	[規格] 経路情報に一致するパケットで上流インタフェース以外から受信し廃棄した数。 [実装] 規格に同じ。系切替時は 0 に初期化します。 nonstop-forwarding が有効な場合に系切替したときは、マルチキャスト中継エントリの再学習が終了してからの該当廃棄パケット数になります（マルチキャスト中継エントリの再学習終了までは 0）。 <b>【AX7800S】</b> また、ソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	
12	ipMRouteOctets {ipMRouteEntry 10}	R/O	[規格] 経路情報に一致するパケットの転送オクテット数。 [実装] 規格に同じ。系切替時は 0 に初期化します。 nonstop-forwarding が有効な場合に系切替したときは、マルチキャスト中継エントリの再学習が終了してからの該当パケットの転送オクテット数になります（マルチキャスト中継エントリの再学習終了までは 0）。 <b>【AX7800S】</b> また、ソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	
13	ipMRouteProtocol {ipMRouteEntry 11}	R/O	[規格] 経路情報を学習したマルチキャスト経路制御プロトコル。 [実装] 規格に同じ。 {other(1), pimSparseMode(8), igmpOnly(10)}	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	ipMRouteRtProto {ipMRouteEntry 12}	R/O	[規格] 上流隣接ルータ探索で使した経路を学習した経路制御プロトコル。 [実装] 未実装。	×
15	ipMRouteRtAddress {ipMRouteEntry 13}	R/O	[規格] 上流隣接ルータ探索で使した経路のアドレス。 [実装] 規格に同じ。	
16	ipMRouteRtMask {ipMRouteEntry 14}	R/O	[規格] 上流インタフェース探索で使した経路のネットワークマスク。 [実装] 規格に同じ。	
17	ipMRouteRtType {ipMRouteEntry 15}	R/O	[規格] 経路決定で使した RIB(経路情報)の種類。 {unicast(1), multicast(2)} [実装] unicast(1) 固定。	
18	ipMRouteHCOctets {ipMRouteEntry 16}	R/O	[規格] 経路情報に一致するパケットの転送オクテット数。 ipMRouteOctets の 64 ビット版。 [実装] 規格に同じ。系切替時は 0 に初期化します。 nonstop-forwarding が有効な場合に系切替したときは、マルチキャスト中継エントリの再学習が終了してからの該当パケットの転送オクテット数になります (マルチキャスト中継エントリの再学習終了までは 0)。【AX7800S】 また、ソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	

## 2.20.3 ipMRouteNextHopTable

### (1) 識別子

```

ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}

ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipMRouteNextHopTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.3

```

### (2) 実装仕様

ipMRouteNextHopTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-78 ipMRouteNextHopTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteNextHopTable {ipMRoute 3}	NA	[規格] 下流インタフェースごとの NextHop (次送信先) 表。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipMRouteNextHopEntry {ipMRouteNextHopTable 1}	NA	[規格] NextHop 表エントリ。 INDEX {ipMRouteNextHopGroup, ipMRouteNextHopSource, ipMRouteNextHopSourceMask, ipMRouteNextHopIfIndex, ipMRouteNextHopAddress} [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ipMRouteNextHopGroup {ipMRouteNextHopEntry 1}	NA	[規格]NextHop 情報のグループアドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipMRouteNextHopSource {ipMRouteNextHopEntry 2}	NA	[規格]NextHop 情報の送信元アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipMRouteNextHopSourceMask {ipMRouteNextHopEntry 3}	NA	[規格]NextHop 情報の送信元アドレスのネットワークマスク。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipMRouteNextHopIfIndex {ipMRouteNextHopEntry 4}	NA	[規格]NextHop 情報の下流インタフェース。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipMRouteNextHopAddress {ipMRouteNextHopEntry 5}	NA	[規格]NextHop 情報の NextHop アドレス。通常は ipMRouteNextHopGroup に等しいが、NBMA (Non-Broadcast Multiple Access) は単一下流インタフェースで複数アドレスを有することもある。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipMRouteNextHopState {ipMRouteNextHopEntry 6}	R/O	[規格]NextHop 表エントリの使用有無。 {pruned(1), forwarding(2)} [実装] 規格に同じ。	
9	ipMRouteNextHopUpTime {ipMRouteNextHopEntry 7}	R/O	[規格]NextHop 情報を学習してからの経過時間。[単位: 10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	
10	ipMRouteNextHopExpiryTime {ipMRouteNextHopEntry 8}	R/O	[規格]NextHop 情報の生存残時間, または pruned の残時間。生存残時間タイマが動作していない場合は, 0。[単位: 10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	
11	ipMRouteNextHopClosestMemberHops {ipMRouteNextHopEntry 9}	R/O	[規格]NextHop までの最小ホップ数。この値より小さい TTL のマルチキャストデータは転送しない。 [実装] 1 固定。	
12	ipMRouteNextHopProtocol {ipMRouteNextHopEntry 10}	R/O	[規格]NextHop の学習に使用した経路制御プロトコル。 [実装] 規格に同じ。 {other(1), pimSparseMode(8), igmpOnly(10)}	
13	ipMRouteNextHopPkts {ipMRouteNextHopEntry 11}	R/O	[規格]NextHop に転送したパケット数。 [実装] 未実装。	×

## 2.20.4 ipMRouteInterfaceTable

### (1) 識別子

```

ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}

ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}

```

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipMRouteInterfaceTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 4}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.4

## (2) 実装仕様

ipMRouteInterfaceTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-79 ipMRouteInterfaceTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteInterfaceTable {ipMRoute 4}	NA	[規格] マルチキャストインタフェース表。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipMRouteInterfaceEntry {ipMRouteInterfaceTable 1}	NA	[規格] マルチキャストインタフェース表エントリ。 INDEX {ipMRouteInterfaceIfIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	ipMRouteInterfaceIfIndex {ipMRouteInterfaceEntry 1}	NA	[規格] インタフェースの ifIndex 値。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipMRouteInterfaceTtl {ipMRouteInterfaceEntry 2}	R/NW	[規格] インタフェースの TTL の閾値。この値より小さい TTL のマルチキャストデータは転送しない。すべて転送する場合は、0。 [実装] 0 固定。	
5	ipMRouteInterfaceProtocol {ipMRouteInterfaceEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースで動作している経路制御プロトコル。 [実装] 規格に同じ。 {other(1), pimSparseMode(8), igmpOnly(10)}	
6	ipMRouteInterfaceRateLimit {ipMRouteInterfaceEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースのマルチキャストデータの転送量制限。制限なしの場合は、0。[単位: kbit/s] DEFVAL {0} [実装] 0 固定。	
7	ipMRouteInterfaceInMcastOctets {ipMRouteInterfaceEntry 5}	R/O	[規格] インタフェースで受信したマルチキャストパケットのオクテット数。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipMRouteInterfaceOutMcastOctets {ipMRouteInterfaceEntry 6}	R/O	[規格] インタフェースで送信したマルチキャストパケットのオクテット数。 [実装] 規格に同じ。本装置が送信するマルチキャストパケットおよびソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	
9	ipMRouteInterfaceHCInMcastOctets {ipMRouteInterfaceEntry 7}	R/O	[規格] インタフェースで受信したマルチキャストパケットのオクテット数。 ipMRouteInterfaceInMcastOctets の 64 ビット版。 [実装] 規格に同じ。	
10	ipMRouteInterfaceHCOutMcastOctets {ipMRouteInterfaceEntry 8}	R/O	[規格] インタフェースで送信したマルチキャストパケットのオクテット数。 ipMRouteInterfaceOutMcastOctets の 64 ビット版。 [実装] 規格に同じ。本装置が送信するマルチキャストパケットおよびソフトウェアによる中継処理時は加算しません。	

## 2.20.5 ipMRouteBoundaryTable

### (1) 識別子

```
ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}

ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipMRouteBoundaryTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.5
```

### (2) 実装仕様

ipMRouteBoundaryTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-80 ipMRouteBoundaryTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteBoundaryTable {ipMRoute 5}	NA	[規格] マルチキャスト境界表。 [実装] 未実装。	×
2	ipMRouteBoundaryEntry {ipMRouteBoundaryTable 1}	NA	[規格] マルチキャスト境界表エントリ。 INDEX {ipMRouteBoundaryIfIndex, ipMRouteBoundaryAddress, ipMRouteBoundaryAddressMask} [実装] 未実装。	×
3	ipMRouteBoundaryIfIndex {ipMRouteBoundaryEntry 1}	NA	[規格] マルチキャスト境界が適用されるインタフェースの ifIndex 値。 [実装] 未実装。	×
4	ipMRouteBoundaryAddress {ipMRouteBoundaryEntry 2}	NA	[規格] マルチキャスト境界のグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
5	ipMRouteBoundaryAddressMask {ipMRouteBoundaryEntry 3}	NA	[規格] マルチキャスト境界のグループアドレスのネットワークマスク。 [実装] 未実装。	×
6	ipMRouteBoundaryStatus {ipMRouteBoundaryEntry 4}	R/C	[規格] RowStatus。 [実装] 未実装。	×

## 2.20.6 ipMRouteScopeNameTable

### (1) 識別子

```
ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}

ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipMRouteScopeNameTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 6}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.6

## (2) 実装仕様

ipMRouteScopeNameTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-81 ipMRouteScopeNameTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteScopeNameTable {ipMRoute 6}	NA	[規格] マルチキャスト領域名表。 [実装] 未実装。	×
2	ipMRouteScopeNameEntry {ipMRouteScopeNameTable 1}	NA	[規格] マルチキャスト領域名表エントリ。 INDEX {ipMRouteScopeNameAddress, ipMRouteScopeNameAddressMask, IMPLIED ipMRouteScopeNameLanguage} [実装] 未実装。	×
3	ipMRouteScopeNameAddress {ipMRouteScopeNameEntry 1}	NA	[規格] マルチキャスト領域のグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
4	ipMRouteScopeNameAddressMask {ipMRouteScopeNameEntry 2}	NA	[規格] マルチキャスト領域のグループアドレスのネットワークマスク。 [実装] 未実装。	×
5	ipMRouteScopeNameLanguage {ipMRouteScopeNameEntry 3}	NA	[規格] 領域名の RFC1766 形式の言語情報。 [実装] 未実装。	×
6	ipMRouteScopeNameString {ipMRouteScopeNameEntry 4}	R/C	[規格] マルチキャスト領域の名前。 [実装] 未実装。	×
7	ipMRouteScopeNameDefault {ipMRouteScopeNameEntry 5}	R/C	[規格] 真の場合には、指定言語での名前利用不可の場合に次言語による名前を使用する。 [実装] 未実装。	×
8	ipMRouteScopeNameStatus {ipMRouteScopeNameEntry 6}	R/C	[規格] RowStatus。 [実装] 未実装。	×

## 2.20.7 ipMRouteEntryCount

### (1) 識別子

ipMRouteStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 83}

ipMRouteMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteStdMIB 1}

ipMRoute OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRouteMIBObjects 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1

ipMRouteEntryCount OBJECT IDENTIFIER ::= {ipMRoute 7}

オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.83.1.1.7

## (2) 実装仕様

ipMRouteEntryCount の実装仕様を次の表に示します。

表 2-82 ipMRouteEntryCount の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipMRouteEntryCount {ipMRoute 7}	R/O	[規格] IP マルチキャスト経路表のエントリ数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.21 igmpStdMIB グループ (IGMP MIB) 【OP-MLT】

igmpStdMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2933 (October 2000)

### 注意事項

本 MIB はマルチキャスト経路制御プロトコルとして PIM-SM を使用している場合だけ有効です。

### 2.21.1 igmpInterfaceTable

#### (1) 識別子

igmpStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 85}

igmpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {igmpStdMIB 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.85.1

igmpInterfaceTable OBJECT IDENTIFIER ::= {igmpMIBObjects 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.85.1.1

#### (2) 実装仕様

igmpInterfaceTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-83 igmpInterfaceTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	igmpInterfaceTable {igmpMIBObjects 1}	NA	[規格]IGMP インタフェース表。 [実装]規格に同じ。	
2	igmpInterfaceEntry {igmpInterfaceTable 1}	NA	[規格]IGMP インタフェース表エントリ。 INDEX {igmpInterfaceIfIndex} [実装]規格に同じ。	
3	igmpInterfaceIfIndex {igmpInterfaceEntry 1}	NA	[規格]IGMP インタフェースの ifIndex 値。 [実装]規格に同じ。	
4	igmpInterfaceQueryInterval {igmpInterfaceEntry 2}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの Query 送信周期。[単位: 1 秒] DEFVAL {125} [実装]規格に同じ。	
5	igmpInterfaceStatus {igmpInterfaceEntry 3}	R/NW	[規格]RowStatus (IGMP の有効化 / 無効化) [実装]active(1) 固定。	
6	igmpInterfaceVersion {igmpInterfaceEntry 4}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの動作バージョン。 DEFVAL {2} [実装]規格に同じ。	
7	igmpInterfaceQuerier {igmpInterfaceEntry 5}	R/O	[規格]IGMP インタフェースの Querier の IP アドレス。 [実装]規格に同じ。	
8	igmpInterfaceQueryMaxResponseTime {igmpInterfaceEntry 6}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの Max Response Time 値。[単位: 100 ミリ秒] DEFVAL {100} [実装]規格に同じ。	
9	igmpInterfaceQuerierUpTime {igmpInterfaceEntry 7}	R/O	[規格]IGMP インタフェースの Querier を学習してからの経過時間。 [単位: 10 ミリ秒] [実装]規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	igmpInterfaceQuerierExpiryTime {igmpInterfaceEntry 8}	R/O	[規格]IGMP インタフェースの Querier の生存残時間。自装置が Querier の場合は、0。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	
11	igmpInterfaceVersion1QuerierTimer {igmpInterfaceEntry 9}	R/O	[規格] ホストの IGMPv1 互換モードの残時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
12	igmpInterfaceWrongVersionQueries {igmpInterfaceEntry 10}	R/O	[規格]IGMP インタフェースのバージョンと不一致な Query を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	
13	igmpInterfaceJoins {igmpInterfaceEntry 11}	R/O	[規格]IGMP インタフェースでグループに加入した回数。 [実装] 規格に同じ。	
14	igmpInterfaceProxyIfIndex {igmpInterfaceEntry 12}	R/NW	[規格]IGMP Proxy インタフェースの ifIndex 値。Proxy 動作をしない場合は、0。 DEFVAL {0} [実装] 0 固定。	
15	igmpInterfaceGroups {igmpInterfaceEntry 13}	R/O	[規格]IGMP インタフェースの加入グループ数。 [実装] 規格に同じ。	
16	igmpInterfaceRobustness {igmpInterfaceEntry 14}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの Robustness Variable 値。 DEFVAL {2} [実装] 規格に同じ。	
17	igmpInterfaceLastMemberQueryIntvl {igmpInterfaceEntry 15}	R/NW	[規格]IGMP インタフェースの Last Member Query Interval 値。[単位：100 ミリ秒] DEFVAL {10} [実装] 規格に同じ。	

## 2.21.2 igmpCacheTable

### (1) 識別子

igmpStdMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 85}

igmpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {igmpStdMIB 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.85.1

igmpCacheTable OBJECT IDENTIFIER ::= {igmpMIBObjects 2}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.85.1.2

### (2) 実装仕様

igmpCacheTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-84 igmpCacheTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	igmpCacheTable {igmpMIBObjects 2}	NA	[規格] 特定インタフェースの IGMP グループ表。 [実装] 規格に同じ。	
2	igmpCacheEntry {igmpCacheTable 1}	NA	[規格]IGMP グループ表エントリ。 INDEX {igmpCacheAddress, igmpCacheIfIndex} [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	igmpCacheAddress {igmpCacheEntry 1}	NA	[規格]IGMP グループ情報のグループアドレス。 [実装]規格に同じ。	
4	igmpCacheIfIndex {igmpCacheEntry 2}	NA	[規格]IGMP グループ情報の ifIndex 値。 [実装]規格に同じ。	
5	igmpCacheSelf {igmpCacheEntry 3}	R/NW	[規格]自装置がグループの一員であるか。 DEFVAL {true(1)} [実装]false(2) 固定。	
6	igmpCacheLastReporter {igmpCacheEntry 4}	R/O	[規格]最後に受け取った Report の送信元 IP アドレス。未受信の場合は, "0.0.0.0". [実装]規格に同じ。	
7	igmpCacheUpTime {igmpCacheEntry 5}	R/O	[規格]IGMP グループ情報が生成されてからの経過時間。[単位: 10 ミリ秒] [実装]規格に同じ。	
8	igmpCacheExpiryTime {igmpCacheEntry 6}	R/O	[規格]IGMP グループ情報の生存残時間。静的グループ参加の場合は 0。[単位: 10 ミリ秒] [実装]規格に同じ。	
9	igmpCacheStatus {igmpCacheEntry 7}	R/NW	[規格]RowStatus。 [実装]active(1) 固定。	
10	igmpCacheVersion1HostTimer {igmpCacheEntry 8}	R/O	[規格]ルータの IGMPv1 互換モードの残時間。[単位: 10 ミリ秒] [実装]規格に同じ。	

## 2.22 pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB) 【OP-MLT】

pimMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2934 (October 2000)

### 注意事項

本 MIB はマルチキャスト経路制御プロトコルとして PIM-SM を使用している場合だけ有効です。

### 2.22.1 pimJoinPruneInterval

#### (1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimJoinPruneInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.1
```

#### (2) 実装仕様

pimJoinPruneInterval の実装仕様を次の表に示します。

表 2-85 pimJoinPruneInterval の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimJoinPruneInterval {pim 1}	R/NW	[規格] PIM-SM Join/Prune メッセージ送信周期のデフォルト値。[単位: 秒] [実装] 60 固定。	

### 2.22.2 pimInterfaceTable

#### (1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimInterfaceTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.2
```

#### (2) 実装仕様

pimInterfaceTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-86 pimInterfaceTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimInterfaceTable {pim 2}	NA	[規格]PIM インタフェース表。 [実装]規格に同じ。	
2	pimInterfaceEntry {pimInterfaceTable 1}	NA	[規格]PIM インタフェース表のエントリ。 INDEX {pimInterfaceIfIndex} [実装]規格に同じ。	
3	pimInterfaceIfIndex {pimInterfaceEntry 1}	NA	[規格]PIM インタフェースの ifIndex 値。 [実装]規格に同じ。	
4	pimInterfaceAddress {pimInterfaceEntry 2}	R/O	[規格]PIM インタフェースの IP アドレス。 [実装]規格に同じ。	
5	pimInterfaceNetMask {pimInterfaceEntry 3}	R/O	[規格]PIM インタフェースの IP アドレスのネットワークマスク。 [実装]規格に同じ。	
6	pimInterfaceMode {pimInterfaceEntry 4}	R/NW	[規格]PIM インタフェースのモード。 {dense(1), sparse(2), sparseDense(3)} DEFVAL {dense} [実装]sparse(2) 固定。	
7	pimInterfaceDR {pimInterfaceEntry 5}	R/O	[規格]PIM インタフェースの Designated Router アドレス。ポイント - ポイント接続のインタフェースの場合は "0.0.0.0" を返す。 [実装]規格に同じ。	
8	pimInterfaceHelloInterval {pimInterfaceEntry 6}	R/NW	[規格]PIM インタフェースの Hello メッセージの送信周期。[単位：1 秒] DEFVAL {30} [実装]規格に同じ。	
9	pimInterfaceStatus {pimInterfaceEntry 7}	R/NW	[規格]RowStatus。 [実装]active(1) 固定。	
10	pimInterfaceJoinPruneInterval {pimInterfaceEntry 8}	R/NW	[規格]PIM インタフェースの Join/Prune メッセージの送信周期。[ 単位：1 秒] [実装]規格に同じ。	
11	pimInterfaceCBSRPreference {pimInterfaceEntry 9}	R/NW	[規格]BSR 候補としてのこのインタフェースのプリファレンス値。 BSR 候補でない場合は -1。 DEFVAL {0} [実装]-1 固定。	

### 2.22.3 pimNeighborTable

#### (1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1
pimNeighborTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.3
```

#### (2) 実装仕様

pimNeighborTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-87 pimNeighborTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimNeighborTable {pim 3}	NA	[規格]PIM 隣接ルータ表。 [実装] 規格に同じ。	
2	pimNeighborEntry {pimNeighborTable 1}	NA	[規格]PIM 隣接ルータ表エントリ。 INDEX {pimNeighborAddress} [実装] 規格に同じ。	
3	pimNeighborAddress {pimNeighborEntry 1}	NA	[規格]PIM 隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	pimNeighborIfIndex {pimNeighborEntry 2}	R/O	[規格]PIM 隣接ルータに至るインタフェースの ifIndex 値。 [実装] 規格に同じ。	
5	pimNeighborUpTime {pimNeighborEntry 3}	R/O	[規格]PIM 隣接ルータを学習してからの経過時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	
6	pimNeighborExpiryTime {pimNeighborEntry 4}	R/O	[規格]PIM 隣接ルータの生存残時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 規格に同じ。	
7	pimNeighborMode {pimNeighborEntry 5}	R/O	[規格]PIM 隣接ルータの PIM モード。 {dense(1), sparse(2)} [実装]sparse(2) 固定。	

## 2.22.4 pimIpMRouteTable

### (1) 識別子

```

pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimIpMRouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.4

```

### (2) 実装仕様

pimIpMRouteTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-88 pimIpMRouteTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimIpMRouteTable {pim 4}	NA	[規格]PIM 経路表。 [実装] 未実装。	×
2	pimIpMRouteEntry {pimIpMRouteTable 1}	NA	[規格]PIM 経路表エントリ INDEX {ipMRouteGroup, ipMRouteSource, ipMRouteSourceMask} [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	pimIpMRouteUpstreamAssertTimer {pimIpMRouteEntry 1}	R/O	[規格] 上流に対する Assert タイマの残時間。Assert タイマ未動作の場合は, 0。[単位: 10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
4	pimIpMRouteAssertMetric {pimIpMRouteEntry 2}	R/O	[規格] 上流からの Assert winner のメトリック値。Assert 状態でない場合は, 0。 [実装] 未実装。	×
5	pimIpMRouteAssertMetricPref {pimIpMRouteEntry 3}	R/O	[規格] 上流からの Assert winner のプリファレンス値。Assert 状態でない場合は, 0。 [実装] 未実装。	×
6	pimIpMRouteAssertRPBit {pimIpMRouteEntry 4}	R/O	[規格] 上流からの Assert winner の RPT ビットの値。Assert 状態でない場合は false(2)。 [実装] 未実装。	×
7	pimIpMRouteFlags {pimIpMRouteEntry 5}	R/O	[規格] RPT と SPT ビットの値。 {rpt(0), spt(1)} [実装] 未実装。	×

## 2.22.5 pimRPTable

### (1) 識別子

```

pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}

pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}

pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimRPTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.5

```

### (2) 実装仕様

pimRPTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-89 pimRPTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimRPTable {pim 5}	NA	[規格] PIM version1 用の RP 情報表。 [実装] 未実装。	×
2	pimRPEntry {pimRPTable 1}	NA	[規格] RP 情報表エントリ。 INDEX {pimRPGroupAddress, pimRPAddress} [実装] 未実装。	×
3	pimRPGroupAddress {pimRPEntry 1}	NA	[規格] RP が対象とするグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
4	pimRPAddress {pimRPEntry 2}	NA	[規格] RP の IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
5	pimRPState {pimRPEntry 3}	R/O	[規格] RP の状態。 {up(1), down(2)} [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	pimRPStateTimer {pimRPEntry 4}	R/O	[規格]RP 状態の変更までの残時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
7	pimRPLastChange {pimRPEntry 5}	R/O	[規格]RP 状態の最終更新からの経過時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
8	pimRPRowStatus {pimRPEntry 6}	R/C	[規格]RowStatus。 [実装] 未実装。	×

## 2.22.6 pimRPSetTable

### (1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1
pimRPSetTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.6
```

### (2) 実装仕様

pimRPSetTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-90 pimRPSetTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimRPSetTable {pim 6}	NA	[規格]RP 候補情報表。BSR の場合は PIM-Candidate-Advertisement メッセージからの情報、BSR 以外の場合は RP-set メッセージからの情報を出力する。 [実装] 未実装。	×
2	pimRPSetEntry {pimRPSetTable 1}	NA	[規格]RP 候補情報表エントリ。 INDEX {pimRPSetComponent, pimRPSetGroupAddress, pimRPSetGroupMask, pimRPSetAddress} [実装] 未実装。	×
3	pimRPSetGroupAddress {pimRPSetEntry 1}	NA	[規格]RP 候補が対象とするグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
4	pimRPSetGroupMask {pimRPSetEntry 2}	NA	[規格]RP 候補が対象とするグループアドレスのネットワークマスク。 [実装] 未実装。	×
5	pimRPSetAddress {pimRPSetEntry 3}	NA	[規格]RP 候補の IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
6	pimRPSetHoldTime {pimRPSetEntry 4}	R/O	[規格]RP 候補を学習してからの経過時間。BSR 以外の場合は、0。[単位：1 秒] [実装] 未実装。	×
7	pimRPSetExpiryTime {pimRPSetEntry 5}	R/O	[規格]RP 候補の生存残時間。BSR 以外の場合は、0。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	pimRPSetComponent {pimRPSetEntry 6}	NA	[規格] コンポーネントを一意に識別する番号。 [実装] 未実装。	×

## 2.22.7 pimIpMRouteNextHopTable

### (1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1
pimIpMRouteNextHopTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.7
```

### (2) 実装仕様

pimIpMRouteNextHopTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-91 pimIpMRouteNextHopTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimIpMRouteNextHopTable {pim 7}	NA	[規格] PIM 経路の NextHop (次送信先) 表 [実装] 未実装。	×
2	pimIpMRouteNextHopEntry {pimIpMRouteNextHopTable 1}	NA	[規格] PIM 経路の NextHop 表エントリ。 INDEX {ipMRouteNextHopGroup, ipMRouteNextHopSource, ipMRouteNextHopSourceMask, ipMRouteNextHopIfIndex, ipMRouteNextHopAddress} [実装] 未実装。	×
3	pimIpMRouteNextHopPruneReason {pimIpMRouteNextHopEntry 2}	R/O	[規格] 下流インタフェースが prune になった理由を表す。 {other(1), prune(2), assert(3)} [実装] 未実装。	×

## 2.22.8 pimCandidateRPTTable

### (1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1
pimCandidateRPTTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.11
```

## (2) 実装仕様

pimCandidateRPTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-92 pimCandidateRPTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimCandidateRPTable {pim 11}	NA	[規格]RP 候補のときに広告するグループ情報表。 [実装] 未実装。	×
2	pimCandidateRPEntry {pimCandidateRPTable 1}	NA	[規格] 広告するグループ情報表エントリ。 INDEX {pimCandidateRPGroupAddress, pimCandidateRPGroupMask} [実装] 未実装。	×
3	pimCandidateRPGroup Address {pimCandidateRPEntry 1}	NA	[規格] 広告するグループアドレス。 [実装] 未実装。	×
4	pimCandidateRPGroup Mask {pimCandidateRPEntry 2}	NA	[規格] 広告するグループアドレスのネットワークマスク。 [実装] 未実装。	×
5	pimCandidateRPAddres s {pimCandidateRPEntry 3}	R/C	[規格] 広告する RP の IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
6	pimCandidateRPRowSt atus {pimCandidateRPEntry 4}	R/C	[規格] RowStatus。 [実装] 未実装。	×

## 2.22.9 pimComponentTable

### (1) 識別子

```
pimMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}
pim OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1
pimComponentTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.12
```

### (2) 実装仕様

pimComponentTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-93 pimComponentTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimComponentTable {pim 12}	NA	[規格]PIM ドメインを特定するコンポーネント表。 [実装] 未実装。	×

項 番	オブジェクト識別子	ア ク セ ス	実装仕様	実 装 有 無
2	pimComponentEntry {pimComponentTable 1}	NA	[規格] コンポーネント表エントリ。 INDEX {pimComponentIndex} [実装] 未実装。	×
3	pimComponentIndex {pimComponentEntry 1}	NA	[規格] コンポーネントを一意に識別する番号。PIM ドメインが単独の場合は、1。 [実装] 未実装。	×
4	pimComponentBSRAdd ress {pimComponentEntry 2}	R/O	[規格] BSR の IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
5	pimComponentBSRExpi ryTime {pimComponentEntry 3}	R/O	[規格] BSR の生存残時間。[単位：10 ミリ秒] [実装] 未実装。	×
6	pimComponentCRPHol dTime {pimComponentEntry 4}	R/C	[規格] コンポーネントを学習してからの経過時間。自装置が RP 候補でない場合は、0。[単位：1 秒] DEFVAL {0} [実装] 未実装。	×
7	pimComponentStatus {pimComponentEntry 5}	R/C	[規格] RowStatus。 [実装] 未実装。	×

## 2.23 ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】

ospfv3MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- draft-ietf-ospf-ospfv3-mib-03.txt (November 2000))

### 2.23.1 ospfv3GeneralGroup

#### (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3      OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3GeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.1
```

#### (2) 実装仕様

ospfv3GeneralGroup の実装仕様を次の表に示します。

表 2-94 ospfv3GeneralGroup の実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	ア ク セ ス	実装仕様	実 装 有 無
1	ospfv3RouterId {ospfv3GeneralGroup 1}	R/NW	[規格] 自律システム内のルータ識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
2	ospfv3AdminStat {ospfv3GeneralGroup 2}	R/NW	[規格] ルータの OSPFv3 管理状態。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
3	ospfv3VersionNumber {ospfv3GeneralGroup 3}	R/O	[規格] OSPFv3 プロトコルのバージョン番号。 [実装] 規格に同じ (version3 固定)。	
4	ospfv3AreaBdrRtrStatu s {ospfv3GeneralGroup 4}	R/O	[規格] そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3ASBdrRtrStatus {ospfv3GeneralGroup 5}	R/NW	[規格] そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfv3AsScopeLsaCount {ospfv3GeneralGroup 6}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3AsScopeLsaCksu mSum {ospfv3GeneralGroup 7}	R/O	[規格] LSDB 中の AsScopeLSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3OriginateNewLsa s {ospfv3GeneralGroup 8}	R/O	[規格] 生成された新しい LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3RxNewLsas {ospfv3GeneralGroup 9}	R/O	[規格] 新しい情報を持った LSA を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ospfv3ExtAreaLsdbLimit {ospfv3GeneralGroup 10}	R/NW	[規格]LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。 [実装]-1 固定。ただし、Read_Only です。	
11	ospfv3MulticastExtensions {ospfv3GeneralGroup 11}	R/NW	[規格] マルチキャスト拡張版 OSPFv3 のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。 [実装] マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。ただし、Read_Only です。	
12	ospfv3ExitOverflowInterval {ospfv3GeneralGroup 12}	R/NW	[規格] ルータがオーバフローステータスになるまでの時間。[単位：秒] [実装] 未実装。	×
13	ospfv3DemandExtensions {ospfv3GeneralGroup 13}	R/NW	[規格] このルータでの Demand ルーティングのサポート。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。ただし、Read_Only です。	
14	ospfv3TrafficEngineeringSupport {ospfv3GeneralGroup 14}	R/NW	[規格] このルータでのトラフィックエンジニアリング拡張のサポート。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。ただし、Read_Only です。	

注 拡張機能未サポートのため、未実装です。

## 2.23.2 ospfv3AreaTable

### (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.2
```

### (2) 実装仕様

ospfv3AreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-95 ospfv3AreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaTable {ospfv3 2}	NA	[規格] ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3AreaEntry {ospfv3AreaTable 1}	NA	[規格] 各エリアの情報リスト。 INDEX {ospfv3AreaId} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3AreaId {ospfv3AreaEntry 1}	R/O	[規格] エリアを識別する番号。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ospfv3ImportAsExtern {ospfv3AreaEntry 2}	R/NW	[規格] そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 {importExternal (1), importNoExternal (2), importNssa (3)} [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
5	ospfv3SpfRuns {ospfv3AreaEntry 3}	R/O	[規格] このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3AreaBdrRtrCount {ospfv3AreaEntry 4}	R/O	[規格] このエリア内で到達できるエリアボーダルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3AsBdrRtrCount {ospfv3AreaEntry 5}	R/O	[規格] このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3AreaScopeLsaCount {ospfv3AreaEntry 6}	R/O	[規格] このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3AreaScopeLsaChecksumSum {ospfv3AreaEntry 7}	R/O	[規格] このエリアの LSDB 中の AreaScopeLSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3AreaSummary {ospfv3AreaEntry 8}	R/NW	[規格] エリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 {noAreaSummary(1), sendAreaSummary(2)} [実装] sendAreaSummary(2) 固定。ただし, Read_Only です。	
11	ospfv3AreaStatus {ospfv3AreaEntry 9}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし, Read_Only です。	
12	ospfv3StubMetric {ospfv3AreaEntry 10}	R/NW	[規格] Stub または NSSA エリアに広告するデフォルトルートメトリック値。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
13	ospfv3AreaNssaTranslatorRole {ospfv3AreaEntry 11}	R/NW	[規格] NSSA ボーダルータの NSSA トランスレータとしての役割。 [実装] 未実装。	×
14	ospfv3AreaNssaTranslatorState {ospfv3AreaEntry 12}	R/O	[規格] NSSA トランスレータの状態。 [実装] 未実装。	×
15	ospfv3AreaNssaTranslatorStabilityInterval {ospfv3AreaEntry 13}	R/NW	[規格] NSSA トランスレータの Stability Interval。 [実装] 未実装。	×
16	ospfv3AreaNssaTranslatorEvents {ospfv3AreaEntry 14}	R/O	[規格] NSSA トランスレータのイベント数。 [実装] 未実装。	×

注 NSSA 未サポートのため, 未実装です。

### 2.23.3 ospfv3AsLsdbTable

#### (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AsLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.3
```

## (2) 実装仕様

ospfv3AsLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-96 ospfv3AsLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AsLsdbTable {ospfv3 3}	NA	[規格]OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装]規格に同じ。	
2	ospfv3AsLsdbEntry {ospfv3AsLsdbTable 1}	NA	[規格]リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfv3AsLsdbType,ospfv3AsLsdbRouterId,ospfv3AsLsdbLsid} [実装]規格に同じ。	
3	ospfv3AsLsdbType {ospfv3AsLsdbEntry 1}	R/O	[規格]LSA のタイプ。 {asExternal(0x4005)} [実装]規格に同じ。	
4	ospfv3AsLsdbRouterId {ospfv3AsLsdbEntry 2}	R/O	[規格]LSA を生成したルータの ID。 [実装]規格に同じ。	
5	ospfv3AsLsdbLsid {ospfv3AsLsdbEntry 3}	R/O	[規格]個々の LSA を識別する ID。 [実装]規格に同じ。	
6	ospfv3AsLsdbSequence {ospfv3AsLsdbEntry 4}	R/O	[規格]LSA のシーケンス番号。 [実装]規格に同じ。	
7	ospfv3AsLsdbAge {ospfv3AsLsdbEntry 5}	R/O	[規格]この LSA が生成されてからの経過時間。[単位：秒] [実装]規格に同じ。	
8	ospfv3AsLsdbChecksum {ospfv3AsLsdbEntry 6}	R/O	[規格]この LSA のチェックサム。 [実装]規格に同じ。	
9	ospfv3AsLsdbAdvertise ment {ospfv3AsLsdbEntry 7}	R/O	[規格]ヘッダを含む LSA の全体。 [実装]規格に同じ。	

## 2.23.4 ospfv3AreaLsdbTable

## (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AreaLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.4
```

## (2) 実装仕様

ospfv3AreaLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-97 ospfv3AreaLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaLsdbTable {ospfv3 4}	NA	[規格]OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装]規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	ospfv3AreaLsdbEntry {ospfv3AreaLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfv3AreaLsdbAreaId, ospfv3AreaLsdbType, ospfv3AreaLsdbRouterId, ospfv3AreaLsdbLsid} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3AreaLsdbAreaId {ospfv3AreaLsdbEntry 1}	R/O	[規格] この LSA の受信元エリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3AreaLsdbType {ospfv3AreaLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 { ルータ (8193=0x2001), ネットワーク (8194=0x2002), interAreaPrefix(8195=0x2003), interAreaRouter(8196=0x2004), マルチキャスト (8198=0x2006), nssa 外部リンク (8199=0x2007), intraAreaPrefix(8201=0x2009)} [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3AreaLsdbRouterId {ospfv3AreaLsdbEntry 3}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3AreaLsdbLsid {ospfv3AreaLsdbEntry 4}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3AreaLsdbSequence {ospfv3AreaLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3AreaLsdbAge {ospfv3AreaLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3AreaLsdbChecksum {ospfv3AreaLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3AreaLsdbAdvertisement {ospfv3AreaLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.23.5 ospfv3LinkLsdbTable

### (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3LinkLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.5
```

### (2) 実装仕様

ospfv3LinkLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-98 ospfv3LinkLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3LinkLsdbTable {ospfv3 5}	NA	[規格] OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3LinkLsdbEntry {ospfv3LinkLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {ospfv3LinkLsdbIfIndex, ospfv3LinkLsdbType, ospfv3LinkLsdbRouterId, ospfv3LinkLsdbLsid} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3LinkLsdbIfIndex {ospfv3LinkLsdbEntry 1}	R/O	[規格] LSA を受信したリンクの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3LinkLsdbType {ospfv3LinkLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 {Link(0x0008)} [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3LinkLsdbRouterId {ospfv3LinkLsdbEntry 3}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3LinkLsdbLsid {ospfv3LinkLsdbEntry 4}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3LinkLsdbSequence {ospfv3LinkLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3LinkLsdbAge {ospfv3LinkLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3LinkLsdbChecksum {ospfv3LinkLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3LinkLsdbAdvertisement {ospfv3LinkLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.23.6 ospfv3IfTable

### (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.7
```

### (2) 実装仕様

ospfv3IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-99 ospfv3IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3IfTable {ospfv3 7}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3IfEntry {ospfv3IfTable 1}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX {ospfv3IfIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3IfIndex {ospfv3IfEntry 1}	R/O	[規格] この OSPFv3 インタフェースのインタフェース Index。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3IfAreaId {ospfv3IfEntry 2}	R/NW	[規格] このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	ospfv3IfType {ospfv3IfEntry 3}	R/NW	[規格] インタフェースタイプ。 {ブロードキャスト(1), ノンブロードキャスト(2), Point-Point(3), Point-Multipoint(5)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfv3IfAdminStat {ospfv3IfEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースの管理状態。 {enabled(1), disabled(2)} [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfv3IfRtrPriority {ospfv3IfEntry 5}	R/NW	[規格] このインタフェースのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfv3IfTransitDelay {ospfv3IfEntry 6}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
9	ospfv3IfRetransInterval {ospfv3IfEntry 7}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
10	ospfv3IfHelloInterval {ospfv3IfEntry 8}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
11	ospfv3IfRtrDeadInterval {ospfv3IfEntry 9}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
12	ospfv3IfPollInterval {ospfv3IfEntry 10}	R/NW	[規格] 非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
13	ospfv3IfState {ospfv3IfEntry 11}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 {down(1), loopback(2), waiting(3), PtoP(4), DR(5), BDR(6), other(7)} [実装] 規格に同じ。	
14	ospfv3IfDesignatedRouter {ospfv3IfEntry 12}	R/O	[規格] デジグネーテッドルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
15	ospfv3IfBackupDesignatedRouter {ospfv3IfEntry 14}	R/O	[規格] バックアップデジグネーテッドルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
16	ospfv3IfEvents {ospfv3IfEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
17	ospfv3IfStatus {ospfv3IfEntry 17}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	
18	ospfv3IfMulticastForwarding {ospfv3IfEntry 18}	R/NW	[規格] このインタフェースでマルチキャストする方法。 {blocked(1), multicast(2), unicast(3)} [実装] blocked(1) 固定。ただし、Read_Only です。	
19	ospfv3IfDemand {ospfv3IfEntry 19}	R/NW	[規格] このインタフェースで Demand OSPFv3 手順を行うかどうかを示します。 {true(1), false(2)} [実装] false(2) 固定。ただし、Read_Only です。	
20	ospfv3IfMetricValue {ospfv3IfEntry 20}	R/NW	[規格] このインタフェースのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
21	ospfv3IfLinkScopeLsaCount {ospfv3IfEntry 21}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	
22	ospfv3IfLinkLsaChecksum {ospfv3IfEntry 22}	R/O	[規格] LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	
23	ospfv3IfInstId {ospfv3IfEntry 23}	R/NW	[規格] この OSPFv3 インタフェースの InstanceID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

## 2.23.7 ospfv3VirtIfTable

### (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3VirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.8
```

### (2) 実装仕様

ospfv3VirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-100 ospfv3VirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3VirtIfTable {ospfv3 8}	NA	[規格] ルータが接続する仮想リンクのインタフェース情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3VirtIfEntry {ospfv3VirtIfTable 1}	NA	[規格] 各仮想リンクのインタフェース情報リスト。 INDEX {ospfv3VirtIfAreaId, ospfv3VirtIfNeighbor} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3VirtIfAreaId {ospfv3VirtIfEntry 1}	R/O	[規格] その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ospfv3VirtIfNeighbor {ospfv3VirtIfEntry 2}	R/O	[規格] 仮定の隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3VirtIfIndex {ospfv3VirtIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェースのインタフェース Index。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfv3VirtIfTransitDelay {ospfv3VirtIfEntry 4}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfv3VirtIfRetransInterval {ospfv3VirtIfEntry 5}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfv3VirtIfHelloInterval {ospfv3VirtIfEntry 6}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
9	ospfv3VirtIfRtrDeadInterval {ospfv3VirtIfEntry 7}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔。[単位：秒] [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
10	ospfv3VirtIfState {ospfv3VirtIfEntry 8}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 {down(1), PtoP(4)} [実装] 規格に同じ。	
11	ospfv3VirtIfEvents {ospfv3VirtIfEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
12	ospfv3VirtIfStatus {ospfv3VirtIfEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	
13	ospfv3VirtIfLinkScopeLsaCount {ospfv3VirtIfEntry 11}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	
14	ospfv3VirtIfLinkLsaChecksumSum {ospfv3VirtIfEntry 12}	R/O	[規格] LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.23.8 ospfv3NbrTable

### (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3NbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.9
```

### (2) 実装仕様

ospfv3NbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-101 ospfv3NbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3NbrTable {ospfv3 9}	NA	[規格] 仮定ではない隣接局の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	ospfv3NbrEntry {ospfv3NbrTable 1}	NA	[規格] 各隣接局の情報リスト。 INDEX {ospfv3NbrIfIndex, ospfv3NbrIpv6Addr} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3NbrIfIndex {ospfv3NbrEntry 1}	R/O	[規格] 隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3NbrIpv6Addr {ospfv3NbrEntry 2}	R/O	[規格] 隣接ルータの IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3NbrRtrId {ospfv3NbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3NbrOptions {ospfv3NbrEntry 4}	R/O	[規格] 隣接ルータのオプションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3NbrPriority {ospfv3NbrEntry 5}	R/NW	[規格] 隣接ルータのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfv3NbrState {ospfv3NbrEntry 6}	R/O	[規格] この隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)} [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3NbrEvents {ospfv3NbrEntry 7}	R/O	[規格] 隣接ルータとの関係で、状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3NbrLsRetransQLen {ospfv3NbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfv3NbmaNbrStatus {ospfv3NbrEntry 9}	R/NW	[規格] このエントリの有効 / 無効を示します。 [実装] 未実装。	×
12	ospfv3NbmaNbrPermanence {ospfv3NbrEntry 10}	R/O	[規格] 隣接ルータを認識した方法。 {dynamic(1) permanent(2)} [実装] 未実装。	×
13	ospfv3NbrHelloSuppressed {ospfv3NbrEntry 11}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 規格に同じ。	
14	ospfv3NbrIfId {ospfv3NbrEntry 12}	R/O	[規格] 隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している Interface ID。 [実装] 規格に同じ。	

注 NBMA 未サポートのため、未実装です。

## 2.23.9 ospfv3VirtNbrTable

### (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3    OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```

```
ospfv3VirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.10
```

## (2) 実装仕様

ospfv3VirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-102 ospfv3VirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3VirtNbrTable {ospfv3 10}	NA	[規格] 仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3VirtNbrEntry {ospfv3VirtNbrTable 1}	NA	[規格] 各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX {ospfv3VirtNbrArea, ospfv3VirtNbrRtrId} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3VirtNbrArea {ospfv3VirtNbrEntry 1}	R/O	[規格] 通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3VirtNbrRtrId {ospfv3VirtNbrEntry 2}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3VirtNbrIfIndex {ospfv3VirtNbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3VirtNbrIpv6Addr {ospfv3VirtNbrEntry 4}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータの IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3VirtNbrOptions {ospfv3VirtNbrEntry 5}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのオプションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3VirtNbrState {ospfv3VirtNbrEntry 6}	R/O	[規格] この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)} [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3VirtNbrEvents {ospfv3VirtNbrEntry 7}	R/O	[規格] この仮想リンクの状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3VirtNbrLsRetransQLen {ospfv3VirtNbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfv3VirtNbrHelloSuppressed {ospfv3VirtNbrEntry 9}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 規格に同じ。	
12	ospfv3VirtNbrIfId {ospfv3VirtNbrEntry 10}	R/O	[規格] 隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している InterfaceID。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.23.10 ospfv3AreaAggregateTable

### (1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```

ospfv3AreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 11}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.11

## (2) 実装仕様

ospfv3AreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-103 ospfv3AreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaAggregateTable {ospfv3 11}	NA	[規格]Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブル。 [実装]規格に同じ。	
2	ospfv3AreaAggregateEntry {ospfv3AreaAggregateTable 1}	NA	[規格]Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のリスト。 INDEX {ospfv3AreaAggregateAreaID, ospfv3AreaAggregateAreaLsdbType, ospfv3AreaAggregateIndex} [実装]規格に同じ。	
3	ospfv3AreaAggregateAreaID {ospfv3AreaAggregateEntry 1}	R/O	[規格]アドレス集約したエリア。 [実装]規格に同じ。	
4	ospfv3AreaAggregateAreaLsdbType {ospfv3AreaAggregateEntry 2}	R/O	[規格]アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 {interAreaPrefixLsa(0x2003), nssaExternalLsa(0x2007)} [実装]規格に同じ。	
5	ospfv3AreaAggregateIndex {ospfv3AreaAggregateEntry 3}	R/O	[規格]アグリゲートテーブルの識別子。 [実装]規格に同じ。	
6	ospfv3AreaAggregatePrefix {ospfv3AreaAggregateEntry 4}	R/NW	[規格]IPv6 Prefix。 [実装]規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfv3AreaAggregatePrefixLen {ospfv3AreaAggregateEntry 5}	R/NW	[規格]IPv6 Prefix 長。 [実装]規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfv3AreaAggregateStatus {ospfv3AreaAggregateEntry 6}	R/NW	[規格]このエントリのステータスを示します。 [実装]active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	
9	ospfv3AreaAggregateEffect {ospfv3AreaAggregateEntry 7}	R/NW	[規格]範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 {advertiseMatching(1), doNotAdvertiseMatching(2)} [実装]規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

## 2.24 IEEE8023-LAG-MIB グループ

IEEE8023-LAG-MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- IEEE8023-LAG-MIB.txt

### 2.24.1 dot3adAgg グループ

#### (1) 識別子

```
member-body OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 2 }
us OBJECT IDENTIFIER ::= { member-body 840 }
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= { us 10006 }
snmpmibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot3 300 }
lagMIB OBJECT IDENTIFIER ::= { snmpmibs 43 }
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIB 1 }

dot3adAgg OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIBObjects 1 }
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.1
```

#### (2) 実装仕様

dot3adAgg グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-104 dot3adAgg グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adAggTable {dot3adAgg 1}	NA	[ 規格 ] このシステムで Aggregator に関するテーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
2	dot3adAggEntry {dot3adAggTable 1}	NA	[ 規格 ] Aggregator パラメータのリスト。 INDEX {ifIndex} [ 実装 ] 規格に同じ。	
3	dot3adAggIndex {dot3adAggEntry 1}	NA	[ 規格 ] このインタフェースを識別するための番号。 [ 実装 ] 規格と同じ。	
4	dot3adAggMACAddress {dot3adAggEntry 2}	R/O	[ 規格 ] Aggregator に割り当てられた MAC アドレス。 [ 実装 ] 規格と同じ。	
5	dot3adAggActorSystem Priority {dot3adAggEntry 3}	R/NW	[ 規格 ] Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。 [ 実装 ] 規格と同じ。	
6	dot3adAggActorSystem ID {dot3adAggEntry 4}	R/NW	[ 規格 ] システムに対してユニークな識別子。 [ 実装 ] 規格と同じ。	
7	dot3adAggAggregateOr Individual {dot3adAggEntry 5}	R/O	[ 規格 ] Aggregator が Link Aggregation を行っているか、個々のリンクとして取り扱っているかを示す。 [ 実装 ] 規格と同じ。	
8	dot3adAggActorAdmin Key {dot3adAggEntry 6}	R/O	[ 規格 ] Aggregator に対する現在の管理上の Key の値。 [ 実装 ] 規格と同じ。	
9	dot3adAggActorOperKe y {dot3adAggEntry 7}	R/O	[ 規格 ] Aggregator に対する現在の操作上の Key の値。 [ 実装 ] 規格と同じ。	
10	dot3adAggPartnerSyste mID {dot3adAggEntry 8}	R/O	[ 規格 ] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対するユニークな識別子であり、MAC アドレス。 [ 実装 ] 規格と同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	dot3adAggPartnerSystemPriority {dot3adAggEntry 9}	R/O	[規格] パートナーのシステム ID に関連したプライオリティ値が示されます。 [実装] 規格と同じ。	
12	dot3adAggPartnerOperKey {dot3adAggEntry 10}	R/O	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する操作上のキーの値です。 [実装] 規格と同じ。	
13	dot3adAggCollectorMaxDelay {dot3adAggEntry 11}	R/NW	[規格] FrameCollector によって、受信されたフレームが AggregatorParser から MACClient に届けられるか、フレームが破棄されるまでの最大遅延時間。[単位：10 マイクロ秒] [実装] 規格と同じ。	
14	dot3adAggPortListTable {dot3adAgg 2}	NA	[規格] Aggregator に接続されている AggregationPort のリスト。 [実装] 規格と同じ。	
15	dot3adAggPortListEntry {dot3adAggPortListTable 1}	NA	[規格] Aggregator に関連したポートのリスト。 [実装] 規格と同じ。	
16	dot3adAggPortListPorts {dot3adAggPortListEntry 1}	R/O	[規格] Aggregator に関連したポートの全集合である。 [実装] 規格と同じ。	

## 2.24.2 dot3adAggPort グループ

### (1) 識別子

```

member-body    OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 2 }
us              OBJECT IDENTIFIER ::= { member-body 840 }
ieee802dot3    OBJECT IDENTIFIER ::= { us 10006 }
snmpmibs       OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot3 300 }
lagMIB         OBJECT IDENTIFIER ::= { snmpmibs 43 }
lagMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIB 1 }

```

```

dot3adAggPort OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIBObjects 2 }
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.2

```

### (2) 実装仕様

dot3adAggPort グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-105 dot3adAggPort グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adAggPortTable {dot3adAggPort 1}	NA	[規格] すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 設定情報。 [実装] 規格に同じ	
2	dot3adAggPortEntry {dot3adAggPortTable 1}	NA	[規格] 各 AggregationPort に対する Link Aggregation Control 設定パラメータのリスト。 [実装] 規格に同じ。	
3	dot3adAggPortIndex {dot3adAggPortEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースを識別するための番号。 [実装] 規格と同じ。	
4	dot3adAggPortActorSystemPriority {dot3adAggPortEntry 2}	R/NW	[規格] Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。 [実装] 規格と同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	dot3adAggPortActorSystemID {dot3adAggPortEntry 3}	R/O	[規格]AggregationPort を持つシステムに対するシステム ID の値を決める MAC アドレス。 [実装] 規格と同じ。	
6	dot3adAggPortActorAdminKey {dot3adAggPortEntry 4}	R/NW	[規格]AggregationPort に対する管理上のキー。 [実装] 規格と同じ。	
7	dot3adAggPortActorOperKey {dot3adAggPortEntry 5}	R/O	[規格]AggregationPort に対する操作上のキーの値。 [実装] 規格と同じ。	
8	dot3adAggPortPartnerAdminSystemPriority {dot3adAggPortEntry 6}	R/NW	[規格]Partner のシステム ID に関連した管理上のプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	
9	dot3adAggPortPartnerOperSystemPriority {dot3adAggPortEntry 7}	R/O	[規格]Partner のシステム ID に関連した操作上のプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	
10	dot3adAggPortPartnerAdminSystemID {dot3adAggPortEntry 8}	R/NW	[規格]AggregationPort のプロトコルパートナーのシステム ID の管理上の値。 [実装]00 00 00 00 00 00 固定。	
11	dot3adAggPortPartnerOperSystemID {dot3adAggPortEntry 9}	R/O	[規格]プロトコルパートナーに対する管理上のキーの値。 [実装] 規格と同じ。	
12	dot3adAggPortPartnerAdminKey {dot3adAggPortEntry 10}	R/NW	[規格]Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する管理上のキーの値である。 [実装]0 固定。	
13	dot3adAggPortPartnerOperKey {dot3adAggPortEntry 11}	R/O	[規格]プロトコルパートナーに対する操作上のキーの値。 [実装] 規格と同じ。	
14	dot3adAggPortSelectedAggID {dot3adAggPortEntry 12}	R/O	[規格]AggregationPort の Aggregator の識別子の値。 [実装] 規格と同じ。	
15	dot3adAggPortAttachedAggID {dot3adAggPortEntry 13}	R/O	[規格]AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の識別子の値。 [実装] 規格と同じ。	
16	dot3adAggPortActorPort {dot3adAggPortEntry 14}	R/O	[規格]AggregationPort に割り当てられたポート番号。 [実装] 規格と同じ。	
17	dot3adAggPortActorPortPriority {dot3adAggPortEntry 15}	R/NW	[規格]AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	
18	dot3adAggPortPartnerAdminPort {dot3adAggPortEntry 16}	R/NW	[規格]AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の識別子の値。 [実装]0 固定。	
19	dot3adAggPortPartnerOperPort {dot3adAggPortEntry 17}	R/O	[規格]AggregationPort のプロトコルパートナーによって AggregationPort に割り当てられた操作上のポート番号。 [実装] 規格と同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	dot3adAggPortPartnerAdminPortPriority {dot3adAggPortEntry 18}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上のポートプライオリティの値。 [実装] 0 固定。	
21	dot3adAggPortPartnerOperPortPriority {dot3adAggPortEntry 19}	R/O	[規格] パートナーによって AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格と同じ。	
22	dot3adAggPortActorAdminState {dot3adAggPortEntry 20}	R/NW	[規格] Actor によって LACPDU で送信された管理上の Actor_State の値。 [実装] 規格と同じ。マネージャによって文字として表示されます。	
23	dot3adAggPortActorOperState {dot3adAggPortEntry 21}	R/O	[規格] Actor によって LACPDU で送信された操作上の Actor_State の値。 [実装] 規格と同じ。マネージャによって文字として表示されます。	
24	dot3adAggPortPartnerAdminState {dot3adAggPortEntry 22}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上の Actor_State の値。 [実装] (01000100)2 固定。マネージャによって文字として表示されます。	
25	dot3adAggPortPartnerOperState {dot3adAggPortEntry 23}	R/O	[規格] プロトコルパートナーによって最も最近 LACPDU で送信された Actor_State の値。 [実装] 規格と同じ。マネージャによって文字として表示されます。	
26	dot3adAggPortAggregateOrIndividual {dot3adAggPortEntry 24}	R/O	[規格] AggregationPort が Aggregate 可能であるか、個々のリンクとしてしか操作できないかを示します。 [実装] 規格と同じ。	
27	dot3adAggPortStatsTable {dot3adAggPort 2}	NA	[規格] すべてのポートに関する Link Aggregation の情報を持つテーブル。 [実装] 規格と同じ。	
28	dot3adAggPortStatsEntry {dot3adAggPortStatsTable 1}	NA	[規格] 各ポートに対する Link Aggregation 制御プロトコルの統計データのリスト。 [実装] 規格と同じ。	
29	dot3adAggPortStatsLACPDU Rx {dot3adAggPortStatsEntry 1}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な LACPDU の数。 [実装] 規格と同じ。	
30	dot3adAggPortStatsMarkerPDU Rx {dot3adAggPortStatsEntry 2}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerPDU の数。 [実装] 規格と同じ。	
31	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDU Rx {dot3adAggPortStatsEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerResponsePDU の数。 [実装] 規格と同じ。	
32	dot3adAggPortStatsUnknownRx {dot3adAggPortStatsEntry 4}	R/O	[規格] Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが、未知の PDU が含まれているフレームか、または、Slow Protocols の group MAC Address(01-80-C2-00-00-02) 宛てだが、Slow Protocols のイーサネットタイプで運ばれていないフレームのどちらかを受信したフレーム数。 [実装] 規格と同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
33	dot3adAggPortStatsIllegalRx {dot3adAggPortStatsEntry 5}	R/O	[規格] Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが、不当な形式の PDU を含んでいるか、または、違法な Protocol Subtype の値を含んだフレームの受信フレーム数。 [実装] 規格と同じ。	
34	dot3adAggPortStatsLACPDUstx {dot3adAggPortStatsEntry 6}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された LACPDU の数。 [実装] 規格と同じ。	
35	dot3adAggPortStatsMarkerPDUTx {dot3adAggPortStatsEntry 7}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された MarkerPDUs の数。 [実装] 0 固定。	
36	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDUTx {dot3adAggPortStatsEntry 8}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された MarkerResponsePDUs の数。 [実装] 規格と同じ。	
37	dot3adAggPortDebugTable {dot3adAggPort 3}	NA	[規格] すべてのポートに関するリンクアグリゲーションのデバッグ情報を含んだテーブル。 [実装] 規格と同じ。	
38	dot3adAggPortDebugEntry {dot3adAggPortDebugTable 1}	NA	[規格] ポートに対するデバッグパラメータのリスト。 [実装] 規格と同じ。	
39	dot3adAggPortDebugRxState {dot3adAggPortDebugEntry 1}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Receive ステートマシンの状態。 {currentRx(1), expired(2), defaulted(3), initialize(4), lcpDisabled(5), portDisabled(6)} [実装] 規格と同じ。	
40	dot3adAggPortDebugLastRxTime {dot3adAggPortDebugEntry 2}	R/O	[規格] 最後に AggregationPort が LACPDSU を受信したときの aTimeSinceSystemReset の値。 [実装] 規格と同じ。	
41	dot3adAggPortDebugMuxState {dot3adAggPortDebugEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Mux ステートマシンの状態。 {detached(1), waiting(2), attached(3), collecting(4), distributing(5), collectingDistributing(6)} [実装] 規格と同じ。	
42	dot3adAggPortDebugMuxReason {dot3adAggPortDebugEntry 4}	R/O	[規格] 最も最近 Mux ステートマシンの状態が変更された理由。 [実装] 規格と同じ。	
43	dot3adAggPortDebugActorChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 5}	R/O	[規格] AggregationPort に対する ActorChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装] 規格と同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
44	dot3adAggPortDebugPartnerChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 6}	R/O	[規格] AggregationPort に対する PartnerChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装] 規格と同じ。	
45	dot3adAggPortDebugActorChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 7}	R/O	[規格] ActorChurn ステートマシンが ACTOR_CHURN の状態になった回数。 [実装] 規格と同じ。	
46	dot3adAggPortDebugPartnerChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 8}	R/O	[規格] PartnerChurn ステートマシンが PARTNER_CHURN 状態になった回数。 [実装] 規格と同じ。	
47	dot3adAggPortDebugActorSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 9}	R/O	[規格] Actor の Mux 状態マシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装] 規格と同じ。	
48	dot3adAggPortDebugPartnerSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 10}	R/O	[規格] Partner の Mux ステートマシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装] 規格と同じ。	
49	dot3adAggPortDebugActorChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 11}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Actor の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装] 規格と同じ。	
50	dot3adAggPortDebugPartnerChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 12}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Partner の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装] 規格と同じ。	

### 2.24.3 dot3adTablesLastChanged グループ

#### (1) 識別子

```

member-body    OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 2 }
us              OBJECT IDENTIFIER ::= { member-body 840 }
ieee802dot3    OBJECT IDENTIFIER ::= { us 10006 }
snmpmibs       OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot3 300 }
lagMIB         OBJECT IDENTIFIER ::= { snmpmibs 43 }
lagMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIB 1 }

dot3adTablesLastChanged OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIBObjects 3 }
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.3

```

#### (2) 実装仕様

dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-106 dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adTablesLastChanged {lagMIBObjects 3}	R/O	[規格] dot3adAggTable, dot3adAggPortListTable, または dot3adAggPortTable に変化が起きた最近の時間。 [実装] 規格と同じ。	

## 2.25 802.1X MIB グループ

### (1) 識別子

```

std                OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 0 }
iso8802            OBJECT IDENTIFIER ::= { std 8802 }
ieee802dot1       OBJECT IDENTIFIER ::= { iso8802 1 }
ieee802dot1mibs   OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021paeMIB    OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 1 }
paeMIBObjects     OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021paeMIB 1 }

dot1xPaeSystem    OBJECT IDENTIFIER ::= { paeMIBObjects 1 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.1

dot1xPaeAuthenticator OBJECT IDENTIFIER ::= { paeMIBObjects 2 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.2

dot1xPaeSupplicant OBJECT IDENTIFIER ::= { paeMIBObjects 3 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.3

dot1xPaeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021paeMIB 2 }
dot1xPaeGroups      OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1xPaeConformance 1 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.2.1

dot1xPaeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1xPaeConformance 2 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.2.2

```

### (2) 実装仕様

802.1X MIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-107 802.1X MIB グループの実装仕様

項 番	オブジェクト識別子	ア ク セ ス	実装仕様	実 装 有 無
1	dot1xPaeSystemAuthCo ntrol {dot1xPaeSystem 1}	R/NW	[ 規格 ] 装置全体における PAE(Port Access Entity) の管理上の enable/ disabled 状態。 INTEGER {enabled(1),disabled(2)} [ 実装 ] 規格と同様。	
2	dot1xPaePortTable {dot1xPaeSystem 2}	NA	[ 規格 ] 各 PAE ポートに対するシステムレベルの情報のテーブル。 [ 実装 ] 規格と同様。	
3	dot1xPaePortEntry {dot1xPaePortTable 1}	NA	[ 規格 ] ポートごとの情報のリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [ 実装 ] 規格と同様。	
4	dot1xPaePortNumber {dot1xPaePortEntry 1}	NA	[ 規格 ] PAE ポート番号。テーブルを識別するインデックスとして使用 される。 [ 実装 ] 規格と同様。 以下に示すインタフェースに付加された ifIndex。 • Ethernet 物理ポート • VLAN グループ • リンクアグリゲーショングループ	
5	dot1xPaePortProtocolVe rsion {dot1xPaePortEntry 2}	R/O	[ 規格 ] プロトコルバージョン。 [ 実装 ] 0x01 固定。	
6	dot1xPaePortCapabiliti es {dot1xPaePortEntry 3}	R/O	[ 規格 ] ポートがサポートしている PAE 機能。 BITS{dot1xPaePortAuthCapable(0), dot1xPaePortSuppCapable(1)} [ 実装 ] dot1xPaePortAuthCapable(0) 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	dot1xPaePortInitialize {dot1xPaePortEntry 4}	R/NW	[規格] ポートに対する初期化制御。この属性が "TRUE" になるとポートが初期化され、初期化が完了すると属性は "FALSE" に戻る。 [実装] 規格と同様。	
8	dot1xPaePortReauthenticate {dot1xPaePortEntry 5}	R/NW	[規格] ポートに対する再認証制御。この属性を "TRUE" にするとポートに対する Authenticator PAE ステートマシンが Supplicant を再認証する。この属性を "FALSE" にすると何の効果もない。この属性は読み込まれる時にいつでも "FALSE" に戻る。 [実装] 規格と同様。	
9	dot1xAuthConfigTable {dot1xPaeAuthenticator 1}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対する構成オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格と同様。	
10	dot1xAuthConfigEntry {dot1xAuthConfigTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する構成情報のリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 規格と同様。	
11	dot1xAuthPaeState {dot1xAuthConfigEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンの現在値。 {initialize(1), disconnected(2), connecting(3), authenticating(4), authenticated(5), aborting(6), held(7), forceAuth(8), forceUnauth(9)} [実装] 規格と同様。	
12	dot1xAuthBackendAuthState {dot1xAuthConfigEntry 2}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンの現在値。 {request(1), response(2), success(3), fail(4), timeout(5), idle(6), initialize(7)} [実装] 規格と同様。	
13	dot1xAuthAdminControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 3}	R/NW	[規格] ポートに対する管理上制御された方向パラメータの現在値。 [実装] both(0) 固定。	
14	dot1xAuthOperControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 4}	R/O	[規格] ポートに対する操作上制御された方向パラメータの現在値。 [実装] both(0) 固定。	
15	dot1xAuthAuthControlledPortStatus {dot1xAuthConfigEntry 5}	R/O	[規格] ポートに対する制御ポートの状態パラメータの現在値。 [実装] 規格と同様。	
16	dot1xAuthAuthControlledPortControl {dot1xAuthConfigEntry 6}	R/NW	[規格] ポートに対する制御ポートの制御パラメータの現在値。 [実装] 規格と同様。	
17	dot1xAuthQuietPeriod {dot1xAuthConfigEntry 7}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 quietPeriod の値 (秒単位)。 DEFVAL{60} [実装] 規格と同様。(0..65535)	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	dot1xAuthTxPeriod {dot1xAuthConfigEntry 8}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 txPeriod の値 (秒単位)。 DEFVAL{30} [実装] 規格と同様。(1..65535)	
19	dot1xAuthSuppTimeout {dot1xAuthConfigEntry 9}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 suppTimeout の値 (秒単位)。 DEFVAL{30} [実装] 規格と同様。(1..65535)	
20	dot1xAuthServerTimeout {dot1xAuthConfigEntry 10}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 serverTimeout の値 (秒単位)。 DEFVAL{30} [実装] 規格と同様。	
21	dot1xAuthMaxReq {dot1xAuthConfigEntry 11}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 maxReq の値。 DEFVAL{2} [実装] 規格と同様。(1..10)	
22	dot1xAuthReAuthPeriod {dot1xAuthConfigEntry 12}	R/NW	[規格] 再認証タイマーステートマシンが用いる現在の定数値 reAuthperiod の値 (秒単位)。 DEFVAL{3600} [実装] (0 または 1..65535) デフォルト: (3600) (0) の場合 本装置から自立的に再認証の EAPOL-Request/Identity を送出しない。	
23	dot1xAuthReAuthEnabled {dot1xAuthConfigEntry 13}	R/NW	[規格] 再認証タイマーステートマシンが使用する enable/disable 制御。 DEFVAL{false(2)} [実装] 規格と同様。	
24	dot1xAuthKeyTxEnabled {dot1xAuthConfigEntry 14}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる定数値 keyTransmissionEnabled の現在値。 [実装] false(2) 固定。	
25	dot1xAuthStatsTable {dot1xPaeAuthenticator 2}	NA	[規格] 各ポートに関連付けられた Authenticator PAE の統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格と同様。	
26	dot1xAuthStatsEntry {dot1xAuthStatsTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する統計情報。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 規格と同様。	
27	dot1xAuthEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator が受信したすべての有効なタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 規格と同様。	
28	dot1xAuthEapolFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 2}	R/O	[規格] Authenticator が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 規格と同様。	
29	dot1xAuthEapolStartFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 3}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL Start フレーム数。 [実装] 規格と同様。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
30	dot1xAuthEapolLogoffFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 4}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL Logoff フレーム数。 [実装] 規格と同様。	
31	dot1xAuthEapolRespIdFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 5}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム数。 [実装] 規格と同様。	
32	dot1xAuthEapolRespFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 6}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム以外の有効な EAP Response フレーム数。 [実装] 規格と同様。	
33	dot1xAuthEapolReqIdFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 7}	R/O	[規格] Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム数。 [実装] 規格と同様。	
34	dot1xAuthEapolReqFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 8}	R/O	[規格] Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム以外の EAP Request フレーム数。 [実装] 規格と同様。	
35	dot1xAuthInvalidEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 9}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL フレームの中でフレームタイプが承認されなかったフレーム数。 [実装] 規格と同様。	
36	dot1xAuthEapLengthErrorFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 10}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL フレームの中で Packet Body Length が無効なフレーム数。 [実装] 規格と同様。	
37	dot1xAuthLastEapolFrameVersion {dot1xAuthStatsEntry 11}	R/O	[規格] Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコルバージョン番号。 [実装] 規格と同様。	
38	dot1xAuthLastEapolFrameSource {dot1xAuthStatsEntry 12}	R/O	[規格] Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MACAddress。 [実装] 規格と同様。	
39	dot1xAuthDiagTable {dot1xPaeAuthenticator 3}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対する診断オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格と同様。	
40	dot1xAuthDiagEntry {dot1xAuthDiagTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する診断情報のリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 規格と同様。	
41	dot1xAuthEntersConnecting {dot1xAuthDiagEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが他の状態から CONNECTING 状態に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
42	dot1xAuthEapLogoffsWhileConnecting {dot1xAuthDiagEntry 2}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時、EAPOL Logoff メッセージを受信した結果、DISCONNECTED に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
43	dot1xAuthEntersAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 3}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時、EAP Response/Identity メッセージを Supplicant から受信した結果、AUTHENTICATING に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
44	dot1xAuthAuthSuccessWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 4}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、バックエンド認証ステートマシンが Suppliant の認証成功を示した結果 (authSuccess = TRUE), AUTHENTICATED に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
45	dot1xAuthAuthTimeoutsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 5}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、バックエンド認証ステートマシンが認証タイムアウトを示した結果 (authTimeout = TRUE), ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
46	dot1xAuthAuthFailWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 6}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、バックエンド認証ステートマシンが認証失敗を示した結果 (authFail = TRUE), HELD に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
47	dot1xAuthAuthReauthsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 7}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、再認証要求の結果 (reAuthenticate = TRUE), ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
48	dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 8}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、EAPOL Start メッセージを Suppliant から受信した結果、ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
49	dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 9}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、EAPOL Logoff メッセージを Suppliant から受信した結果、ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
50	dot1xAuthAuthReauthsWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 10}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時、再認証要求の結果 (reAuthenticate = TRUE), CONNECTING に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
51	dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 11}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時、Suppliant から受信した EAPOL Start メッセージの結果、CONNECTING に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
52	dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 12}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時、Suppliant から受信した EAPOL Logoff メッセージの結果、DISCONNECTED に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
53	dot1xAuthBackendResponses {dot1xAuthDiagEntry 13}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが最初の Access Request パケットを認証サーバに送信した回数 (すなわち、RESPONSE 状態で sendRespToServer を実行する)。 [実装] 規格と同様。	
54	dot1xAuthBackendAccessChallenges {dot1xAuthDiagEntry 14}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから最初の Access Challenge パケットを受信した回数 (すなわち、aReq は "TRUE" となり、RESPONSE 状態を終了する原因となる)。 [実装] 規格と同様。	
55	dot1xAuthBackendOtherRequestsToSuppliant {dot1xAuthDiagEntry 15}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが Suppliant に EAP Request (Identity, Notification, Failure または Success メッセージ以外) を送信した回数 (すなわち、REQUEST 状態で txReq を実行する)。このことは Authenticator が EAP method を選択することを示唆している。 [実装] 規格と同様。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
56	dot1xAuthBackendNon NakResponsesFromSup plicant {dot1xAuthDiagEntry 16}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが Supplicant から最初の EAP Request に対する応答や、EAP NAK 以外の何らかの応答を受け取った回数（すなわち rxResp は "TRUE" となり、バックエンド認証ステートマシンが REQUEST から RESPONSE に移行する。応答は EAP NAK ではない）。このことは Supplicant が Authenticator の選んだ EAP method に応答することができることを示唆している。 [実装] 規格と同様。	
57	dot1xAuthBackendAuth Successes {dot1xAuthDiagEntry 17}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Success メッセージを受信した回数（すなわち、aSuccess が "TRUE" となり、バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から SUCCESS に移行する）。このことは Supplicant が認証サーバに認証されたことを示唆する。 [実装] 規格と同様。	
58	dot1xAuthBackendAuth Fails {dot1xAuthDiagEntry 18}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Failure メッセージを受信した回数（すなわち、aFail は "TRUE" となり、バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から FAIL に移行する）。このことは Supplicant が認証サーバに認証されなかったことを示唆する。 [実装] 規格と同様。	
59	dot1xAuthSessionStats Table {dot1xPaeAuthenticator 4}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対するセッション統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格と同様。	
60	dot1xAuthSessionStats Entry {dot1xAuthSessionStats Table 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対するセッション統計情報のリスト。現在継続中の各セッションで集計した値、または現在アクティブでない各ポートでの最後の有効なセッションに対する最終的な値を見ることができる。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 規格と同様。	
61	dot1xAuthSessionOctet sRx {dot1xAuthSessionStats Entry 1}	R/O	[規格] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレームのオクテット数。 [実装] 0 固定。	
62	dot1xAuthSessionOctet sTx {dot1xAuthSessionStats Entry 2}	R/O	[規格] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレームのオクテット数。 [実装] 0 固定。	
63	dot1xAuthSessionFram esRx {dot1xAuthSessionStats Entry 3}	R/O	[規格] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレーム数。 [実装] 0 固定。	
64	dot1xAuthSessionFram esTx {dot1xAuthSessionStats Entry 4}	R/O	[規格] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレーム数。 [実装] 0 固定。	
65	dot1xAuthSessionId {dot1xAuthSessionStats Entry 5}	R/O	[規格] セッションに対するユニークな識別子。3 文字以上の表示可能な ASCII 文字列の形式。 [実装] 規格と同様。	
66	dot1xAuthSessionAuthe nticMethod {dot1xAuthSessionStats Entry 6}	R/O	[規格] セッションを確立するのに用いられる認証方式。 INTEGER {remoteAuthServer(1), localAuthServer(2)} [実装] 規格と同様。remoteAuthServer(1) 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
67	dot1xAuthSessionTime {dot1xAuthSessionStats Entry 7}	R/O	[ 規格 ] セッションの持続期間 ( 秒単位 ) 。 [ 実装 ] 規格と同様。	
68	dot1xAuthSessionTerminateCause {dot1xAuthSessionStats Entry 8}	R/O	[ 規格 ] セッション終了の理由。 {supplicantLogoff(1), portFailure(2), supplicantRestart(3), reauthFailed(4), authControlForceUnauth(5), portReInit(6), portAdminDisabled(7), notTerminatedYet(999)} [ 実装 ] 規格と同様。	
69	dot1xAuthSessionUserName {dot1xAuthSessionStats Entry 9}	R/O	[ 規格 ] Supplicant PAE を識別するユーザ名。 [ 実装 ] 未実装。	
70	dot1xSuppConfigTable {dot1xPaeSupplicant 1}	NA	[ 規格 ] 各ポートの Supplicant PAE に対する構成オブジェクトテーブル。リモートシステムよりアクセスした場合、認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [ 実装 ] 未実装。	×
71	dot1xSuppConfigEntry {dot1xSuppConfigTable 1}	NA	[ 規格 ] Supplicant PAE に対する構成情報のリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [ 実装 ] 未実装。	×
72	dot1xSuppPaeState {dot1xSuppConfigEntry 1}	R/O	[ 規格 ] Supplicant PAE ステートマシンの現在の状態。 {disconnected(1), logoff(2), connecting(3), authenticating(4), authenticated(5), acquired(6), held(7)} [ 実装 ] 未実装。	×
73	dot1xSuppHeldPeriod {dot1xSuppConfigEntry 2}	R/W	[ 規格 ] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 heldPeriod の値 ( 秒単位 ) 。 DEFVAL{60} [ 実装 ] 未実装。	×
74	dot1xSuppAuthPeriod {dot1xSuppConfigEntry 3}	R/W	[ 規格 ] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 authPeriod の値 ( 秒単位 ) 。 DEFVAL{30} [ 実装 ] 未実装。	×
75	dot1xSuppStartPeriod {dot1xSuppConfigEntry 4}	R/W	[ 規格 ] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 startPeriod の値 ( 秒単位 ) 。 DEFVAL{30} [ 実装 ] 未実装。	×
76	dot1xSuppMaxStart {dot1xSuppConfigEntry 5}	R/W	[ 規格 ] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 maxStart の値。 DEFVAL{3} [ 実装 ] 未実装。	×
77	dot1xSuppStatsTable {dot1xPaeSupplicant 2}	NA	[ 規格 ] 各ポートの Supplicant PAE に対する統計オブジェクトテーブル。リモートシステムよりアクセスした場合、認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [ 実装 ] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
78	dot1xSuppStatsEntry {dot1xSuppStatsTable 1}	NA	[ 規格 ]Supplicant PAE に対する統計情報のリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [ 実装 ] 未実装。	×
79	dot1xSuppEapolFrames Rx {dot1xSuppStatsEntry 1}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が受信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [ 実装 ] 未実装。	×
80	dot1xSuppEapolFrames Tx {dot1xSuppStatsEntry 2}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [ 実装 ] 未実装。	×
81	dot1xSuppEapolStartFr amesTx {dot1xSuppStatsEntry 3}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が送信した EAPOL Start フレーム数。 [ 実装 ] 未実装。	×
82	dot1xSuppEapolLogoffF ramesTx {dot1xSuppStatsEntry 4}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が送信した EAPOL Logoff フレーム数。 [ 実装 ] 未実装。	×
83	dot1xSuppEapolRespId FramesTx {dot1xSuppStatsEntry 5}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が送信した EAP Response/Identity フレーム数。 [ 実装 ] 未実装。	×
84	dot1xSuppEapolRespFr amesTx {dot1xSuppStatsEntry 6}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が送信した有効な EAP Response フレーム数 ( Response/Identity フレーム以外 )。 [ 実装 ] 未実装。	×
85	dot1xSuppEapolReqIdF ramesRx {dot1xSuppStatsEntry 7}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が受信した EAP Request/Identity フレーム数。 [ 実装 ] 未実装。	×
86	dot1xSuppEapolReqFra mesRx {dot1xSuppStatsEntry 8}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が受信した EAP Request フレーム数 (Request/ Identity フレーム以外 )。 [ 実装 ] 未実装。	×
87	dot1xSuppInvalidEapol FramesRx {dot1xSuppStatsEntry 9}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が受信した EAPOL フレーム内でフレームタイプが 認識されなかったフレーム数。 [ 実装 ] 未実装。	×
88	dot1xSuppEapLengthE rrorFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 10}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が受信した EAPOL フレーム内で Packet Body Length が無効なフレーム数。 [ 実装 ] 未実装。	×
89	dot1xSuppLastEapolFr ameVersion {dot1xSuppStatsEntry 11}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコル バージョン番号。 [ 実装 ] 未実装。	×
90	dot1xSuppLastEapolFr ameSource {dot1xSuppStatsEntry 12}	R/O	[ 規格 ]Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MAC アドレス。 [ 実装 ] 未実装。	×

## 2.26 snmpModules グループ (SNMPv3 情報 MIB)

### 2.26.1 snmpFrameworkMIB グループ (SNMP-FRAMEWORK-MIB)

snmpFrameworkMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3411 (December 2002)

#### (1) 識別子

```
snmpFrameworkMIB      MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 10}
snmpFrameworkMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIB 2}

snmpEngine             OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.10.2.1
```

#### (2) 実装仕様

snmpFrameworkMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-108 snmpFrameworkMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpEngineID {snmpEngine 1}	R/O	<p>[規格]SNMP エンジン管理のための ID。 オール 0、オール 0xff、空 (0 バイト長) はありえない。 [実装] コンフィグレーションコマンドで設定、もしくはエージェントの自動生成。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンフィグレーションコマンド設定時 1 ~ 4 オクテット: 企業コードと 0x80000000 とのビット OR 5 オクテット: 4 固定 6 ~ 32 オクテット: コンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (27 文字以内)</li> <li>• エージェント自動生成時 1 ~ 4 オクテット: 企業コードと 0x80000000 とのビット OR 5 オクテット: 128 固定 6 ~ 9 オクテット: 乱数 10 ~ 13 オクテット: 現在時刻</li> </ul>	
2	snmpEngineBoots {snmpEngine 2}	R/O	<p>[規格]snmpEngineID が最後に設定されてからの (再) 初期化回数。 [実装] 規格に同じ。</p>	
3	snmpEngineTime {snmpEngine 3}	R/O	<p>[規格]snmpEngineBoots がインクリメントされてからの経過時間 (秒)。MAX 値を超えたら 0 にリセットされ、snmpEngineBoots がインクリメントされます。 [実装] 規格に同じ。</p>	
4	snmpEngineMaxMessageSize {snmpEngine 4}	R/O	<p>[規格]snmp エンジンが送受信できる MAX メッセージサイズ。 [実装] 2048 固定。</p>	

### 2.26.2 snmpMPDMIB グループ (SNMP-MPD-MIB)

snmpMPDMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3412 (December 2002)

## (1) 識別子

```

snmpMPDMIB          MODULE-IDENTITY      ::= { snmpModules 11 }
snmpMPDMIBObjects    OBJECT IDENTIFIER    ::= { snmpMPDMIB 2 }

snmpMPDStats         OBJECT IDENTIFIER    ::= { snmpMPDMIBObjects 1 }
オブジェクトID値  1.3.6.1.6.3.11.2.1

```

## (2) 実装仕様

snmpMPDMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-109 snmpMPDMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpUnknownSecurityModels {snmpMPDStats 1}	R/O	[規格] サポート外 securityModel のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
2	snmpInvalidMsgs {snmpMPDStats 2}	R/O	[規格] メッセージ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
3	snmpUnknownPDUHandlers {snmpMPDStats 3}	R/O	[規格] アプリケーションで処理できない PDU を含んでいたため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	

## 2.26.3 snmpTargetMIB グループ (SNMP-TARGET-MIB)

snmpTargetMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (December 2002)

## (1) 識別子

```

snmpTargetMIB        MODULE-IDENTITY      ::= { snmpModules 12 }

snmpTargetObjects     OBJECT IDENTIFIER    ::= { snmpTargetMIB 1 }
オブジェクトID値  1.3.6.1.6.3.12.1

```

## (2) 実装仕様

snmpTargetMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-110 snmpTargetMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpTargetSpinLock {snmpTargetObjects 1}	R/W	[規格] 複数のマネージャから SNMP-TARGET-MIB モジュールのテーブルエントリが変更要求を受けた場合のロック操作に使用されます。 [実装] 規格に同じ。	
2	snmpTargetAddrTable {snmpTargetObjects 2}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。	
3	snmpTargetAddrEntry {snmpTargetAddrTable 1}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレスエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetAddrName } [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	snmpTargetAddrName {snmpTargetAddrEntry 1}	NA	[ 規格 ] snmpTargetAddEntry の名前。 [ 実装 ] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータの <Target Name> に対応します。	
5	snmpTargetAddrTDomain {snmpTargetAddrEntry 2}	R/C	[ 規格 ] snmpTargetAddrTAddress オブジェクトのアドレスの伝送タイプ。 [ 実装 ] snmpUDPDomain,transportDomainUdpIpv6 だけ設定可能。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータの {<IPv4 Address> <IPv6 Address>} の選択に対応します。	
6	snmpTargetAddrTAddress {snmpTargetAddrEntry 3}	R/C	[ 規格 ] 伝送アドレス。本アドレスのフォーマットは、snmpTargetAddrTDomain で示されます。 [ 実装 ] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータの <IPv4 Address> または <IPv6 Address> に対応します。	
7	snmpTargetAddrTimeout {snmpTargetAddrEntry 4}	R/NW	[ 規格 ] 本エントリで定義される伝送アドレスと通信したときのタイムアウト値 (10 ミリ秒)。デフォルト値 =1500。 [ 実装 ] 0 固定。ただし、Read_Only です。	
8	snmpTargetAddrRetryCount {snmpTargetAddrEntry 5}	R/NW	[ 規格 ] 送信メッセージのレスポンスが届かなかったときのデフォルトのリトライ回数。デフォルト値 =3。 [ 実装 ] 0 固定。ただし、Read_Only です。	
9	snmpTargetAddrTagList {snmpTargetAddrEntry 6}	R/NW	[ 規格 ] snmpNotifyTag のリスト。デフォルト値 ="" [ 実装 ] "TRAP" 固定。ただし、Read_Only です。	
10	snmpTargetAddrParams {snmpTargetAddrEntry 7}	R/C	[ 規格 ] snmpTargetParamsTable のエントリ。 [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、本エントリの snmpTargetAddrRowStatus が active(1) の場合、変更前の本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータは削除され、変更後の本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータが追加されます。	
11	snmpTargetAddrStorageType {snmpTargetAddrEntry 8}	R/NW	[ 規格 ] 本エントリの保存形式。デフォルト =nonVolatile。 [ 実装 ] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3)、コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	snmpTargetAddrRowStatus {snmpTargetAddrEntry 9}	R/C	<p>[ 規格 ] 本エントリの状態。新たにエントリを追加した場合，snmpTargetAddrTDomain, snmpTargetAddrTAddress, snmpTargetAddrParams が設定されるまで notReady(3) が設定されます。本オブジェクトが active(1) の場合，snmpTargetAddrTDomain, snmpTargetAddrTAddress を変更してはならない。</p> <p>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，本オブジェクトが active(1) の場合，本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータに保存されます。また，本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合，本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリです。また，コンフィグレーションコマンド snmp-notify で target パラメータが追加された際に 50 エントリを超える場合，snmpTargetAddrRowStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち，辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。本エントリをコンフィグレーションコマンド snmp-notify の target パラメータに保存する際，以下のチェックを行います。チェック条件を満たさない場合はエラーとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• snmpTargetAddrTDomain が snmpUDPDomain もしくは transportDomainUdpIpv6 であること。</li> <li>• snmpTargetAddrTDomain が snmpUDPDomain の場合 snmpTargetAddrTAddress が 6 バイトであること。snmpTargetAddrTAddress のポート番号部 (5 オクテット目，6 オクテット目) が 162 であること。</li> <li>• snmpTargetAddrTDomain が transportDomainUdpIpv6 の場合 snmpTargetAddrTAddress が 18 バイトであること。snmpTargetAddrTAddress の IP アドレス部 (1 ~ 16 オクテット目) がグローバル IPv6 アドレスであること。snmpTargetAddrTAddress のポート番号部 (17 オクテット目，18 オクテット目) が 162 であること。</li> </ul>	
13	snmpTargetParamsTable {snmpTargetObjects 3}	NA	<p>[ 規格 ] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報テーブル。</p> <p>[ 実装 ] 規格に同じ。</p>	
14	snmpTargetParamsEntry {snmpTargetParamsTable 1}	NA	<p>[ 規格 ] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報エントリ。</p> <p>INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName }</p> <p>[ 実装 ] 規格に同じ。</p>	
15	snmpTargetParamsName {snmpTargetParamsEntry 1}	NA	<p>[ 規格 ] snmpTargetParamsEntry の名前。</p> <p>[ 実装 ] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の &lt;Notify Name&gt; に対応します。</p>	
16	snmpTargetParamsMPModel {snmpTargetParamsEntry 2}	R/NW	<p>[ 規格 ] SNMP メッセージを生成するときに用いるメッセージ処理モデル。</p> <p>0 ~ 255 は IANA で管理されます。</p> <p>0 : SNMPv1 1 : SNMPv2c 2 : SNMPv2u, SNMPv2* 3 : SNMPv3 256 以上は企業独自。</p> <p>[ 実装 ] SNMPv3(3) 固定。ただし，Read_Only です。</p>	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	snmpTargetParamsSecurityModel {snmpTargetParamsEntry 3}	R/NW	[ 規格 ] SNMP メッセージを生成するときのセキュリティモデル。 1 ~ 255 は IANA で管理されます。 0 : 特定のモデルなし 1 : SNMPv1 2 : SNMPv2c 3 : User-Based Security Model(USM) 256 以上は企業独自。 [ 実装 ] USM(3) 固定。ただし、Read_Only です。	
18	snmpTargetParamsSecurityName {snmpTargetParamsEntry 4}	R/C	[ 規格 ] SNMP メッセージが生成されるときに用いられた手法を示す securityName。 [ 実装 ] 1 ~ 32 文字の文字列。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の user パラメータの <User Name> に対応します。	
19	snmpTargetParamsSecurityLevel {snmpTargetParamsEntry 5}	R/C	[ 規格 ] SNMP メッセージ生成時のセキュリティレベル。 { noAuthNoPriv(1) -- 認証無, プライバシー無, authNoPriv(2) -- 認証有, プライバシー無, authPriv(3) -- 認証有, プライバシー有 } [ 実装 ] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の user パラメータの { noauth   auth   priv } の選択に対応します。	
20	snmpTargetParamsStorageType {snmpTargetParamsEntry 6}	R/NW	[ 規格 ] 本エントリの保存形式。 [ 実装 ] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3), コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	
21	snmpTargetParamsRowStatus {snmpTargetParamsEntry 7}	R/C	[ 規格 ] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合 snmpTargetParamsMPModel, snmpTargetParamsSecurityModel, snmpTargetParamsSecurityName, snmpTargetParamsSecurityLevel が設定されるまで notReady(3) が設定されます。 本オブジェクトが active(1) の場合 snmpTargetParamsMPModel, snmpTargetParamsSecurityModel, snmpTargetParamsSecurityName, snmpTargetParamsSecurityLevel を変更してはならない。 [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の user パラメータに保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の user パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-notify で user パラメータが追加された際に 50 エントリを超える場合、snmpTargetAddrRowStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	
22	snmpUnavailableContexts {snmpTargetObjects 4}	R/O	[ 規格 ] メッセージ中のコンテキストが利用不可のため破棄された受信パケットの総数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
23	snmpUnknownContexts {snmpTargetObjects 5}	R/O	[ 規格 ] メッセージ中のコンテキストが理解不可のため破棄された受信パケットの総数。 [ 実装 ] 規格に同じ。	

## 注 1

R/NW は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Write, Read\_Create ですが本装置では Read\_Only となっていることを示します。規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Create の MIB は RowStatus を使用し

てエントリの追加は行えますが、エントリ追加後に Read\_Only となります。

注 2

R/C は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Createであることを示します。

## 2.26.4 snmpNotificationMIB グループ (SNMP-NOTIFICATION-MIB)

snmpNotificationMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (December 2002)

### (1) 識別子

```
snmpNotificationMIB      MODULE-IDENTITY      ::= {snmpModules 13}

snmpNotifyObjects        OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpNotificationMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.13.1
```

### (2) 実装仕様

snmpNotificationMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-111 snmpNotificationMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpNotifyTable {snmpNotifyObjects 1}	NA	[規格]Notification を受信する管理対象および、選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	snmpNotifyEntry {snmpNotifyTable 1}	NA	[規格]Notification を受信する管理対象群および、選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpNotifyName } [実装] 規格に同じ。	
3	snmpNotifyName {snmpNotifyEntry 1}	NA	[規格] snmpNotifyEntry の名前。 [実装] "TRAP" 固定。	
4	snmpNotifyTag {snmpNotifyEntry 2}	R/NW	[規格] snmpTargetAddrTable のエントリを特定するためのタグ値。 デフォルト値 = "" [実装] "TRAP" 固定。ただし、Read_Only です。	
5	snmpNotifyType {snmpNotifyEntry 3}	R/NW	[規格] Notification の型。デフォルト値 = trap(1)。 { trap(1), inform(2) } [実装] trap(1) 固定。ただし、Read_Only です。	
6	snmpNotifyStorageType {snmpNotifyEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト値 = nonVolatile。 [実装] readOnly(5) 固定。ただし、Read_Only です。	
7	snmpNotifyRowStatus {snmpNotifyEntry 5}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	
8	snmpNotifyFilterProfile Table {snmpNotifyObjects 2}	NA	[規格] Notification フィルタ定義を特定の対象パラメータに結びつけるテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
9	snmpNotifyFilterProfile Entry {snmpNotifyFilterProfileTable 1}	NA	[規格] Notification を生成するときに使用するフィルタ定義エントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName } [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	snmpNotifyFilterProfileName {snmpNotifyFilterProfileEntry 1}	R/C	[規格] フィルタ定義の名前。snmpTargetParamsTable と関連付けられます。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify の notify-filter パラメータの <Filter Name> に対応します。	
11	snmpNotifyFilterProfileStorageType {snmpNotifyFilterProfileEntry 2}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3)、コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	
12	snmpNotifyFilterProfileRowStatus {snmpNotifyFilterProfileEntry 3}	R/C	[規格] 本エントリの状態。新たにエントリを追加した場合、snmpNotifyFilterProfileName が設定されるまで notReady(3) が設定されます。 [実装] 規格に同じ。ただし、本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の notify-filter パラメータに保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-notify の notify-filter パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-notify で notify-filter パラメータが追加された際に 50 エントリを超える場合、snmpNotifyFilterProfileRowStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	
13	snmpNotifyFilterTable {snmpNotifyObjects 3}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用するフィルター定義のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
14	snmpNotifyFilterEntry {snmpNotifyFilterTable 1}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用するフィルター定義のエントリ。 INDEX { snmpNotifyFilterProfileName, IMPLIED snmpNotifyFilterSubtree } [実装] 規格に同じ。	
15	snmpNotifyFilterSubtree {snmpNotifyFilterEntry 1}	NA	[規格] snmpNotifyFilterMask の対応するインスタンスに組み合わされるとき、フィルター定義に含む、もしくは除外するサブツリーファミリを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。	
16	snmpNotifyFilterMask {snmpNotifyFilterEntry 2}	R/C	[規格] snmpNotifyFilterSubtree の対応するインスタンスに組み合わされる、フィルター定義に含む、もしくは除外するサブツリーファミリを定義するビットマスク。 '1': 正確に合致する。 '0': ワイルドキャラ。 もし、このオブジェクトの長さが 0 であれば、この拡張規則は、すべて 1 でパディングになり、フィルターサブツリーファミリは snmpNotifyFilterSubtree の対応インスタンスによりユニークに特定されるサブツリーになります。デフォルト値 ="H"。 [実装] 規格に同じ。snmpNotifyFilterRowStatus が active(1) の場合に 32 ビットに満たないと '1' で 32 ビットに拡張されます。また、デフォルトはすべて '1' として扱われます。コンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter の mask パラメータの <Mask> に対応します。	
17	snmpNotifyFilterType {snmpNotifyFilterEntry 3}	R/C	[規格] このオブジェクトは本エントリで定義されるフィルターサブツリーファミリがフィルタに含まれる、もしくは除外されるか示します。デフォルト値 =included。 { included(1) excluded(2) } [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter の {include   exclude} の選択に対応します。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	snmpNotifyFilterStorageType {snmpNotifyFilterEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト =nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3), コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし, Read_Only です。	
19	snmpNotifyFilterRowStatus {snmpNotifyFilterEntry 5}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。本オブジェクトが active(1) の場合, 本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter に保存されます。また, 本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合, 本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter から削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 500 エントリ, 同一の snmpNotifyFilterProfileName を持つエントリの最大エントリ数は 30 エントリです。また, コンフィグレーションコマンド snmp-notify-filter が追加された際にこの最大エントリ数を超える場合, snmpNotifyFilterRowStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち, 辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	

## 注 1

R/NW は, 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Write, Read\_Create ですが本装置では Read\_Only となっていることを示します。規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Create の MIB は RowStatus を使用してエントリの追加は行えますが, エントリ追加後に Read\_Only となります。

## 注 2

R/C は, 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Create であることを示します。

## 注

SYNTAX が RowStatus のためエントリの追加 / 削除は行えません。

## 2.26.5 snmpProxyMIB グループ (SNMP-PROXY-MIB)

snmpProxyMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (December 2002)

## (1) 識別子

```
snmpProxyMIB          MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 14}
snmpProxyObjects      OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpProxyMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.14.1
```

## (2) 実装仕様

snmpProxyMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-112 snmpProxyMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpProxyTable {snmpProxyObjects 2}	NA	[規格] プロキシ・フォワーダアプリケーションが使う変換パラメータのテーブル。 [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	snmpProxyEntry {snmpProxyTable 1}	NA	[規格] プロキシ・フォワーダアプリケーションが使う変換パラメータのエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpProxyName } [実装] 未サポート。	×
3	snmpProxyName {snmpProxyEntry 1}	NA	[規格] snmpProxyEntry の名前 (1 ~ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
4	snmpProxyType {snmpProxyEntry 2}	R/C	[規格] 本エントリで定義される変換パラメータでフォワードされるメッセージの型。 { read(1), write(2), trap(3), inform(4) } [実装] 未サポート。	×
5	snmpProxyContextEngineID {snmpProxyEntry 3}	R/C	[規格] 本エントリで定義される変換パラメータでフォワードされるメッセージに含まれる contextEngineID。 [実装] 未サポート。	×
6	snmpProxyContextName {snmpProxyEntry 4}	R/C	[規格] 本エントリで定義される変換パラメータでフォワードされるメッセージに含まれる contextName。 [実装] 未サポート。	×
7	snmpProxyTargetParamsIn {snmpProxyEntry 5}	R/C	[規格] snmpTargetParamsTable のエントリを特定する。 [実装] 未サポート。	×
8	snmpProxySingleTargetOut {snmpProxyEntry 6}	R/C	[規格] snmpTargetAddrTable で定義される管理対象を特定します。 [実装] 未サポート。	×
9	snmpProxyMultipleTargetOut {snmpProxyEntry 7}	R/C	[規格] snmpTargetAddrTable で定義される管理対象を特定します。 [実装] 未サポート。	×
10	snmpProxyStorageType {snmpProxyEntry 8}	R/C	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] 未サポート。	×
11	snmpProxyRowStatus {snmpProxyEntry 9}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 未サポート。	×

注

R/C は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Createであることを示します。

## 2.26.6 snmpUsmMIB グループ (SNMP-USER-BASED-SM-MIB)

snmpUsmMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3414 (December 2002)

### (1) 識別子

```

snmpUsmMIB      MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 15}
usmMIBObjects   OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpUsmMIB 1}

usmStats        OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.1

usmUser         OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.2

```

## (2) 実装仕様

snmpUsmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-113 snmpUsmMIB の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	usmStatsUnsupportedSecLevels {usmStats 1}	R/O	[規格] セキュリティレベル不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
2	usmStatsNotInTimeWindows {usmStats 2}	R/O	[規格] WindowTime が範囲外のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
3	usmStatsUnknownUserNames {usmStats 3}	R/O	[規格] ユーザ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
4	usmStatsUnknownEngineIDs {usmStats 4}	R/O	[規格] 認識外の snmpEngineID を参照しているため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
5	usmStatsWrongDigests {usmStats 5}	R/O	[規格] 期待されるダイジェスト値を含んでいないため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
6	usmStatsDecryptionErrors {usmStats 6}	R/O	[規格] 復号できなかったため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
7	usmUserSpinLock {usmUser 1}	R/NW	[規格] usmUserTable の秘密を変更する場合のロック操作に使用されます。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	usmUserTable {usmUser 2}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD(Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
9	usmUserEntry {usmUserTable 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD(Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブルのエントリ。 INDEX { usmUserEngineID, usmUserName } [実装] 規格に同じ。	
10	usmUserEngineID {usmUserEntry 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの管理のための ID。 [実装] 規格に同じ。	
11	usmUserName {usmUserEntry 2}	NA	[規格] ユーザを示す判読可能な名前。これは USM が依存するセキュリティ ID。 [実装] 規格に同じ。	
12	usmUserSecurityName {usmUserEntry 3}	R/O	[規格] セキュリティモデルに依存しない形式のユーザを示す判読可能な名前。usmUserName と同じ値。 [実装] 規格に同じ。	
13	usmUserCloneFrom {usmUserEntry 4}	R/NW	[規格] 新しいエントリを追加する際に複製元となる別のエントリへのポインタ。このオブジェクトが読まれる場合、0.0 の OID が返されます。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
14	usmUserAuthProtocol {usmUserEntry 5}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンの認証プロトコル。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	usmUserAuthKeyChange {usmUserEntry 6}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定されます。このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返されます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	
16	usmUserOwnAuthKeyChange {usmUserEntry 7}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定されます。このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返されます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	
17	usmUserPrivProtocol {usmUserEntry 8}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンのプライバシープロトコルが使用。デフォルト値 =usmNoPrivProtocol。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
18	usmUserPrivKeyChange {usmUserEntry 9}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される暗号キーを生成するオブジェクト。要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定されます。このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返されます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	
19	usmUserOwnPrivKeyChange {usmUserEntry 10}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される暗号キーを生成するオブジェクト。要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定されます。このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返されます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	
20	usmUserPublic {usmUserEntry 11}	R/NW	[規格] ユーザの認証キー、暗号キーを変更する処理で生成される値。後でキーの変更が有効であったか判定するために利用できます。デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。ただし、Read_Only です。	
21	usmUserStorageType {usmUserEntry 12}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] readOnly(5) 固定。ただし、Read_Only です。	
22	usmUserStatus {usmUserEntry 13}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active(1) 固定。ただし、Read_Only です。	

注

R/NW は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Write, Read\_Create ですが本装置では Read\_Only となっていることを示します。規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Create の MIB は RowStatus を使用してエントリの追加は行えますが、エントリ追加後に Read\_Only となります。

注

SYNTAX が RowStatus のためエントリの追加 / 削除は行えません。

## 2.26.7 snmpVacmMIB グループ (SNMP-VIEW-BASED-ACM-MIB)

snmpVacmMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3415 (December 2002)

### (1) 識別子

```

snmpVacmMIB          MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 16}

vacmMIBObjects        OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpVacmMIB 1}
オブジェクトID値     1.3.6.1.6.3.16.1

```

vacmMIBViews OBJECT IDENTIFIER ::= {vacmMIBObjects 5}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.16.1.5

## (2) 実装仕様

snmpVacmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-114 snmpVacmMIB の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vacmContextTable {vacmMIBObjects 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	vacmContextEntry {vacmContextTable 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブルのエントリ。 INDEX { vacmContextName } [実装] 規格に同じ。	
3	vacmContextName {vacmContextEntry 1}	R/O	[規格] 特定の SNMP エンティティの特定のコンテキストを示す読解可能な名前。空の contextName は、デフォルトコンテキストを示します。 [実装] デフォルトコンテキスト固定。	
4	vacmSecurityToGroupTable {vacmMIBObjects 2}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するために使われるテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
5	vacmSecurityToGroupEntry {vacmSecurityToGroupTable 1}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するために使われるエントリ。securityModel と securityName をペアにした groupName を示します。 INDEX { vacmSecurityModel, vacmSecurityName } [実装] 規格に同じ。	
6	vacmSecurityModel {vacmSecurityToGroupEntry 1}	NA	[規格] 本エントリで参照される vacmSecurityName のセキュリティモデル。0 は指定不可。 1 ~ 255 は IANA で管理されます。 0 : 特定のモデルなし 1 : SNMPv1 2 : SNMPv2c 3 : User-Based Security Model(USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM(3) 固定。	
7	vacmSecurityName {vacmSecurityToGroupEntry 2}	NA	[規格] securityName 主に、セキュリティモデルから独立した形式での表示、本エントリから groupName ヘマップされます。 [実装] 規格に同じ。	
8	vacmGroupName {vacmSecurityToGroupEntry 3}	R/C	[規格] 本エントリが所属するグループ名。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の <Group Name> に対応します。	
9	vacmSecurityToGroupStorageType {vacmSecurityToGroupEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3)、コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	vacmSecurityToGroupStatus {vacmSecurityToGroupEntry 5}	R/C	[ 規格 ] 本エントリの状態。新たにエントリを追加した場合、vacmGroupName が設定されるまで notReady(3) が設定されます。 [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-group の user パラメータに保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-group の user パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリ、同一の vacmGroupName を持つエントリの最大エントリ数は 10 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-group で user パラメータが追加された際にこの最大エントリ数を超える場合、vacmSecurityToGroupStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	
11	vacmAccessTable {vacmMIBObjects 4}	NA	[ 規格 ] グループのアクセス権のテーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
12	vacmAccessEntry {vacmAccessTable 1}	NA	[ 規格 ] グループのアクセス権のエントリ。 INDEX { vacmGroupName, vacmAccessContextPrefix, vacmAccessSecurityModel, vacmAccessSecurityLevel } [ 実装 ] 規格に同じ。	
13	vacmAccessContextPrefix {vacmAccessEntry 1}	NA	[ 規格 ] 本エントリでアクセス権を取得するために比較する値。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
14	vacmAccessSecurityModel {vacmAccessEntry 2}	NA	[ 規格 ] 本エントリのアクセス権を取得するために必要な securityModel。 1 ~ 255 は IANA で管理されます。 0 : 特定のモデルなし 1 : SNMPv1 2 : SNMPv2c 3 : User-Based Security Model(USM) 256 以上は企業独自。 [ 実装 ] USM(3) 固定。	
15	vacmAccessSecurityLevel {vacmAccessEntry 3}	NA	[ 規格 ] 本エントリのアクセス権を取得するために必要なセキュリティレベル。 { noAuthNoPriv(1) -- 認証無, プライバシー無, authNoPriv(2) -- 認証有, プライバシー無, authPriv(3) -- 認証有, プライバシー有 } [ 実装 ] 規格に同じ。	
16	vacmAccessContextMatch {vacmAccessEntry 4}	R/C	[ 規格 ] exact(1) : contextName が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択されます。 prefix(2) : contextName の先頭文字が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択されます。 デフォルト値 =exact。 { exact(1), prefix(2) } [ 実装 ] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータの {exact   prefix} の選択に対応します。	
17	vacmAccessReadOnlyViewName {vacmAccessEntry 5}	R/C	[ 規格 ] 本エントリが読み込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。デフォルト値 ="H"。 [ 実装 ] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータの read パラメータの <View Name> に対応します。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
18	vacmAccessWriteViewName {vacmAccessEntry 6}	R/C	[規格] 本エントリが書き込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。デフォルト値 ="H。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータの write パラメータの <View Name> に対応します。	
19	vacmAccessNotifyViewName {vacmAccessEntry 7}	R/C	[規格] 本エントリが notifications アクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。デフォルト値 ="H。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータの notify パラメータの <View Name> に対応します。	
20	vacmAccessStorageType {vacmAccessEntry 8}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3)、コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	
21	vacmAccessStatus {vacmAccessEntry 9}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリは対応するコンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータに保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリに対応するコンフィグレーションコマンド snmp-group の access パラメータが削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 50 エントリ、同一の vacmGroupName を持つエントリの最大エントリ数は 10 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-group で access パラメータが追加された際にこの最大エントリ数を超える場合、vacmAccessStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	
22	vacmViewSpinLock {vacmMIBViews 1}	R/W	[規格] ビュー作成もしくは変更の SET 操作を行うため、共同する SNMP コマンドジェネレータアプリケーションに協調を許すための勧告ロック。 これは、勧告ロックであるので、使用は強制でない。 [実装] 規格に同じ。	
23	vacmViewTreeFamilyTable {vacmMIBViews 2}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存テーブル。すべてのビューサブツリーは、包含も除外も、このテーブルで定義されます。 [実装] 規格に同じ。	
24	vacmViewTreeFamilyEntry {vacmViewTreeFamilyTable 1}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存エントリ。 INDEX { vacmViewTreeFamilyViewName, vacmViewTreeFamilySubtree } [実装] 規格に同じ。	
25	vacmViewTreeFamilyViewName {vacmViewTreeFamilyEntry 1}	NA	[規格] 人間に判読可能なビューサブツリーファミリの名前。 [実装] 規格に同じ。	
26	vacmViewTreeFamilySubtree {vacmViewTreeFamilyEntry 2}	NA	[規格] ビューサブツリーファミリを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
27	vacmViewTreeFamilyMask {vacmViewTreeFamilyEntry 3}	R/C	[ 規格 ] vacmViewTreeFamilySubtree のマスク値。 '1': 正確な一致が発生しなければならない。 '0': 'wild card' を示す。 このオブジェクトの長さが 0 の場合、すべて '1' のマスクが使用されます。 [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、最大 32 ビットで、vacmViewTreeFamilyStatus が active(1) の場合に 32 ビットに満たないと '1' で 32 ビットに拡張されます。また、デフォルトはすべて '1' として扱われます。コンフィグレーションコマンド snmp-view の mask パラメータの <Mask> に対応します。	
28	vacmViewTreeFamilyType {vacmViewTreeFamilyEntry 4}	R/C	[ 規格 ] MIB ビューの包含 / 除外を示します。デフォルト値 =included。 { included(1), excluded(2) } [ 実装 ] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-view の {include   exclude} の選択に対応します。	
29	vacmViewTreeFamilyStorageType {vacmViewTreeFamilyEntry 5}	R/NW	[ 規格 ] このエントリの保存形式。デフォルト値 =nonVolatile。 [ 実装 ] コンフィグレーションに保存されている場合は nonVolatile(3)、コンフィグレーションに保存されていない場合は Volatile(2)。ただし、Read_Only です。	
30	vacmViewTreeFamilyStatus {vacmViewTreeFamilyEntry 6}	R/C	[ 規格 ] 本エントリの状態。 [ 実装 ] 規格に同じ。本オブジェクトが active(1) の場合、本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-view に保存されます。また、本オブジェクトが active(1) 以外に設定された場合、本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-view から削除されます。本テーブルで設定可能な最大エントリ数は 500 エントリ、同一の vacmViewTreeFamilyViewName を持つエントリの最大エントリ数は 30 エントリです。また、コンフィグレーションコマンド snmp-view で <SubTree> が追加された際にこの最大エントリ数を超える場合、vacmViewTreeFamilyStatus が notReady(3) または notInService(2) のエントリのうち、辞書順で先頭のインデックスを持つエントリが削除されます。	

注 1

R/NW は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Write, Read\_Create ですが本装置では Read\_Only となっていることを示します。規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Create の MIB は RowStatus を使用してエントリの追加は行えますが、エントリ追加後に Read\_Only となります。

注 2

R/C は、規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Create であることを示します。

## 2.26.8 snmpCommunityMIB グループ (SNMP-COMMUNITY-MIB)

snmpCommunityMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3584 (August 2003)

### (1) 識別子

```

snmpCommunityMIB          MODULE-IDENTITY      ::= {snmpModules 18}

snmpCommunityMIBObjects    OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpCommunityMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.18.1

```

## (2) 実装仕様

snmpCommunityMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-115 snmpCommunityMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpCommunityTable {snmpCommunityMIBObjects 1}	NA	[規格]SNMP エンジンの LCD に構成されるコミュニティストリングのテーブル。 [実装] 未サポート。	×
2	snmpCommunityEntry {snmpCommunityTable 1}	NA	[規格]SNMP エンジンの LCD に構成されるコミュニティストリングのエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpCommunityIndex } [実装] 未サポート。	×
3	snmpCommunityIndex {snmpCommunityEntry 1}	NA	[規格] 本エントリのインデックス (0 ~ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
4	snmpCommunityName {snmpCommunityEntry 2}	R/C	[規格] 本エントリのコミュニティ名。このオブジェクトはサイズ制限がない。 [実装] 未サポート。	×
5	snmpCommunitySecurityName {snmpCommunityEntry 3}	R/C	[規格] セキュリティモデルに独立したフォーマットの snmpCommunityName に対応するストリング (0 ~ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
6	snmpCommunityContextEngineID {snmpCommunityEntry 4}	R/C	[規格] snmpCommunityName の対応するインスタンスで示される、管理情報のコンテキストのありかを示す contextEngineID。 [実装] 未サポート。	×
7	snmpCommunityContextName {snmpCommunityEntry 5}	R/C	[規格] snmpCommunityName の対応するインスタンスで示される管理情報のコンテキスト (0 ~ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
8	snmpCommunityTransportTag {snmpCommunityEntry 6}	R/C	[規格] トランスポートエンドポイントのセットを特定するためのタグ値。 [実装] 未サポート。	×
9	snmpCommunityStorageType {snmpCommunityEntry 7}	R/C	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] 未サポート。	×
10	snmpCommunityStatus {snmpCommunityEntry 8}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 未サポート。	×
11	snmpTargetAddrExtTable {snmpCommunityMIBObjects 2}	NA	[規格] snmpTargetAddrTable に結びついたマスクと mms 値のテーブル。 [実装] 未サポート。	×
12	snmpTargetAddrExtEntry {snmpTargetAddrExtTable 1}	NA	[規格] snmpTargetAddrTable に結びついたマスクと mms 値のエントリ。 AUGMENTS { snmpTargetAddrEntry } [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	snmpTargetAddrTMask {snmpTargetAddrExtEntry 1}	R/C	[規格]snmpTargetAddrTable のエン트리と結びついたマスク値 (0 ~ 255 文字)。 '1' のビットは, snmpTargetAddrTAddress のビットに合致するトランスポートアドレスのビットを示します。 '0' のビットは, snmpTargetAddrTAddress のビットに合致しない伝送アドレスのビットを示します。 [実装] 未サポート。	×
14	snmpTargetAddrMMS {snmpTargetAddrExtEntry 2}	R/C	[規格]snmpTargetAddrTable のエン트리と結びついた最大メッセージ・サイズ値。値の範囲は 0 もしくは 484 ~ 2147483647 [実装] 未サポート。	×
15	snmpTrapAddress {snmpCommunityMIBObjects 3}	AN	[規格]SNMPv1 以外の SNMP バージョンを使用した Proxy Forwarding Applications によって転送されるトラップ PDU の agent-addr フィールドの値。 [実装] 未サポート。	×
16	snmpTrapCommunity {snmpCommunityMIBObjects 4}	AN	[規格]SNMPv1 以外の SNMP バージョンを使用した Proxy Forwarding Applications によって転送される, トラップ PDU を含んだ SNMPv1 メッセージのコミュニティ・ストリング・フィールドの値。 [実装] 未サポート。	×

注

R/C は, 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read\_Createであることを示します。



# 3

## プライベート MIB

この章では本装置で使用するプライベート MIB の実装仕様について説明します。

3.1	axsStats グループ (統計情報 MIB)
3.2	axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)
3.3	axsFdb グループ (Fdb グループ MIB)
3.4	axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)
3.5	axsOadp グループ (OADP 情報 MIB)
3.6	axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)
3.7	axsOspfMIB グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】
3.8	axsOspfv3MIB グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】
3.9	axsIisisMIB グループ (IS-IS 情報 MIB) 【OP-ISIS】
3.10	axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)
3.11	axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)
3.12	axsLogin グループ (ログイン情報 MIB)
3.13	axsLldp グループ (LLDP 情報 MIB)
3.14	ax7800sSwitch グループ (装置のモデル情報 MIB) 【AX7800S】
3.15	ax7800sDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 【AX7800S】
3.16	ax7800sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う) 【AX7800S】
3.17	ax5400sSwitch グループ (装置のモデル情報 MIB) 【AX5400S】
3.18	ax5400sDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 【AX5400S】
3.19	ax5400sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う) 【AX5400S】
3.20	icmp グループ (HP プライベート MIB)



## 3.1 axsStats グループ (統計情報 MIB)

### 3.1.1 axsPhysStats グループ【AX7800S】

次に示す axsPhysStats グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

#### (1) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axsPhysStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1

#### (2) 実装仕様

axsPhysStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-1 axsPhysStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsPhysStatsTable {axsPhysStats 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理層およびチャネルの統計情報テーブル。	
2	axsPhysStatsEntry {axsPhysStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理層およびチャネルの統計情報エントリ情報。 [index] {axsPhysStatsIfIndex }	
3	axsPhysStatsIfIndex {axsPhysStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	POS の物理層およびチャネル層の IfIndex 値。	
4	axsPhysStatsIfDescr {axsPhysStatsEntry 2}	DisplayString	R/O	このインタフェースの説明。 interface グループの ifDescr と同じ文字列。	
5	axsPhysStatsIfType {axsPhysStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	ハードウェアのタイプを示す。 other(1) OC-48c/STM-16 POS(103) OC-192c/STM-64 POS(104)	
6	axsPhysStatsInFCSs {axsPhysStatsEntry 4}	Counter	R/O	FCS エラーフレームの受信数。	
7	axsPhysStatsInAborts {axsPhysStatsEntry 5}	Counter	R/O	アボートフレームの受信数。	
8	axsPhysStatsOverrun {axsPhysStatsEntry 6}	Counter	R/O	受信時にオーバーランが発生した回数。 0 固定。	
9	axsPhysStatsUnderrun {axsPhysStatsEntry 7}	Counter	R/O	送信時にアンダーランが発生した回数。	
10	axsPhysStatsInOddbits {axsPhysStatsEntry 8}	Counter	R/O	端数ビット受信数。 0 固定。	
11	axsPhysStatsInShortfrms {axsPhysStatsEntry 9}	Counter	R/O	ショートフレーム受信数。	
12	axsPhysStatsSendTimeout {axsPhysStatsEntry 10}	Counter	R/O	送信完了タイムアウト回数。 0 固定。	
13	axsPhysStatsOutAborts {axsPhysStatsEntry 11}	Counter	R/O	アボートフレームの送信数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
14	axsPhysStatsInLongfrms {axsPhysStatsEntry 12}	Counter	R/O	ロングフレーム受信数。	

### 3.1.2 axsSonetStats グループ【AX7800S】

次に示す axsSonetStats グループについて説明します。

- OC-48c/STM-16 POS
- OC-192c/STM-64 POS

#### (1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axsSonetStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3
```

#### (2) 実装仕様

axsSonetStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-2 axsSonetStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsSonetSectionStatsTable {axsSonetStats 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SONET インタフェースセクション統計情報テーブル。	
2	axsSonetSectionStatsEntry {axsSonetSectionStatsTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SONET インタフェースセクション統計情報エントリ情報。 [index] {axsSonetSectionStatsIfIndex}	
3	axsSonetSectionStatsIfIndex {axsSonetSectionStatsEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SONET を使用するインタフェースの IfIndex 値。	
4	axsSonetSectionStatsLOS {axsSonetSectionStatsEntry 2}	Counter	R/O	LOS ( Loss Of Signal ) 受信信号の回数。	
5	axsSonetSectionStatsLOF {axsSonetSectionStatsEntry 3}	Counter	R/O	LOF ( Loss Of Frame ) フレームの消失 OOF 状態が 3 ミリ秒継続した回数。	
6	axsSonetSectionStatsOOF {axsSonetSectionStatsEntry 4}	Counter	R/O	OOF ( Out Of Frame ) フレーム同期外れの 回数。	
7	axsSonetSectionStatsBIP8 {axsSonetSectionStatsEntry 5}	Counter	R/O	S-BIP8 ( Section-Bit Interleaved Parity 8 ) BIP8 演算エラー発生回数。	
8	axsSonetSectionStatsB2EBER {axsSonetSectionStatsEntry 6}	Counter	R/O	B2 EBER ( Excessive Bit Error Ratio ) 発生 回数。	
9	axsSonetSectionStatsB2SD {axsSonetSectionStatsEntry 7}	Counter	R/O	B2 SD ( Signal Degrade ) 発生回数。	
10	axsSonetLineStatsTable {axsSonetStats 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SONET インタフェースライン統計情報 テーブル。	
11	axsSonetLineStatsEntry {axsSonetLineStatsTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SONET インタフェースライン統計情報エ ントリ情報。 [index] {axsSonetLineStatsIfIndex}	
12	axsSonetLineStatsIfIndex {axsSonetLineStatsEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	SONET を使用するインタフェースの IfIndex 値。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axsSonetLineStatsAIS {axsSonetLineStatsEntry 2}	Counter	R/O	L-AIS ( Line-Alarm Indication Signal ) 送信元装置で L-AIS 発生中となった回数。	
14	axsSonetLineStatsRDI {axsSonetLineStatsEntry 3}	Counter	R/O	L-RDI ( Line-Remote Defect Indication ) 送信先装置が LOS , LOF , L-AIS 検出中となった回数。	
15	axsSonetLineStatsBIP24 {axsSonetLineStatsEntry 4}	Counter	R/O	L-BIP24 ( Line-Bit Interleaved Parity 24 ) BIP24 演算エラー発生回数。 0 固定。	
16	axsSonetLineStatsFEBE {axsSonetLineStatsEntry 5}	Counter	R/O	L-FEBE ( Line-Far End Block Error ) 送信先装置が L-BIP24 の検出回数。 0 固定。	
17	axsSonetLineStatsBIP384 {axsSonetLineStatsEntry 6}	Counter	R/O	L-BIP384 ( Line-Bit Interleaved Parity 384 ) BIP384 演算エラー発生回数。 OC-48c/STM-16 POS の場合。	
18	axsSonetLineStatsBIP1536 {axsSonetLineStatsEntry 7}	Counter	R/O	L-BIP1536 ( Line-Bit Interleaved Parity 1536 ) BIP1536 演算エラー発生回数。 OC-192c/STM-64 POS の場合。	
19	axsSonetLineStatsREI {axsSonetLineStatsEntry 8}	Counter	R/O	L-REI ( Line-Remote Error Indication ) 送信先装置が L-BIP384 または L-BIP1536 の検出回数。	
20	axsSonetPathStatsTable {axsSonetStats 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SONET インタフェースパス統計情報テーブル。	
21	axsSonetPathStatsEntry {axsSonetPathStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SONET インタフェースパス統計情報エントリ情報。 [index] {axsSonetPathStatsIfIndex}	
22	axsSonetPathStatsIfIndex {axsSonetPathStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SONET を使用するインタフェースの IfIndex 値。	
23	axsSonetPathStatsLOP {axsSonetPathStatsEntry 2}	Counter	R/O	P-LOP ( Path-Loss Of Pointer ) ポインタ異常。OOF 検出中は強制的に LOP 状態となった回数。	
24	axsSonetPathStatsAIS {axsSonetPathStatsEntry 3}	Counter	R/O	P-AIS ( Path-Alarm Indication Signal ) 送信元装置で P-AIS 発生中となった回数。	
25	axsSonetPathStatsRDI {axsSonetPathStatsEntry 4}	Counter	R/O	P-RDI ( Path-Remote Defect Indication ) 送信先装置が LOS , LOF , P-AIS 検出中となった回数。	
26	axsSonetPathStatsBIP8 {axsSonetPathStatsEntry 5}	Counter	R/O	P-BIP8 ( Path-Bit Interleaved Parity 8 ) BIP8 演算エラー回数。	
27	axsSonetPathStatsFEBE {axsSonetPathStatsEntry 6}	Counter	R/O	P-FEBE ( Path-Far End Block Error ) 送信先が P-BIP8 エラーを検出した回数。 0 固定。	
28	axsSonetPathStatsREI {axsSonetPathStatsEntry 7}	Counter	R/O	P-REI ( Path-Remote Error Indication ) 送信先が P-BIP8 エラーを検出した回数。	
29	axsSonetRDIPathStatsAISLOP {axsSonetPathStatsEntry 8}	Counter	R/O	RDI P-AIS/P-LOP ( Remote Defect Indication Path-Alarm Indication Signal/ Path-Loss Of Pointer ) 送信元装置で RDI P-AIS/P-LOP 発生中となった回数。	
30	axsSonetRDIPathStatsUNEQ {axsSonetPathStatsEntry 9}	Counter	R/O	RDI P-UNEQ ( Remote Defect Indication Path-UNEQUIPMENT ) 送信元装置で RDI P-UNEQ 発生中となった回数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
31	axsSonetRDIPathStatsPLM {axsSonetPathStatsEntry 10}	Counter	R/O	RDI P-PLM ( Remote Defect Indication Path-Payload Label Mismatch ) 送信元装置で RDI P-PLM 発生中となった回数。	
32	axsSonetPathStatsUNEQ {axsSonetPathStatsEntry 11}	Counter	R/O	P-UNEQ ( Path-UNEQUIPMENT ) 送信元装置で P-UNEQ 発生中となった回数。	
33	axsSonetPathStatsPLM {axsSonetPathStatsEntry 12}	Counter	R/O	P-PLM ( Path-Payload Label Mismatch ) 送信元装置で P-PLM 発生中となった回数。	

### 3.1.3 axslfStats グループ

#### (1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsIfStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4
```

#### (2) 実装仕様

axsIfStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-3 axslfStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axsIfStatsTable {axsIfStats 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブル。	
2	axsIfStatsEntry {axsIfStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。 [index] {axsIfStatsIndex}	
3	axsIfStatsIndex {axsIfStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	本装置のインタフェースインデックス。 ifIndex と同じ。	
4	axsIfStatsName {axsIfStatsEntry 2}	DisplayString	R/O	インタフェースの名称。 ifDescr と同じ。	
5	axsIfStatsInMegaOctets {axsIfStatsEntry 3}	Counter	R/O	受信した総オクテット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	
6	axsIfStatsInUcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 4}	Counter	R/O	受信したユニキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	
7	axsIfStatsInMulticastMegaPkts {axsIfStatsEntry 5}	Counter	R/O	受信したマルチキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	
8	axsIfStatsInBroadcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 6}	Counter	R/O	受信したブロードキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	
9	axsIfStatsOutMegaOctets {axsIfStatsEntry 7}	Counter	R/O	送信した総オクテット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	
10	axsIfStatsOutUcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 8}	Counter	R/O	ユニキャスト送信したパケット数。 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	
11	axsIfStatsOutMulticastMegaPkts {axsIfStatsEntry 9}	Counter	R/O	マルチキャスト送信したパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 10}	Counter	R/O	ブロードキャスト送信したパケット数 (単位: メガ)。メガ未満は切り捨て。	
13	axsIfStatsHighSpeed {axsIfStatsEntry 11}	Counter	R/O	回線スピード (単位: Mbit/s)。Mbit/s 未満は切り捨て。コンフィグレーションコマンド line にサブコマンド bandwidth が設定されていない場合は当該インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。	

注 POS の場合, 0 固定になります。

### 3.1.4 axsQoS グループ

#### (1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}
axsEtherTxQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1
axsEthShaper OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4
axsEthShaperAgQue OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5
```

#### (2) 実装仕様

axsEtherTxQoS グループの実装仕様を「表 3-4 axsEtherTxQoS グループの実装仕様 (イーサネットワークインタフェースの QoS 統計情報)」, axsEthShaperStats グループの実装仕様を「表 3-5 axsEthShaperStats グループの実装仕様 (Shaper 統計情報)」, axsEthShaperAgQueStats グループの実装仕様を「表 3-6 axsEthShaperAgQueStats グループの実装仕様 (Shaper 統計情報)」に示します。

表 3-4 axsEtherTxQoS グループの実装仕様 (イーサネットワークインタフェースの QoS 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsEtherTxQoSStatsTable {axsEtherTxQoS 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	QoS 統計情報のテーブル情報。	
2	axsEtherTxQoSStatsEntry {axsEtherTxQoSStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	イーサネットワークインタフェースごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEtherTxQoSStatsIndex}	
3	axsEtherTxQoSStatsIndex {axsEtherTxQoSStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (イーサネットワークの ifIndex 値) を示します。 1 ~ ifNumber までの値。	
4	axsEtherTxQoSStatsMaxQnum {axsEtherTxQoSStatsEntry 2}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのキュー数の最大値を示します。	
5	axsEtherTxQoSStatsLimitQlen {axsEtherTxQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	該当インタフェースの出力優先度キュー長の限界値を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 4}	Counter	R/O	該当インタフェースの総送信フレーム数を示します。	
7	axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh {axsEtherTxQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	該当インタフェースの総送信バイト数(上位 4 バイト)を示します。	
8	axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow {axsEtherTxQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	該当インタフェースの総送信バイト数(下位 4 バイト)を示します。	
9	axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	該当インタフェースの総廃棄フレーム数を示します。	
10	axsEtherTxQoSStatsQueueTable {axsEtherTxQoS 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースの出力優先度キューごとの QoS 統計情報のテーブル情報。	
11	axsEtherTxQoSStatsQueueEntry {axsEtherTxQoSStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースの出力優先度キューごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEtherTxQoSStatsQueueIndex, axsEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex}	
12	axsEtherTxQoSStatsQueueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値(イーサネットワークの ifIndex 値)を示します。 1 ~ ifNumber までの値。	
13	axsEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ~ axsEtherTxQoSStatsMaxQnum までの値。	
14	axsEtherTxQoSStatsQueueQueueLength {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 3}	INTEGER	R/O	情報採取時の出力優先度キュー長を示します。	
15	axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQueueLength {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去または初期化してからの該当インタフェースの最大の出力優先度キュー長を示します。	
16	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューの廃棄クラス 1 での廃棄フレーム数を示します。	
17	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューの廃棄クラス 2 での廃棄フレーム数を示します。	
18	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューの廃棄クラス 3 での廃棄フレーム数を示します。	
19	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	該当出力優先度キューの廃棄クラス 4 での廃棄フレーム数を示します。	

表 3-5 axsEthShaperStats グループの実装仕様 (Shaper 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsEthShaperStatsFlowOtherFrmTable {axsEthShaper 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ether Shaper LINE ごとのシェーピング対象外フレーム Shaper 統計情報のテーブル情報。	
2	axsEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry {axsEthShaperStatsFlowOtherFrmTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ether Shaper LINE ごとのシェーピング対象外フレーム Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEthShaperStatsFlowOtherFrmNifIndex,  axsEthShaperStatsFlowOtherFrmLineIndex}	
3	axsEthShaperStatsFlowOtherFrmNifIndex {axsEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 1}	INTEGER	NA	該当 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7800sNifBoardNumber までの値。	
4	axsEthShaperStatsFlowOtherFrmLineIndex {axsEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 2}	INTEGER	NA	該当物理回線番号の情報を示します。 1 ~ ax7800sNifPhysLineNumber までの値。	
5	axsEthShaperStatsFlowOtherFrmOutFrames {axsEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 3}	Counter64	R/O	該当 LINE のシェーピング対象外フレーム総送信フレーム数を示します。	
6	axsEthShaperStatsFlowOtherFrmOutBytes {axsEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 4}	Counter64	R/O	該当 LINE のシェーピング対象外フレーム総送信バイト数を示します。	
7	axsEthShaperStatsFlowOtherFrmDiscardFrames {axsEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 5}	Counter64	R/O	該当 LINE のシェーピング対象外フレーム総廃棄フレーム数を示します。	
8	axsEthShaperStatsFlowOtherFrmDiscardBytes {axsEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry 6}	Counter64	R/O	該当 LINE のシェーピング対象外フレーム総廃棄バイト数を示します。	

注 clear shaper コマンドを実行した場合、0 クリアします。

表 3-6 axsEthShaperAgQueStats グループの実装仕様 (Shaper 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsEthShaperAgQueStatsTable {axsEthShaperAgQue 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Shaper 統計情報 (Ether Shaper Aggregated Queue) のテーブル情報。	
2	axsEthShaperAgQueStatsEntry {axsEthShaperAgQueStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ether Shaper アグリゲートキューごとの Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEthShaperAgQueStatsNifIndex, axsEthShaperAgQueStatsLineIndex, axsEthShaperAgQueStatsAgNumber}	

### 3.1 axsStats グループ (統計情報 MIB)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
3	axsEthShaperAgQueueStatsNifIndex {axsEthShaperAgQueueStatsEntry 1}	INTEGER	NA	当該 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7800sNifBoardNumber までの値。	
4	axsEthShaperAgQueueStatsLineIndex {axsEthShaperAgQueueStatsEntry 2}	INTEGER	NA	当該物理回線番号の情報を示します。 1 ~ ax7800sNifPhysLineNumber までの値。	
5	axsEthShaperAgQueueStatsAgNumber {axsEthShaperAgQueueStatsEntry 3}	INTEGER	NA	アグリゲートキュー番号 1 ~ 1023	
6	axsEthShaperAgQueueStatsTotalOutFrames {axsEthShaperAgQueueStatsEntry 4}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの総送信フレーム数を示します。	
7	axsEthShaperAgQueueStatsTotalOutBytes {axsEthShaperAgQueueStatsEntry 5}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの総送信バイト数を示します。	
8	axsEthShaperAgQueueStatsTotalDiscardFrames {axsEthShaperAgQueueStatsEntry 6}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの総廃棄フレーム数を示します。	
9	axsEthShaperAgQueueStatsTotalDiscardBytes {axsEthShaperAgQueueStatsEntry 7}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの総廃棄バイト数を示します。	
10	axsEthShaperAgQueueStatsQueueTable {axsEthShaperAgQueue 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	当該アグリゲートキューの出力優先度キューごとの Shaper 統計情報のテーブル情報。	
11	axsEthShaperAgQueueStatsQueueEntry {axsEthShaperAgQueueStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	当該アグリゲートキューの出力優先度キューごとの Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEthShaperAgQueueStatsQueueNifIndex ,  axsEthShaperAgQueueStatsQueueLineIndex ,  axsEthShaperAgQueueStatsQueueAgNumber ,  axsEthShaperAgQueueStatsQueueQueueIndex }	
12	axsEthShaperAgQueueStatsQueueNifIndex {axsEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 1}	INTEGER	NA	当該 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7800sNifBoardNumber までの値。	
13	axsEthShaperAgQueueStatsQueueLineIndex {axsEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 2}	INTEGER	NA	当該物理回線番号の情報を示します。 1 ~ ax7800sNifPhysLineNumber までの値。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
14	axsEthShaperAgQueueStatsQueueAgNumber {axsEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 3}	INTEGER	NA	アグリゲートキュー番号 1 ~ 1023	
15	axsEthShaperAgQueueStatsQueueQueueIndex {axsEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 4}	INTEGER	NA	本テーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ~ 4 までの値。	
16	axsEthShaperAgQueueStatsQueueOutFrames {axsEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの出力優先度キューの送信フレーム数を示します。	
17	axsEthShaperAgQueueStatsQueueOutBytes {axsEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの出力優先度キューの送信バイト数を示します。	
18	axsEthShaperAgQueueStatsQueueDiscardFrames {axsEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの出力優先度キューの廃棄フレーム数を示します。	
19	axsEthShaperAgQueueStatsQueueDiscardBytes {axsEthShaperAgQueueStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	当該アグリゲートキューの出力優先度キューの廃棄バイト数を示します。	
20	axsEthShaperDefAgQueueStatsTable {axsEthShaperAgQueue 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Shaper 統計情報 ( Ether Shaper デフォルトの Aggregated Queue ) のテーブル情報。	
21	axsEthShaperDefAgQueueStatsEntry {axsEthShaperDefAgQueueStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ether Shaper デフォルトのアグリゲートキューの Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEthShaperDefAgQueueStatsNifIndex, axsEthShaperDefAgQueueStatsLineIndex}	
22	axsEthShaperDefAgQueueStatsNifIndex {axsEthShaperDefAgQueueStatsEntry 1}	INTEGER	NA	当該 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7800sNifBoardNumber までの値	
23	axsEthShaperDefAgQueueStatsLineIndex {axsEthShaperDefAgQueueStatsEntry 2}	INTEGER	NA	当該物理回線番号の情報を示します。 1 ~ ax7800sNifPhysLineNumber までの値	
24	axsEthShaperDefAgQueueStatsTotalOutFrames {axsEthShaperDefAgQueueStatsEntry 3}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの総送信フレーム数を示します。	
25	axsEthShaperDefAgQueueStatsTotalOutBytes {axsEthShaperDefAgQueueStatsEntry 4}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの総送信バイト数を示します。	
26	axsEthShaperDefAgQueueStatsTotalDiscardFrames {axsEthShaperDefAgQueueStatsEntry 5}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの総廃棄フレーム数を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
27	axsEthShaperDefAgQueueStatsTotalDiscardBytes {axsEthShaperDefAgQueueStatsEntry 6}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの総廃棄バイト数を示します。	
28	axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueTable {axsEthShaperAgQueue 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キュー毎の Shaper 統計情報のテーブル情報。	
29	axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry {axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キュー毎の Shaper 統計情報に関するエントリ。 [index] {axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueNifIndex,  axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueLineIndex,  axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueQueueIndex}	
30	axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueNifIndex {axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 1}	INTEGER	NA	当該 NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ axs7800sNifBoardNumber までの値	
31	axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueLineIndex {axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 2}	INTEGER	NA	当該物理回線番号の情報を示します。 1 ~ axs7800sNifPhysLineNumber までの値	
32	axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueQueueIndex {axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 3}	INTEGER	NA	本テーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ~ 4 までの値。	
33	axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueOutFrames {axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 4}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キューの送信フレーム数を示します。	
34	axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueOutBytes {axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キューの送信バイト数を示します。	
35	axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueDiscardFrames {axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キューの廃棄フレーム数を示します。	
36	axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueDiscardBytes {axsEthShaperDefAgQueueStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	デフォルトのアグリゲートキューの出力優先度キューの廃棄バイト数を示します。	

注 clear shaper コマンドを実行した場合、0 クリアします。

### 3.1.5 axsDHCP グループ

#### (1) 識別子

axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axsDHCP OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 10}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10

## (2) 実装仕様

axsDHCP グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-7 axsDHCP グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsDHCP {axsStats 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	DHCP サーバに関する統計情報。	
2	axsDHCPAddrValue {axsDHCP 1}	INTEGER	R/O	割当て可能な IP アドレス数。	
3	axsDHCPFreeAddrValue {axsDHCP 2}	INTEGER	R/O	未割当て IP アドレス数。	

## 3.1.6 axsVlanStats グループ

### (1) 識別子

axsMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 1}  
 axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}  
 axsVlanStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 11}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11

### (2) 実装仕様

axsVlanStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-8 axsVlanStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVlanStatsTable {axsVlanStats 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN に関する統計情報テーブル。	
2	axsVlanStatsEntry {axsVlanStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN に関する統計情報テーブルのエントリ。 [index] {axsVlanStatsVlanIndex, axsVlanStatsPortIndex}	
3	axsVlanStatsVlanIndex {axsVlanStatsEntry 1}	VlanIndex	NA	VLAN ID	
4	axsVlanStatsPortIndex {axsVlanStatsEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ポートのポート番号 (1 ~ 65535)。	
5	axsVlanStatsInOctets {axsVlanStatsEntry 3}	Counter64	R/O	VLAN に所属するインタフェースの受信オクテット数 (FCS を除く)。 ただし, AX5400S (BSU-C1, BSU-S1) は 0 固定。	
6	axsVlanStatsInFrames {axsVlanStatsEntry 4}	Counter64	R/O	VLAN に所属するインタフェースの受信フレーム数。 ただし, AX5400S (BSU-C1, BSU-S1) は 0 固定。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axsVlanStatsInDiscards {axsVlanStatsEntry 5}	Counter64	R/O	VLAN に所属するインタフェースで受信され廃棄されたフレーム数。 ただし、AX5400S (BSU-C1, BSU-S1) は 0 固定。	
8	axsVlanStatsOutOctets {axsVlanStatsEntry 6}	Counter64	R/O	VLAN に所属するインタフェースの送信オクテット数 (FCS を除く)。 ただし、AX5400S (BSU-C1, BSU-S1) は 0 固定。	
9	axsVlanStatsOutFrames {axsVlanStatsEntry 7}	Counter64	R/O	VLAN に所属するインタフェースの送信フレーム数。 ただし、AX5400S (BSU-C1, BSU-S1) は 0 固定。	
10	axsVlanStatsOutDiscards {axsVlanStatsEntry 8}	Counter64	R/O	VLAN に所属するインタフェースで送信されずに廃棄されたフレーム数。 ただし、AX5400S (BSU-C1, BSU-S1) は 0 固定。	

### 3.1.7 axslpStats グループ

#### (1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsIpStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.12
```

#### (2) 実装仕様

axsIpStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-9 axslpStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsIpStats {axsStats 12}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IP に関する統計情報。	
2	axsIpNullInDiscards {axsIpStats 1}	Counter64	R/O	NULL インタフェースによって廃棄された IPv4 パケット数。	
3	axsIpv6NullInDiscards {axsIpStats 2}	Counter64	R/O	NULL インタフェースによって廃棄された IPv6 パケット数。	
4	axsIpPimRegisterDiscards {axsIpStats 3} <b>【OP-MLT】</b>	Counter64	R/O	PIM のレジスタチェックサムエラーによって廃棄された IPv4 パケット数。	

## 3.2 axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)

### 3.2.1 axsGsrpGroupTable グループ

#### (1) 識別子

```
axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}

axsGsrpGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1
```

#### (2) 実装仕様

axsGsrpGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-10 axsGsrpGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpGroupTable {axsGsrp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP グループ情報を格納するテーブル。	
2	axsGsrpGroupEntry {axsGsrpGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP グループ情報のリスト。 INDEX {axsGsrpGroupId}	
3	axsGsrpGroupId {axsGsrpGroupEntry 1}	INTEGER	NA	GSRP グループ識別子。	
4	axsGsrpGroupRowStatus {axsGsrpGroupEntry 2}	RowStatus	R/O	このエントリの有効 / 無効状態を示します。 Valid(1) 固定。	
5	axsGsrpMacAddress {axsGsrpGroupEntry 3}	MacAddress	R/O	本装置の MAC アドレス。	
6	axsGsrpAdvertiseHoldTime {axsGsrpGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	Advertise フレームの保持時間。 [単位：ミリ秒]	
7	axsGsrpAdvertiseInterval {axsGsrpGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	Advertise フレームの送信間隔。 [単位：ミリ秒]	
8	axsGsrpSelectionPattern {axsGsrpGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	マスタ / バックアップ選択パターン。 • Ports-Priority-MAC(1) • Priority-Ports-MAC(2)	
9	axsGsrpLayer3Redundancy {axsGsrpGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	レイヤ 3 冗長切替の状態。 • Off(1) • On(2)	

### 3.2.2 axsGsrpVlanGroupTable グループ

#### (1) 識別子

```
axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}

axsGsrpVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2
```

#### (2) 実装仕様

axsGsrpVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-11 axsGsrpVlanGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpVlanGroupTable {axsGsrp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブル。	
2	axsGsrpVlanGroupEntry {axsGsrpVlanGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP VLAN グループ情報のリスト。 INDEX {axsGsrpGroupId , axsGsrpVlanGroupId}	
3	axsGsrpVlanGroupId {axsGsrpVlanGroupEntry 1}	INTEGER	NA	GSRP VLAN グループ番号 (1 ~ 128)。	
4	axsGsrpVlanGroupRowStatus {axsGsrpVlanGroupEntry 2}	RowStatus	R/O	このエントリの有効 / 無効状態を示します。 Valid(1) 固定	
5	axsGsrpState {axsGsrpVlanGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	GSRP グループの状態。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• BackUp(1)</li> <li>• BackUp(Waiting)(2)</li> <li>• Master(3)</li> <li>• BackUp(No Neighbor)(4)</li> <li>• BackUp(Lock)(5)</li> </ul>	
6	axsGsrpPriority {axsGsrpVlanGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	構成された優先度。	
7	axsGsrpActivePorts {axsGsrpVlanGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	アクティブポートの数。	
8	axsGsrpTransitionToMasterCounts {axsGsrpVlanGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	バックアップ状態からマスタ状態に移行した回数。	
9	axsGsrpTransitionFromMasterCounts {axsGsrpVlanGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	マスタ状態からバックアップ状態に移行した回数。	
10	axsGsrpLastTransitionTime {axsGsrpVlanGroupEntry 8}	TimeStamp	R/O	マスタ状態からバックアップ状態、またはバックアップ状態からマスタ状態に遷移した最終時刻。	
11	axsGsrpVirtualMacAddress {axsGsrpVlanGroupEntry 9}	MacAddress	R/O	GSRP VLAN グループの仮想 MAC アドレス。	

### 3.2.3 axsGsrpNeighborGroupTable グループ

#### (1) 識別子

axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}

axsGsrpNeighborGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 3}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3

#### (2) 実装仕様

axsGsrpNeighborGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-12 axsGsrpNeighborGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpNeighborGroupTable {axsGsrp 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP グループ情報を格納するテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsGsrpNeighborGroupEntry {axsGsrpNeighborGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP グループ情報のリスト。 INDEX {axsGsrpNeighborGroupId, axsGsrpNeighborMacAddress}	
3	axsGsrpNeighborGroupId {axsGsrpNeighborGroupEntry 1}	INTEGER	NA	対向装置の GSRP グループ識別子。	
4	axsGsrpNeighborMacAddress {axsGsrpNeighborGroupEntry 2}	MacAddress	NA	対向装置の MAC アドレス。	
5	axsGsrpNeighborAdvertiseHoldTime {axsGsrpNeighborGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	対向装置の Advertise フレームの保持時間。 [単位：ミリ秒]	
6	axsGsrpNeighborAdvertiseInterval {axsGsrpNeighborGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	対向装置の Advertise フレームの送信間隔。 [単位：ミリ秒]	
7	axsGsrpNeighborSelectionPattern {axsGsrpNeighborGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	対向装置のマスター / バックアップ選択パターン。 • Port-Priority-MAC(1) • Priority-Port-MAC(2)	

### 3.2.4 axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ

#### (1) 識別子

axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}

axsGsrpNeighborVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 4}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4

#### (2) 実装仕様

axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-13 axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpNeighborVlanGroupTable {axsGsrp 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブル。	
2	axsGsrpNeighborVlanGroupEntry {axsGsrpNeighborGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP VLAN グループ情報のリスト。 INDEX {axsGsrpNeighborGroupId, axsGsrpNeighborVlanGroupId, axsGsrpNeighborMacAddress}	
3	axsGsrpNeighborVlanGroupId {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 1}	INTEGER	NA	対向装置の GSRP VLAN グループ番号 (1 ~ 128)。	

### 3.2 axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsGsrpNeighborState {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 2}	INTEGER	R/O	対向装置の GSRP グループの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• BackUp(1)</li> <li>• BackUp(Waiting)(2)</li> <li>• Master(3)</li> <li>• BackUp(No Neighbor)(4)</li> <li>• BackUp(Lock)(5)</li> </ul>	
5	axsGsrpNeighborPriority {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	対向装置の構成された優先度。	
6	axsGsrpNeighborActivePorts {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	対向装置のアクティブポートの数。	

## 3.3 axsFdb グループ (Fdb グループ MIB)

### (1) 識別子

```
axsMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 1}
axsFdb OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5
```

### (2) 実装仕様

axsFdb グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-14 axsFdb グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsFdbCounterTable {axsFdb 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	FDB 学習数に関する情報テーブル。	
2	axsFdbCounterEntry {axsFdbCounterTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	FDB 学習数に関する情報テーブルのエントリ。 [index] {axsFdbCounterNifIndex, axsFdbCounterLineIndex}	
3	axsFdbCounterNifIndex {axsFdbCounterEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 AX7800S の場合 1 ~ ax7800sNifBoardNumber までの値 (NIF 搭載スロット番号 +1 の値)。 AX5400S の場合 1 ~ ax5400sNifBoardNumber までの値 (NIF 搭載スロット番号 +1 の値)。	
4	axsFdbCounterLineIndex {axsFdbCounterEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	LINE 搭載スロットの位置情報を示します。 AX7800S の場合 1 ~ ax7800sNifLineNumber までの値 (Line 番号 +1 の値)。 AX5400S の場合 1 ~ ax5400sNifLineNumber までの値 (Line 番号 +1 の値)。	
5	axsFdbCounterCounts {axsFdbCounterEntry 3}	Counter32	R/O	このポートで学習している FDB エントリ数。	
6	axsFdbCounterType {axsFdbCounterEntry 4}	INTEGER	R/O	学習制限の設定有無，および設定時に最大 FDB 数を超えた場合の未学習フレームの挙動。 Unlimited (0) Limited and Forward (1) Limited and Discard (2)	
7	axsFdbCounterLimits {axsFdbCounterEntry 5}	Counter32	R/O	このポートで学習可能な最大 FDB エントリ数。 0：学習禁止 1 ~ 100,000：コンフィグレーションコマンド fdb の limit-learning サブコマンドで設定した数	

注 axsFdbCounterType が Unlimited(0) の場合は 0 固定になります。

## 3.4 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)

本グループで使用するポート番号は、物理ポート、およびリンクアグリゲーショングループのすべてを一意に識別するための番号とし、それぞれ次の形式で求めたものです。

- 物理ポートのポート番号  
物理ポートは一意に識別されます。  
ポート番号 = NIF 番号 × 48 + Line 番号 + 1
- リンクアグリゲーショングループのポート番号  
リンクアグリゲーショングループのポート番号は、次に示すとおりリンクアグリゲーショングループ ID から算出して求めます。  
ポート番号 = 769 (固定値) + リンクアグリゲーショングループ ID

### 注意事項

axsVBTPFdbTable グループ、axsVBStaticTable グループの MIB は GetNextRequest による MIB 取得に対応していません。GetRequest による MIB 取得には対応していますが、指定する OID は Index に該当する値を含める必要があります。

例：VLAN ID=2 MAC アドレス=00:12:E2:13:00:00 の axsVBTPFdbStatus を取得する場合の OID

```
OID =      axsVBTPFdbStatus.                (VLAN ID) . (10進MACアドレス)
      = 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.4.      2.      0.18.226.19.0.0
```

### 3.4.1 axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報)

#### (1) axsVBBaseTable グループ

##### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
```

##### (b) 実装仕様

axsVBBaseTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-15 axsVBBaseTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBBaseTable {axsVlanBridgeBase 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dBase 情報テーブル。	
2	axsVBBaseEntry {axsVBBaseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBBaseTable の各 VLAN ID の情報エントリ。 [index]{axsVBBaseIndex}	
3	axsVBBaseIndex {axsVBBaseEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	
4	axsVBBaseBridgeAddress {axsVBBaseEntry 2}	MacAddress	R/O	VLAN の MAC アドレス。 VLAN ごとの MAC 機能使用時：VLAN ごとの MAC アドレス 未使用時：装置 MAC アドレス	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsVBBBaseNumPorts {axsVBBBaseEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポート数。 同一のリンクアグリゲーショングループに複数のポートが属している場合、これらをまとめて一つのポートとカウントする。	
6	axsVBBBaseType {axsVBBBaseEntry 4}	INTEGER	R/O	VLAN が実行することができるブリッジングのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• unknown(1)</li> <li>• transparent-only(2)</li> <li>• sourceroute-only(3)</li> <li>• srt(4)</li> </ul> 本装置では transparent-only(2) 固定を返す。	
7	axsVBBBaseVlanIfIndex {axsVBBBaseEntry 5}	INTEGER	R/O	VLAN のインタフェースの ifIndex の値。	
8	axsVBBBaseVlanType {axsVBBBaseEntry 6}	INTEGER	R/O	VLAN のタイプ <ul style="list-style-type: none"> <li>• port-based(1)</li> <li>• mac-based(2) <b>【AX7800S】</b></li> <li>• protocol-based(3)</li> </ul>	
9	axsVBBBaseVlanID {axsVBBBaseEntry 7}	VlanIdOrZero	R/O	VLAN に対応する VLAN-Tag の VID の値。	
10	axsVBBBaseAssociatedPrimaryVlan {axsVBBBaseEntry 8}	VlanIdOrZero	R/O	プライベート VLAN 機能を使用し、かつ、この VLAN が Secondary VLAN として設定されている場合に、この VLAN に対応している Primary VLAN の VLAN ID を返す。 この VLAN がプライベート VLAN 機能を使用していない、または Secondary VLAN ではない、もしくは対応する Primary VLAN が設定されていない時は 0 を返す。	
11	axsVBBBaseIfStatus {axsVBBBaseEntry 9}	INTEGER	R/O	VLAN の上位プロトコルに対するインタフェース状態。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Up(1)</li> <li>• Down(2)</li> </ul>	
12	axsVBBBaseLastChange {axsVBBBaseEntry 10}	TimeTicks	R/O	VLAN のトポロジが変更したときの sysUpTime 値。	
13	axsVBBBasePrivateVlanType {axsVBBBaseEntry 11}	INTEGER	R/O	VLAN のプライベート VLAN タイプ。プライベート VLAN 機能を使用していない場合は normal(1) を返す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• normal(1)</li> <li>• primary(2)</li> <li>• isolated(3)</li> <li>• community(4)</li> </ul>	

## (2) axsVBBBasePortTable グループ

### (a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1

(b) 実装仕様

axsvbBasePortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-16 axsvbBasePortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsvbBasePortTable {axsvlanBridgeBase 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dBasePortTable 情報テーブル。	
2	axsvbBasePortEntry {axsvbBasePortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsvbBasePortTable の構成エントリ [Index] {axsvbBasePortIndex, axsvbBasePort}	
3	axsvbBasePortIndex {axsvbBasePortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	
4	axsvbBasePort {axsvbBasePortEntry 2}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートのポート番号 (1 ~ 65535)。 本ポート番号は物理ポートとリンクアグリゲーションを対象とする。	
5	axsvbBasePortIfIndex {axsvbBasePortEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートに対応する ifIndex 値。	
6	axsvbBasePortCircuit {axsvbBasePortEntry 4}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	VLAN に設定されている異なるポートに対して、axsvbBasePortIfIndex が同じ値となる場合にポートを識別する識別子。 本装置では固定値 (00) を返す。	
7	axsvbBasePortDelayExceededDiscards {axsvbBasePortEntry 5}	Counter	R/O	VLAN に設定されているポートで発生した通過遅延による廃棄フレームの総数。 本装置では固定値 (0) を返す。	
8	axsvbBasePortMtuExceededDiscards {axsvbBasePortEntry 6}	Counter	R/O	VLAN に設定されているポートで発生したデータオーバーフローによる破棄フレームの総数。 本装置では固定値 (0) を返す。	
9	axsvbBasePortState {axsvbBasePortEntry 7}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートの STP ポート状態。 <ul style="list-style-type: none"> <li>disabled(1)</li> <li>blocking(2)</li> <li>listening(3)</li> <li>learning(4)</li> <li>forwarding(5)</li> <li>broken(6)</li> <li>fix-forwarding(7)</li> </ul> 本装置は disabled(1), blocking(2), listening(3), learning(4), forwarding(5), fix-forwarding(7) のどれかを返す。	
10	axsvbBasePortTaggedState {axsvbBasePortEntry 8}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートの VLAN-Tag 設定の状態 <ul style="list-style-type: none"> <li>設定なし (1)</li> <li>設定あり (2)</li> </ul>	
11	axsvbBasePortTranslatedTagID {axsvbBasePortEntry 9}	VlanIdOrZero	R/O	Tag 変換機能が設定されている時このポートに設定されている VLAN の Translated ID(2 ~ 4095) Tag 変換機能の設定がされていない場合に (0) を返す。	

## (3) axsVBStpTable グループ

## (a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2

## (b) 実装仕様

axsVBStpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-17 axsVBStpTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStpTable {axsVlanBridgeStp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStpTable 情報テーブル。 本テーブルは PVST+ の VLAN ごとのスパンニング・ツリー情報を対象とする。	
2	axsVBStpEntry {axsVBStpTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStpTable の構成エントリ。 [Index] { axsVBStpIndex }	
3	axsVBStpIndex {axsVBStpEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	
4	axsVBStpProtocolSpecification {axsVBStpEntry 2}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーのプロトコル種別。 <ul style="list-style-type: none"> <li>unknown(1)</li> <li>decLb100(2)</li> <li>ieee8021d(3)</li> <li>ieee8021w(4)</li> </ul> 本装置は ieee8021d(3) または ieee8021w(4) を返す。	
5	axsVBStpPriority {axsVBStpEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーのプライオリティの値 (0 ~ 65535)。	
6	axsVBStpTimeSinceTopologyChange {axsVBStpEntry 4}	TimeTicks	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーのトポロジ変化が起きてからの経過時間。 [ 単位 : 1/100 秒 ]	
7	axsVBStpTopChanges {axsVBStpEntry 5}	Counter	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーのトポロジ変化回数。	
8	axsVBStpDesignatedRoot {axsVBStpEntry 6}	BridgeId	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーのルートブリッジ識別子。	
9	axsVBStpRootCost {axsVBStpEntry 7}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーの持つルートパスコスト値。	
10	axsVBStpRootPort {axsVBStpEntry 8}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーの持つルートポート値。	
11	axsVBStpMaxAge {axsVBStpEntry 9}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーの持つ最大エージング時間。 [ 単位 : 1/100 秒 ]	
12	axsVBStpHelloTime {axsVBStpEntry 10}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーの持つ Hello 時間。 [ 単位 : 1/100 秒 ]	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axsVBStpHoldTime {axsVBStpEntry 11}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つ Hold 時間。 [ 単位 : 1/100 秒 ]	
14	axsVBStpForwardDelay {axsVBStpEntry 12}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つ転送遅延時間。 [ 単位 : 1/100 秒 ]	
15	axsVBStpBridgeMaxAge {axsVBStpEntry 13}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する最大エージング時間 (600 ~ 4000)。 [ 単位 : 1/100 秒 ]	
16	axsVBStpBridgeHelloTime {axsVBStpEntry 14}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する Hello 時間 (100 ~ 1000)。 [ 単位 : 1/100 秒 ]	
17	axsVBStpBridgeForwardDelay {axsVBStpEntry 15}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する転送遅延時間 (400 ~ 3000)。 [ 単位 : 1/100 秒 ]	

#### (4) axsVBStpPortTable グループ

##### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2
```

##### (b) 実装仕様

axsVBStpPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-18 axsVBStpPortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStpPortTable {axsVlanBridgeStp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStpPortTable 情報テーブル。 本テーブルは PVST+ の VLAN ごとのスパニング・ツリーポート情報を対象とする。	
2	axsVBStpPortEntry {axsVBStpPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStpPortTable の構成エントリ。 [Index] {axsVBStpPortIndex, axsVBStpPort}	
3	axsVBStpPortIndex {axsVBStpPortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	
4	axsVBStpPort {axsVBStpPortEntry 2}	INTEGER	R/O	この構成エントリに対応するポート番号 (1 ~ 65535)。 本ポート番号は物理ポートとリンクアグリゲーションを対象とする。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsVBStpPortPriority {axsVBStpPortEntry 3}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの優先度 (0 ~ 255)。	
6	axsVBStpPortState {axsVBStpPortEntry 4}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• disabled(1)</li> <li>• blocking(2)</li> <li>• listening(3)</li> <li>• learning(4)</li> <li>• forwarding(5)</li> <li>• broken(6)</li> </ul> 本装置では disabled(1), blocking(2), listening(3), learning(4), forwarding(5) のどれかを返す。	
7	axsVBStpPortEnable {axsVBStpPortEntry 5}	INTEGER	R/O	このポートで VLAN ごとのスパニング・ツリーが有効であることを示す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enabled(1)</li> <li>• disabled(2)</li> </ul>	
8	axsVBStpPortPathCost {axsVBStpPortEntry 6}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとのパスコスト値 (1 ~ 200000000)。	
9	axsVBStpPortDesignatedRoot {axsVBStpPortEntry 7}	BridgeId	R/O	このポートが受信した指定ブリッジからの BPDU に格納された VLAN ごとのルートブリッジ識別子の値。	
10	axsVBStpPortDesignatedCost {axsVBStpPortEntry 8}	INTEGER	R/O	このポートに接続されている指定ポートの VLAN ごとのパスコスト値。	
11	axsVBStpPortDesignatedBridge {axsVBStpPortEntry 9}	BridgeId	R/O	このポートが指定ブリッジとみなしている VLAN ごとのブリッジのブリッジ識別子。	
12	axsVBStpPortDesignatedPort {axsVBStpPortEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	このポートに接続されている VLAN ごとの指定ブリッジのポート識別子。	
13	axsVBStpPortForwardTransitions {axsVBStpPortEntry 11}	Counter	R/O	このポートがラーニング状態からフォワーディング状態に遷移した VLAN ごとの回数。	

## (5) axsVBTPTable グループ

### (a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

### (b) 実装仕様

axsVBTPTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-19 axsVBTPTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBTPTable {axsVlanBridgeTp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTp 情報テーブル。	
2	axsVBTPEntry {axsVBTPTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBTPTable の構成エントリ。 [Index]{axsVBTPIndex}	
3	axsVBTPIndex {axsVBTPEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	
4	axsVBTPLearnedEntryDiscards {axsVBTPEntry 2}	Counter	R/O	フィルタリングデータベースに空き領域がないために、破棄されたエントリの数。 本装置では固定値 (0) を返す。	
5	axsVBTPAgingTime {axsVBTPEntry 3}	INTEGER	R/O	ダイナミックに学習したフィルタリングデータベースのエントリをエージング・アウトさせるためのタイムアウト期間。 <ul style="list-style-type: none"> <li>エージングモードの場合：(10 ~ 1000000)</li> <li>エージングモードでない場合：(0)</li> </ul> [単位：秒]	

## (6) axsVBTPFdbTable グループ

## (a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

## (b) 実装仕様

axsVBTPFdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-20 axsVBTPFdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBTPFdbTable {axsVlanBridgeTp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTpFdbTable 情報テーブル。本テーブルでは、GetNextRequest については応答せず、次の MIB オブジェクトを応答する。	
2	axsVBTPFdbEntry {axsVBTPFdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBTPFdbTable の構成エントリ。 [Index] {axsVBTPFdbIndex, axsVBTPFdbAddress}	
3	axsVBTPFdbIndex {axsVBTPEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	
4	axsVBTPFdbAddress {axsVBTPEntry 2}	MacAddress	R/O	フィルタリングデータベースエントリのユニキャスト MAC アドレス。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsVBTPFdbPort {axsVBTPEntry 3}	INTEGER	R/O	axsVBTPFdbAddress の示す MAC アドレスをソースアドレスとして持つフレームを受信したポート番号。0 の場合、ポート番号を学習していないことを示す。	
6	axsVBTPFdbStatus {axsVBTPEntry 4}	INTEGER	R/O	フィルタリングデータベースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other(1)</li> <li>• invalid(2)</li> <li>• learned(3)</li> <li>• self(4)</li> <li>• mgmt(5)</li> </ul> ダイナミックエントリは learned(3) を返す。 スタティックエントリは mgmt(5) を返す。	

## (7) axsVBTPPortTable グループ

### (a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

### (b) 実装仕様

axsVBTPPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-21 axsVBTPPortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBTPPortTable {axsVlanBridgeTp 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTpPortTable 情報テーブル。	
2	axsVBTPPortEntry {axsVBTPPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各ポートの axsVBTPPortTable 情報エントリ。 [Index] {axsVBTPPortIndex, axsVBTPPort}	
3	axsVBTPPortIndex {axsVBTPPortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	
4	axsVBTPPort {axsVBTPPortEntry 2}	INTEGER	R/O	このエントリが含む管理情報がどのポートに対応するかを示すポート番号 (1 ~ 65535)。 本ポート番号は物理ポートとリンクアグリゲーションを対象とする。	
5	axsVBTPPortMaxInfo {axsVBTPPortEntry 3}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの最大 INFO フィールドサイズ (MAC ヘッダおよび FCS を含まない)。	
6	axsVBTPPortInFrames {axsVBTPPortEntry 4}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの受信フレーム数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axsVBTPortOutFrames {axsVBTPortEntry 5}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの送信フレーム数。	
8	axsVBTPortInDiscards {axsVBTPortEntry 6}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの受信フレーム破棄数。	

## (8) axsVBStaticTable グループ

## (a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 5}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5

## (b) 実装仕様

axsVBStaticTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-22 axsVBStaticTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStaticTable {axsVlanBridgeStatic 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStaticTable 情報テーブル。 本テーブルでは GetNextRequest については応答せず、次の MIB オブジェクトを応答する。	
2	axsVBStaticEntry {axsVBStaticTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStaticTable の構成エントリ。 [Index] {axsVBStaticIndex, axsVBStaticAddress }	
3	axsVBStaticIndex {axsVBStaticEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID	
4	axsVBStaticAddress {axsVBStaticEntry 2}	MacAddress	R/O	ユニキャスト、グループ、ブロードキャストのどれかの MAC アドレス。	
5	axsVBStaticReceivePort {axsVBStaticEntry 3}	INTEGER	R/O	このエントリを適用する受信ポート番号。 全ての受信ポートを対象とするときは 0。 本装置では固定値 (0) を返す。	
6	axsVBStaticAllowedToGoTo {axsVBStaticEntry 4}	OCTET STRING	R/O	本エントリの持つ MAC アドレスを宛先とするフレームを転送する時の転送先ポートを示すポートのビットマップ。	
7	axsVBStaticStatus {axsVBStaticEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリの状態を示す。 other(1) invalid(2) permanent(3) deleteOnReset(4) deleteOnTimeout(5) 本装置では、スタティックエントリを permanent(3)、IGMP/MLD snooping エントリを deleteOnReset(4) として返す。	

## ( 9 ) axsVlanBridge ( その他 ) グループ

## ( a ) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

## ( b ) 実装仕様

axsVlanBridge ( その他 ) グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-23 axsVlanBridge ( その他 ) グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axsVlanBridgeMaxVlans {axsVlanBridge 101}	VlanIndex	R/O	本装置の VLAN ID の最大値。 本装置では固定値 (4095) を返す。	
2	axsVlanBridgeMaxSpans {axsVlanBridge 102}	VlanIndex	R/O	本装置でスパニング・ツリーの動作する VLAN の VLAN ID の最大値。 本装置では固定値 (4095) を返す。	

## 3.4.2 axsVlanTagTranslation グループ ( Tag 変換情報 MIB )

## ( 1 ) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanTagTranslation OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 10}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10

axsVlanTagTranslationTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanTagTranslation 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1

## ( 2 ) 実装仕様

axsVlanTagTranslation の実装仕様を次の表に示します。

表 3-24 axsVlanTagTranslation グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axsVlanTagTranslationTable {axsVlanTagTranslation 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換機能に関する情報テーブル。	
2	axsVlanTagTranslationEntry {axsVlanTagTranslationTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換機能に関する情報テーブルのエントリ。 [index] {axsVlanTagTranslationVlanId, axsVlanTagTranslationTranslatedId}	
3	axsVlanTagTranslationVlanId {axsVlanTagTranslationEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換機能を設定している VLAN ID (2 - 4095)。	
4	axsVlanTagTranslationTranslatedId {axsVlanTagTranslationEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換機能で設定している Translated ID (2 - 4095)。	

### 3.4 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsVlanTagTranslationPorts {axsVlanTagTranslationEntry 3}	PortList	R/O	Tag 変換機能にて、同一の VLAN で同一の Translated ID を設定しているポートリスト。	

## 3.5 axsOadp グループ ( OADP 情報 MIB )

### 3.5.1 axsOadpGlobalInfo グループ

#### (1) 識別子

axsOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 7}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7

axsOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadp 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1

axsOadpGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadpMIBObjects 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1

#### (2) 実装仕様

axsOadpGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-25 axsOadpGlobalInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOadpGlobalActive {axsOadpGlobalInfo 1}	TruthValue	R/O	OADP 機能の運用状態。oadp コンフィグレーションの enable または disable で設定した状態。 {enable(1), disable(2)}	
2	axsOadpGlobalCdpActive {axsOadpGlobalInfo 2}	TruthValue	R/O	CDP 受信機能の運用状態。 oadp コンフィグレーションの cdp-listener を設定したかどうかの状態。 {cdp-listener(1), cdp-listener を設定していない (2)}	
3	axsOadpGlobalMessageInterval {axsOadpGlobalInfo 3}	INTEGER (5..254)	R/O	OADP フレーム送信間隔。oadp コンフィグレーションの interval-time で設定した値。 [ 単位 : 秒 ]	
4	axsOadpGlobalHoldTime {axsOadpGlobalInfo 4}	INTEGER (10..255)	R/O	本装置が送信した OADP フレームに関して、隣接装置が保持する時間。oadp コンフィグレーションの hold-time で設定した値。 [ 単位 : 秒 ]	
5	axsOadpGlobalCacheLastChange {axsOadpGlobalInfo 5}	TimeTicks	R/O	axsOadpNeighborTable 情報が更新されたときの sysUpTime の値。	
6	axsOadpGlobalName {axsOadpGlobalInfo 6}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	本装置の装置識別子。	
7	axsOadpGlobalNameType {axsOadpGlobalInfo 7}	INTEGER	R/O	axsOadpGlobalName の種類。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other (1)</li> <li>• sysName (2)</li> <li>• serialNumber (3)</li> <li>• MACaddress (4)</li> </ul>	

### 3.5.2 axsOadpPortInfo グループ

#### (1) 識別子

```
axsOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7

axsOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1

axsOadpPortInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadpMIBObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2
```

#### (2) 実装仕様

axsOadpPortInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-26 axsOadpPortInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOadpPortConfigTable {axsOadpPortInfo 1}	SEQUENCE OF OadpPortConfigEntry	NA	OADP ポート情報に関するテーブル。	
2	axsOadpPortConfigEntry {axsOadpPortConfigTable 1}	OadpPortConfigEntry	NA	OADP ポート情報に関するエントリ (ポートごと)。 INDEX{axsOadpPortConfigIfIndex}	
3	axsOadpPortConfigIfIndex {axsOadpPortConfigEntry 1}	InterfaceIndex	R/O	ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 ifIndex が付与されている物理ポート, LA ポートが対象。	
4	axsOadpPortConfigActive {axsOadpPortConfigEntry 2}	TruthValue	R/O	当該ポートに関する運用状態。 {enable(1), disable(2)}	

### 3.5.3 axsOadpNeighborInfo グループ

#### (1) 識別子

```
axsOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7

axsOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1

axsOadpNeighborInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadpMIBObjects 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3
```

#### (2) 実装仕様

axsOadpNeighborInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-27 axsOadpNeighborInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOadpNeighborTable {axsOadpNeighborInfo 1}	SEQUENCE OF OadpNeighborEntry	NA	OADP 隣接ノードに関するテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsOadpNeighborEntry {axsOadpNeighborTable 1}	OadpNeighborEntry	NA	OADP 隣接ノードに関するエントリ ( 隣接情報毎 ) INDEX {axsOadpIfIndex, axsOadpTagID, axsOadpNeighborIndex, axsOadpNeighborTagID}	
3	axsOadpIfIndex {axsOadpNeighborEntry 1}	InterfaceIndex	R/O	受信インタフェースの ifIndex。	
4	axsOadpTagID {axsOadpNeighborEntry 2}	INTEGER (0..4095)	R/O	MAC フレームに付加されていた IEEE802.1Q のタグ ID(VID)。	
5	axsOadpNeighborIndex {axsOadpNeighborEntry 3}	INTEGER	R/O	隣接ノードを一意に識別する番号 (1 ~ 2 <sup>31</sup> -1)。	
6	axsOadpNeighborTagID {axsOadpNeighborEntry 4}	INTEGER (0..4095)	R/O	隣接ノードから送信された OADP PDU 内の TagID TLV に設定された値。CDP の場合は常に 0。	
7	axsOadpNeighborVendorType {axsOadpNeighborEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ノードを発見するために使ったプロトコルタイプ。 • other(1) • OADP(2) • CDP(3)	
8	axsOadpNeighborSNMPAgentAddressType {axsOadpNeighborEntry 6}	INTEGER	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントアドレスの種類。 • ipv4(1) • ipv6(20) • other-notSupported(65535)	
9	axsOadpNeighborSNMPAgentAddress {axsOadpNeighborEntry 7}	DisplayString	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントアドレスを DisplayString 化した情報。アドレス情報がない場合 (axsOadpNeighborSNMPAgentAddressType が other-notSupported) は NULL 文字。	
10	axsOadpNeighborDescr {axsOadpNeighborEntry 8}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysDescr 相当の文字列。	
11	axsOadpNeighborDeviceID {axsOadpNeighborEntry 9}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの装置識別子。OADP では axsOadpGlobalName で定義される文字列が格納される。	
12	axsOadpNeighborSlotPort {axsOadpNeighborEntry 10}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの送信インタフェースを一意に識別する文字列。(NIF 番号 /Line 番号)	
13	axsOadpNeighborIfIndex {axsOadpNeighborEntry 11}	InterfaceIndex	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifIndex。CDP の場合は常に 0。	
14	axsOadpNeighborIfSpeed {axsOadpNeighborEntry 12}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifSpeed。CDP の場合は常に 0	
15	axsOadpNeighborDeviceType {axsOadpNeighborEntry 13}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの装置名称。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	axsOadpNeighborService {axsOadpNeighborEntry 14}	OCTET STRING (SIZE(0..4))	R/O	隣接ノードが提供できる機能 ( 論理和の値 )。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Router (0x01)</li> <li>• Transparent Bridge (0x02)</li> <li>• Source-route Bridge (0x04)</li> <li>• Switch (0x08)</li> <li>• Host (0x10)</li> <li>• IGMP report を forward しない (0x20)</li> <li>• Repeater (0x40)</li> </ul>	
17	axsOadpNeighborVTPMgmtDomain {axsOadpNeighborEntry 15}	DisplayString (SIZE(0..32))	R/O	隣接ノードの送信インタフェースに関連する VTP Management Domain。	
18	axsOadpNeighborNativeVLAN {axsOadpNeighborEntry 16}	INTEGER (0..4095)	R/O	隣接ノードの送信インタフェースに関連する Native VLAN 番号。	
19	axsOadpNeighborDuplex {axsOadpNeighborEntry 17}	INTEGER	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの Duplex 情報。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• unknown (1)</li> <li>• HALF (2)</li> <li>• FULL (3)</li> </ul>	
20	axsOadpNeighborApplianceID {axsOadpNeighborEntry 18}	Gauge (0..255)	R/O	隣接ノードの Appliance ID。	
21	axsOadpNeighborVlanID {axsOadpNeighborEntry 19}	Gauge (0..4095)	R/O	隣接ノードの VoIP 用の VLAN ID。	
22	axsOadpNeighborPowerConsumption {axsOadpNeighborEntry 20}	Gauge	R/O	隣接ノードの VoIP 消費電力。 [ 単位 : ミリワット ]	
23	axsOadpNeighborMTU {axsOadpNeighborEntry 21}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの MTU。	
24	axsOadpNeighborSysName {axsOadpNeighborEntry 22}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysName。	
25	axsOadpNeighborSysObjectID {axsOadpNeighborEntry 23}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	隣接ノードの sysObjectID。	
26	axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType {axsOadpNeighborEntry 24}	INTEGER	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントセカンダリアドレスの種類。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ipv4(1)</li> <li>• ipv6(20)</li> <li>• other-notSupported(65535)</li> </ul>	
27	axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddress {axsOadpNeighborEntry 25}	DisplayString	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントセカンダリアドレスを DisplayString 化した情報。アドレス情報がない場合 (axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType が other-notSupported) は NULL 文字。	
28	axsOadpNeighborPhysLocation {axsOadpNeighborEntry 26}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysLocation。	

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
29	axsOadpNeighborCacheLastChange {axsOadpNeighborEntry 27}	TimeTicks	R/O	隣接ノードに関する axsOadpNeighborEntry が更新されたときの sysUpTime。	
30	axsOadpNeighborIfHighSpeed {axsOadpNeighborEntry 28}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifHighSpeed。CDP の場合は常に 0	

## 3.6 axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)

### 3.6.1 axsFlowResources グループ

#### (1) 識別子

```
axsFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 8}

axsFlowResources OBJECT IDENTIFIER ::= {axsFlow 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2
```

#### (2) 実装仕様

axsFlowResources グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-28 axsFlowResources グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsFlowResourcesSystemUsed {axsFlowResources 1}	INTEGER	R/O	装置当たりのフローフィルタ機能, フロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に利用しているエントリ数 (0..100,000)	
2	axsFlowResourcesSystemFree {axsFlowResources 2}	INTEGER	R/O	装置当たりのフローフィルタ機能, フロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に利用可能な空きエントリ数 (0..100,000)	
3	axsFlowResourcesSystemMax {axsFlowResources 3}	INTEGER	R/O	装置当たりのフローフィルタ機能, フロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に利用可能な最大エントリ数 (0..100,000)	
4	axsFlowResourcesSystemNetflowUsed {axsFlowResources 4}	INTEGER	R/O	装置当たりの NetFlow 統計情報機能に利用しているエントリ数 (0..100,000)	
5	axsFlowResourcesSystemPolicyUsed {axsFlowResources 5}	INTEGER	R/O	装置当たりのポリシールーティング機能に利用しているエントリ数 (0..1,000)	
6	axsFlowResourcesSystemPolicyMax {axsFlowResources 6}	INTEGER	R/O	装置当たりのポリシールーティング機能に利用可能な最大エントリ数 (1,000) 固定	
7	axsFlowResourcesTable {axsFlowResources 7}	SEQUENCE OF axsFlowResourcesEntry	NA	FlowResources のテーブル情報	
8	axsFlowResourcesEntry {axsFlowResourcesTable 1}	axsFlowResourcesEntry	NA	FlowResources に関するエントリ [index]{axsFlowResourcesIndex}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsFlowResourcesIndex {axsFlowResourcesEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別する PSU, BSU 搭載スロットの位置情報を示します。 AX7800S の場合 1 ~ ax7800sPsuBoardNumber までの値。 (PSU 搭載スロット番号 +1 の値) AX5400S の場合 1 ~ ax5400sBsuBoardNumber までの値。 (BSU 搭載スロット番号 +1 の値) 1 固定	
10	axsFlowResourcesFilterUsed {axsFlowResourcesEntry 2}	INTEGER	R/O	PSU, BSU 当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数 (0..16,000)	
11	axsFlowResourcesFilterFree {axsFlowResourcesEntry 3}	INTEGER	R/O	PSU, BSU 当たりのフローフィルタ機能に利用可能な空きエントリ数 (0..16,000)	
12	axsFlowResourcesQosUsed {axsFlowResourcesEntry 4}	INTEGER	R/O	PSU, BSU 当たりのフロー QoS 機能に利用しているエントリ数 (0..16,000)	
13	axsFlowResourcesNetflowUsed {axsFlowResourcesEntry 5}	INTEGER	R/O	PSU, BSU 当たりの NetFlow 統計情報機能に利用しているエントリ数 (0..16,000)	
14	axsFlowResourcesQosFree {axsFlowResourcesEntry 6}	INTEGER	R/O	PSU, BSU 当たりのフロー QoS 機能, NetFlow 統計情報機能に利用可能な空きエントリ数 (0..16,000)	
15	axsFlowResourcesUpcUsed {axsFlowResourcesEntry 7}	INTEGER	R/O	PSU, BSU 当たりの帯域制御機能 (UPC) に利用しているエントリ数 (0..4,000)	
16	axsFlowResourcesUpcFree {axsFlowResourcesEntry 8}	INTEGER	R/O	PSU, BSU 当たりの帯域制御機能 (UPC) に利用可能な空きエントリ数 (0..4,000)	
17	axsFlowResourcesPolicyUsed {axsFlowResourcesEntry 9}	INTEGER	R/O	PSU, BSU 当たりのポリシーレーティング機能に利用しているエントリ数 (0..1000)	
18	axsFlowResourcesFilterInterfaceInTable {axsFlowResources 8}	SEQUENCE OF axsFlowResourcesFilterInterfaceInEntry	NA	インタフェースまたは物理ポート当たりのフローフィルタ機能の Resources テーブル情報 (Inbound)	
19	axsFlowResourcesFilterInterfaceInEntry {axsFlowResourcesFilterInterfaceInTable 1}	axsFlowResourcesFilterInterfaceInEntry	NA	FlowResourcesInterface に関するエントリ [index] {axsFlowResourcesInterfaceInifIndex, axsFlowResourcesInterfaceInifIndexType}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
20	axsFlowResourcesFilterInterfaceInitIndex {axsFlowResourcesFilterInterfaceInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
21	axsFlowResourcesFilterInterfaceInitIndexType {axsFlowResourcesFilterInterfaceInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	
22	axsFlowResourcesFilterInterfaceInUsed {axsFlowResourcesFilterInterfaceInEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェース当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数。	
23	axsFlowResourcesFilterInterfaceOutTable {axsFlowResources 9}	INTEGER	NA	インタフェースまたは物理ポート当たりのフローフィルタ機能のResources テーブル情報 (Outbound)	
24	axsFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry {axsFlowResourcesFilterInterfaceOutTable 1}	INTEGER	NA	FlowResourcesFilterInterface に関するエントリ [index] {axsFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndex, axsFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndexType}	
25	axsFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndex {axsFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
26	axsFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndexType {axsFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	
27	axsFlowResourcesFilterInterfaceOutUsed {axsFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェースまたは物理ポート当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数。	
28	axsFlowResourcesQosInterfaceInTable {axsFlowResources 10}	SEQUENCE OF axsFlowResourcesQosInterfaceInEntry	NA	インタフェースまたは物理ポート当たりのフロー QoS 機能のResources テーブル情報 (Inbound)	
29	axsFlowResourcesQosInterfaceInEntry {axsFlowResourcesQosInterfaceInTable 1}	axsFlowResourcesQosInterfaceInEntry	NA	FlowResourcesQosInterface に関するエントリ [index] {axsFlowResourcesQosInterfaceInitIndex, axsFlowResourcesQosInterfaceInitIndexType}	
30	axsFlowResourcesQosInterfaceInitIndex {axsFlowResourcesQosInterfaceInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
31	axsFlowResourcesQosInterfaceInitIndexType {axsFlowResourcesQosInterfaceInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
32	axsFlowResourcesQosInterfaceInUsed {axsFlowResourcesQosInterfaceInEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェースまたは物理ポート当たりのフロー QoS 機能に利用しているエントリ数。	
33	axsFlowResourcesQosInterfaceOutTable {axsFlowResources 11}	SEQUENCE OF axsFlowResourcesQosInterfaceOutEntry	NA	インタフェースまたは物理ポート当たりのフロー QoS 機能の Resources テーブル情報 (Outbound)	
34	axsFlowResourcesQosInterfaceOutEntry {axsFlowResourcesQosInterfaceOutTable 1}	axsFlowResourcesQosInterfaceOutEntry	NA	FlowResourcesQosInterface に関するエントリ [index] {axsFlowResourcesQosInterfaceOutifIndex, axsFlowResourcesQosInterfaceOutifIndexType}	
35	axsFlowResourcesQosInterfaceOutifIndex {axsFlowResourcesQosInterfaceOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
36	axsFlowResourcesQosInterfaceOutifIndexType {axsFlowResourcesQosInterfaceOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2)	
37	axsFlowResourcesQosInterfaceOutUsed {axsFlowResourcesQosInterfaceOutEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェースまたは物理ポート当たりのフロー QoS 機能に利用しているエントリ数。	
38	axsFlowResourcesFilterListInTable {axsFlowResources 12}	SEQUENCE OF axsFlowResourcesFilterListInEntry	NA	リスト当たりのフローフィルタ機能の Resources テーブル情報 (Inbound)	
39	axsFlowResourcesFilterListInEntry {axsFlowResourcesFilterListInTable 1}	axsFlowResourcesFilterListInEntry	NA	FlowResourcesFilterList に関するエントリ [index] {axsFlowResourcesFilterListInifIndex, axsFlowResourcesFilterListInifIndexType, axsFlowResourcesFilterListInNumber}	
40	axsFlowResourcesFilterListInifIndex {axsFlowResourcesFilterListInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
41	axsFlowResourcesFilterListInifIndexType {axsFlowResourcesFilterListInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2)	
42	axsFlowResourcesFilterListInNumber {axsFlowResourcesFilterListInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
43	axsFlowResourcesFilterListInUsed {axsFlowResourcesFilterListInEntry 4}	INTEGER	R/O	リスト当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数。	
44	axsFlowResourcesFilterListOutTable {axsFlowResources 13}	SEQUENCE OF axsFlowResourcesFilterListOutEntry	NA	リスト当たりのフローフィルタ機能の Resources テーブル情報 (Outbound)	
45	axsFlowResourcesFilterListOutEntry {axsFlowResourcesFilterListOutTable 1}	axsFlowResourcesFilterListOutEntry	NA	FlowResourcesFilterList に関するエントリ [index] {axsFlowResourcesFilterListOutIfIndex, axsFlowResourcesFilterListOutIfIndexType, axsFlowResourcesFilterListOutNumber}	
46	axsFlowResourcesFilterListOutIfIndex {axsFlowResourcesFilterListOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
47	axsFlowResourcesFilterListOutIfIndexType {axsFlowResourcesFilterListOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	
48	axsFlowResourcesFilterListOutNumber {axsFlowResourcesFilterListOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000	
49	axsFlowResourcesFilterListOutUsed {axsFlowResourcesFilterListOutEntry 4}	INTEGER	R/O	リスト当たりのフローフィルタ機能に利用しているエントリ数。	
50	axsFlowResourcesQosListInTable {axsFlowResources 14}	SEQUENCE OF axsFlowResourcesQosListInEntry	NA	リスト当たりのフロー QoS 機能の Resources テーブル情報 (Inbound)	
51	axsFlowResourcesQosListInEntry {axsFlowResourcesQosListInTable 1}	axsFlowResourcesQosListInEntry	NA	FlowResourcesQosList に関するエントリ [index] {axsFlowResourcesQosListInIfIndex, axsFlowResourcesQosListInIfIndexType, axsFlowResourcesQosListInNumber}	
52	axsFlowResourcesQosListInIfIndex {axsFlowResourcesQosListInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
53	axsFlowResourcesQosListInIfIndexType {axsFlowResourcesQosListInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
54	axsFlowResourcesQosListInNumber {axsFlowResourcesQosListInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000	
55	axsFlowResourcesQosListInUsed {axsFlowResourcesQosListInEntry 4}	INTEGER	R/O	リスト当たりのフロー QoS 機能に利用しているエントリ数。	
56	axsFlowResourcesQosListOutTable {axsFlowResources 15}	SEQUENCE OF axsFlowResourcesQosListOutEntry	NA	リスト当たりのフロー QoS 機能の Resources テーブル情報 (Outbound)	
57	axsFlowResourcesQosListOutEntry {axsFlowResourcesQosListOutTable 1}	axsFlowResourcesQosListOutEntry	NA	FlowResourcesQosList に関するエントリ [index] {axsFlowResourcesQosListOutifIndex, axsFlowResourcesQosListOutifIndexType, axsFlowResourcesQosListOutNumber}	
58	axsFlowResourcesQosListOutifIndex {axsFlowResourcesQosListOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
59	axsFlowResourcesQosListOutifIndexType {axsFlowResourcesQosListOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定: (1) ・ インタフェース名称指定: (2)	
60	axsFlowResourcesQosListOutNumber {axsFlowResourcesQosListOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000	
61	axsFlowResourcesQosListOutUsed {axsFlowResourcesQosListOutEntry 4}	INTEGER	R/O	リスト当たりのフロー QoS 機能に利用しているエントリ数。	

### 3.6.2 axsFlowFilter グループ

#### (1) 識別子

```
axsFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 8}

axsFlowFilter OBJECT IDENTIFIER ::= {axsFlow 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3
```

#### (2) 実装仕様

axsFlowFilter グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-29 axsFlowFilter グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsFlowFilterInTable {axsFlowFilter 1}	SEQUENCE OF axsFlowFilterInEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) のテーブル情報	
2	axsFlowFilterInEntry {axsFlowFilterInTable 1}	axsFlowFilterInEntry	NA	フローフィルタ検出条件に関するエントリ [index] {axsFlowFilterInifIndex, axsFlowFilterInifIndexType, axsFlowFilterInListNumber}	
3	axsFlowFilterInifIndex {axsFlowFilterInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
4	axsFlowFilterInifIndexType {axsFlowFilterInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	
5	axsFlowFilterInListNumber {axsFlowFilterInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
6	axsFlowFilterInSrcMacOp {axsFlowFilterInEntry 4}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 { 指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3)}	
7	axsFlowFilterInSrcMac {axsFlowFilterInEntry 5}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axsFlowFilterInSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	
8	axsFlowFilterInSrcMacMask {axsFlowFilterInEntry 6}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axsFlowFilterInSrcMacOp=(2) の場合に有効。	
9	axsFlowFilterInDestMacOp {axsFlowFilterInEntry 7}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 { 指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5), LLDP プロトコルパケットの MAC アドレス (lldp)(7), OADP プロトコルパケットの MAC アドレス (oadp)(8), CDP プロトコルパケットの MAC アドレス (cdp)(9), BPDU(PVST+) プロトコルパケットの MAC アドレス (pvst+)(10)}	
10	axsFlowFilterInDestMac {axsFlowFilterInEntry 8}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axsFlowFilterInDestMacOp=(1),(2),(4),(5) の場合に有効。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	axsFlowFilterInDestMacMask {axsFlowFilterInEntry 9}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axsFlowFilterInDestMacOp=(2),(4)(マスクビット併用時),(5)の場合に有効。	
12	axsFlowFilterInEthernetType {axsFlowFilterInEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプまたはプロトコル種別を示します。 {指定なし (0x0000), プロトコル種別 GSRP(gsrp)(0x0001), イーサネットタイプ (0x0600..0xffff)}	
13	axsFlowFilterInUserPriority {axsFlowFilterInEntry 11}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。(0..7) (指定なし (-1))	
14	axsFlowFilterInLowerVlanList {axsFlowFilterInEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の $2^7$ ビット)は untagged 定義の有無を示し, 以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効 / 無効を示す)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>bit が 0: その VLAN は無効</li> <li>bit が 1: その VLAN は有効</li> </ul>	
15	axsFlowFilterInHigherVlanList {axsFlowFilterInEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の $2^7$ ビット)から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効 / 無効を示す)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>bit が 0: その VLAN は無効</li> <li>bit が 1: その VLAN は有効</li> </ul>	
16	axsFlowFilterInProtocolNumber {axsFlowFilterInEntry 14}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。(0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	
17	axsFlowFilterInIpAddrType {axsFlowFilterInEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1),ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし, IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも, リスト番号によって示すタイプが異なります。	
18	axsFlowFilterInSrcIpOp {axsFlowFilterInEntry 16}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
19	axsFlowFilterInSrcIp {axsFlowFilterInEntry 17}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowFilterInSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定(始点)の送信元 IP アドレスとなり,( $\neg$ 1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
20	axsFlowFilterInSrcIpLength {axsFlowFilterInEntry 18}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長(ipv4)またはプレフィックス長(ipv6)を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowFilterInSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外の場合 '0' を示します。	
21	axsFlowFilterInSrcIpRange {axsFlowFilterInEntry 19}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した範囲指定(終端)の送信元 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowFilterInSrcIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
22	axsFlowFilterInDestIpOp {axsFlowFilterInEntry 20}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし( $\neg$ 1),IP アドレスだけを指定(1), IP アドレスとサブネットマスク長(ipv4)またはプレフィックス長(ipv6)を指定(2), 範囲指定(3), 全ての IP アドレスを指定(any)(4), 自 IP アドレス(own_address)を指定(5), 自 IP アドレス(own_address)をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定(6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定(pd_prefix)(7)}	
23	axsFlowFilterInDestIp {axsFlowFilterInEntry 21}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowFilterInDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定(始点)の送信元 IP アドレスとなり,( $\neg$ 1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
24	axsFlowFilterInDestIpLength {axsFlowFilterInEntry 22}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長(ipv4)またはプレフィックス長(ipv6)を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowFilterInDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外は '0' を示します。	
25	axsFlowFilterInDestIpRange {axsFlowFilterInEntry 23}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した範囲指定(終端)の宛先 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowFilterInDestIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
26	axsFlowFilterInDscp {axsFlowFilterInEntry 24}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した DSCP 値を示します。 (0..63) (指定なし (-1))	
27	axsFlowFilterInPrecedence {axsFlowFilterInEntry 25}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	
28	axsFlowFilterInUpperLength {axsFlowFilterInEntry 26}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	
29	axsFlowFilterInLowerLength {axsFlowFilterInEntry 27}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	
30	axsFlowFilterInFragments {axsFlowFilterInEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1) }	
31	axsFlowFilterInSrcPortOp {axsFlowFilterInEntry 29}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2) }	
32	axsFlowFilterInSrcPort {axsFlowFilterInEntry 30}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowFilterInSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で, (2) の場合は範囲指定 (始点) の送信元ポート番号を示し, (-1) の場合 '0' を示します。	
33	axsFlowFilterInSrcPortRange {axsFlowFilterInEntry 31}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowFilterInSrcPortOp=(2) の場合に有効で, (2) 以外は '0' を示します。	
34	axsFlowFilterInDestPortOp {axsFlowFilterInEntry 32}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2) }	
35	axsFlowFilterInDestPort {axsFlowFilterInEntry 33}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowFilterInDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で, (2) の場合は範囲指定 (始点) の宛先ポート番号を示し, (-1) の場合 '0' を示します。	
36	axsFlowFilterInDestPortRange {axsFlowFilterInEntry 34}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowFilterInDestPortOp=(2) の場合に有効で, (2) 以外は '0' を示します。	
37	axsFlowFilterInAckFlag {axsFlowFilterInEntry 35}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1) }	
38	axsFlowFilterInSynFlag {axsFlowFilterInEntry 36}	INTEGER	R/O	パッチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1) }	
39	axsFlowFilterInIcmpType {axsFlowFilterInEntry 37}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
40	axsFlowFilterInIcmpCode {axsFlowFilterInEntry 38}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。(0..255) (指定なし (-1))	
41	axsFlowFilterInIgmpType {axsFlowFilterInEntry 39}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IGMP タイプを示します。(0..255) (指定なし (-1))	
42	axsFlowFilterOutTable {axsFlowFilter 2}	SEQUENCE OF axsFlowFilterOut Entry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) の テーブル情報	
43	axsFlowFilterOutEntry {axsFlowFilterOutTable 1}	axsFlowFilterOut Entry	NA	フローフィルタ検出条件に関するエントリ [index] {axsFlowFilterOutIfIndex, axsFlowFilterOutIfIndexType, axsFlowFilterOutListNumber}	
44	axsFlowFilterOutIfIndex {axsFlowFilterOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するイン デックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
45	axsFlowFilterOutIfIndexType {axsFlowFilterOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定 : (1) ・ インタフェース名称指定 : (2)	
46	axsFlowFilterOutListNumber {axsFlowFilterOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するイン デックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は ,IPv4 および IPv6 という区別はなく優先 順位だけを示します。	
47	axsFlowFilterOutSrcMacOp {axsFlowFilterOutEntry 4}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC アドレス の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレ スを指定 (2), すべての MAC アドレスを指 定 (any)(3)}	
48	axsFlowFilterOutSrcMac {axsFlowFilterOutEntry 5}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC アドレス を示します。 axsFlowFilterOutSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	
49	axsFlowFilterOutSrcMacMask {axsFlowFilterOutEntry 6}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 MAC のマスク 示します。 axsFlowFilterOutSrcMacOp=(2) の場合に 有効。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
50	axsFlowFilterOutDestMacOp {axsFlowFilterOutEntry 7}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5)}, MAC 未学習のユニキャストアドレス (unicast_flood)(6), LLDP プロトコルパケットの MAC アドレス (lldp)(7), OADP プロトコルパケットの MAC アドレス (oadp)(8), CDP プロトコルパケットの MAC アドレス (cdp)(9), BPDU(PVST+) プロトコルパケットの MAC アドレス (pvst+)(10)}	
51	axsFlowFilterOutDestMac {axsFlowFilterOutEntry 8}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axsFlowFilterOutDestMacOp=(1),(2),(4),(5) の場合に有効。	
52	axsFlowFilterOutDestMacMask {axsFlowFilterOutEntry 9}	MacAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axsFlowFilterOutDestMacOp=(2),(4)(マスクビット併用時),(5) の場合に有効。	
53	axsFlowFilterOutEthernetType {axsFlowFilterOutEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプまたはプロトコル種別を示します。 {指定なし (0x0000), プロトコル種別 GSRP(gsrp)(0x0001), イーサネットタイプ (0x0600..0xffff)}	
54	axsFlowFilterOutUserPriority {axsFlowFilterOutEntry 11}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。(0..7) (指定なし (-1))	
55	axsFlowFilterOutLowerVlanList {axsFlowFilterOutEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の $2^7$ ビット)は untagged 定義の有無を示し, 以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効 / 無効を示す)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>bit が 0: その VLAN は無効</li> <li>bit が 1: その VLAN は有効</li> </ul>	
56	axsFlowFilterOutHigherVlanList {axsFlowFilterOutEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの(先頭のビット(0 バイト目の $2^7$ ビット)から順に VLAN 2048 ~ 4095 の有効 / 無効を示す)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>bit が 0: その VLAN は無効</li> <li>bit が 1: その VLAN は有効</li> </ul>	
57	axsFlowFilterOutProtocolNumber {axsFlowFilterOutEntry 14}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。(0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
58	axsFlowFilterOutIpAddrType {axsFlowFilterOutEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1),ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし、IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも、リスト番号によって示すタイプが異なります。	
59	axsFlowFilterOutSrcIpOp {axsFlowFilterOutEntry 16}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	
60	axsFlowFilterOutSrcIp {axsFlowFilterOutEntry 17}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowFilterOutSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で、(3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり、(-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
61	axsFlowFilterOutSrcIpLength {axsFlowFilterOutEntry 18}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowFilterOutSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で、(2),(6) 以外の場合 '0' を示します。	
62	axsFlowFilterOutSrcIpRange {axsFlowFilterOutEntry 19}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowFilterOutSrcIpOp=(3) の場合に有効で、(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
63	axsFlowFilterOutDestIpOp {axsFlowFilterOutEntry 20}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
64	axsFlowFilterOutDestIp {axsFlowFilterOutEntry 21}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowFilterOutDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり,(-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
65	axsFlowFilterOutDestIpLength {axsFlowFilterOutEntry 22}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) 示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowFilterOutDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外は '0' を示します。	
66	axsFlowFilterOutDestIpRange {axsFlowFilterOutEntry 23}	InetAddress	R/O	検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowFilterOutDestIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
67	axsFlowFilterOutDscp {axsFlowFilterOutEntry 24}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した DSCP 値を示します。 (0..63) (指定なし (-1))	
68	axsFlowFilterOutPrecedence {axsFlowFilterOutEntry 25}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	
69	axsFlowFilterOutUpperLength {axsFlowFilterOutEntry 26}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	
70	axsFlowFilterOutLowerLength {axsFlowFilterOutEntry 27}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	
71	axsFlowFilterOutFragments {axsFlowFilterOutEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1)}	
72	axsFlowFilterOutSrcPortOp {axsFlowFilterOutEntry 29}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	
73	axsFlowFilterOutSrcPort {axsFlowFilterOutEntry 30}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。(0..65535) axsFlowFilterOutSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定 (始点) の送信元ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	
74	axsFlowFilterOutSrcPortRange {axsFlowFilterOutEntry 31}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元ポート番号を示します。(0..65535) axsFlowFilterOutSrcPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	
75	axsFlowFilterOutDestPortOp {axsFlowFilterOutEntry 32}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
76	axsFlowFilterOutDestPort {axsFlowFilterOutEntry 33}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。(0..65535) axsFlowFilterOutDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定(始点)の宛先ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	
77	axsFlowFilterOutDestPortRange {axsFlowFilterOutEntry 34}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した範囲指定(終端)の宛先ポート番号を示します。(0..65535) axsFlowFilterOutDestPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	
78	axsFlowFilterOutAckFlag {axsFlowFilterOutEntry 35}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	
79	axsFlowFilterOutSynFlag {axsFlowFilterOutEntry 36}	INTEGER	R/O	パッチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない (-1), 入れる (1)}	
80	axsFlowFilterOutIcmpType {axsFlowFilterOutEntry 37}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	
81	axsFlowFilterOutIcmpCode {axsFlowFilterOutEntry 38}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	
82	axsFlowFilterOutIgmpType {axsFlowFilterOutEntry 39}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	
83	axsFlowFilterInActTable {axsFlowFilter 3}	SEQUENCE OF axsFlowFilterInActEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) に指定した動作パラメータのテーブル情報	
84	axsFlowFilterInActEntry {axsFlowFilterInActTable 1}	axsFlowFilterInActEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) に指定した動作パラメータに関するエントリ [index] {axsFlowFilterInActifIndex, axsFlowFilterInActifIndexType, axsFlowFilterInActListNumber}	
85	axsFlowFilterInActifIndex {axsFlowFilterInActEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
86	axsFlowFilterInActifIndexType {axsFlowFilterInActEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2)	
87	axsFlowFilterInActListNumber {axsFlowFilterInActEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は, IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
88	axsFlowFilterInActInfo {axsFlowFilterInActEntry 4}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した動作パラメータの情報を示します。 {Drop(1), Forward(2), Policy(3), Policy_Group(4)}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
89	axsFlowFilterOutActTable {axsFlowFilter 4}	SEQUENCE OF axsFlowFilterOut ActEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) に指定した動作パラメータのテーブル情報	
90	axsFlowFilterOutActEntry {axsFlowFilterOutActTable 1}	axsFlowFilterOut ActEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) に指定した動作パラメータに関するエントリ [index] {axsFlowFilterOutActifIndex, axsFlowFilterOutActifIndexType, axsFlowFilterOutActListNumber}	
91	axsFlowFilterOutActifIndex {axsFlowFilterOutActEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
92	axsFlowFilterOutActifIndexType {axsFlowFilterOutActEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	
93	axsFlowFilterOutActListNumber {axsFlowFilterOutActEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
94	axsFlowFilterOutActInfo {axsFlowFilterOutActEntry 4}	INTEGER	R/O	検出条件に指定した動作パラメータの情報を示します。 {Drop(1), Forward(2)}	

### 3.6.3 axsFlowFilterStats グループ

#### (1) 識別子

```
axsFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 8}

axsFlowFilterStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsFlow 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4
```

#### (2) 実装仕様

axsFlowFilterStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-30 axsFlowFilterStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsFlowFilterStatsInTable {axsFlowFilterStats 1}	SEQUENCE OF axsFlowFilterStatsInEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報のテーブル情報	
2	axsFlowFilterStatsInEntry {axsFlowFilterStatsInTable 1}	axsFlowFilterStatsInEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Inbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報に関するエントリ [index] {axsFlowFilterStatsInifIndex, axsFlowFilterStatsInifIndexType, axsFlowFilterStatsInListNumber}	
3	axsFlowFilterStatsInifIndex {axsFlowFilterStatsInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsFlowFilterStatsInifIndexType {axsFlowFilterStatsInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	
5	axsFlowFilterStatsInListNumber {axsFlowFilterStatsInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
6	axsFlowFilterStatsInDropPackets {axsFlowFilterStatsInEntry 4}	Counter64	R/O	検出条件に一致し廃棄したパケット数 (廃棄パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが Drop(axsFlowFilterInActInfo(1)) または検出条件に IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックス (axsFlowFilterInSrcIpOp(7) または axsFlowFilterInDestIpOp(7)) を指定した場合に有効で無効時は (0) を示します)	
7	axsFlowFilterStatsInForwardPackets {axsFlowFilterStatsInEntry 5}	Counter64	R/O	検出条件に一致し中継したパケット数 (中継パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが Forward(axsFlowFilterInActInfo(2)) の場合に有効で無効時は (0) を示します)	
8	axsFlowFilterStatsInPolicyRoutedPackets {axsFlowFilterStatsInEntry 6}	Counter64	R/O	検出条件に一致しポリシーされたパケット数 (中継パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが policy(axsFlowFilterInActInfo(3)) または policy_group(axsFlowFilterInActInfo(4)) の場合に有効で無効時は (0) を示します)	
9	axsFlowFilterStatsOutTable {axsFlowFilterStats 2}	SEQUENCE OF axsFlowFilterStatsOutEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報のテーブル情報	
10	axsFlowFilterStatsOutEntry {axsFlowFilterStatsOutTable 1}	axsFlowFilterStatsOutEntry	NA	フローフィルタ検出条件 (Outbound) で指定した動作パラメータ毎の統計情報に関するエントリ [index] {axsFlowFilterStatsOutifIndex, axsFlowFilterStatsOutifIndexType, axsFlowFilterStatsOutListNumber}	
11	axsFlowFilterStatsOutifIndex {axsFlowFilterStatsOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
12	axsFlowFilterStatsOutifIndexType {axsFlowFilterStatsOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axsFlowFilterStatsOutListNumber {axsFlowFilterStatsOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
14	axsFlowFilterStatsOutDropPackets {axsFlowFilterStatsOutEntry 4}	Counter64	R/O	検出条件に一致し廃棄したパケット数 (廃棄パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが Drop(axsFlowFilterOutActInfo(1)) または検出条件に IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックス (axsFlowFilterOutSrcIpOp(7) または axsFlowFilterOutDestIpOp(7)) を指定した場合に有効で無効時は (0) を示します)	
15	axsFlowFilterStatsOutForwardPackets {axsFlowFilterStatsOutEntry 5}	Counter64	R/O	検出条件に一致し中継したパケット数 (中継パケット数) を示します。 (リストに指定した動作パラメータが Forward(axsFlowFilterOutActInfo(2)) の場合に有効で無効時は (0) を示します)	

## 注

MIB で指定したインタフェースのパケット数取得と当該指定インタフェースが属する PSU

【AX7800S】または BSU 【AX5400S】に対する以下のコンフィギュレーションや運用コマンドの操作を同時に行なった場合、オブジェクトの値が「0」を示す場合があります。

1. コンフィギュレーションフローフィルタ情報の追加・削除・変更
2. コンフィギュレーションフロー QoS 情報の追加・削除・変更
3. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報を収容する <VLAN Name> が属する VLAN に、新たに PSU をまたがるように tagged-port, untagged-port を追加した場合、または PSU をまたがらなくなるように tagged-port, untagged-port を削除した場合 【AX7800S】
4. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報を収容する <LA Name> が属する LA に、新たに PSU をまたがるように aggregated-port を追加した場合、または PSU をまたがらなくなるように aggregated-port を削除した場合 【AX7800S】
5. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <Line Name> の -r 指定による削除
6. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <Tag-VLAN Name> の -r 指定による削除
7. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <VLAN Name> の -r 指定による削除
8. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <LA Name> の -r 指定による削除
9. コンフィギュレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する IP アドレス情報の -r 指定による削除
10. free psu コマンドを実行して PSU を運用状態にする。【AX7800S】
11. free bsu コマンドを実行して BSU を運用状態にする。【AX5400S】

### 3.6.4 axsFlowQos グループ

#### (1) 識別子

```
axsFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 8}

axsFlowQos OBJECT IDENTIFIER ::= {axsFlow 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5
```

#### (2) 実装仕様

axsFlowQos グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-31 axsFlowQos グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsFlowQosInTable {axsFlowQos 1}	SEQUENCE OF axsFlowQosInEntry	NA	通常フロー検出条件 (Inbound) のテーブル情報	
2	axsFlowQosInEntry {axsFlowQosInTable 1}	axsFlowQosInEntry	NA	通常フロー検出条件 (Inbound) に関するエントリ [index] {axsFlowQosInifIndex, axsFlowQosInifIndexType, axsFlowQosInListNumber}	
3	axsFlowQosInifIndex {axsFlowQosInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
4	axsFlowQosInifIndexType {axsFlowQosInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2)	
5	axsFlowQosInListNumber {axsFlowQosInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
6	axsFlowQosInSrcMacOp {axsFlowQosInEntry 4}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3)}	
7	axsFlowQosInSrcMac {axsFlowQosInEntry 5}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axsFlowQosInSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	
8	axsFlowQosInSrcMacMask {axsFlowQosInEntry 6}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axsFlowQosInSrcMacOp=(2) の場合に有効。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsFlowQosInDestMacOp {axsFlowQosInEntry 7}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 { 指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5), LLDp プロトコルパケットの MAC アドレス (lldp)(7), OADp プロトコルパケットの MAC アドレス (oadp)(8), CDP プロトコルパケットの MAC アドレス (cdp)(9), BPDU(PVST+) プロトコルパケットの MAC アドレス (pvst+)(10)}	
10	axsFlowQosInDestMac {axsFlowQosInEntry 8}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axsFlowQosInDestMacOp=(1),(2),(4),(5) の場合に有効。	
11	axsFlowQosInDestMacMask {axsFlowQosInEntry 9}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axsFlowQosInDestMacOp=(2),(4)( マスクビット併用時 ),(5) の場合に有効。	
12	axsFlowQosInEthernetType {axsFlowQosInEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	通常フロー検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプまたはプロトコル種別を示します。 { 指定なし (0x0000), プロトコル種別 GSRP(gsrp)(0x0001), イーサネットタイプ (0x0600..0xffff)}	
13	axsFlowQosInUserPriority {axsFlowQosInEntry 11}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。 (0..7) ( 指定なし (-1) )	
14	axsFlowQosInLowerVlanList {axsFlowQosInEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	通常フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの ( 先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット) は untagged 定義の有無を示し, 以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効 / 無効を示す )。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効	
15	axsFlowQosInHigherVlanList {axsFlowQosInEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	通常フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの ( 先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット) から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効 / 無効を示す )。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効	
16	axsFlowQosInProtocolNumber {axsFlowQosInEntry 14}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。 (0..255)( 指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
17	axsFlowQosInIpAddrType {axsFlowQosInEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1),ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし、IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも、リスト番号によって示すタイプが異なります。	
18	axsFlowQosInSrcIpOp {axsFlowQosInEntry 16}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	
19	axsFlowQosInSrcIp {axsFlowQosInEntry 17}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowQosInSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で、(3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり、(-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0' , IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
20	axsFlowQosInSrcIpLength {axsFlowQosInEntry 18}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowQosInSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で、(2),(6) 以外の場合 '0' を示します。	
21	axsFlowQosInSrcIpRange {axsFlowQosInEntry 19}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosInSrcIpOp=(3) の場合に有効で、(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0' , IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
22	axsFlowQosInDestIpOp {axsFlowQosInEntry 20}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
23	axsFlowQosInDestIp {axsFlowQosInEntry 21}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosInDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり ,(-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0' , IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
24	axsFlowQosInDestIpLength {axsFlowQosInEntry 22}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) 示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowQosInDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) の以外は '0' を示します。	
25	axsFlowQosInDestIpRange {axsFlowQosInEntry 23}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosInDestIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0' , IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
26	axsFlowQosInDscp {axsFlowQosInEntry 24}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した DSCP 値を示します。 (0..63) (指定なし (-1))	
27	axsFlowQosInPrecedence {axsFlowQosInEntry 25}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	
28	axsFlowQosInUpperLength {axsFlowQosInEntry 26}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	
29	axsFlowQosInLowerLength {axsFlowQosInEntry 27}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	
30	axsFlowQosInFragments {axsFlowQosInEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを通常フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1)}	
31	axsFlowQosInSrcPortOp {axsFlowQosInEntry 29}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	
32	axsFlowQosInSrcPort {axsFlowQosInEntry 30}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosInSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定 (始点) の送信元ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	
33	axsFlowQosInSrcPortRange {axsFlowQosInEntry 31}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosInSrcPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
34	axsFlowQosInDestPortOp {axsFlowQosInEntry 32}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	
35	axsFlowQosInDestPort {axsFlowQosInEntry 33}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosInDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で ,(2) の場合は範囲指定 (始点) の宛先ポート番号を示し ,(-1) の場合 '0' を示します。	
36	axsFlowQosInDestPortRange {axsFlowQosInEntry 34}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosInDestPortOp=(2) の場合に有効で ,(2) 以外は '0' を示します。	
37	axsFlowQosInAckFlag {axsFlowQosInEntry 35}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1)}	
38	axsFlowQosInSynFlag {axsFlowQosInEntry 36}	INTEGER	R/O	パーチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を通常フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1)}	
39	axsFlowQosInIcmpType {axsFlowQosInEntry 37}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) ( 指定なし (-1))	
40	axsFlowQosInIcmpCode {axsFlowQosInEntry 38}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。 (0..255) ( 指定なし (-1))	
41	axsFlowQosInIgmpType {axsFlowQosInEntry 39}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) ( 指定なし (-1)) IPv4 だけ	
42	axsFlowQosInPremTable {axsFlowQos 2}	SEQUENCE OF axsFlowQosInPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Inbound) のテーブル情報 ( 重要フロー検出条件が未設定の場合 , テーブル情報を表示しません )	
43	axsFlowQosInPremEntry {axsFlowQosInPremTable 1}	axsFlowQosInPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Inbound) に関するエントリ [index] {axsFlowQosInPremifIndex, axsFlowQosInPremifIndexType, axsFlowQosInPremListNumber}	
44	axsFlowQosInPremifIndex {axsFlowQosInPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
45	axsFlowQosInPremifIndexType {axsFlowQosInPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定 : (1) • インタフェース名称指定 : (2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
46	axsFlowQosInPremListNumber {axsFlowQosInPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
47	axsFlowQosInPremSrcMacOp {axsFlowQosInPremEntry 4}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 { 指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3) }	
48	axsFlowQosInPremSrcMac {axsFlowQosInPremEntry 5}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axsFlowQosInPremSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	
49	axsFlowQosInPremSrcMacMask {axsFlowQosInPremEntry 6}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axsFlowQosInPremSrcMacOp=(2) の場合に有効。	
50	axsFlowQosInPremDestMacOp {axsFlowQosInPremEntry 7}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 { 指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5), LLDP プロトコルパケットの MAC アドレス (lldp)(7), OADP プロトコルパケットの MAC アドレス (oadp)(8), CDP プロトコルパケットの MAC アドレス (cdp)(9), BPDU(PVST+) プロトコルパケットの MAC アドレス (pvst+)(10) }	
51	axsFlowQosInPremDestMac {axsFlowQosInPremEntry 8}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axsFlowQosInPremDestMacOp=(1), (2), (4), (5) の場合に有効。	
52	axsFlowQosInPremDestMacMask {axsFlowQosInPremEntry 9}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axsFlowQosInPremDestMacOp=(2), (4) (マスクビット併用時), (5) の場合に有効。	
53	axsFlowQosInPremEthernetType {axsFlowQosInPremEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	重要フロー検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプまたはプロトコル種別を示します。 { 指定なし (0x0000), プロトコル種別 GSRP(gsrp)(0x0001), イーサネットタイプ (0x0600..0xffff) }	
54	axsFlowQosInPremUserPriority {axsFlowQosInPremEntry 11}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
55	axsFlowQosInPremLowerVlanList {axsFlowQosInPremEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	重要フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの（先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット) は untagged 定義の有無を示し、以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効 / 無効を示す）。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	
56	axsFlowQosInPremHigherVlanList {axsFlowQosInPremEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	重要フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの（先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット) から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効 / 無効を示す）。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効 常に (0)	
57	axsFlowQosInPremProtocolNumber {axsFlowQosInPremEntry 14}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。(0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	
58	axsFlowQosInPremIpAddressType {axsFlowQosInPremEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1),ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし、IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも、リスト番号によって示すタイプが異なります。	
59	axsFlowQosInPremSrcIpOp {axsFlowQosInPremEntry 16}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6)}	
60	axsFlowQosInPremSrcIp {axsFlowQosInPremEntry 17}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowQosInPremSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で、(3) の場合は範囲指定（始点）の送信元 IP アドレスを示し、(-1),(4) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
61	axsFlowQosInPremSrcIpLength {axsFlowQosInPremEntry 18}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowQosInPremSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で、(2),(6) 以外は '0' を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
62	axsFlowQosInPremSrcIpRange {axsFlowQosInPremEntry 19}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosInPremSrcIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
63	axsFlowQosInPremDestIpOp {axsFlowQosInPremEntry 20}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1),IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6)}	
64	axsFlowQosInPremDestIp {axsFlowQosInPremEntry 21}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。(IPv4,IPv6) axsFlowQosInPremDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスを示し,(-1),(4) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
65	axsFlowQosInPremDestIpLength {axsFlowQosInPremEntry 22}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowQosInPremDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外は '0' を示します。	
66	axsFlowQosInPremDestIpRange {axsFlowQosInPremEntry 23}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosInPremDestIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
67	axsFlowQosInPremDscp {axsFlowQosInPremEntry 24}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した DSCP 値を示します。 (0..63) (指定なし (-1))	
68	axsFlowQosInPremPrecedence {axsFlowQosInPremEntry 25}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	
69	axsFlowQosInPremUpperLength {axsFlowQosInPremEntry 26}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	
70	axsFlowQosInPremLowerLength {axsFlowQosInPremEntry 27}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限值を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
71	axsFlowQosInPremFragment s {axsFlowQosInPremEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを重要フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1) }	
72	axsFlowQosInPremSrcPortO p {axsFlowQosInPremEntry 29}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2) }	
73	axsFlowQosInPremSrcPort {axsFlowQosInPremEntry 30}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。(0..65535) axsFlowQosInPremSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定(始点)の送信元ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	
74	axsFlowQosInPremSrcPortR ange {axsFlowQosInPremEntry 31}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定(終端)の送信元ポート番号を示します。(0..65535) axsFlowQosInPremSrcPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	
75	axsFlowQosInPremDestPort Op {axsFlowQosInPremEntry 32}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2) }	
76	axsFlowQosInPremDestPort {axsFlowQosInPremEntry 33}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。(0..65535) axsFlowQosInPremDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定(始点)の宛先ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	
77	axsFlowQosInPremDestPort Range {axsFlowQosInPremEntry 34}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定(終端)の宛先ポート番号を示します。(0..65535) axsFlowQosInPremDestPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は場合 '0' を示します。	
78	axsFlowQosInPremAckFlag {axsFlowQosInPremEntry 35}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1) }	
79	axsFlowQosInPremSynFlag {axsFlowQosInPremEntry 36}	INTEGER	R/O	パーチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を重要フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1) }	
80	axsFlowQosInPremIcmpType {axsFlowQosInPremEntry 37}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。(0..255) (指定なし (-1))	
81	axsFlowQosInPremIcmpCode {axsFlowQosInPremEntry 38}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。(0..255) (指定なし (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
82	axsFlowQosInPremIgmpType {axsFlowQosInPremEntry 39}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1)) IPv4 だけ	
83	axsFlowQosOutTable {axsFlowQos 3}	SEQUENCE OF axsFlowQosOutEntry	NA	通常フロー検出条件 (Outbound) のテーブル情報	
84	axsFlowQosOutEntry {axsFlowQosOutTable 1}	axsFlowQosOutEntry	NA	通常フロー検出条件 (Outbound) に関するエントリ [index] {axsFlowQosOutifIndex, axsFlowQosOutifIndexType, axsFlowQosOutListNumber}	
85	axsFlowQosOutifIndex {axsFlowQosOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
86	axsFlowQosOutifIndexType {axsFlowQosOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定 : (1) ・ インタフェース名称指定 : (2)	
87	axsFlowQosOutListNumber {axsFlowQosOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
88	axsFlowQosOutSrcMacOp {axsFlowQosOutEntry 4}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 { 指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3)}	
89	axsFlowQosOutSrcMac {axsFlowQosOutEntry 5}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axsFlowQosOutSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	
90	axsFlowQosOutSrcMacMask {axsFlowQosOutEntry 6}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axsFlowQosOutSrcMacOp=(2) の場合に有効。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
91	axsFlowQosOutDestMacOp {axsFlowQosOutEntry 7}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 {指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5)}, MAC 未学習のユニキャストアドレス (unicast_flood)(6), LLDP プロトコルパケットの MAC アドレス (lldp)(7), OADP プロトコルパケットの MAC アドレス (oadp)(8), CDP プロトコルパケットの MAC アドレス (cdp)(9), BPDU(PVST+) プロトコルパケットの MAC アドレス (pvst+)(10)}	
92	axsFlowQosOutDestMac {axsFlowQosOutEntry 8}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axsFlowQosOutDestMacOp=(1),(2),(4),(5) の場合に有効。	
93	axsFlowQosOutDestMacMask {axsFlowQosOutEntry 9}	MacAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axsFlowQosOutDestMacOp=(2),(4)( マスクビット併用時 ),(5) の場合に有効。	
94	axsFlowQosOutEthernetType {axsFlowQosOutEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	通常フロー検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプまたはプロトコル種別を示します。 {指定なし (0x0000), プロトコル種別 GSRP(gsrp)(0x0001), イーサネットタイプ (0x0600..0xffff)}	
95	axsFlowQosOutUserPriority {axsFlowQosOutEntry 11}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	
96	axsFlowQosOutLowerVlanList {axsFlowQosOutEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	通常フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット) は untagged 定義の有無を示し, 以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効 / 無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効	
97	axsFlowQosOutHigherVlanList {axsFlowQosOutEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	通常フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット) から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効 / 無効を示す)。 • bit が 0: その VLAN は無効 • bit が 1: その VLAN は有効	
98	axsFlowQosOutProtocolNumber {axsFlowQosOutEntry 14}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。 (0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
99	axsFlowQosOutIpAddrType {axsFlowQosOutEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1),ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし、IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも、リスト番号によって示すタイプが異なります。	
100	axsFlowQosOutSrcIpOp {axsFlowQosOutEntry 16}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1),IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	
101	axsFlowQosOutSrcIp {axsFlowQosOutEntry 17}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosOutSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で、(3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスとなり、(-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
102	axsFlowQosOutSrcIpLength {axsFlowQosOutEntry 18}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowQosOutSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で、(2),(6) 以外の場合 '0' を示します。	
103	axsFlowQosOutSrcIpRange {axsFlowQosOutEntry 19}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosOutSrcIpOp=(3) の場合に有効で、(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
104	axsFlowQosOutDestIpOp {axsFlowQosOutEntry 20}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1),IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6), IPv6 DHCP サーバ機能にてクライアントに配布したプレフィックスを指定 (pd_prefix)(7)}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
105	axsFlowQosOutDestIp {axsFlowQosOutEntry 21}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosOutDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定(始点)の送信元 IP アドレスとなり,(-1),(4),(7) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
106	axsFlowQosOutDestIpLength {axsFlowQosOutEntry 22}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowQosOutDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外は '0' を示します。	
107	axsFlowQosOutDestIpRange {axsFlowQosOutEntry 23}	InetAddress	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定(終端)の宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosOutDestIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
108	axsFlowQosOutDscp {axsFlowQosOutEntry 24}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した DSCP 値を示します。(0..63)(指定なし(-1))	
109	axsFlowQosOutPrecedence {axsFlowQosOutEntry 25}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし(-1))	
110	axsFlowQosOutUpperLength {axsFlowQosOutEntry 26}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限値を示します。 (0..65535)(指定なし(-1))	
111	axsFlowQosOutLowerLength {axsFlowQosOutEntry 27}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限値を示します。 (0..65535)(指定なし(-1))	
112	axsFlowQosOutFragments {axsFlowQosOutEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを通常フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 {入れない(-1), 入れる(1)}	
113	axsFlowQosOutSrcPortOp {axsFlowQosOutEntry 29}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 {指定なし(-1), 単一指定(1), 範囲指定(2)}	
114	axsFlowQosOutSrcPort {axsFlowQosOutEntry 30}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosOutSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で,(2) の場合は範囲指定(始点)の送信元ポート番号を示し,(-1) の場合 '0' を示します。	
115	axsFlowQosOutSrcPortRange {axsFlowQosOutEntry 31}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定(終端)の送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosOutSrcPortOp=(2) の場合に有効で,(2) 以外は '0' を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
116	axsFlowQosOutDestPortOp {axsFlowQosOutEntry 32}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2)}	
117	axsFlowQosOutDestPort {axsFlowQosOutEntry 33}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosOutDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で, (2) の場合は範囲指定 (始点) の宛先ポート番号を示し, (-1) の場合 '0' を示します。	
118	axsFlowQosOutDestPortRange {axsFlowQosOutEntry 34}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosOutDestPortOp=(2) の場合に有効で, (2) 以外は '0' を示します。	
119	axsFlowQosOutAckFlag {axsFlowQosOutEntry 35}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1)}	
120	axsFlowQosOutSynFlag {axsFlowQosOutEntry 36}	INTEGER	R/O	パッチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を通常フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1)}	
121	axsFlowQosOutIcmpType {axsFlowQosOutEntry 37}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	
122	axsFlowQosOutIcmpCode {axsFlowQosOutEntry 38}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	
123	axsFlowQosOutIgmpType {axsFlowQosOutEntry 39}	INTEGER	R/O	通常フロー検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1)) IPv4 だけ	
124	axsFlowQosOutPremTable {axsFlowQos 4}	SEQUENCE OF axsFlowQosOutPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Outbound) のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合, テーブル情報を表示しません)	
125	axsFlowQosOutPremEntry {axsFlowQosOutPremTable 1}	axsFlowQosOutPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Outbound) に関するエントリ [index] {axsFlowQosOutPremifIndex, axsFlowQosOutPremifIndexType, axsFlowQosOutPremListNumber}	
126	axsFlowQosOutPremifIndex {axsFlowQosOutPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
127	axsFlowQosOutPremifIndexType {axsFlowQosOutPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定: (1) ・ インタフェース名称指定: (2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
128	axsFlowQosOutPremListNumber {axsFlowQosOutPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
129	axsFlowQosOutPremSrcMacOp {axsFlowQosOutPremEntry 4}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスの指定方法を示します。 { 指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3)}	
130	axsFlowQosOutPremSrcMac {axsFlowQosOutPremEntry 5}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC アドレスを示します。 axsFlowQosOutPremSrcMacOp=(1) または (2) の場合に有効。	
131	axsFlowQosOutPremSrcMacMask {axsFlowQosOutPremEntry 6}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 MAC のマスクを示します。 axsFlowQosOutPremSrcMacOp=(2) の場合に有効。	
132	axsFlowQosOutPremDestMacOp {axsFlowQosOutPremEntry 7}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスの指定方法を示します。 { 指定なし (-1), MAC アドレスだけを指定 (1), マスクビットを併用して MAC アドレスを指定 (2), すべての MAC アドレスを指定 (any)(3), ブロードキャストアドレス (broadcast)(4), マルチキャストアドレス (multicast)(5), LLDP プロトコルパケットの MAC アドレス (lldp)(7), OADP プロトコルパケットの MAC アドレス (oadp)(8), CDP プロトコルパケットの MAC アドレス (cdp)(9), BPDU(PVST+) プロトコルパケットの MAC アドレス (pvst+)(10)}	
133	axsFlowQosOutPremDestMac {axsFlowQosOutPremEntry 8}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC アドレスを示します。 axsFlowQosOutPremDestMacOp=(1),(2),(4),(5) の場合に有効。	
134	axsFlowQosOutPremDestMacMask {axsFlowQosOutPremEntry 9}	MacAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 MAC のマスクを示します。 axsFlowQosOutPremDestMacOp=(2),(4)(マスクビット併用時),(5) の場合に有効。	
135	axsFlowQosOutPremEthernetType {axsFlowQosOutPremEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	重要フロー検出条件に指定したイーサネット V2 および IEEE802.3 SNAP/RFC1042 形式のイーサネットタイプまたはプロトコル種別を示します。 { 指定なし (0x0000), プロトコル種別 GSRP(gsrp)(0x0001), イーサネットタイプ (0x0600..0xffff)}	
136	axsFlowQosOutPremUserPriority {axsFlowQosOutPremEntry 11}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した Tag-VLAN 内のユーザ優先度を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
137	axsFlowQosOutPremLowerVlanList {axsFlowQosOutPremEntry 12}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	重要フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット) は untagged 定義の有無を示し, 以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効 / 無効を示す)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• bit が 0: その VLAN は無効</li> <li>• bit が 1: その VLAN は有効</li> </ul> 常に (0)	
138	axsFlowQosOutPremHigherVlanList {axsFlowQosOutPremEntry 13}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	重要フロー検出条件に指定した VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット) から順に VLAN2048 ~ 4095 の有効 / 無効を示す)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• bit が 0: その VLAN は無効</li> <li>• bit が 1: その VLAN は有効</li> </ul> 常に (0)	
139	axsFlowQosOutPremProtocolNumber {axsFlowQosOutPremEntry 14}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した上位プロトコル番号を示します。 (0..255) (指定なし (-1), すべてのプロトコルを対象とする場合 (256))	
140	axsFlowQosOutPremIpAddressType {axsFlowQosOutPremEntry 15}	InetAddressType	R/O	表示する IP アドレスタイプを示します。 {ipv4(1), ipv6(2)} 当該 Table の InetAddress 全てに共通とし, IP アドレスを検出条件に指定しない場合でも, リスト番号によって示すタイプが異なります。	
141	axsFlowQosOutPremSrcIpOp {axsFlowQosOutPremEntry 16}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1), IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6)}	
142	axsFlowQosOutPremSrcIp {axsFlowQosOutPremEntry 17}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスを示します。(IPv4, IPv6) axsFlowQosOutPremSrcIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で, (3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスを示し, (-1),(4) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
143	axsFlowQosOutPremSrcIpLength {axsFlowQosOutPremEntry 18}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowQosOutPremSrcIpOp=(2),(6) の場合に有効で, (2),(6) 以外は '0' を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
144	axsFlowQosOutPremSrcIpRange {axsFlowQosOutPremEntry 19}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosOutPremSrcIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
145	axsFlowQosOutPremDestIpOp {axsFlowQosOutPremEntry 20}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスの指定方法を示します。 {IP アドレスの指定なし (-1),IP アドレスだけを指定 (1), IP アドレスとサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を指定 (2), 範囲指定 (3), 全ての IP アドレスを指定 (any)(4), 自 IP アドレス (own_address) を指定 (5), 自 IP アドレス (own_address) をサブネットマスク長またはプレフィックス長と同時に指定 (6)}	
146	axsFlowQosOutPremDestIp {axsFlowQosOutPremEntry 21}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosOutPremDestIpOp=(1),(2),(3) または (5),(6) の場合に有効で,(3) の場合は範囲指定 (始点) の送信元 IP アドレスを示し,(-1),(4) の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
147	axsFlowQosOutPremDestIpLength {axsFlowQosOutPremEntry 22}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先 IP アドレスのサブネットマスク長 (ipv4) またはプレフィックス長 (ipv6) を示します。 (IPv4):(0..32) / (IPv6):(0..128) axsFlowQosOutPremDestIpOp=(2),(6) の場合に有効で,(2),(6) 以外は '0' を示します。	
148	axsFlowQosOutPremDestIpRange {axsFlowQosOutPremEntry 23}	InetAddress	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先 IP アドレスを示します。 (IPv4,IPv6) axsFlowQosOutPremDestIpOp=(3) の場合に有効で,(3) 以外の場合 IPv4 は '0.0.0.0', IPv6 は '00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00' を示します。	
149	axsFlowQosOutPremDscp {axsFlowQosOutPremEntry 24}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した DSCP 値を示します。 (0..63) (指定なし (-1))	
150	axsFlowQosOutPremPrecedence {axsFlowQosOutPremEntry 25}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した precedence 値を示します。 (0..7) (指定なし (-1))	
151	axsFlowQosOutPremUpperLength {axsFlowQosOutPremEntry 26}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の上限値を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	
152	axsFlowQosOutPremLowerLength {axsFlowQosOutPremEntry 27}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IP ユーザデータ長の下限値を示します。 (0..65535) (指定なし (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
153	axsFlowQosOutPremFragments {axsFlowQosOutPremEntry 28}	INTEGER	R/O	2 番目以降のフラグメントパケットを重要フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1) }	
154	axsFlowQosOutPremSrcPortOp {axsFlowQosOutPremEntry 29}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2) }	
155	axsFlowQosOutPremSrcPort {axsFlowQosOutPremEntry 30}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosOutPremSrcPortOp=(1) または (2) の場合に有効で, (2) の場合は範囲指定 (始点) の送信元ポート番号を示し, (-1) の場合 '0' を示します。	
156	axsFlowQosOutPremSrcPortRange {axsFlowQosOutPremEntry 31}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の送信元ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosOutPremSrcPortOp=(2) の場合に有効で, (2) 以外は '0' を示します。	
157	axsFlowQosOutPremDestPortOp {axsFlowQosOutPremEntry 32}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先ポート番号の指定方法を示します。 { 指定なし (-1), 単一指定 (1), 範囲指定 (2) }	
158	axsFlowQosOutPremDestPort {axsFlowQosOutPremEntry 33}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosOutPremDestPortOp=(1) または (2) の場合に有効で, (2) の場合は範囲指定 (始点) の宛先ポート番号を示し, (-1) の場合 '0' を示します。	
159	axsFlowQosOutPremDestPortRange {axsFlowQosOutPremEntry 34}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した範囲指定 (終端) の宛先ポート番号を示します。 (0..65535) axsFlowQosOutPremDestPortOp=(2) の場合に有効で, (2) 以外の場合 '0' を示します。	
160	axsFlowQosOutPremAckFlag {axsFlowQosOutPremEntry 35}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した TCP 片方向通信許可 (ACK フラグが 1) を検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1) }	
161	axsFlowQosOutPremSynFlag {axsFlowQosOutPremEntry 36}	INTEGER	R/O	バーチャルサーキット確立許可 (SYN フラグが 1) を重要フロー検出条件に入れるかどうかを示します。 { 入れない (-1), 入れる (1) }	
162	axsFlowQosOutPremIcmpType {axsFlowQosOutPremEntry 37}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	
163	axsFlowQosOutPremIcmpCode {axsFlowQosOutPremEntry 38}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した ICMP または ICMPv6 コードを示します。 (0..255) (指定なし (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
164	axsFlowQosOutPremIgmpType {axsFlowQosOutPremEntry 39}	INTEGER	R/O	重要フロー検出条件に指定した IGMP タイプを示します。 (0..255) (指定なし (-1)) IPv4 だけ	
165	axsFlowQosInActTable {axsFlowQos 5}	SEQUENCE OF axsFlowQosInActEntry	NA	通常フロー検出条件 (Inbound) に一致したパケットの動作情報のテーブル情報	
166	axsFlowQosInActEntry {axsFlowQosInActTable 1}	axsFlowQosInActEntry	NA	通常フロー検出条件 (Inbound) に一致したパケットの動作情報に関するエントリ [index] {axsFlowQosInActifIndex, axsFlowQosInActifIndexType, axsFlowQosInActListNumber}	
167	axsFlowQosInActifIndex {axsFlowQosInActEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
168	axsFlowQosInActifIndexType {axsFlowQosInActEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2)	
169	axsFlowQosInActListNumber {axsFlowQosInActEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
170	axsFlowQosInActMaxRate {axsFlowQosInActEntry 4}	INTEGER	R/O	最大帯域制御での監視帯域値 (kbit/s) を示します。 <sup>3</sup> (4..10,000,000) (指定なし (-1))	
171	axsFlowQosInActMaxRateBurst {axsFlowQosInActEntry 5}	INTEGER	R/O	最大帯域制御でのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072) (指定なし (-1))	
172	axsFlowQosInActMaxUpcRedMinBurst {axsFlowQosInActEntry 6}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最小バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	
173	axsFlowQosInActMaxUpcRedMaxBurst {axsFlowQosInActEntry 7}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最大バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	
174	axsFlowQosInActMaxUpcRedProbability {axsFlowQosInActEntry 8}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最大違反率 (1/10%) を示します。 (0..1000) (指定なし (-1))	
175	axsFlowQosInActMinRate {axsFlowQosInActEntry 9}	INTEGER	R/O	最低帯域監視での監視帯域値 (kbit/s) を示します。 <sup>3</sup> (4..10,000,000) (指定なし (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
176	axsFlowQosInActMinRateBurst {axsFlowQosInActEntry 10}	INTEGER	R/O	最低帯域監視でのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072) (指定なし (-1))	
177	axsFlowQosInActMinUpcRedMinBurst {axsFlowQosInActEntry 11}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最小バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	
178	axsFlowQosInActMinUpcRedMaxBurst {axsFlowQosInActEntry 12}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最大バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	
179	axsFlowQosInActMinUpcRedProbability {axsFlowQosInActEntry 13}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最大違反率 (1/10%) を示します。 (0..1000) (指定なし (-1))	
180	axsFlowQosInActAgQueueOp {axsFlowQosInActEntry 14}	INTEGER	R/O	階層化シェーパのアグリゲートキュー番号の指定方法を示します。 (0) 固定	
181	axsFlowQosInActAgQueue {axsFlowQosInActEntry 15}	INTEGER	R/O	階層化シェーパのアグリゲートキュー番号を示します。 (-1) 固定	
182	axsFlowQosInActPriority {axsFlowQosInActEntry 16}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の出力優先度を示します。 (1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	1
183	axsFlowQosInActMaxUnderPriority {axsFlowQosInActEntry 17}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの出力優先度を示します。 (1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合や axsFlowQosInActMinOverPriority と axsFlowQosInActMinUnderPriority の示す値が異なる場合に無効 (-1))	1
184	axsFlowQosInActMinOverPriority {axsFlowQosInActEntry 18}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの出力優先度を示します。 (1..8)	1
185	axsFlowQosInActMinUnderPriority {axsFlowQosInActEntry 19}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの出力優先度を示します。 (1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	1
186	axsFlowQosInActDiscard {axsFlowQosInActEntry 20}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時のキューイング優先度を示します。(1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
187	axsFlowQosInActMaxUnderDiscard {axsFlowQosInActEntry 21}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットのキューイング優先度を示します。(1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合や axsFlowQosInActMinOverDiscard と axsFlowQosInActMinUnderDiscard の示す値が異なる場合に無効 (-1))	
188	axsFlowQosInActMinOverDiscard {axsFlowQosInActEntry 22}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットのキューイング優先度を示します。(1..4)	
189	axsFlowQosInActMinUnderDiscard {axsFlowQosInActEntry 23}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットのキューイング優先度を示します。(1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効 (-1))	
190	axsFlowQosInActDscpOp {axsFlowQosInActEntry 24}	INTEGER	R/O	DSCP マッピング指定の有無を示します。 {DSCP マッピング指定なし (0), DSCP マッピング指定あり (1)}	
191	axsFlowQosInActDscp {axsFlowQosInActEntry 25}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の DSCP 値を示します。(0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
192	axsFlowQosInActMaxUnderDscp {axsFlowQosInActEntry 26}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの DSCP 値を示します。(0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
193	axsFlowQosInActMinOverDscp {axsFlowQosInActEntry 27}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの DSCP 値を示します。(0..63)	
194	axsFlowQosInActMinUnderDscp {axsFlowQosInActEntry 28}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの DSCP 値を示します。(0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
195	axsFlowQosInActUserPriority {axsFlowQosInActEntry 29}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時のユーザ優先度を示します。(0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
196	axsFlowQosInActMaxUnderUserPriority {axsFlowQosInActEntry 30}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットのユーザ優先度を示します。(0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
197	axsFlowQosInActMinOverUserPriority {axsFlowQosInActEntry 31}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットのユーザ優先度を示します。(0..7) (penalty_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
198	axsFlowQosInActMinUnderUserPriority {axsFlowQosInActEntry 32}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットのユーザ優先度を示します。 (0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
199	axsFlowQosInActPremTable {axsFlowQos 6}	SEQUENCE OF axsFlowQosInActPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Inbound) に一致したパケットの動作情報のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合、テーブル情報を表示しません)	
200	axsFlowQosInActPremEntry {axsFlowQosInActPremTable 1}	axsFlowQosInActPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Inbound) に一致したパケットの動作情報に関するエントリ [index] {axsFlowQosInActPremifIndex, axsFlowQosInActPremifIndexType, axsFlowQosInActPremListNumber}	
201	axsFlowQosInActPremifIndex {axsFlowQosInActPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
202	axsFlowQosInActPremifIndexType {axsFlowQosInActPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定 : (1) ・ インタフェース名称指定 : (2)	
203	axsFlowQosInActPremListNumber {axsFlowQosInActPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッド条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
204	axsFlowQosInActPremMaxRateBurst {axsFlowQosInActPremEntry 4}	INTEGER	R/O	最大帯域制御での重要フローのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072)	
205	axsFlowQosInActPremMinRateBurst {axsFlowQosInActPremEntry 5}	INTEGER	R/O	最低帯域監視での重要フローのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072)	
206	axsFlowQosOutActTable {axsFlowQos 7}	SEQUENCE OF axsFlowQosOutActEntry	NA	通常フロー検出条件 (Outbound) に一致したパケットの動作情報のテーブル情報	
207	axsFlowQosOutActEntry {axsFlowQosOutActTable 1}	axsFlowQosOutActEntry	NA	通常フロー検出条件 (Outbound) に一致したパケットの動作情報に関するエントリ [index] {axsFlowQosOutActifIndex, axsFlowQosOutActifIndexType, axsFlowQosOutActListNumber}	
208	axsFlowQosOutActifIndex {axsFlowQosOutActEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
209	axsFlowQosOutActifIndexType {axsFlowQosOutActEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 ・ 物理ポート番号指定 : (1) ・ インタフェース名称指定 : (2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
210	axsFlowQosOutActListNumber {axsFlowQosOutActEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
211	axsFlowQosOutActMaxRate {axsFlowQosOutActEntry 4}	INTEGER	R/O	最大帯域制御での監視帯域値 (kbit/s) を示します。 <sup>3</sup> (4..10,000,000) (指定なし (-1))	
212	axsFlowQosOutActMaxRateBurst {axsFlowQosOutActEntry 5}	INTEGER	R/O	最大帯域制御でのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072) (指定なし (-1))	
213	axsFlowQosOutActMaxUpcRedMinBurst {axsFlowQosOutActEntry 6}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最小バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	
214	axsFlowQosOutActMaxUpcRedMaxBurst {axsFlowQosOutActEntry 7}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最大バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	
215	axsFlowQosOutActMaxUpcRedProbability {axsFlowQosOutActEntry 8}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Max) 機能使用時の最大違反率 (1/10%) を示します。 (0..1000) (指定なし (-1))	
216	axsFlowQosOutActMinRate {axsFlowQosOutActEntry 9}	INTEGER	R/O	最低帯域監視での監視帯域値 (kbit/s) を示します。 <sup>3</sup> (4..10,000,000) (指定なし (-1))	
217	axsFlowQosOutActMinRateBurst {axsFlowQosOutActEntry 10}	INTEGER	R/O	最低帯域監視でのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072) (指定なし (-1))	
218	axsFlowQosOutActMinUpcRedMinBurst {axsFlowQosOutActEntry 11}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最小バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	
219	axsFlowQosOutActMinUpcRedMaxBurst {axsFlowQosOutActEntry 12}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最大バーストサイズ (Byte) を示します。 (1..268,435,456) (指定なし (-1))	
220	axsFlowQosOutActMinUpcRedProbability {axsFlowQosOutActEntry 13}	INTEGER	R/O	UPC-RED(Min) 機能使用時の最大違反率 (1/10%) を示します。 (0..1000) (指定なし (-1))	
221	axsFlowQosOutActAgQueueOp {axsFlowQosOutActEntry 14}	INTEGER	R/O	階層化シェーバのアグリゲートキュー番号の指定方法を示します。 { 指定なし (0), アグリゲートキュー番号を指定 (1), auto 指定 (2) }	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
222	axsFlowQosOutActAgQueue {axsFlowQosOutActEntry 15}	INTEGER	R/O	階層化シェーパのアグリゲートキュー番号を示します。 (1..1023) axsFlowQosOutActAgQueueOp=(1),(2)の場合に有効で,(0)の場合は無効(-1)を示します。	
223	axsFlowQosOutActPriority {axsFlowQosOutActEntry 16}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の出力優先度を示します。(1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効(-1))	2
224	axsFlowQosOutActMaxUnderPriority {axsFlowQosOutActEntry 17}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの出力優先度を示します。(1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合や axsFlowQosOutActMinOverPriority と axsFlowQosOutActMinUnderPriority の示す値が異なる場合に無効(-1))	2
225	axsFlowQosOutActMinOverPriority {axsFlowQosOutActEntry 18}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの出力優先度を示します。(1..8)	2
226	axsFlowQosOutActMinUnderPriority {axsFlowQosOutActEntry 19}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの出力優先度を示します。(1..8) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効(-1))	2
227	axsFlowQosOutActDiscard {axsFlowQosOutActEntry 20}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時のキューイング優先度を示します。(1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効(-1))	
228	axsFlowQosOutActMaxUnderDiscard {axsFlowQosOutActEntry 21}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットのキューイング優先度を示します。(1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合や axsFlowQosOutActMinOverDiscard と axsFlowQosOutActMinUnderDiscard の示す値が異なる場合に無効(-1))	
229	axsFlowQosOutActMinOverDiscard {axsFlowQosOutActEntry 22}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットのキューイング優先度を示します。(1..4)	
230	axsFlowQosOutActMinUnderDiscard {axsFlowQosOutActEntry 23}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットのキューイング優先度を示します。(1..4) (dscp_map パラメータ指定時に replace_dscp パラメータの指定がない場合は無効(-1))	
231	axsFlowQosOutActDscpOp {axsFlowQosOutActEntry 24}	INTEGER	R/O	DSCP マッピング指定の有無を示します。 {DSCP マッピング指定なし (0), DSCP マッピング指定あり (1)}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
232	axsFlowQosOutActDscp {axsFlowQosOutActEntry 25}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時の DSCP 値を示します。(0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
233	axsFlowQosOutActMaxUnderDscp {axsFlowQosOutActEntry 26}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットの DSCP 値を示します。(0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
234	axsFlowQosOutActMinOverDscp {axsFlowQosOutActEntry 27}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットの DSCP 値を示します。(0..63)	
235	axsFlowQosOutActMinUnderDscp {axsFlowQosOutActEntry 28}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットの DSCP 値を示します。(0..63) (replace_dscp パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
236	axsFlowQosOutActUserPriority {axsFlowQosOutActEntry 29}	INTEGER	R/O	帯域監視機能未使用時のユーザ優先度を示します。(0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
237	axsFlowQosOutActMaxUnderUserPriority {axsFlowQosOutActEntry 30}	INTEGER	R/O	最大帯域制御使用時に最大契約帯域を遵守したパケットのユーザ優先度を示します。(0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
238	axsFlowQosOutActMinOverUserPriority {axsFlowQosOutActEntry 31}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域に違反したパケットのユーザ優先度を示します。(0..7) (penalty_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
239	axsFlowQosOutActMinUnderUserPriority {axsFlowQosOutActEntry 32}	INTEGER	R/O	最低帯域監視使用時に最低契約帯域を遵守したパケットのユーザ優先度を示します。(0..7) (replace_user_priority パラメータの指定がない場合に無効 (-1))	
240	axsFlowQosOutActPremTable {axsFlowQos 8}	SEQUENCE OF axsFlowQosOutActPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Outbound) に一致したパケットの動作情報のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合, テーブル情報を表示しません)	
241	axsFlowQosOutActPremEntry {axsFlowQosOutActPremTable 1}	axsFlowQosOutActPremEntry	NA	重要フロー検出条件 (Outbound) に一致したパケットの動作情報に関するエントリ [index] {axsFlowQosOutActPremifIndex, axsFlowQosOutActPremifIndexType, axsFlowQosOutActPremListNumber}	
242	axsFlowQosOutActPremifIndex {axsFlowQosOutActPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
243	axsFlowQosOutActPremifIndexType {axsFlowQosOutActPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
244	axsFlowQosOutActPremListNumber {axsFlowQosOutActPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
245	axsFlowQosOutActPremMaxRateBurst {axsFlowQosOutActPremEntry 4}	INTEGER	R/O	最大帯域制御での重要フローのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072)	
246	axsFlowQosOutActPremMinRateBurst {axsFlowQosOutActPremEntry 5}	INTEGER	R/O	最低帯域監視での重要フローのバーストサイズ (Byte) を示します。 (0..131,072)	

注 1

表示する出力優先度の値はコンフィグレーションのフロー QoS 情報に指定した値となります。

注 2

複数の物理ポートが属するインタフェース名称に対して実施した場合、表示する出力優先度の値はコンフィグレーションのフロー QoS 情報に指定した値となります。

注 3

4kbit/s 以下の値が設定された場合は 4 と表示されます。なお、実際の動作値としては 4.1kbit/s です。

### 3.6.5 axsFlowQosStats グループ

#### (1) 識別子

```
axsFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 8}
```

```
axsFlowQosStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsFlow 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6
```

#### (2) 実装仕様

axsFlowQosStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-32 axsFlowQosStats の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsFlowQosStatsInTable {axsFlowQosStats 1}	SEQUENCE OF axsFlowQosStats InEntry	NA	通常フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報	
2	axsFlowQosStatsInEntry {axsFlowQosStatsInTable 1}	axsFlowQosStats InEntry	NA	通常フロー検出条件に一致した統計情報に関するエントリ [index] {axsFlowQosStatsInifIndex, axsFlowQosStatsInifIndexType, axsFlowQosStatsInListNumber}	
3	axsFlowQosStatsInifIndex {axsFlowQosStatsInEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsFlowQosStatsInifIndexType {axsFlowQosStatsInEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定：(1) • インタフェース名称指定：(2)	
5	axsFlowQosStatsInListNumber {axsFlowQosStatsInEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4):1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6):40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
6	axsFlowQosStatsInHitPackets {axsFlowQosStatsInEntry 4}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致したパケット数を示します。 (帯域制御機能使用時は無効 (0))	
7	axsFlowQosStatsInMaxOverPackets {axsFlowQosStatsInEntry 5}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最大契約帯域に違反したパケット数を示します。 (最大帯域制御未使用時は無効 (0))	
8	axsFlowQosStatsInMaxUnderPackets {axsFlowQosStatsInEntry 6}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最大契約帯域を遵守したパケット数を示します。 (最大帯域制御未使用時は無効 (0))	
9	axsFlowQosStatsInMinOverPackets {axsFlowQosStatsInEntry 7}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最低契約帯域に違反したパケット数を示します。 (最低帯域制御未使用時は無効 (0))	
10	axsFlowQosStatsInMinUnderPackets {axsFlowQosStatsInEntry 8}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最低契約帯域を遵守したパケット数を示します。 (最低帯域制御未使用時は無効 (0))	
11	axsFlowQosStatsInPremTable {axsFlowQosStats 2}	SEQUENCE OF axsFlowQosStatsInPremEntry	NA	重要フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合、テーブル情報を表示しません)	
12	axsFlowQosStatsInPremEntry {axsFlowQosStatsInPremTable 1}	axsFlowQosStatsInPremEntry	NA	重要フロー検出条件に一致した統計情報に関するエントリ [index] {axsFlowQosStatsInPremifIndex, axsFlowQosStatsInPremifIndexType, axsFlowQosStatsInPremListNumber}	
13	axsFlowQosStatsInPremifIndex {axsFlowQosStatsInPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
14	axsFlowQosStatsInPremifIndexType {axsFlowQosStatsInPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定：(1) • インタフェース名称指定：(2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
15	axsFlowQosStatsInPremListNumber {axsFlowQosStatsInPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
16	axsFlowQosStatsInPremMaxOverPackets {axsFlowQosStatsInPremEntry 4}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最大契約帯域に違反したパケット数を示します。	
17	axsFlowQosStatsInPremMaxUnderPackets {axsFlowQosStatsInPremEntry 5}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最大契約帯域を遵守したパケット数を示します。	
18	axsFlowQosStatsInPremMinOverPackets {axsFlowQosStatsInPremEntry 6}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最低契約帯域に違反したパケット数を示します。	
19	axsFlowQosStatsInPremMinUnderPackets {axsFlowQosStatsInPremEntry 7}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最低契約帯域を遵守したパケット数を示します。	
20	axsFlowQosStatsOutTable {axsFlowQosStats 3}	SEQUENCE OF axsFlowQosStats OutEntry	NA	通常フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報	
21	axsFlowQosStatsOutEntry {axsFlowQosStatsOutTable 1}	axsFlowQosStats OutEntry	NA	通常フロー検出条件に一致した統計情報に関するエントリ [index] {axsFlowQosStatsOutifIndex, axsFlowQosStatsOutifIndexType, axsFlowQosStatsOutListNumber}	
22	axsFlowQosStatsOutifIndex {axsFlowQosStatsOutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
23	axsFlowQosStatsOutifIndexType {axsFlowQosStatsOutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2)	
24	axsFlowQosStatsOutListNumber {axsFlowQosStatsOutEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
25	axsFlowQosStatsOutHitPackets {axsFlowQosStatsOutEntry 4}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致したパケット数を示します。 (帯域制御機能使用時は無効 (0))	
26	axsFlowQosStatsOutMaxOverPackets {axsFlowQosStatsOutEntry 5}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最大契約帯域に違反したパケット数を示します。 (最大帯域制御未使用時は無効 (0))	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
27	axsFlowQosStatsOutMaxUnderPackets {axsFlowQosStatsOutEntry 6}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最大契約帯域を遵守したパケット数を示します。 (最大帯域制御未使用時は無効 (0))	
28	axsFlowQosStatsOutMinOverPackets {axsFlowQosStatsOutEntry 7}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最低契約帯域に違反したパケット数を示します。 (最低帯域制御未使用時は無効 (0))	
29	axsFlowQosStatsOutMinUnderPackets {axsFlowQosStatsOutEntry 8}	Counter64	R/O	通常フロー検出条件に一致し最低契約帯域を遵守したパケット数を示します。 (最低帯域制御未使用時は無効 (0))	
30	axsFlowQosStatsOutPremTable {axsFlowQosStats 4}	SEQUENCE OF axsFlowQosStatsOutPremEntry	NA	重要フロー検出条件に一致した統計情報のテーブル情報 (重要フロー検出条件が未設定の場合、テーブル情報を表示しません)	
31	axsFlowQosStatsOutPremEntry {axsFlowQosStatsOutPremTable 1}	axsFlowQosStatsOutPremEntry	NA	重要フロー検出条件に一致した統計情報に関するエントリ [index] {axsFlowQosStatsOutPremifIndex, axsFlowQosStatsOutPremifIndexType, axsFlowQosStatsOutPremListNumber}	
32	axsFlowQosStatsOutPremifIndex {axsFlowQosStatsOutPremEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ) を示します。	
33	axsFlowQosStatsOutPremifIndexType {axsFlowQosStatsOutPremEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプを示します。 • 物理ポート番号指定: (1) • インタフェース名称指定: (2)	
34	axsFlowQosStatsOutPremListNumber {axsFlowQosStatsOutPremEntry 3}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (リスト番号) を示します。 リスト番号 (IPv4): 1 ~ 20,000 リスト番号 (IPv6): 40,001 ~ 60,000 MAC ヘッダ条件だけ指定された場合は、IPv4 および IPv6 という区別はなく優先順位だけを示します。	
35	axsFlowQosStatsOutPremMaxOverPackets {axsFlowQosStatsOutPremEntry 4}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最大契約帯域に違反したパケット数を示します。	
36	axsFlowQosStatsOutPremMaxUnderPackets {axsFlowQosStatsOutPremEntry 5}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最大契約帯域を遵守したパケット数を示します。	
37	axsFlowQosStatsOutPremMinOverPackets {axsFlowQosStatsOutPremEntry 6}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最低契約帯域に違反したパケット数を示します。	
38	axsFlowQosStatsOutPremMinUnderPackets {axsFlowQosStatsOutPremEntry 7}	Counter64	R/O	重要フロー検出条件に一致し最低契約帯域を遵守したパケット数を示します。	

## 注

MIB で指定したインタフェースのパケット数取得と当該指定インタフェースが属する PSU

【AX7800S】または BSU 【AX5400S】に対する以下のコンフィグレーションや運用コマンドの操作を同時に行なった場合、オブジェクトの値が「0」を示す場合があります。

1. コンフィグレーションフローフィルタ情報の追加・削除・変更
2. コンフィグレーションフロー QoS 情報の追加・削除・変更
3. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報を収容する <VLAN Name> が属する VLAN に、新たに PSU をまたがるように tagged-port,untagged-port を追加した場合、または PSU をまたがらなくなるように tagged-port,untagged-port を削除した場合 【AX7800S】
4. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報を収容する <LA Name> が属する LA に、新たに PSU をまたがるように aggregated-port を追加した場合、または PSU をまたがらなくなるように aggregated-port を削除した場合 【AX7800S】
5. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <Line Name> の -r 指定による削除
6. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <Tag-VLAN Name> の -r 指定による削除
7. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <VLAN Name> の -r 指定による削除
8. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する <LA Name> の -r 指定による削除
9. コンフィグレーションフローフィルタ情報・フロー QoS 情報が属する IP アドレス情報の -r 指定による削除
10. free psu コマンドを実行して PSU を運用状態にする。【AX7800S】
11. free bsu コマンドを実行して BSU を運用状態にする。【AX5400S】

## 3.7 axsOspfMIB グループ ( マルチバックボーン OSPF 情報 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】

### 3.7.1 axsOspfGeneralTable

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfGeneralTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfGeneralTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-33 axsOspfGeneralTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfGeneralTable {axsOspf 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfGeneralEntry {axsOspfGeneralTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 情報のリスト。 INDEX {axsOspfGeneralDomainNumber}	
3	axsOspfGeneralDomainNumber {axsOspfGeneralEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfRouterId {axsOspfGeneralEntry 2}	IpAddress	R/O	ルータのルータ識別子。	
5	axsOspfAdminStat {axsOspfGeneralEntry 3}	INTEGER	R/O	ルータの OSPF 管理状態。 {enabled(1), disabled(2)}	
6	axsOspfVersionNumber {axsOspfGeneralEntry 4}	INTEGER	R/O	OSPF プロトコルのバージョン番号。(2) 固定。	
7	axsOspfAreaBdrRtrStatus {axsOspfGeneralEntry 5}	INTEGER	R/O	そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)}	
8	axsOspfASBdrRtrStatus {axsOspfGeneralEntry 6}	INTEGER	R/O	そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)}	
9	axsOspfExternLsaCount {axsOspfGeneralEntry 7}	Gauge	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。	
10	axsOspfExternLsaCksumSum {axsOspfGeneralEntry 8}	INTEGER	R/O	LSDB 中の外部 LSA の LS チェックサム合計。	
11	axsOspfTOSSupport {axsOspfGeneralEntry 9}	INTEGER	R/O	そのルータが TOS ベースルーティングをサポートするかどうかのフラグ。false(2) 固定。 {true(1), false(2)}	
12	axsOspfOriginateNewLsas {axsOspfGeneralEntry 10}	Counter	R/O	生成された新しい LSA の数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axsOspfRxNewLsas {axsOspfGeneralEntry 11}	Counter	R/O	新しい情報を持った LSA を受信した回数。	
14	axsOspfExtLsdbLimit {axsOspfGeneralEntry 12}	INTEGER	R/O	LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。( -1) 固定。	
15	axsOspfMulticastExtensions {axsOspfGeneralEntry 13}	INTEGER	R/O	マルチキャスト拡張版 OSPF のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。ただし、マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。	

## 3.7.2 axsOspfAreaTable

### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
axsOspfAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2
```

### (2) 実装仕様

axsOspfAreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-34 axsOspfAreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfAreaTable {axsOspf 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfAreaEntry {axsOspfAreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各エリアの情報リスト。 INDEX {axsOspfAreaDomainNumber, axsOspfAreaId}	
3	axsOspfAreaDomainNumber {axsOspfAreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfAreaId {axsOspfAreaEntry 2}	IpAddress	R/O	エリアを識別する番号。	
5	axsOspfAuthType {axsOspfAreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのエリアで採用する認証のタイプ。 { なし (0), シンプルパスワード (1), md5(2)}	
6	axsOspfImportAsExtern {axsOspfAreaEntry 4}	INTEGER	R/O	そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 {importExternal (1), importNoExternal (2), importNssa (3)}	
7	axsOspfSpfRuns {axsOspfAreaEntry 5}	Counter	R/O	このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。	
8	axsOspfAreaBdrRtrCount {axsOspfAreaEntry 6}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できるエリアボーダルータの合計数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsOspfAsBdrRtrCount {axsOspfAreaEntry 7}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。	
10	axsOspfAreaLsaCount {axsOspfAreaEntry 8}	Gauge	R/O	AS 外部 LSA を除く、このエリアの LSDB 中の LSA の数。	
11	axsOspfAreaLsaCksumSum {axsOspfAreaEntry 9}	INTEGER	R/O	このエリアの LSDB に含まれる LSA の LS チェックサムの合計。	
12	axsOspfAreaSummary {axsOspfAreaEntry 10}	INTEGER	R/O	スタブエリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。ただし、sendAreaSummary(2) 固定。 {noAreaSummary(1), sendAreaSummary(2)}	
13	axsOspfAreaStatus {axsOspfAreaEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	

### 3.7.3 axsOspfStubAreaTable

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfStubAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfStubAreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-35 axsOspfStubAreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfStubAreaTable {axsOspf 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブル。	
2	axsOspfStubAreaEntry {axsOspfStubAreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各スタブエリアの情報リスト。 INDEX {axsOspfStubDomainNumber, axsOspfStubAreaId, axsOspfStubTOS}	
3	axsOspfStubDomainNumber {axsOspfStubAreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfStubAreaId {axsOspfStubAreaEntry 2}	IpAddress	R/O	スタブエリアの ID。	
5	axsOspfStubTOS {axsOspfStubAreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのスタブエリアでのサービスのタイプ。 ただし、(0) 固定。	
6	axsOspfStubMetric {axsOspfStubAreaEntry 4}	INTEGER	R/O	そのスタブエリアでのサービスタイプに対応したメトリック。	
7	axsOspfStubStatus {axsOspfStubAreaEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	
8	axsOspfStubMetricType {axsOspfStubAreaEntry 6}	INTEGER	R/O	デフォルトルートとして広告したメトリックのタイプを示します。 {ospfMetric(1), comparableCost(2), nonComparable(3)}	

### 3.7.4 axsOspfLsdbTable

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-36 axsOspfLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfLsdbTable {axsOspf 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfLsdbEntry {axsOspfLsdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axsOspfLsdbDomainNumber, axsOspfLsdbAreaId, axsOspfLsdbType, axsOspfLsdbLsid, axsOspfLsdbRouterId}	
3	axsOspfLsdbDomainNumber {axsOspfLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfLsdbAreaId {axsOspfLsdbEntry 2}	IpAddress	R/O	この LSA の受信元エリアのエリア ID。	
5	axsOspfLsdbType {axsOspfLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 { ルータ (1), ネットワーク (2), サマリー (3), AS サマリー (4), AS 外部リンク (5), マルチキャスト (6), nssa 外部リンク (7)}	
6	axsOspfLsdbLsid {axsOspfLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	個々のルーティングドメインを識別する ID。	
7	axsOspfLsdbRouterId {axsOspfLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	
8	axsOspfLsdbSequence {axsOspfLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
9	axsOspfLsdbAge {axsOspfLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間。[ 単位：秒 ]	
10	axsOspfLsdbChecksum {axsOspfLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	
11	axsOspfLsdbAdvertisement {axsOspfLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	

### 3.7.5 axsOspfAreaRangeTable

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfAreaRangeTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5
```

## (2) 実装仕様

axsOspfAreaRangeTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-37 axsOspfAreaRangeTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfAreaRangeTable {axsOspf 5}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfAreaRangeEntry {axsOspfAreaRangeTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するリスト。 INDEX {axsOspfAreaRangeDomainNumber, axsOspfAreaRangeAreaId, axsOspfAreaRangeNet}	
3	axsOspfAreaRangeDomainNumber {axsOspfAreaRangeEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfAreaRangeAreaId {axsOspfAreaRangeEntry 2}	IpAddress	R/O	属するエリアの ID。	
5	axsOspfAreaRangeNet {axsOspfAreaRangeEntry 3}	IpAddress	R/O	この範囲内のネット / サブネットの IP アドレス。	
6	axsOspfAreaRangeMask {axsOspfAreaRangeEntry 4}	IpAddress	R/O	axsOspfAreaRangeNet にかけるべきサブネットマスク。	
7	axsOspfAreaRangeStatus {axsOspfAreaRangeEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	
8	axsOspfAreaRangeEffect {axsOspfAreaRangeEntry 6}	INTEGER	R/O	広告するエリアの範囲を示します。 { エリア外に広告されるサブネット (1) エリア外に広告しないサブネット (2)}	

## 3.7.6 axsOspfIfTable

### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7
```

### (2) 実装仕様

axsOspfIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-38 axsOspfIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfIfTable {axsOspf 7}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsOspfIfEntry {axsOspfIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX {axsOspfIfDomainNumber, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf}	
3	axsOspfIfDomainNumber {axsOspfIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfIfIpAddress {axsOspfIfEntry 2}	IpAddress	R/O	この OSPF インタフェースの IP アドレス。	
5	axsOspfAddressLessIf {axsOspfIfEntry 3}	INTEGER	R/O	このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。	
6	axsOspfIfAreaId {axsOspfIfEntry 4}	IpAddress	R/O	このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。	
7	axsOspfIfType {axsOspfIfEntry 5}	INTEGER	R/O	インタフェースタイプ。 {ブロードキャスト (1), ノンブロードキャスト (2), Point-Point(3), Point-Multipoint(5)}	
8	axsOspfIfAdminStat {axsOspfIfEntry 6}	INTEGER	R/O	インタフェースの管理状態。 {enabled(1), disabled(2)}	
9	axsOspfIfRtrPriority {axsOspfIfEntry 7}	INTEGER	R/O	このインタフェースのプライオリティ。	
10	axsOspfIfTransitDelay {axsOspfIfEntry 8}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。 [ 単位 : 秒 ]	
11	axsOspfIfRetransInterval {axsOspfIfEntry 9}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。 [ 単位 : 秒 ]	
12	axsOspfIfHelloInterval {axsOspfIfEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔。 [ 単位 : 秒 ]	
13	axsOspfIfRtrDeadInterval {axsOspfIfEntry 11}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔。 [ 単位 : 秒 ]	
14	axsOspfIfPollInterval {axsOspfIfEntry 12}	INTEGER	R/O	非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔。 [ 単位 : 秒 ]	
15	axsOspfIfState {axsOspfIfEntry 13}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 {down(1), loopback(2), waiting(3), PtoP(4), DR(5), BDR(6), other(7)}	
16	axsOspfIfDesignatedRouter {axsOspfIfEntry 14}	IpAddress	R/O	ディジグネーテッドルータの IP アドレス。	
17	axsOspfIfBackupDesignatedRouter {axsOspfIfEntry 15}	IpAddress	R/O	バックアップディジグネーテッドルータの IP アドレス。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
18	axsOspfIfEvents {axsOspfIfEntry 16}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	
19	axsOspfIfAuthKey {axsOspfIfEntry 17}	OCTET STRING	R/O	このインタフェースでの認証キー。	
20	axsOspfIfStatus {axsOspfIfEntry 18}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	
21	axsOspfIfMulticastForwarding {axsOspfIfEntry 19}	INTEGER	R/O	このインタフェースでマルチキャストする方法。 blocked(1) 固定。 {blocked(1), multicast(2), unicast(3)}	

### 3.7.7 axsOspfIfMetricTable

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
axsOspfIfMetricTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfIfMetricTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-39 axsOspfIfMetricTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfIfMetricTable {axsOspf 8}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfIfMetricEntry {axsOspfIfMetricTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各インタフェースのサービスタイプメトリックの情報リスト。 INDEX {axsOspfIfMetricDomainNumber, axsOspfIfMetricIpAddress, axsOspfIfMetricAddressLessIf, axsOspfIfMetricTOS}	
3	axsOspfIfMetricDomainNumber {axsOspfIfMetricEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfIfMetricIpAddress {axsOspfIfMetricEntry 2}	IpAddress	R/O	この OSPF インタフェースの IP アドレス。	
5	axsOspfIfMetricAddressLessIf {axsOspfIfMetricEntry 3}	INTEGER	R/O	このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効なインタフェースの識別子。	
6	axsOspfIfMetricTOS {axsOspfIfMetricEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェースのサービスのタイプ。 (0) 固定。	
7	axsOspfIfMetricValue {axsOspfIfMetricEntry 5}	INTEGER	R/O	このインタフェースのこのサービスタイプのメトリック。	
8	axsOspfIfMetricStatus {axsOspfIfMetricEntry 6}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	

### 3.7.8 axsOspfVirtIfTable

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfVirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfVirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-40 axsOspfVirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfVirtIfTable {axsOspf 9}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfVirtIfEntry {axsOspfVirtIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX {axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor}	
3	axsOspfVirtIfDomainNumber {axsOspfVirtIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfVirtIfAreaId {axsOspfVirtIfEntry 2}	IpAddress	R/O	その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。	
5	axsOspfVirtIfNeighbor {axsOspfVirtIfEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想の隣接ルータのルータ ID。	
6	axsOspfVirtIfTransitDelay {axsOspfVirtIfEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するために必要とされる時間。 [単位: 秒]	
7	axsOspfVirtIfRetransInterval {axsOspfVirtIfEntry 5}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。 [単位: 秒]	
8	axsOspfVirtIfHelloInterval {axsOspfVirtIfEntry 6}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔。 [単位: 秒]	
9	axsOspfVirtIfRtrDeadInterval {axsOspfVirtIfEntry 7}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔。 [単位: 秒]	
10	axsOspfVirtIfState {axsOspfVirtIfEntry 8}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 {down(1), PtoP(4)}	
11	axsOspfVirtIfEvents {axsOspfVirtIfEntry 9}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。	
12	axsOspfVirtIfAuthKey {axsOspfVirtIfEntry 10}	OCTET STRING	R/O	このインタフェースでの認証キー。	
13	axsOspfVirtIfStatus {axsOspfVirtIfEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	

### 3.7.9 axsOspfNbrTable

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
```

axsOspfNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 10}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10

## (2) 実装仕様

axsOspfNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-41 axsOspfNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfNbrTable {axsOspf 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfNbrEntry {axsOspfNbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各隣接局の情報リスト。 INDEX {axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex}	
3	axsOspfNbrDomainNumber {axsOspfNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfNbrIpAddress {axsOspfNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	隣接ルータの IP アドレス。	
5	axsOspfNbrAddressLessIndex {axsOspfNbrEntry 3}	INTEGER	R/O	隣接ルータのインタフェースがアドレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。	
6	axsOspfNbrRtrId {axsOspfNbrEntry 4}	IpAddress	R/O	隣接ルータのルータ ID。	
7	axsOspfNbrOptions {axsOspfNbrEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ルータのオプション実行能力。 Bit 0, サービスタイプベースルーティング Bit 1, 外部エリアの処理 Bit 2, IP マルチキャストルーティング Bit 3, NSSA と関係したエリア	
8	axsOspfNbrPriority {axsOspfNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接ルータのプライオリティ。	
9	axsOspfNbrState {axsOspfNbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)}	
10	axsOspfNbrEvents {axsOspfNbrEntry 8}	Counter	R/O	隣接ルータとの関係で、状態が変わったか、エラーが発生した回数。	
11	axsOspfNbrLsRetransQLen {axsOspfNbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	
12	axsOspfNbmaNbrStatus {axsOspfNbrEntry 10}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。 axsOspfIfType が nbma 時だけアクセス可。	
13	axsOspfNbmaNbrPermanence {axsOspfNbrEntry 11}	INTEGER	R/O	隣接ルータとルーティングする方法。 {dynamic(1) permanent(2)}	

### 3.7.10 axsOspfVirtNbrTable

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfVirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfVirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-42 axsOspfVirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axsOspfVirtNbrTable {axsOspf 11}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfVirtNbrEntry {axsOspfVirtNbrTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX {axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId}	
3	axsOspfVirtNbrDomainNumber {axsOspfVirtNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfVirtNbrArea {axsOspfVirtNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	通過するエリアのエリア ID。	
5	axsOspfVirtNbrRtrId {axsOspfVirtNbrEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータのルータ ID。	
6	axsOspfVirtNbrIpAddr {axsOspfVirtNbrEntry 4}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータの IP アドレス。	
7	axsOspfVirtNbrOptions {axsOspfVirtNbrEntry 5}	INTEGER	R/O	仮想隣接ルータのオプション実行能力。 Bit 1, サービスタイプベースルーティング Bit 2, IP マルチキャストルーティング	
8	axsOspfVirtNbrState {axsOspfVirtNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)}	
9	axsOspfVirtNbrEvents {axsOspfVirtNbrEntry 7}	Counter	R/O	この仮想リンクの状態が変化した, または エラーが発生した回数。	
10	axsOspfVirtNbrLsRetransQLen {axsOspfVirtNbrEntry 8}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	

### 3.7.11 axsOspfExtLsdbTable

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfExtLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12
```

## (2) 実装仕様

axsOspfExtLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-43 axsOspfExtLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfExtLsdbTable {axsOspf 12}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブル。	
2	axsOspfExtLsdbEntry {axsOspfExtLsdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axsOspfExtLsdbDomainNumber, axsOspfExtLsdbType, axsOspfExtLsdbLsid, axsOspfExtLsdbRouterId}	
3	axsOspfExtLsdbDomainNumber {axsOspfExtLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfExtLsdbType {axsOspfExtLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 {asExternalLink(5)}	
5	axsOspfExtLsdbLsid {axsOspfExtLsdbEntry 3}	IpAddress	R/O	リンクステータス ID。リンクステータス ID はルータ ID または IP アドレスのどちらかを含むフィールドです。	
6	axsOspfExtLsdbRouterId {axsOspfExtLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	自律システム内の生成元ルータを一意に識別するための 32 ビット番号。	
7	axsOspfExtLsdbSequence {axsOspfExtLsdbEntry 5}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
8	axsOspfExtLsdbAge {axsOspfExtLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA が生成されてからの経過時間。 [ 単位 : 秒 ]	
9	axsOspfExtLsdbChecksum {axsOspfExtLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	Age フィールドを含めない、広告内容のチェックサム。	
10	axsOspfExtLsdbAdvertisement {axsOspfExtLsdbEntry 8}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む完全な全体 LSA。	

## 3.7.12 axsOspfAreaAggregateTable

## (1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfAreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 14}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14

## (2) 実装仕様

axsOspfAreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-44 axsOspfAreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfAreaAggregateTable {axsOspf 14}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsOspfAreaAggregateEntry {axsOspfAreaAggregateTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのリスト。 INDEX {axsOspfAreaAggregateDomainNumber, axsOspfAreaAggregateAreaID, axsOspfAreaAggregateLsdbType, axsOspfAreaAggregateNet, axsOspfAreaAggregateMask}	
3	axsOspfAreaAggregateDomainNumber {axsOspfAreaAggregateEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfAreaAggregateAreaID {axsOspfAreaAggregateEntry 2}	IpAddress	R/O	アドレス集約したエリア。	
5	axsOspfAreaAggregateLsdbType {axsOspfAreaAggregateEntry 3}	INTEGER	R/O	アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 {summaryLink(3), nssaExternalLink(7)}	
6	axsOspfAreaAggregateNet {axsOspfAreaAggregateEntry 4}	IpAddress	R/O	ネットワークまたはサブネットの IP アドレス。	
7	axsOspfAreaAggregateMask {axsOspfAreaAggregateEntry 5}	IpAddress	R/O	ネットワークまたはサブネットに関するサブネットマスク。	
8	axsOspfAreaAggregateStatus {axsOspfAreaAggregateEntry 6}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	
9	axsOspfAreaAggregateEffect {axsOspfAreaAggregateEntry 7}	INTEGER	R/O	範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 {advertiseMatching(1), doNotAdvertiseMatching(2)}	

### 3.7.13 axsOspfTrap

#### (1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfTrap OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 16}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfTrap グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-45 axsOspfAreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfTrapControlTable {axsOspfTrap 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	トラップに関する取得情報。	
2	axsOspfTrapControlEntry {axsOspfTrapControlTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	トラップに関する取得情報リスト。 INDEX {axsOspfTrapDomainNumber}	
3	axsOspfTrapDomainNumber {axsOspfTrapControlEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	

## 3.7 axsOspfMIB グループ ( マルチバックボーン OSPF 情報 MIB ) 【OP-OSPF(AX5400S)】

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsOspfSetTrap {axsOspfTrapControlEntry 2}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	トラップ可能なイベントを示すビットマップ。各ビットが axsOspfTraps のオブジェクトを示す ( 0x100fe 固定 )。 2 <sup>1</sup> ビット ( 0x00000002 ) : axsOspfVirtIfStateChange ~ 2 <sup>16</sup> ビット ( 0x00010000 ) : axsOspfIfStateChange	
5	axsOspfConfigErrorType {axsOspfTrapControlEntry 3}	INTEGER	R/O	最後に発生したエラーイベント。 noError (0), badVersion (1) areaMismatch (2) unknownNbmaNbr (3) unknownVirtualNbr (4) authTypeMismatch (5) authFailure (6) netMaskMismatch (7) helloIntervalMismatch (8) deadIntervalMismatch (9) optionMismatch (10)	
6	axsOspfPacketType {axsOspfTrapControlEntry 4}	INTEGER	R/O	最後のエラーパケット種別。 noError (0), hello (1) dbDescript (2) lsReq (3) lsUpdate (4) lsAck (5)	
7	axsOspfPacketSrc {axsOspfTrapControlEntry 5}	IpAddress	R/O	最後のエラーパケットの送信元アドレス。エラーイベントが発生していない場合は 0.0.0.0 です。	
8	axsOspfTraps {axsOspfTrap 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	トラップ広告。	

## 3.8 axsOspfV3MIB グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB) 【OP-OSPF(AX5400S)】

### 3.8.1 axsOspfV3GeneralTable

#### (1) 識別子

```
axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3GeneralTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfV3GeneralTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-46 axsOspfV3GeneralTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3GeneralTable {axsOspfV3 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3GeneralEntry {axsOspfV3GeneralTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 情報のリスト。 INDEX {axsOspfV3GeneralDomainNumber}	
3	axsOspfV3GeneralDomainNumber {axsOspfV3GeneralEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3RouterId {axsOspfV3GeneralEntry 2}	IpAddress	R/O	ルータのルータ識別子。	
5	axsOspfV3AdminStat {axsOspfV3GeneralEntry 3}	INTEGER	R/O	ルータの OSPFv3 管理状態。 {enabled(1), disabled(2)}	
6	axsOspfV3VersionNumber {axsOspfV3GeneralEntry 4}	INTEGER	R/O	OSPFv3 プロトコルのバージョン番号。(3) 固定。	
7	axsOspfV3AreaBdrRtrStatus {axsOspfV3GeneralEntry 5}	INTEGER	R/O	そのルータがエリアボーダールータかどうかを示します。 {true(1), false(2)}	
8	axsOspfV3ASBdrRtrStatus {axsOspfV3GeneralEntry 6}	INTEGER	R/O	そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 {true(1), false(2)}	
9	axsOspfV3AsScopeLsaCount {axsOspfV3GeneralEntry 7}	Gauge	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。	
10	axsOspfV3AsScopeLsaChecksumSum {axsOspfV3GeneralEntry 8}	INTEGER	R/O	LSDB 中の AsScopeLSA の LS チェックサムの合計。	
11	axsOspfV3OriginateNewLsas {axsOspfV3GeneralEntry 9}	Counter	R/O	生成された新しい LSA の数。	
12	axsOspfV3RxNewLsas {axsOspfV3GeneralEntry 10}	Counter	R/O	新しい情報を持った LSA を受信した回数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axsOspfV3ExtAreaLsdbLimit {axsOspfV3GeneralEntry 11}	INTEGER	R/O	LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。(・1) 固定。	
14	axsOspfV3MulticastExtensions {axsOspfV3GeneralEntry 12}	INTEGER	R/O	マルチキャスト拡張版 OSPFv3 のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。ただし、マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。	
15	axsOspfV3DemandExtensions {axsOspfV3GeneralEntry 14}	INTEGER	R/O	このルータでの Demand ルーティングのサポート。 false(2) 固定。	
16	axsOspfV3TrafficEngineeringSupport {axsOspfV3GeneralEntry 15}	INTEGER	R/O	このルータでのトラフィックエンジニアリング拡張のサポート。false(2) 固定。	

### 3.8.2 axspfv3AreaTable

#### (1) 識別子

```
axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3AreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfV3AreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-47 axspfv3AreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AreaTable {axsOspfV3 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3AreaEntry {axsOspfV3AreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各エリアの情報リスト。 INDEX {axsOspfV3AreaDomainNumber, axsOspfV3AreaId}	
3	axsOspfV3AreaDomainNumber {axsOspfV3AreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3AreaId {axsOspfV3AreaEntry 2}	IpAddress	R/O	エリアを識別する番号。	
5	axsOspfV3ImportAsExtern {axsOspfV3AreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 {importExternal (1), importNoExternal (2), importNssa (3)}	
6	axsOspfV3SpfRuns {axsOspfV3AreaEntry 4}	Counter	R/O	このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。	
7	axsOspfV3AreaBdrRtrCount {axsOspfV3AreaEntry 5}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できるエリアボーダールータの合計数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axsOspfV3AsBdrRtrCount {axsOspfV3AreaEntry 6}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。	
9	axsOspfV3AreaScopeLsaCount {axsOspfV3AreaEntry 7}	Gauge	R/O	このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の数。	
10	axsOspfV3AreaScopeLsaCksumSum {axsOspfV3AreaEntry 8}	INTEGER	R/O	このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の LS チェックサムの合計。	
11	axsOspfV3AreaSummary {axsOspfV3AreaEntry 9}	INTEGER	R/O	スタブエリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。ただし、sendAreaSummary(2) 固定。 {noAreaSummary(1), sendAreaSummary(2)}	
12	axsOspfV3AreaStatus {axsOspfV3AreaEntry 10}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	
13	axsOspfV3StubMetric {axsOspfV3AreaEntry 11}	INTEGER	R/O	Stub または NSSA エリアに広告するデフォルトルートメトリック値。	

### 3.8.3 axsOspfV3AsLsdbTable

#### (1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3AsLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 3}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3

#### (2) 実装仕様

axsOspfV3AsLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-48 axsOspfV3AsLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AsLsdbTable {axsOspfV3 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3AsLsdbEntry {axsOspfV3AsLsdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axsOspfV3AsLsdbDomainNumber, axsOspfV3AsLsdbType, axsOspfV3AsLsdbRouterId, axsOspfV3AsLsdbLsid}	
3	axsOspfV3AsLsdbDomainNumber {axsOspfV3AsLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3AsLsdbType {axsOspfV3AsLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 {asExternal(0x4005)}	
5	axsOspfV3AsLsdbRouterId {axsOspfV3AsLsdbEntry 3}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	
6	axsOspfV3AsLsdbLsid {axsOspfV3AsLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axsOspfV3AsLsdbSequence {axsOspfV3AsLsdbEntry 5}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
8	axsOspfV3AsLsdbAge {axsOspfV3AsLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間。 [ 単位 : 秒 ]	
9	axsOspfV3AsLsdbChecksum {axsOspfV3AsLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	
10	axsOspfV3AsLsdbAdvertisemen t {axsOspfV3AsLsdbEntry 8}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	

### 3.8.4 axspfv3AreaLsdbTable

#### (1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3AreaLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 4}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4

#### (2) 実装仕様

axsOspfV3AreaLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-49 axspfv3AreaLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AreaLsdbTable {axsOspfV3 4}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3AreaLsdbEntry {axsOspfV3AreaLsdbTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axsOspfV3AreaLsdbDomainNumber, axsOspfV3AreaLsdbAreaId, axsOspfV3AreaLsdbType, axsOspfV3AreaLsdbRouterId, axsOspfV3AreaLsdbLsid}	
3	axsOspfV3AreaLsdbDomainNu mber {axsOspfV3AreaLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3AreaLsdbAreaId {axsOspfV3AreaLsdbEntry 2}	IpAddress	R/O	この LSA の受信元エリアのエリア ID。	
5	axsOspfV3AreaLsdbType {axsOspfV3AreaLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 { ルータ (8193=0x2001), ネットワーク (8194=0x2002), interAreaPrefix(8195=0x2003), interAreaRouter(8196=0x2004), マルチキャスト (8198=0x2006), nssa 外部リンク (8199=0x2007), intraAreaPrefix(8201=0x2009)}	
6	axsOspfV3AreaLsdbRouterId {axsOspfV3AreaLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	
7	axsOspfV3AreaLsdbLsid {axsOspfV3AreaLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axsOspfV3AreaLsdbSequence {axsOspfV3AreaLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
9	axsOspfV3AreaLsdbAge {axsOspfV3AreaLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間。 [ 単位 : 秒 ]	
10	axsOspfV3AreaLsdbChecksum {axsOspfV3AreaLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	
11	axsOspfV3AreaLsdbAdvertisem ent {axsOspfV3AreaLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	

### 3.8.5 axsOspfV3LinkLsdbTable

#### (1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3LinkLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 5}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5

#### (2) 実装仕様

axsOspfV3LinkLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-50 axsOspfV3LinkLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3LinkLsdbTable {axsOspfV3 5}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3LinkLsdbEntry {axsOspfV3LinkLsdbTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axsOspfV3LinkLsdbDomainNumber, axsOspfV3LinkLsdbIfIndex, axsOspfV3LinkLsdbType, axsOspfV3LinkLsdbRouterId, axsOspfV3LinkLsdbLsid}	
3	axsOspfV3LinkLsdbDomainNu mber {axsOspfV3LinkLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3LinkLsdbIfIndex {axsOspfV3LinkLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA を受信したリンクの識別子。	
5	axsOspfV3LinkLsdbType {axsOspfV3LinkLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 { Link(0x0008) }	
6	axsOspfV3LinkLsdbRouterId {axsOspfV3LinkLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	
7	axsOspfV3LinkLsdbLsid {axsOspfV3LinkLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	
8	axsOspfV3LinkLsdbSequence {axsOspfV3LinkLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
9	axsOspfV3LinkLsdbAge {axsOspfV3LinkLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間。 [ 単位 : 秒 ]。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	axsOspfV3LinkLsdbChecksum {axsOspfV3LinkLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	
11	axsOspfV3LinkLsdbAdvertisem ent {axsOspfV3LinkLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	

### 3.8.6 axspfv3IfTable

#### (1) 識別子

```
axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7
```

#### (2) 実装仕様

axsOspfV3IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-51 axspfv3IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3IfTable {axsOspfV3 7}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3IfEntry {axsOspfV3IfTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX {axsOspfV3IfDomainNumber, axsOspfV3IfIndex}	
3	axsOspfV3IfDomainNumber {axsOspfV3IfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3IfIndex {axsOspfV3IfEntry 2}	INTEGER	R/O	この OSPFv3 インタフェースのインタフェース Index。	
5	axsOspfV3IfAreaId {axsOspfV3IfEntry 3}	IpAddress	R/O	このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。	
6	axsOspfV3IfType {axsOspfV3IfEntry 4}	INTEGER	R/O	インタフェースタイプ。 {ブロードキャスト(1), ノンブロードキャスト(2), Point-Point(3), Point-Multipoint(5)}	
7	axsOspfV3IfAdminStat {axsOspfV3IfEntry 5}	INTEGER	R/O	インタフェースの管理状態。 {enabled(1), disabled(2)}	
8	axsOspfV3IfRtrPriority {axsOspfV3IfEntry 6}	INTEGER	R/O	このインタフェースのプライオリティ。	
9	axsOspfV3IfTransitDelay {axsOspfV3IfEntry 7}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間。 [単位: 秒]	
10	axsOspfV3IfRetransInterval {axsOspfV3IfEntry 8}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。 [単位: 秒]	
11	axsOspfV3IfHelloInterval {axsOspfV3IfEntry 9}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔。 [単位: 秒]	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	axsOspfV3IfRtrDeadInterval {axsOspfV3IfEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔。 [ 単位 : 秒 ]	
13	axsOspfV3IfPollInterval {axsOspfV3IfEntry 11}	INTEGER	R/O	非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔。 [ 単位 : 秒 ]	
14	axsOspfV3IfState {axsOspfV3IfEntry 12}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 {down(1), loopback(2), waiting(3), PtoP(4), DR(5), BDR(6), other(7) }	
15	axsOspfV3IfDesignatedRouter {axsOspfV3IfEntry 13}	IpAddress	R/O	ディジグネーテッドルータのルータ ID。	
16	axsOspfV3IfBackupDesignatedRouter {axsOspfV3IfEntry 15}	IpAddress	R/O	バックアップディジグネーテッドルータのルータ ID。	
17	axsOspfV3IfEvents {axsOspfV3IfEntry 16}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	
18	axsOspfV3IfStatus {axsOspfV3IfEntry 18}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	
19	axsOspfV3IfMulticastForwarding {axsOspfV3IfEntry 19}	INTEGER	R/O	このインタフェースでマルチキャストする方法。 blocked(1) 固定。 {blocked(1), multicast(2), unicast(3)}	
20	axsOspfV3IfDemand {axsOspfV3IfEntry 20}	INTEGER	R/O	このインタフェースで Demand OSPFv3 手順を行うかどうかを示します。 false(2) 固定。 {true(1), false(2)}	
21	axsOspfV3IfMetricValue {axsOspfV3IfEntry 21}	INTEGER	R/O	このインタフェースのメトリック。	
22	axsOspfV3IfLinkScopeLsaCount {axsOspfV3IfEntry 22}	INTEGER	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。	
23	axsOspfV3IfLinkLsaCksumSum {axsOspfV3IfEntry 23}	INTEGER	R/O	LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサム合計。	
24	axsOspfV3IfInstId {axsOspfV3IfEntry 24}	INTEGER	R/O	この OSPFv3 インタフェースの InstanceID。	

### 3.8.7 axsOspfV3VirtIfTable

#### (1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3VirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 8}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8

## ( 2 ) 実装仕様

axsOspfV3VirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-52 axsOspfV3VirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axsOspfV3VirtIfTable {axsOspfV3 8}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3VirtIfEntry {axsOspfV3VirtIfTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX {axsOspfV3VirtIfDomainNumber, axsOspfV3VirtIfAreaId, axsOspfV3VirtIfNeighbor}	
3	axsOspfV3VirtIfDomainNumber {axsOspfV3VirtIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3VirtIfAreaId {axsOspfV3VirtIfEntry 2}	IpAddress	R/O	その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。	
5	axsOspfV3VirtIfNeighbor {axsOspfV3VirtIfEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想の隣接ルータのルータ ID。	
6	axsOspfV3VirtIfIndex {axsOspfV3VirtIfEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェースのインタフェース Index。	
7	axsOspfV3VirtIfTransitDelay {axsOspfV3VirtIfEntry 5}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するために必要とされる時間。 [ 単位 : 秒 ]	
8	axsOspfV3VirtIfRetransInterval {axsOspfV3VirtIfEntry 6}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔。 [ 単位 : 秒 ]	
9	axsOspfV3VirtIfHelloInterval {axsOspfV3VirtIfEntry 7}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔。 [ 単位 : 秒 ]	
10	axsOspfV3VirtIfRtrDeadInterval {axsOspfV3VirtIfEntry 8}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔。 [ 単位 : 秒 ]	
11	axsOspfV3VirtIfState {axsOspfV3VirtIfEntry 9}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 {down(1), PtoP(4)}	
12	axsOspfV3VirtIfEvents {axsOspfV3VirtIfEntry 10}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した , またはエラーが発生した回数。	
13	axsOspfV3VirtIfStatus {axsOspfV3VirtIfEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	
14	axsOspfV3VirtIfLinkScopeLsaCount {axsOspfV3VirtIfEntry 12}	INTEGER	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。	
15	axsOspfV3VirtIfLinkLsaChecksum {axsOspfV3VirtIfEntry 13}	INTEGER	R/O	LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。	

## 3.8.8 axsOspfV3NbrTable

## ( 1 ) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3NbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 9}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9

## (2) 実装仕様

axsOspfV3NbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-53 axsOspfV3NbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3NbrTable {axsOspfV3 9}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3NbrEntry {axsOspfV3NbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各隣接局の情報リスト。 INDEX {axsOspfV3NbrDomainNumber, axsOspfV3NbrIfIndex, axsOspfV3NbrIpv6Addr}	
3	axsOspfV3NbrDomainNumber {axsOspfV3NbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3NbrIfIndex {axsOspfV3NbrEntry 2}	INTEGER	R/O	隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。	
5	axsOspfV3NbrIpv6Addr {axsOspfV3NbrEntry 3}	Ipv6Address	R/O	隣接ルータの IPv6 アドレス。	
6	axsOspfV3NbrRtrId {axsOspfV3NbrEntry 4}	IpAddress	R/O	隣接ルータのルータ ID。	
7	axsOspfV3NbrOptions {axsOspfV3NbrEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ルータのオプションフィールド。	
8	axsOspfV3NbrPriority {axsOspfV3NbrEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接ルータのプライオリティ。	
9	axsOspfV3NbrState {axsOspfV3NbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)}	
10	axsOspfV3NbrEvents {axsOspfV3NbrEntry 8}	Counter	R/O	隣接ルータとの関係で、状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	
11	axsOspfV3NbrLsRetransQLen {axsOspfV3NbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	
12	axsOspfV3NbrHelloSuppressed {axsOspfV3NbrEntry 12}	INTEGER	R/O	Hello が隣接に抑止されているかを示します。	
13	axsOspfV3NbrIfId {axsOspfV3NbrEntry 13}	INTEGER	R/O	隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している Interface ID。	

### 3.8.9 axsOspfV3VirtNbrTable

#### (1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3VirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 10}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10

## (2) 実装仕様

axsOspfv3VirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-54 axsOspfv3VirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axsOspfv3VirtNbrTable {axsOspfv3 10}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfv3VirtNbrEntry {axsOspfv3VirtNbrTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX {axsOspfv3VirtNbrDomainNumber, axsOspfv3VirtNbrArea, axsOspfv3VirtNbrRtrId}	
3	axsOspfv3VirtNbrDomainNum ber {axsOspfv3VirtNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfv3VirtNbrArea {axsOspfv3VirtNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	通過するエリアのエリア ID。	
5	axsOspfv3VirtNbrRtrId {axsOspfv3VirtNbrEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータのルータ ID。	
6	axsOspfv3VirtNbrIfIndex {axsOspfv3VirtNbrEntry 4}	INTEGER	R/O	隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。	
7	axsOspfv3VirtNbrIpv6Addr {axsOspfv3VirtNbrEntry 5}	Ipv6Address	R/O	仮想隣接ルータの IPv6 アドレス。	
8	axsOspfv3VirtNbrOptions {axsOspfv3VirtNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	仮想隣接ルータのオプションフィールド。	
9	axsOspfv3VirtNbrState {axsOspfv3VirtNbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 {down(1), attempt(2), init(3), twoWay(4), exchangeStart(5), exchange(6), loading(7), full(8)}	
10	axsOspfv3VirtNbrEvents {axsOspfv3VirtNbrEntry 8}	Counter	R/O	この仮想リンクの状態が変化した、または エラーが発生した回数。	
11	axsOspfv3VirtNbrLsRetransQL en {axsOspfv3VirtNbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	
12	axsOspfv3VirtNbrHelloSuppres sed {axsOspfv3VirtNbrEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello が隣接に抑止されているかを示しま す。	
13	axsOspfv3VirtNbrIfId {axsOspfv3VirtNbrEntry 11}	INTEGER	R/O	隣接がこのリンクに Hello パケットで広告 している InterfaceID。	

## 3.8.10 axsOspfv3AreaAggregateTable

## (1) 識別子

axsOspfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfv3AreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfv3 11}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11

## (2) 実装仕様

axsOspfV3AreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-55 axsOspfV3AreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AreaAggregateTable {axsOspfV3 11}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブル。	
2	axsOspfV3AreaAggregateEntry {axsOspfV3AreaAggregateTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のリスト。 INDEX {axsOspfV3AreaAggregateDomainNumber , axsOspfV3AreaAggregateAreaID, axsOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType, axsOspfV3AreaAggregateIndex}	
3	axsOspfV3AreaAggregateDomainNumber {axsOspfV3AreaAggregateEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3AreaAggregateAreaID {axsOspfV3AreaAggregateEntry 2}	IpAddress	R/O	アドレス集約したエリア。	
5	axsOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType {axsOspfV3AreaAggregateEntry 3}	INTEGER	R/O	アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 {interAreaPrefixLsa(0x2003), nssaExternalLink(0x2007)}	
6	axsOspfV3AreaAggregateIndex {axsOspfV3AreaAggregateEntry 4}	INTEGER	R/O	アグリゲートテーブルの識別子。	
7	axsOspfV3AreaAggregatePrefix {axsOspfV3AreaAggregateEntry 5}	Ipv6Address	R/O	IPv6 Prefix。	
8	axsOspfV3AreaAggregatePrefixLen {axsOspfV3AreaAggregateEntry 6}	INTEGER	R/O	IPv6 Prefix 長。	
9	axsOspfV3AreaAggregateStatus {axsOspfV3AreaAggregateEntry 7}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active(1) 固定。	
10	axsOspfV3AreaAggregateEffect {axsOspfV3AreaAggregateEntry 8}	INTEGER	R/O	範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 {advertiseMatching(1), doNotAdvertiseMatching(2)}	

## 3.9 axsisMIB グループ (IS-IS 情報 MIB) 【OP-ISIS】

axsisMIB グループは、axsisAdjacencyChange トラップの variable として使用する Object を集めた MIB グループです。どの Object もトラップ以外の方法でデータ取得することはできません。

### 3.9.1 axsisSysTable グループ

#### (1) 識別子

```
axsisMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 37}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37

axsisObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsisMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1

axsisSystem OBJECT IDENTIFIER ::= {axsisObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.1

axsisSysTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsisSystem 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.1.1
```

#### (2) 実装仕様

axsisSysTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-56 axsisSysTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsisSysTable {axsisSystem 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IS-IS 情報を格納するテーブル。	
2	axsisSysEntry {axsisSysTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IS-IS 情報のリスト。 INDEX {axsisSysInstance}	
3	axsisSysInstance {axsisSysEntry 1}	INTEGER (1..10000)	AN	IS-IS プロトコルエンジンの番号。 本装置の場合は常に 1。	

### 3.9.2 axsisSysLevelTable グループ

#### (1) 識別子

```
axsisMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 37}

axsisObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsisMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1

axsisSysLevel OBJECT IDENTIFIER ::= {axsisObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.2

axsisSysLevelTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsisSysLevel 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.2.1
```

#### (2) 実装仕様

axsisSysLevelTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-57 axSIsisSysLevelTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axSIsisSysLevelTable {axSIsisSysLevel 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS プロトコルのレベル情報を格納するテーブル。	
2	axSIsisSysLevelEntry {axSIsisSysLevelTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS プロトコルのレベル情報のリスト。 INDEX {axSIsisSysInstance, axSIsisSysLevelIndex}	
3	axSIsisSysLevelIndex {axSIsisSysLevelEntry 1}	INTEGER {level1IS (1), level2IS (2)}	AN	IS-IS プロトコルのレベル情報のレベル。	

### 3.9.3 axSIsisCircTable グループ

#### (1) 識別子

```

axSIsisMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axSMib 37}

axSIsisObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axSIsisMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1

axSIsisCirc OBJECT IDENTIFIER ::= {axSIsisObjects 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.3

axSIsisCircTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axSIsisCirc 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.3.1

```

#### (2) 実装仕様

axSIsisCircTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-58 axSIsisCircTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axSIsisCircTable {axSIsisCirc 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS インタフェース情報を格納するテーブル。	
2	axSIsisCircEntry {axSIsisCircTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IS-IS インタフェース情報のリスト。 INDEX {axSIsisSysInstance, axSIsisCircIndex}	
3	axSIsisCircIndex {axSIsisCircEntry 1}	INTEGER {1..20000000 00}	AN	IS-IS インタフェースの MIB リスト上の識別子。	

### 3.9.4 axSIsisNotificationTable グループ

#### (1) 識別子

```

axSIsisMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axSMib 37}

axSIsisObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axSIsisMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1

axSIsisNotification OBJECT IDENTIFIER ::= {axSIsisObjects 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.10

```

axsIsisNotificationTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsIsisNotification 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.10.1

## (2) 実装仕様

axsIsisNotificationTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-59 axsisNotificationTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsIsisNotificationTable {axsIsisNotification 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IS-IS トラップ付随情報を格納するテーブル。	
2	axsIsisNotificationEntry {axsIsisNotificationTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IS-IS トラップ専用 Object のリスト。 INDEX {axsIsisSysInstance}	
3	axsIsisPduLspId {axsIsisNotificationEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(0 8))	AN	IS-IS トラップ通知時に付随するルータの system ID。	
4	axsIsisAdjState {axsIsisNotificationEntry 9}	INTEGER {down (1) initializing (2) up (3) failed(4)}	AN	IS-IS トラップ通知時に付随する隣接ルータの状態。	

## 3.10 axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)

axsStatic グループは、axsStaticGatewayStateChange トラップの variable として使用する Object を集めた MIB グループです。どの Object も、トラップ以外の方法でデータ取得することはできません。

### 3.10.1 axsStaticTable グループ

#### (1) 識別子

```
axsStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 38}

axsStaticTable Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStatic 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1
```

#### (2) 実装仕様

axsStaticTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-60 axsStaticTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsStaticTable {axsStatic 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタティック情報を格納するテーブル。	
2	axsStaticGatewayEntry {axsStaticTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタティック情報のリスト。 INDEX {axsStaticGatewayAddr}	
3	axsStaticGatewayAddr {axsStaticGatewayEntry 1}	Ip Address	AN	ゲートウェイの IP アドレス。	
4	axsStaticGatewayState {axsStaticGatewayEntry 2}	INTEGER	AN	ゲートウェイの状態。 { reachable(1), unreachable(2) }	

### 3.10.2 axsStaticIpv6Table グループ

#### (1) 識別子

```
axsStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 38}

axsStaticIpv6Table Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStatic 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3
```

#### (2) 実装仕様

axsStaticIpv6Table の実装仕様を次の表に示します。

表 3-61 axsStaticIpv6Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsStaticIpv6Table {axsStatic 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ipv6 スタティック情報を格納するテーブル。	
2	axsStaticIpv6GatewayEntry {axsStaticIpv6Table 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ipv6 スタティック情報のリスト。 INDEX {axsStaticIpv6Ifindex, axsStaticIpv6GatewayAddr}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	axsStaticIpv6Ifindex {axsStaticIpv6GatewayEntry 1}	INTEGER	AN	ゲートウェイのインタフェース index。 gateway 指定：インタフェース index 番号 remote-gateway 指定：0 固定	
4	axsStaticIpv6GatewayAddr {axsStaticIpv6GatewayEntry 2}	Ipv6 Address	AN	ゲートウェイの IPv6 アドレス	
5	axsStaticIpv6GatewayState {axsStaticIpv6GatewayEntry 3}	INTEGER	AN	ゲートウェイの状態。 {reachable(1), unreachable(2)}	

## 3.11 axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)

### (1) 識別子

axsBootManagement OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 51}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51

### (2) 実装仕様

axsBootManagement の実装仕様を次の表に示します。

表 3-62 axsBootManagement の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsBootReason {axsBootManagement 1}	INTEGER	R/O	<p>システムが起動した要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• power-on(1) : 電源オンによる起動</li> <li>• reload(2) : コマンドによる起動</li> <li>• system-fault(3) : 障害による起動</li> <li>• system-stall(4) : WDT タイムアウトによる起動</li> <li>• reset(5) : HW リセットによる起動</li> <li>• fail-over(6) : SWAP による起動</li> <li>• default-restart(7) : デフォルトリスタートによる起動</li> </ul> <p>本装置では power-on(1), reload(2), system-fault(3), reset(5), または default-restart(7) を返す。</p>	

## 3.12 axsLogin グループ ( ログイン情報 MIB)

### (1) 識別子

axsLogin OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 52}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52

### (2) 実装仕様

axsLogin の実装仕様を次の表に示します。

表 3-63 axsLogin の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsLoginName {axsLogin 1}	DisplayString	NA	ログインユーザ名。	
2	axsLoginTime {axsLogin 2}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログインした時刻 (年月日時分秒タイムゾーン) を 26 バイトの文字列で表示します。</p> <p>"YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXXX" で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• YYYY : 西暦</li> <li>• MM : 月 (01 ~ 12)</li> <li>• DD : 日 (01 ~ 31)</li> <li>• hh : 時 (00 ~ 23)</li> <li>• mm : 分 (00 ~ 59)</li> <li>• ss : 秒 (00 ~ 59)</li> <li>• XXXXXX : タイムゾーン</li> </ul> <p>DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。</p> <p>(例 2004/10/09 10:23:10 JST)</p>	
3	axsLogoutTime {axsLogin 3}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログアウトした時刻 (年月日時分秒タイムゾーン) を 26 バイトの文字列で表示します。</p> <p>"YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXXX" で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• YYYY : 西暦</li> <li>• MM : 月 (01 ~ 12)</li> <li>• DD : 日 (01 ~ 31)</li> <li>• hh : 時 (00 ~ 23)</li> <li>• mm : 分 (00 ~ 59)</li> <li>• ss : 秒 (00 ~ 59)</li> <li>• XXXXXX : タイムゾーン</li> </ul> <p>DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。</p> <p>(例 2004/10/09 10:23:10 JST)</p>	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsLoginFailureTime {axsLogin 4}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログインに失敗した時刻 (年月日時分秒タイムゾーン) を 26 バイトの文字列で表示します。  "YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX" で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• YYYY : 西暦</li> <li>• MM : 月 (01 ~ 12)</li> <li>• DD : 日 (01 ~ 31)</li> <li>• hh : 時 (00 ~ 23)</li> <li>• mm : 分 (00 ~ 59)</li> <li>• ss : 秒 (00 ~ 59)</li> <li>• XXXXXX : タイムゾーン</li> </ul> <p>DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。  (例 2004/10/09 10:23:10 JST)</p>	
5	axsLoginLocation {axsLogin 5}	DisplayString	NA	<p>ログインユーザの接続形式情報を以下形式で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンソールの場合 "console"</li> <li>• aux の場合 "aux"</li> <li>• その他の場合 "XXXX(YYYY)" と表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• XXXX : IP アドレス</li> <li>• YYYY : アプリケーション (telnet, rlogin, ftp)</li> </ul> </li> </ul> <p>(例 "console", "aux",  "192.168.1.1(telnet)",  "2001:02C0:0001:0100:0000:0000:0000:0053(telnet)")</p>	
6	axsLoginLine {axsLogin 6}	DisplayString	NA	<p>ログインユーザの端末識別子情報を以下形式で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンソールの場合 "console"</li> <li>• aux の場合 "aux"</li> <li>• その他の場合 "XXXX(YYYY)" と表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• XXXX : 端末</li> <li>• YYYY : アプリケーション (telnet, rlogin, ftp)</li> </ul> </li> </ul> <p>(例 "console", "aux", "tty1(telnet)")</p>	
7	axsLogoutStatus {axsLogin 7}	INTEGER	NA	<p>ログアウト要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• error(1) : 下記要因以外のログアウト (例 : 内部不正によるシステムアウト等)</li> <li>• success(2) : コマンドによるログアウト</li> <li>• timeout(3) : auto-logout によるログアウト</li> <li>• disconnect(4) : 回線切断によるログアウト</li> <li>• force(5) : 他のユーザによる強制ログアウト</li> </ul> <p>本装置では固定値 (2) を返す。</p>	

## 3.13 axslldp グループ (LLDP 情報 MIB)

### 3.13.1 axslldpConfiguration グループ

#### (1) 識別子

axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpConfiguration OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1

axslldpMessageTxInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpConfiguration 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1

#### (2) 実装仕様

axslldpConfiguration グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-64 axslldpConfiguration グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpMessageTxInterval {axslldpConfiguration 1}	Integer32 (5..32768)	R/NW	[規格] LDPDU 送信間隔。コンフィグレーションコマンド lldp の interval-time で設定した値。 単位: 秒 デフォルト: 30 (秒) [実装] 規格と同じ。	
2	axslldpMessageTxHoldMultiplier {axslldpConfiguration 2}	Integer32 (2..10)	R/NW	[規格] 本装置が送信した LLDP フレームに関して、隣接装置が保持する時間係数。実際に保持される時間は axslldpMessageTxInterval と本 MIB 値の積。 コンフィグレーションコマンド lldp の hold-count で設定した値。 デフォルト: 4 [実装] 規格と同じ。	
3	axslldpReinitDelay {axslldpConfiguration 3}	Integer32 (1..10)	R/W	[規格] ポート状態が disable に遷移してから再初期化されるまでの遅延時間。 単位: 秒 デフォルト: 1 (秒) [実装] 未サポート。	×
4	axslldpTxDelay {axslldpConfiguration 4}	Integer32 (1..8192)	R/W	[規格] axslldpLocalSystemData グループのオブジェクトのどれかで値が変更された後に LDPDU が送信されるまでの遅延時間。 推奨値は以下の式で求めることができる。 $axslldpTxDelay = \max(1, (0.25 \times axslldpMessageTxInterval))$ 単位: 秒 デフォルト: 8 (秒) [実装] 未サポート。	×
5	axslldpPortConfigTable {axslldpConfiguration 6}	SEQUENCE OF axslldpPortConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axslldpPortConfigEntry {axslldpPortConfigTable 1}	axslldpPortConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するエントリ (ポートごと)。 Index {axslldpPortConfigPortNum} [実装] 規格と同じ。	
7	axslldpPortConfigPortNum {axslldpPortConfigEntry 2}	Integer32 (1..384)	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifindex と同じ。 [実装] 規格と同じ。	
8	axslldpPortConfigAdminStatus {axslldpPortConfigEntry 3}	INTEGER	R/NW	[規格] LDPDU の送受信に関する本装置のポート状態。 {txOnly(1), rxOnly(2), txAndRx(3), disabled(4)} [実装] txAndRx(3),disabled(4) だけ使用できる。	
9	axslldpPortConfigTLVsTxEnable {axslldpPortConfigEntry 4}	BITS	R/NW	[規格] 当該ポートに関する送信可能 TLV。 {portDesc(4), sysName(5), sysDesc(6), sysCap(7)} [実装] 0x0e(portDesc(4), sysName(5), sysDesc(6) の論理和) 固定。	
10	axslldpPortConfigRowStatus {axslldpPortConfigEntry 5}	RowStatus	R/O	[規格] 本エントリの状態。 active(1) : axslldpPortConfigAdminStatus が txAndRx の場合 notReady(3) : axslldpPortConfigAdminStatus が disabled の場合 [実装] 規格と同じ。	
11	axslldpConfigManAddrTable {axslldpConfiguration 7}	SEQUENCE OF axslldpConfigManAddrEntry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
12	axslldpConfigManAddrEntry {axslldpConfigManAddrTable 1}	axslldpConfigManAddrEntry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合を表すエントリ。 [実装] 未サポート。	×
13	axslldpConfigManAddrPortsTxEnable {axslldpConfigManAddrEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(48))	R/W	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合をビットマップで表したもの。 [実装] 未サポート。	×

### 3.13.2 axslldpStats グループ

#### (1) 識別子

axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 2}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2

axslldpStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpStats 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1

## (2) 実装仕様

axlldpStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-65 axlldpStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axlldpStatsTable {axlldpStats 1}	SEQUENCE OF axlldpStatsEntry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	
2	axlldpStatsEntry {axlldpStatsTable 1}	axlldpStatsEntry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するエントリ (ポートごと)。 Index {axlldpStatsPortNum} [実装] 規格と同じ。	
3	axlldpStatsPortNum {axlldpStatsEntry 2}	Integer32 (1..384)	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifindex と同じ。 [実装] 規格と同じ。ただし enable-port 定義されているポートが対象になる。	
4	axlldpStatsOperStatus {axlldpStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] 当該ポートに関する運用状態。 {portUp(1), portDown(2)} [実装] 規格と同じ。	
5	axlldpStatsFramesInErrors {axlldpStatsEntry 4}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する不正 LDPDU 受信数。 [実装] 規格と同じ。	
6	axlldpStatsFramesInTotal {axlldpStatsEntry 5}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する総 LDPDU 受信数。 [実装] 規格と同じ。	
7	axlldpStatsFramesOutTotal {axlldpStatsEntry 6}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する総 LDPDU 送信数。 [実装] 規格と同じ。	
8	axlldpStatsTLVsInErrors {axlldpStatsEntry 7}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する不正 TLV 受信数。 [実装] 規格と同じ。	
9	axlldpStatsTLVsDiscardedTotal {axlldpStatsEntry 8}	Counter32	R/O	[規格] 当該ポートに関する総廃棄 TLV 数。 [実装] 規格と同じ。	
10	axlldpStatsCounterDiscontinuityTime {axlldpStatsEntry 9}	TimeStamp	R/O	[規格] 当該ポートの統計カウンタの連続性が失われた時刻。 [実装] 未サポート。	×

## 3.13.3 axlldpLocalSystemData グループ

## (1) 識別子

```
axlldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axlldpLocalSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axlldp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3

axlldpLocChassisType ::= {axlldpLocalSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1
```

## (2) 実装仕様

axslldpLocalSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-66 axslldpLocalSystemData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axslldpLocChassisType {axslldpLocalSystemData 1}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置に関するシャシータイプ。 {entPhysicalAlias(1), ifAlias(2), portEntPhysicalAlias(3), backplaneEntPhysicalAlias(4), macAddress(5), networkAddress(6)} [実装] macAddress(5) 固定。	
2	axslldpLocChassisId {axslldpLocalSystemData 2}	OCTET STRING (SIZE(1..255 )	R/O	[規格] 本装置に関するシャシー ID (文字列)。 [実装] 装置の MAC アドレス。	
3	axslldpLocSysName {axslldpLocalSystemData 3}	OCTET STRING (SIZE(0..255 )	R/O	[規格] 本装置に関するシステムネーム (文字列)。system グループの sysName と同じ。 [実装] 規格と同じ。	
4	axslldpLocSysDesc {axslldpLocalSystemData 4}	DisplayString (SIZE(0..255 )	R/O	[規格] 本装置に関するシステム情報 (文字列)。system グループの sysDesc と同じ。 [実装] 規格と同じ。	
5	axslldpLocSysCapSupported {axslldpLocalSystemData 5}	BITS	R/O	[規格] 当該装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 {repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [実装] 未サポート。	×
6	axslldpLocSysCapEnabled {axslldpLocalSystemData 6}	BITS	R/O	[規格] 当該装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。 {repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [実装] 未サポート。	×
7	axslldpLocPortTable {axslldpLocalSystemData 7}	SEQUENCE OF axslldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	
8	axslldpLocPortEntry {axslldpLocPortTable 1}	axslldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するエントリ (ポートごと)。 Index {axslldpLocPortNum} [実装] 規格と同じ。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsllldpLocPortNum {axsllldpLocPortEntry 1}	Integer32 (1..384)	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifindexと同じ。 [実装] 規格と同じ。ただし enable-port 定義されているポートが対象になる。	
10	axsllldpLocPortType {axsllldpLocPortEntry 2}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置の当該ポートに関するポートタイプ。 {ifAlias(1), portEntPhysicalAlias(2), backplaneEntPhysicalAlias(3), macAddress(4), networkAddress(5), local(6)} [実装] macAddress(4) 固定。	
11	axsllldpLocPortId {axsllldpLocPortEntry 3}	OCTET STRING (SIZE(1..255))	R/O	[規格] 本装置の当該ポートに関するポート ID (文字列)。 [実装] ポートの MAC アドレス。	
12	axsllldpLocPortDesc {axsllldpLocPortEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 本装置の当該ポートに関するポート情報 (文字列)。ポートの ifDescr と同じ。 [実装] 規格と同じ。	
13	axsllldpLocManAddrTable {axsllldpLocalSystemData 8}	SEQUENCE OF axsllldpLoc ManAddrEntry	NA	[規格] 当該装置の管理アドレスに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
14	axsllldpLocManAddrEntry {axsllldpLocManAddrTable 1}	axsllldpLoc ManAddrEntry	NA	[規格] シャシーごとの管理アドレスに関する情報。 INDEX {axsllldpLocManAddrType, axsllldpLocManAddr} [実装] 未サポート。	×
15	axsllldpLocManAddrType {axsllldpLocManAddrEntry 1}	AddressFamilyNumbers	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
16	axsllldpLocManAddr {axsllldpLocManAddrEntry 2}	OCTET STRING (SIZE (1..31))	NA	[規格] 当該装置の管理アドレス [実装] 未サポート。	×
17	axsllldpLocManAddrIfSubtype {axsllldpLocManAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ {unknown(1), ifIndex(2), systemPortNumber(3)} [実装] 未サポート。	×
18	axsllldpLocManAddrIfId {axsllldpLocManAddrEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	[規格] 管理アドレスに対応するインタフェース番号。 [実装] 未サポート。	×
19	axsllldpLocManAddrOID {axsllldpLocManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] 管理アドレスに関連するハードウェア, またはプロトコルの OID。 [実装] 未サポート。	×

### 3.13.4 axslldpRemoteSystemData グループ

#### (1) 識別子

axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpRemoteSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 4}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4

axslldpRemTable ::= {axslldpRemoteSystemData 1}  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1

#### (2) 実装仕様

axslldpRemoteSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-67 axslldpRemoteSystemData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpRemTable {axslldpRemoteSystemData 1}	SEQUENCE OF axslldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	
2	axslldpRemEntry {axslldpRemTable 1}	axslldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するエントリ。 Index {axslldpRemLocalPortNum, axslldpRemIndex}	
3	axslldpRemTimeMark {axslldpRemEntry 1}	TimeFilter	NA	[規格] 当該隣接装置の情報を取得してからの時間。 [実装] 未サポート。	×
4	axslldpRemLocalPortNum {axslldpRemEntry 2}	Integer32 (1..384)	NA	[規格] 隣接装置に関する情報を受信した本装置のポートの識別インデックス。 ifindex と同じ。 [実装] 規格と同じ。ただし、コンフィグレーションコマンドである lldp enable-port を設定したポートが対象になる。	
5	axslldpRemIndex {axslldpRemEntry 3}	Integer32 (1..2147483647)	NA	[規格] 隣接装置に関するインデックス。 [実装] 規格と同じ。	
6	axslldpRemRemoteChassisType {axslldpRemEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャシータイプ。 {entPhysicalAlias(1), ifAlias(2), portEntPhysicalAlias(3), backplaneEntPhysicalAlias(4), macAddress(5), networkAddress(6)} [実装] 規格と同じ。	
7	axslldpRemRemoteChassis {axslldpRemEntry 5}	OCTET STRING (SIZE(1..255))	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャシー ID (文字列)。 [実装] 規格と同じ。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axslldpRemRemotePortType {axslldpRemEntry 6}	INTEGER	R/O	[ 規格 ] 隣接装置の当該ポートに関するポートタイプ。 {ifAlias(1), portEntPhysicalAlias(2), backplaneEntPhysicalAlias(3), macAddress(4), networkAddress(5), local(6)} [ 実装 ] 規格と同じ。	
9	axslldpRemRemotePort {axslldpRemEntry 7}	OCTET STRING (SIZE(1..255))	R/O	[ 規格 ] 隣接装置の当該ポートに関するポート ID ( 文字列 ) [ 実装 ] 規格と同じ。	
10	axslldpRemPortDesc {axslldpRemEntry 8}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[ 規格 ] 隣接装置の当該ポートに関する情報 ( 文字列 ) [ 実装 ] 規格と同じ。	
11	axslldpRemSysName {axslldpRemEntry 9}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[ 規格 ] 隣接装置に関するシステムネーム ( 文字列 ) [ 実装 ] 規格と同じ。	
12	axslldpRemSysDesc {axslldpRemEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[ 規格 ] 隣接装置に関するシステム情報 ( 文字列 ) [ 実装 ] 規格と同じ。	
13	axslldpRemSysCapSupported {axslldpRemEntry 11}	BITS	R/O	[ 規格 ] 隣接装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 {repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [ 実装 ] 未サポート。	×
14	axslldpRemSysCapEnabled {axslldpRemEntry 12}	BITS	R/O	[ 規格 ] 隣接装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。 {repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [ 実装 ] 未サポート。	×
15	axslldpRemManAddrTable {axslldpRemoteSystemsData 2}	SEQUENCE OF axslldpRem ManAddrEntry	NA	[ 規格 ] 当該装置が学習した隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。 [ 実装 ] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	axslldpRemManAddrEntry {axslldpRemManAddrTable 1}	axslldpRemManAddrEntry	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。 INDEX {axslldpRemTimeMark, axslldpRemLocalPortNum, axslldpRemIndex, axslldpRemManAddrType, axslldpRemManAddr} [実装] 未サポート。	×
17	axslldpRemManAddrType {axslldpRemManAddrEntry 1}	AddressFamilyNumbers	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
18	axslldpRemManAddr {axslldpRemManAddrEntry 2}	OCTET STRING (SIZE (1..31))	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレス。 [実装] 未サポート。	×
19	axslldpRemManAddrIfSubtype {axslldpRemManAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ。 {unknown(1), ifIndex(2), systemPortNumber(3)} [実装] 未サポート。	×
20	axslldpRemManAddrIfId {axslldpRemManAddrEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに対応するインタフェース番号。 [実装] 未サポート。	×
21	axslldpRemManAddrOID {axslldpRemManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関連するハードウェア、またはプロトコルのOID。 [実装] 未サポート。	×
22	axslldpRemOrgDefInfoTable {axslldpRemoteSystemsData 3}	SEQUENCE OF axslldpRemOrgDefInfoEntry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するテーブル。 [実装] 規格と同じ。	×
23	axslldpRemOrgDefInfoEntry {axslldpRemOrgDefTable 1}	axslldpRemOrgDefInfoEntry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するエントリ。 Index {axslldpRemTimeMark, axslldpRemLocalPortNum, axslldpRemIndex, axslldpRemOrgDefOUI, axslldpRemOrgDefSubtype, axslldpRemOrgDefIndex} [実装] 未サポート。	×
24	axslldpRemOrgDefInfoOUI {axslldpRemOrgDefEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(3))	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する OUI。 [実装] 未サポート。	×
25	axslldpRemOrgDefInfoSubtype {axslldpRemOrgDefEntry 2}	Integer32 (1..255)	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するサブタイプ。 [実装] 未サポート。	×
26	axslldpRemOrgDefInfoIndex {axslldpRemOrgDefEntry 3}	Integer32 (1..2147483647)	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する ID。 [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
27	axslldpRemOrgDefInfo {axslldpRemOrgDefEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(0..507))	R/O	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する情報。 [実装] 未サポート。	×

注 規格では axslldpRemTimeMark がありますが、未サポートのため除いてあります。

### 3.13.5 axslldpRemoteOriginInfoData グループ

#### (1) 識別子

axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpRemoteOriginInfoData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 20}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20

axslldpRemOriginInfoTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpRemoteOriginInfoData 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1

#### (2) 実装仕様

axslldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-68 axslldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpRemOriginInfoTable {axslldpRemoteOriginInfoData 1}	SEQUENCE OF axslldpRemOriginInfoTable	NA	隣接装置の弊社独自 TLV に関するテーブル。	
2	axslldpRemOriginInfoEntry {axslldpRemOriginInfoTable 1}	axslldpRemOriginInfoEntry	NA	隣接装置に関するエントリ。 Index {axslldpRemOriginInfoPortNum, axslldpRemOriginInfoIndex}	
3	axslldpRemOriginInfoPortNum {axslldpRemOriginInfoEntry 1}	Integer32 (1..384)	NA	隣接装置に関する情報を受信した本装置のポートの識別インデックス。ifindex と同じ。	
4	axslldpRemOriginInfoIndex {axslldpRemOriginInfoEntry 2}	INTEGER	NA	隣接装置に関するインデックス。	
5	axslldpRemOriginInfoLowerVlanList {axslldpRemOriginInfoEntry 3}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	VLAN 1 ~ 2047 で隣接装置の当該ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの（先頭のビット (0 バイト目の 2 <sup>7</sup> ビット) は untagged 定義の有無を示し、以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効 / 無効を示す）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>bit が 0: その VLAN は無効</li> <li>bit が 1: その VLAN は有効</li> </ul>	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axslldpRemOriginInfoHigherVlanList {axslldpRemOriginInfoEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	VLAN 2048 ~ 4095 で隣接装置の当該ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット) から順に VLAN 2048 ~ 4095 の有効 / 無効を示す)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>bit が 0: その VLAN は無効</li> <li>bit が 1: その VLAN は有効</li> </ul>	
7	axslldpRemOriginInfoIPv4Address {axslldpRemOriginInfoEntry 5}	OCTET STRING (SIZE(0..15))	R/O	[axslldpRemOriginInfoLowerVlanList に untagged だけ設定されているとき] 隣接装置の当該ポートに付与されている IPv4 アドレス (文字列) [ 上記以外のとき] 隣接装置の当該ポートで有効であり、かつ IPv4 アドレスが付与されている VLAN のうち、最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv4 アドレス (文字列)。	
8	axslldpRemOriginInfoIPv4PortType {axslldpRemOriginInfoEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接装置の当該ポートのポート種別。 { ブリッジポート (0), ルータポート (1)} <ul style="list-style-type: none"> <li>ブリッジポート = IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート</li> <li>ルータポート = 上記以外のポート</li> </ul>	
9	axslldpRemOriginInfoIPv4VlanId {axslldpRemOriginInfoEntry 7}	INTEGER	R/O	[axslldpRemOriginInfoIPv4PortType がブリッジポートのとき] IPv4 アドレスが付与されている VLAN ID のうち、最も小さいもの。 [axslldpRemOriginInfoIPv4PortType がルータポートのとき] 0 固定。	
10	axslldpRemOriginInfoIPv6Address {axslldpRemOriginInfoEntry 8}	OCTET STRING (SIZE(0..45))	R/O	[axslldpRemOriginInfoLowerVlanList に untagged だけ設定されているとき] 隣接装置の当該ポートに付与されている IPv6 アドレス (文字列) [ 上記以外のとき] 隣接装置の当該ポートで有効であり、かつ IPv6 アドレスが付与されている VLAN のうち、最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv6 アドレス (文字列)。	
11	axslldpRemOriginInfoIPv6PortType {axslldpRemOriginInfoEntry 9}	INTEGER	R/O	隣接装置の当該ポートのポート種別。 { ブリッジポート (0), ルータポート (1)} <ul style="list-style-type: none"> <li>ブリッジポート = IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート</li> <li>ルータポート = 上記以外のポート</li> </ul>	
12	axslldpRemOriginInfoIPv6VlanId {axslldpRemOriginInfoEntry 10}	INTEGER	R/O	[axslldpRemOriginInfoIPv6PortType がブリッジポートのとき] IPv6 アドレスが付与されている VLAN ID のうち、最も小さいもの。 [axslldpRemOriginInfoIPv6PortType がルータポートのとき] 0 固定。	

## 3.14 ax7800sSwitch グループ ( 装置のモデル情報 MIB)【AX7800S】

### ( 1 ) 識別子

```
ax7800sMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 2}

ax7800sSwitch OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1
```

### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-69 ax7800sSwitch グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sModelType {ax7800sSwitch 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報 ( 数値 ) 。 • AX7804S-AC(100) • AX7804S-DC(101) • AX7808S-AC(102) • AX7808S-DC(103) • AX7816S-DC(104) • AX7816S-AC(105)	
2	ax7800sSoftware {ax7800sSwitch 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	本装置のソフトウェア情報。	
3	ax7800sSoftwareName {ax7800sSoftware 1}	DisplayStrin g	R/O	運用中のソフトウェア型名を文字列で示 します ( 最大 16 文字 ) 。	
4	ax7800sSoftwareAbbreviation {ax7800sSoftware 2}	DisplayStrin g	R/O	運用中のソフトウェアの略称を文字列で示 します ( 最大 16 文字 ) 。	
5	ax7800sSoftwareVersion {ax7800sSoftware 3}	DisplayStrin g	R/O	運用中のソフトウェアのバージョンを文字 列で示します ( 最大 16 文字 ) 。	
6	ax7800sSystemMsg {ax7800sSwitch 3}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	システムメッセージ関連情報。	
7	ax7800sSystemMsgText {ax7800sSystemMsg 1}	DisplayStrin g	R/O	運用ログ上の最新ログ情報。 ( 文字列 ) シス テムメッセージログの最新エントリ情報 ( 最大 256 文字 ) 。 ログフォーマットは , 「メッセージ・ログレ ファレンス 1.4.3 運用ログのフォーマッ ト」を参照してください。	
8	ax7800sSystemMsgType {ax7800sSystemMsg 2}	OCTET STRING	R/O	イベント種別を 1 バイトで示します。 イベントが発生した (01) イベントが回復した (02)	
9	ax7800sSystemMsgTimeStamp {ax7800sSystemMsg 3}	DisplayStrin g	R/O	イベント発生時刻 ( 月日時分秒 ) を 14 バイ トの文字列で示します。 "MM/DD hh:mm:ss" で表示します。 • MM : 月 ( 01 ~ 12 ) • DD : 日 ( 01 ~ 31 ) • hh : 時 ( 00 ~ 23 ) • mm : 分 ( 00 ~ 59 ) • ss : 秒 ( 00 ~ 59 )  DD と hh の間は , 1 バイトのスペース文字 が入ります。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ax7800sSystemMsgLevel {ax7800sSystemMsg 4}	OCTET STRING	R/O	最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。 ・致命的障害 (9) ・重度障害 (8) ・RM 部障害 (7) ・NIF 障害 (6) ・待機系障害 (5) ・ネットワーク系障害 (4) ・警告 (3) ・予備 (2) ・予備 (1)	
11	ax7800sSystemMsgEventPoint {ax7800sSystemMsg 5}	DisplayString	R/O	システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。 イベント発生部位の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(3) イベント発生部位」に対応します。	
12	ax7800sSystemMsgEventInterfaceID {ax7800sSystemMsg 6}	DisplayString	R/O	システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します。(最大 40 文字) 識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(4) イベント発生インタフェース識別子」に対応します。	
13	ax7800sSystemMsgEventCode {ax7800sSystemMsg 7}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します。 0x00000000 ~ 0xFFFFFFFF コードの内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(5) メッセージ識別子および付加情報」に対応します。	
14	ax7800sSystemMsgAdditionalCode {ax7800sSystemMsg 8}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します。 0x000000000000 ~ 0xFFFFFFFFFFFFFFF コードの内容は、保守用のため公開していません。	
15	ax7800sSnmpAgent {ax7800sSwitch 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SNMP 関連情報	
16	ax7800sSnmpSendReceiveSize {ax7800sSnmpAgent 1}	INTEGER	R/O	エージェントが送受信できる SNMP パケットサイズ。 [ 単位: バイト数 ]	
17	ax7800sSnmpReceiveDelay {ax7800sSnmpAgent 2}	INTEGER	R/O	SNMP パケット推奨受信遅延間隔。 [ 単位: ミリ秒 ]	
18	ax7800sSnmpContinuousSend {ax7800sSnmpAgent 3}	INTEGER	R/O	推奨 SNMP パケット連続送信数。	
19	ax7800sSnmpObjectMaxNumber {ax7800sSnmpAgent 4}	INTEGER	R/O	推奨 1SNMP パケット当たりのオブジェクト数。	
20	ax7800sLicense {ax7800sSwitch 6}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報。	
21	ax7800sLicenseNumber {ax7800sLicense 1}	INTEGER	R/O	設定されたライセンスシリアル番号の数。	
22	ax7800sLicenseTable {ax7800sLicense 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のテーブル。	
23	ax7800sLicenseEntry {ax7800sLicenseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のエントリ。 INDEX {ax7800sLicenseIndex}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
24	ax7800sLicenseIndex {ax7800sLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	BCU のシリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。 1 ~ ax7800sBcuLicenseNumber までの数。	
25	ax7800sLicenseSerialNumber {ax7800sLicenseEntry 2}	DisplayString	R/O	シリアル番号。	
26	ax7800sLicenseOptionNumber {ax7800sLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス数。	
27	ax7800sLicenseOptionTable {ax7800sLicense 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のテーブル。	
28	ax7800sLicenseOptionEntry {ax7800sLicenseOptionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のエントリ。 INDEX {ax7800sLicenseOptionIndex, ax7800sLicenseOptionNumberIndex}	
29	ax7800sLicenseOptionIndex {ax7800sLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。 ax7800sLicenseIndex と同じ番号。	
30	ax7800sLicenseOptionNumberIndex {ax7800sLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のインデックス番号。 1 ~ ax7800sLicenseOptionNumber までの数。	
31	ax7800sLicenseOptionSoftwareName {ax7800sLicenseOptionEntry 3}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア型名。	
32	ax7800sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax7800sLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア略称。	

## 3.15 ax7800sDevice グループ ( 装置の筐体情報 MIB) 【AX7800S】

### 3.15.1 ax7800sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )

#### ( 1 ) 識別子

```
ax7800sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sDevice 1}

ax7800sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sChassis 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1

ax7800sChassisTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sChassis 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2
```

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) を次の表に示します。

表 3-70 ax7800sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sChassisMaxNumber {ax7800sChassis 1}	INTEGER	R/O	本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。 AX7804S-AC , AX7804S-DC , AX7808S-AC , AX7808S-DC , AX7816S-AC , AX7816S-DC の場合 1 固定	
2	ax7800sChassisTable {ax7800sChassis 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	筐体情報のテーブル。	
3	ax7800sChassisEntry {ax7800sChassisTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての情報エントリ。 [index] {ax7800sChassisIndex}	
4	ax7800sChassisIndex {ax7800sChassisEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ax7800sChassisEntry を特定するための番号。 1 固定。	
5	ax7800sChassisType {ax7800sChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AX7804S-AC(100)</li> <li>AX7804S-DC(101)</li> <li>AX7808S-AC(102)</li> <li>AX7808S-DC(103)</li> <li>AX7816S-DC(104)</li> <li>AX7816S-AC(105)</li> </ul>	
6	ax7800sChassisStatus {ax7800sChassisEntry 3}	INTEGER	R/O	筐体の現在のステータス。 稼働中 (2) 固定。	
7	ax7800sBcuBoardDuplexMode {ax7800sChassisEntry 4}	INTEGER	R/O	BCU の二重化モードを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>BCU 一重化構成 (1)</li> <li>BCU 二重化構成 (2)</li> </ul>	
8	ax7800sPowerUnitNumber {ax7800sChassisEntry 5}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる電源の数。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AX7804S-AC の場合 : 2 または 3</li> <li>AX7804S-DC , AX7808S-DC の場合 : 2</li> <li>AX7808S-AC , AX7816S-AC , AX7816S-DC の場合 : 4</li> </ul>	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	ax7800sFanNumber {ax7800sChassisEntry 6}	INTEGER	R/O	この筐体のメインファンの数。 • AX7804S-AC, AX7804S-DC の場合 : 3 • AX7808S-AC, AX7808S-DC の場合 : 6 • AX7816S-AC, AX7816S-DC の場合 : 12	
10	ax7800sCifNumber {ax7800sChassisEntry 7}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる最大クラスタインタフェース (CIF) の数。0 固定。	
11	ax7800sBcuBoardNumber {ax7800sChassisEntry 8}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる最大ルーティングマネージャボード (BCU) の数。 • AX7804S-AC, AX7804S-DC の場合 : 1 • AX7808S-AC, AX7808S-DC, AX7816S-AC, AX7816S-DC の場合 : 2	
12	ax7800sPsuBoardNumber {ax7800sChassisEntry 9}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できる PSU ボードの数。 • AX7804S-AC, AX7804S-DC の場合 : 2 • AX7808S-AC, AX7808S-DC の場合 : 4 • AX7816S-AC, AX7816S-DC の場合 : 8	
13	ax7800sNifBoardNumber {ax7800sChassisEntry 10}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できるネットワークインタフェース (NIF) ボードの数。 • AX7804S-AC, AX7804S-DC の場合 : 4 • AX7808S-AC, AX7808S-DC の場合 : 8 • AX7816S-AC, AX7816S-DC の場合 : 16	

## 注

AX7804S-AC では、PSU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されているかどうかによって、筐体に搭載できる電源の数が異なります。

- PSU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されていない場合  
POW2 が未実装の場合は電源の数が 2 個となります。  
POW2 が実装の場合は電源の数が 3 個となります。
- PSU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されている場合  
電源の数が 3 個となります。

## 3.15.2 ax7800sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

## ( 1 ) 識別子

```
ax7800sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sDevice 1}
ax7800sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sChassis 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.3
```

## ( 2 ) 実装仕様

ax7800sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) を次の表に示します。

表 3-71 ax7800sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sPowerUnitTable {ax7800sChassis 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報のテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	ax7800sPowerUnitEntry {ax7800sPowerUnitTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報エントリ。 [index] {ax7800sChassisIndex, ax7800sPowerUnitIndex}	
3	ax7800sPowerUnitIndex {ax7800sPowerUnitEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源位置を示すインデックスです。 1 ~ ax7800sPowerUnitNumber までの値。 • AX7804S-AC の場合：2 または 3 • AX7804S-DC , AX7808S-DC の場合：2 • AX7808S-AC , AX7816S-AC , AX7816S-DC の場合：4	
4	ax7800sPowerConnectStatus {ax7800sPowerUnitEntry 2}	INTEGER	R/O	電源の実装状態を示します。 • 実装 (2) • 未実装 (32)	
5	ax7800sPowerSupplyStatus {ax7800sPowerUnitEntry 3}	INTEGER	R/O	電源の運用状態を示します。 • 稼働中 (2) • 障害中 (4)  電源未実装時は、-1 で応答します。	

## 注

AX7804S-AC では、PSU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されているかどうかによって、筐体に搭載できる電源の数が異なります。

- PSU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されていない場合  
POW2 が未実装の場合は電源の数が 2 個となります。  
POW2 が実装の場合は電源の数が 3 個となります。
- PSU 内蔵型高密度ポート NIF が搭載されている場合  
電源の数が 3 個となります。

### 3.15.3 ax7800sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )

#### ( 1 ) 識別子

```
ax7800sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sDevice 1}
ax7800sFanTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sChassis 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.4
```

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) を次の表に示します。

表 3-72 ax7800sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sFanTable {ax7800sChassis 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報のテーブル。	
2	ax7800sFanEntry {ax7800sFanTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報エントリ。 [index] {ax7800sChassisIndex, ax7800sFanIndex}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ax7800sFanIndex {ax7800sFanEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	メインファン位置を示すインデックスです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>AX7804S-AC , AX7804S-DC の場合 : 3</li> <li>AX7808S-AC , AX7808S-DC の場合 : 6</li> <li>AX7816S-AC , AX7816S-DC の場合 : 12</li> </ul>	
4	ax7800sFanStatus {ax7800sFanEntry 2}	INTEGER	R/O	メインファンの運用状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>稼働中 (2)</li> <li>高速回転中 (3)</li> <li>障害中 (4)</li> </ul>	

### 3.15.4 ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報 )

#### ( 1 ) 識別子

ax7800sBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sDevice 2}

ax7800sBcuBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sBcuBoard 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報 ) を次の表に示します。

表 3-73 ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sBcuBoardTable {ax7800sBcuBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU 搭載情報テーブル。	
2	ax7800sBcuBoardEntry {ax7800sBcuBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU エントリ。 [index] {ax7800sChassisIndex, ax7800sBcuBoardIndex}	
3	ax7800sBcuBoardIndex {ax7800sBcuBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7800sBcuBoardNumber までの値。 (BCU 搭載スロット番号 +1 の値) <ul style="list-style-type: none"> <li>AX7804S-AC , AX7804S-DC の場合 : 1 固定</li> <li>AX7808S-AC , AX7808S-DC , AX7816S-AC , AX7816S-DC の場合 : 1 ~ 2</li> </ul>	

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
4	ax7800sBcuIoBoardType {ax7800sBcuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	<p>BCU(IO) ボード ID を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AX7804S-AC , AX7804S-DC 用 BCU-SH8MS (0x00000008)(8)</li> <li>AX7804S-AC , AX7804S-DC 用 BCU-SH8MS2 (0x00000009)(9)</li> <li>AX7804S-AC , AX7804S-DC 用 BCU-SM1GS3 (0x0000000a)(10)</li> <li>AX7808S-AC , AX7808S-DC 用 BCU-SM8MS (0x00000108)(264)</li> <li>AX7808S-AC , AX7808S-DC 用 BCU-SM8MS2 (0x00000109)(265)</li> <li>AX7808S-AC , AX7808S-DC 用 BCU-SM1GS3 (0x0000010a)(266)</li> <li>AX7816S-AC , AX7816S-DC 用 BCU-SL8MS (0x00000208)(520)</li> <li>AX7816S-AC , AX7816S-DC 用 BCU-SL8MS2 (0x00000209)(521)</li> <li>AX7816S-AC , AX7816S-DC 用 BCU-SL1GS3 (0x0000020a)(522)</li> </ul> <p>BCU(IO) ボード未実装時は、-1 で応答しま す。</p>	
5	ax7800sBcuCpuBoardType {ax7800sBcuBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	<p>BCU(CPU) ボード ID を示します。</p> <p>BCU , BCU-2 用 BCU(CPU) ボード ID 0x0300(768)</p> <p>BCU-3 用 BCU(CPU) ボード ID 0x0500(1280)</p> <p>BCU(CPU) ボード未実装時は、-1 で応答し ます。</p>	
6	ax7800sBcuOperStatus {ax7800sBcuBoardEntry 4}	INTEGER	R/O	<p>BCU の STATUS LED の状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>other (1)</li> <li>稼働中 (2)</li> <li>障害中 (4)</li> <li>保守中 (5)</li> <li>未実装 (32)</li> </ul>	
7	ax7800sBcuOperModeStatus {ax7800sBcuBoardEntry 5}	INTEGER	R/O	<p>BCU の運用状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>other(1)</li> <li>運用系 BCU として稼働中 (2)</li> <li>待機系 BCU として稼働中 (3)</li> <li>コンフィグレーション不一致による非同 期中 (4)</li> <li>ソフトウェアバージョン不一致による非同 期中 (5)</li> <li>障害中 (6)</li> <li>保守中 (メンテナンス)(7)</li> </ul> <p>BCU 未実装時は、-1 で応答します。</p>	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	ax7800sBcuActiveLedStatus {ax7800sBcuBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	装置の ACTIVE LED の状態を示します。 • 緑点灯 (2) • 消灯 (6)  BCU 未実装時, または LED 状態が不明のとき, -1 で応答します。	
9	ax7800sBcuReadyLedStatus {ax7800sBcuBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	装置の READY LED の状態を示します。 • 緑点灯 (2) • 消灯 (6)  BCU 未実装時, または LED 状態が不明のとき, -1 で応答します。	
10	ax7800sBcuAlarmLedStatus {ax7800sBcuBoardEntry 8}	INTEGER	R/O	装置の ALARM LED の状態を示します。 • 赤点灯 (4) • 消灯 (6)  BCU 未実装時, または LED 状態が不明のとき, -1 で応答します。	
11	ax7800sBcuErrorLedStatus {ax7800sBcuBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	装置の ERROR LED の状態を示します。 • 黄点灯 (5) • 消灯 (6)  BCU 未実装時, または LED 状態が不明のとき, -1 で応答します。	
12	ax7800sBcuEmaLedStatus {ax7800sBcuBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	装置の EMA READY LED の状態を示します。 • 黄点灯 (5) • 消灯 (6)  BCU 未実装時, または LED 状態が不明のとき, -1 で応答します。	
13	ax7800sBcuRmEthernetStatus {ax7800sBcuBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	RM イーサネットポートの状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス)(7) • 回線テスト中 (9) • 未使用 (コンフィグレーション未設定)(10)  BCU 未実装時は, -1 で応答します。	
14	ax7800sBcuAtaCardNumber {ax7800sBcuBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	MC のスロットの数を示します。BCU 未実装時は, 0 で応答します。	
15	ax7800sBcuAtaBootDev {ax7800sBcuBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	ブート MC のスロット位置の情報を数値で示します。(MC スロット番号 +1 の値) • MC スロット #0(1) • MC スロット #1(2)  BCU 未実装時は, -1 で応答します。	
16	ax7800sBcuBoardName {ax7800sBcuBoardEntry 15}	DisplayString	R/O	BCU ボード型名を最大 16 文字の文字列で示します。 BCU 未実装時は, レングス 0 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ax7800sBcuBoardAbbreviation {ax7800sBcuBoardEntry 16}	DisplayString	R/O	BCU ボードの略称を最大 16 文字の文字列で示します。 BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	
18	ax7800sBcuIoBoardProductCode {ax7800sBcuBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	BCU(IO) ボードの製造管理番号を示します。 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
19	ax7800sBcuCpuBoardProductCode {ax7800sBcuBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	BCU(CPU) ボードの製造管理番号を示します。 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
20	ax7800sBcuRmCpuName {ax7800sBcuBoardEntry 19}	DisplayString	R/O	BCU 搭載 CPU 名称を最大 16 文字の文字列で示します。(例: "AMD K5") BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	
21	ax7800sBcuRmCpuClock {ax7800sBcuBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	BCU 搭載 CPU クロックを数値で示します。 [単位: MHz] (例: 200) BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
22	ax7800sBcuRmMemoryTotalSize {ax7800sBcuBoardEntry 21}	INTEGER	R/O	搭載メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
23	ax7800sBcuRmMemoryUsedSize {ax7800sBcuBoardEntry 22}	INTEGER	R/O	使用メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
24	ax7800sBcuRmMemoryFreeSize {ax7800sBcuBoardEntry 23}	INTEGER	R/O	未使用メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
25	ax7800sBcuRmRomVersion {ax7800sBcuBoardEntry 24}	DisplayString	R/O	BCU 搭載 ROM のバージョンを文字列で示します。 (例: "ROM 01-01 Rev0 BIOS Rev.:R1.02.E4") BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	
26	ax7800sBcuRmCpuLoad1m {ax7800sBcuBoardEntry 25}	INTEGER	R/O	1 分間の BCU CPU 使用率を数値 (0 ~ 100) で示します。	
27	ax7800sBcuTemperatureStatus Number {ax7800sBcuBoardEntry 26}	INTEGER	R/O	この BCU での最大の ax7800sTemperatureStatus の数。 該当 BCU が温度測定機能をサポートしない場合、または BCU 未実装時は 0 で応答します。	
28	ax7800sBcuCpOperStatus {ax7800sBcuBoardEntry 27}	INTEGER	R/O	CP の状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other(1)</li> <li>• 稼働中 (2)</li> <li>• 初期化中 (3)</li> <li>• 障害中 (4)</li> <li>• 未実装 (32)</li> </ul>	
29	ax7800sBcuCpCpuName {ax7800sBcuBoardEntry 28}	DisplayString	R/O	CP CPU 名称を最大 16 文字の文字列で示します。 (例: "MIPS RM5261") 待機系 BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
30	ax7800sBcuCpCpuClock {ax7800sBcuBoardEntry 29}	INTEGER	R/O	CP CPU クロックを数値で示します。 [ 単位 : MHz ] ( 例 : 250 ) 待機系 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
31	ax7800sBcuCpMemoryTotalSize {ax7800sBcuBoardEntry 30}	INTEGER	R/O	CP のメインメモリサイズを数値で示します。 [ 単位 : kB ] ( 例 : 32768 )	
32	ax7800sBcuCpCpuLoad1m {ax7800sBcuBoardEntry 33}	INTEGER	R/O	1 分間の CP CPU 使用率を数値 ( 0 ~ 100 ) で示します。 CP の状態が運用中以外は、CPU 使用率は、 0 で応答します。また、待機系 BCU 内の CP CPU 使用率は、0 を応答します。	
33	ax7800sBcuSerialNumber {ax7800sBcuBoardEntry 34}	DisplayString	R/O	BCU ボードのカード管理情報 ( シリアル番号 ) 最大 30 文字の文字列で示します。 未実装または close 時は、レングス 0 で応答します。	
34	ax7800sBcuVoltage150 {ax7800sBcuBoardEntry 35}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 148 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
35	ax7800sBcuVoltage180 {ax7800sBcuBoardEntry 36}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 183 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
36	ax7800sBcuVoltage250 {ax7800sBcuBoardEntry 37}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 250 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
37	ax7800sBcuVoltage330 {ax7800sBcuBoardEntry 38}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 328 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
38	ax7800sBcuVoltage500 {ax7800sBcuBoardEntry 39}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 493 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
39	ax7800sBcuVoltage130 {ax7800sBcuBoardEntry 40}	INTEGER	R/O	1.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 133 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
40	ax7800sBcuVoltage105 {ax7800sBcuBoardEntry 41}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.05V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 102 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
41	ax7800sBcuVoltage120 {ax7800sBcuBoardEntry 42}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 121 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
42	ax7800sBcuPbmCpuCoreVoltage {ax7800sBcuBoardEntry 43}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の CpuCore 電圧 ( 1.2V ~ 1.3V ) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 125 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
43	ax7800sBcuPbmVoltage150 {ax7800sBcuBoardEntry 44}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 148 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
44	ax7800sBcuPbmVoltage180 {ax7800sBcuBoardEntry 45}	INTEGER	R/O	PBMIF 側の 1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。[ 単位 : 10mV ] ( 例 : 183 ) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	

### 3.15.5 ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

#### ( 1 ) 識別子

```
ax7800sBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= { ax7800sDevice 2 }

ax7800sAtaCardTable OBJECT IDENTIFIER ::= { ax7800sBcuBoard 2 }
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.2
```

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) を次の表に示します。

表 3-74 ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sAtaCardTable {ax7800sBcuBoard 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報のテーブル。	
2	ax7800sAtaCardEntry {ax7800sAtaCardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報エントリ。 [index] {ax7800sChassisIndex, ax7800sBcuBoardIndex, ax7800sAtaCardIndex}	
3	ax7800sAtaCardIndex {ax7800sAtaCardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 挿入スロットの接続位置を示します。 (MC 挿入スロット番号 +1 の値)。 1 ~ ax7800sBcuAtaCardNumber までの値。 AX7800S 全モデル共通 : 1 ~ 2	
4	ax7800sAtaCardConnection {ax7800sAtaCardEntry 2}	INTEGER	R/O	MC 接続状態を示します。 • 接続 (2) • 未接続 (32)	
5	ax7800sAtaCardTotalSize {ax7800sAtaCardEntry 3}	INTEGER	R/O	MC の総容量を数値で示します。[ 単位 : kB ] MC 未接続の場合 , -1 で応答します。	
6	ax7800sAtaCardUsedSize {ax7800sAtaCardEntry 4}	INTEGER	R/O	MC の使用容量を数値で示します。[ 単位 : kB ] MC 未接続の場合 , -1 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ax7800sAtaCardFreeSize {ax7800sAtaCardEntry 5}	INTEGER	R/O	MC の残容量を数値で示します。[ 単位 : kB] MC 未接続の場合、-1 で応答します。	
8	ax7800sAtaCardName {ax7800sAtaCardEntry 6}	DisplayString	R/O	MC の型名を最大 16 文字の文字列で示します。不明 MC の場合、"unknown" を示します。MC 未接続の場合は、レングス 0 で応答します。	
9	ax7800sAtaCardAbbreviation {ax7800sAtaCardEntry 7}	DisplayString	R/O	MC の種別を最大 16 文字の文字列で示します。( 例 : "MC256","unknown" ) MC 未接続の場合は、レングス 0 で応答します。	
10	ax7800sAtaCardMountStatus {ax7800sAtaCardEntry 8}	INTEGER	R/O	MC のマウント状態を示します。 ・ アンマウント (1) ・ マウント (2)  MC 未接続の場合、-1 で応答します。	

### 3.15.6 ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 ( 温度情報 )

#### ( 1 ) 識別子

ax7800sBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sDevice 2}

ax7800sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sBcuBoard 3}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 ( 温度情報 ) を次の表に示します。

表 3-75 ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 ( 温度情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sTemperatureStatusTable {ax7800sBcuBoard 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU についての温度状態のテーブル	
2	ax7800sTemperatureStatusEntry {ax7800sTemperatureStatusTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU についての温度状態のエントリ。 INDEX {ax7800sChassisIndex, ax7800sBcuBoardIndex, ax7800sTemperatureStatusIndex}	
3	ax7800sTemperatureStatusIndex {ax7800sTemperatureStatusEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU の温度監視部分ごとに付けられたユニークなインデックス番号。	
4	ax7800sTemperatureStatusDescriptor {ax7800sTemperatureStatusEntry 2}	DisplayString	R/O	この温度監視部分の説明。 ・ "BCU board Temperature" : BCU ボードの温度	
5	ax7800sTemperatureStatusValue {ax7800sTemperatureStatusEntry 3}	Integer32	R/O	この温度監視部分の現在の温度。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax7800sTemperatureThreshold {ax7800sTemperatureStatusEntry 4}	Integer32	R/O	装置が停止状態になる、この温度監視部分の温度。	
7	ax7800sTemperatureState {ax7800sTemperatureStatusEntry 5}	INTEGER	R/O	この温度監視部分の現在の温度状態。 { 正常 (1), 注意 (2), 警告 (3), 異常 (4)}	

### 3.15.7 ax7800sBcuBoard グループ (SOP 情報)

#### (1) 識別子

```
ax7800sBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sDevice 2}

ax7800sSopTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sBcuBoard 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.4
```

#### (2) 実装仕様

ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) を次の表に示します。

表 3-76 ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sSopTable {ax7800sBcuBoard 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のテーブル。	
2	ax7800sSopEntry {ax7800sSopTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のエントリ。 INDEX {ax7800sChassisIndex, ax7800sBcuBoardIndex }	
3	ax7800sSopAlarmLevel {ax7800sSopEntry 1}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のエラーレベルを文字列で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>致命的障害 (E9)</li> <li>重度障害 (E8)</li> <li>RM 部障害 (E7)</li> <li>NIF 障害 (E6)</li> <li>待機系障害 (E5)</li> </ul>	
4	ax7800sSopAlarmEventPoint {ax7800sSopEntry 2}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害発生部位を文字列で表示します。	
5	ax7800sSopAlarmEventCode {ax7800sSopEntry 3}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージ識別子を表示します。識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 3. 装置関連の障害およびイベント情報」に対応します。	
6	ax7800sSopAlarmEventInterface ID {ax7800sSopEntry 4}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害発生部位のインタフェース識別子を表示します。識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(4) イベント発生インタフェース識別子」に対応します。	
7	ax7800sSopAlarmMsgText {ax7800sSopEntry 5}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージテキストを表示します。	

### 3.15.8 ax7800sPsuBoard グループの実装仕様 (PSU 情報 )

#### ( 1 ) 識別子

ax7800sPsuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= { ax7800sDevice 3 }

ax7800sPsuBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= { ax7800sPsuBoard 1 }  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sPsuBoard グループの実装仕様 (PSU 情報 ) を次の表に示します。

表 3-77 ax7800sPsuBoard グループの実装仕様 (PSU 情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	ax7800sPsuBoardTable {ax7800sPsuBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての PSU 情報のテーブル。	
2	ax7800sPsuBoardEntry {ax7800sPsuBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての PSU 情報エントリ。 [index] {ax7800sChassisIndex, ax7800sPsuBoardIndex }	
3	ax7800sPsuBoardIndex {ax7800sPsuBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	PSU 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7800sPsuBoardNumber までの値。 (PSU 搭載スロット番号 +1 の値) <ul style="list-style-type: none"> <li>AX7804S-AC , AX7804S-DC の場合 : 2</li> <li>AX7808S-AC , AX7808S-DC の場合 : 4</li> <li>AX7816S-AC , AX7816S-DC の場合 : 8</li> </ul>	
4	ax7800sPsuBoardType {ax7800sPsuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	PSU ボードのタイプを数値で示します。 psu-1 (0x4000) ( 16384 ) psu-2 (0x4100) ( 16640 ) psu-12 (0x4400) ( 17408 ) psu-12b (0x4D02) ( 19714 ) psu-22 (0x4700) ( 18176 ) psu-33 (0x4500) ( 17664 ) psu-43 (0x4900) ( 18688 ) psu-53 (0x4D00) ( 19712 ) S12-1G48S (0x5000) ( 20480 ) S12-1G48T (0x5100) ( 20736 ) S22-10G4RX(0x5600) ( 22016 ) S33-10G4RX(0x5700) ( 22272 ) PSU 未実装時または、実装している PSU ボードを特定できない場合、-1 で応答します。	
5	ax7800sPsuOperStatus {ax7800sPsuBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	PSU の STATUS LED の状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>other(1)</li> <li>稼働中 (2)</li> <li>初期化中 (3)</li> <li>障害中 (4)</li> <li>保守中 (5)</li> <li>コンフィグレーションで運用停止中 (6)</li> <li>未実装 (32)</li> </ul> 実装している PSU ボードの状態が特定できない場合、other(1) を応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax7800sPsuBoardName {ax7800sPsuBoardEntry 4}	DisplayString	R/O	PSU のボード型名を最大 16 文字の文字列で示します。(例: "AX-xxxxxxx-xx") PSU 未実装時または、実装している PSU ボードを特定できない場合、レングス 0 で応答します。 PSU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの場合は ax7800sNifBoardName 値と同じになります。	
7	ax7800sPsuBoardAbbreviation {ax7800sPsuBoardEntry 5}	DisplayString	R/O	PSU のボード略称を最大 16 文字の文字列で示します。(例: "PSU-1") PSU 未実装時または、実装している PSU ボードを特定できない場合、レングス 0 で応答します。	
8	ax7800sPsuBoardProductCode {ax7800sPsuBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	PSU のボードのレビジョンを最大 16 文字の文字列で示します。PSU 未実装時または、実装している PSU ボードを特定できない場合、-1 で応答します。	
9	ax7800sPsuSerialNumber {ax7800sPsuBoardEntry 7}	DisplayString	R/O	PSU ボードのカード管理情報 (シリアル番号) 最大 30 文字の文字列で示します。未実装または close 時は、レングス 0 で応答します。	
10	ax7800sPsuVoltage120 {ax7800sPsuBoardEntry 8}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
11	ax7800sPsuVoltage150 {ax7800sPsuBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
12	ax7800sPsuVoltage180 {ax7800sPsuBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 183) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
13	ax7800sPsuVoltage250 {ax7800sPsuBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 250) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
14	ax7800sPsuVoltage330 {ax7800sPsuBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 328) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
15	ax7800sPsuVoltage500 {ax7800sPsuBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 493) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	ax7800sPsuVoltage120-2 {ax7800sPsuBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 2 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 123 ) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
17	ax7800sPsuVoltage120-3 {ax7800sPsuBoardEntry 15}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 3 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 123 ) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
18	ax7800sPsuVoltage120-4 {ax7800sPsuBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 4 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 123 ) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
19	ax7800sPsuVoltage120-5 {ax7800sPsuBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 5 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 123 ) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
20	ax7800sPsuVoltage120-6 {ax7800sPsuBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 6 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 123 ) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
21	ax7800sPsuVoltage120-7 {ax7800sPsuBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 7 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 123 ) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
22	ax7800sPsuVoltage120-8 {ax7800sPsuBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の 8 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 123 ) PSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	

### 3.15.9 ax7800sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)

#### ( 1 ) 識別子

```
ax7800sNifBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sDevice 4}
ax7800sNifBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sNifBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.4.1
```

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) を次の表に示します。ax7800sNifBoardType 値を「表 3-79 ax7800sNifBoardType 値」に示します。

表 3-78 ax7800sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有 無
1	ax7800sNifBoardTable {ax7800sNifBoard 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	スロットに搭載した NIF ボード情報のテー ブル。	
2	ax7800sNifBoardEntry {ax7800sNifBoardTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体の NIF 情報エントリ。 [index] {ax7800sChassisIndex, ax7800sNifBoardSlotIndex}	
3	ax7800sNifBoardSlotIndex {ax7800sNifBoardEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax7800sNifBoardNumber までの値。 (NIF 搭載スロット番号 +1 の値) • AX7804S-AC , AX7804S-DC の場合 : 1 ~ 4 • AX7808S-AC , AX7808S-DC の場合 : 1 ~ 8 • AX7816S-AC , AX7816S-DC の場合 : 1 ~ 16	
4	ax7800sNifBoardType {ax7800sNifBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	実装している NIF ボードのタイプを示しま す。値は 「表 3-79 ax7800sNifBoardType 値」を参 照してください。 PSU が UP 時以外、または NIF が未実装 もしくは close 時は、-1 で応答します。	
5	ax7800sNifBoardOperStatus {ax7800sNifBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	NIF の STATUS LED の状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 未実装 (32)  PSU が UP 時以外は (32) で応答します。	
6	ax7800sNifBoardName {ax7800sNifBoardEntry 4}	DisplayStrin g	R/O	NIF ボード型名を最大 16 文字の文字列で 示します。PSU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、レンジ 0 で応答します。 PSU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの場 合は ax7800sPsuBoardName 値と同じにな ります。	
7	ax7800sNifBoardAbbreviation {ax7800sNifBoardEntry 5}	DisplayStrin g	R/O	NIF ボード略称を最大 16 文字の文字列で 示します。PSU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、レンジ 0 で応答します。	
8	ax7800sNifBoardProductCode {ax7800sNifBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	NIF ボード製造管理コードを示します。 PSU が UP 時以外、または NIF が未実装 もしくは close 時は、-1 で応答します。	
9	ax7800sNifPhysLineNumber {ax7800sNifBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	NIF の物理回線数。(最大 48) ax7800sNifBoardType の値が -1、または other(1) のとき、-1 で応答します。	
10	ax7800sNifSerialNumber {ax7800sNifBoardEntry 8}	DisplayStrin g	R/O	NIF ボードのカード管理情報 (シリアル番 号) 最大 30 文字の文字列で示します。 PSU が UP 時以外、または NIF が未実装 もしくは close 時は、レンジ 0 で応答し ます。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	ax7800sNifVoltageAM520 {ax7800sNifBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	アナログ -5.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : -515) PSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
12	ax7800sNifVoltage150 {ax7800sNifBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 148) PSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
13	ax7800sNifVoltage180 {ax7800sNifBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 183) PSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
14	ax7800sNifVoltageA180 {ax7800sNifBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	アナログ 1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 184) PSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
15	ax7800sNifVoltage250 {ax7800sNifBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 250) PSU または NIF が, 未実装または close 時は, 0 を応答します。	
16	ax7800sNifVoltage330 {ax7800sNifBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 328) PSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
17	ax7800sNifVoltageA330 {ax7800sNifBoardEntry 15}	INTEGER	R/O	アナログ 3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 328) PSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
18	ax7800sNifVoltageA500 {ax7800sNifBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。10GBASE-R および 10GBASE-W の場合, アナログ 5V 電圧になります。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 493) PSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
19	ax7800sNifVoltage330S {ax7800sNifBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧 ( 2 系 ) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 328) PSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
20	ax7800sNifVoltage500S {ax7800sNifBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	5.0V 電圧 ( 2 系 ) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 493) PSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
21	ax7800sNifVoltage120 {ax7800sNifBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位：10mV ] ( 例：123) PSU が UP 時以外，または NIF が未実装もしくは close 時は，0 を応答します。	
22	ax7800sNifVoltageA500-2 {ax7800sNifBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	5V 電圧の 2 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。10GBASE-R および 10GBASE-W の場合，アナログ 5V 電圧になります。 [ 単位：10mV ] ( 例：493) PSU が UP 時以外，または NIF が未実装もしくは close 時は，0 を応答します。	
23	ax7800sNifVoltage150S {ax7800sNifBoardEntry 21}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧 ( 2 系 ) の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位：10mV ] ( 例：148) PSU が UP 時以外，または NIF が未実装もしくは close 時は，0 を応答します。	

表 3-79 ax7800sNifBoardType 値

NIF 名称	ax7800sNifBoardName 値	ax7800sNifBoardType 値	
		16 進	10 進
12-port 1000BASE-X(SFP) VRRP 機能拡張	AX-F6244-361SA	0x8002	32770
6-port 1000BASE-X(GBIC) VRRP 機能拡張	AX-F6244-361GA	0x8004	32772
12-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T VRRP 機能拡張	AX-F6244-361TA	0x800A	32778
48-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	AX-F6244-366T	0x8036	32822
1-port 10GBASE-ER	AX-F6244-362E	0x8012	32786
1-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6244-362XFP	0x8014	32788
1-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6244-362XFPA	0x8018	32792
1-port 10GBASE-LW	AX-F6244-363LW	0x8021	32801
1-port 10GBASE-EW	AX-F6244-363EW	0x8022	32802
4-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER	AX-F6244-364SHP	0x800F	32783
8-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER	AX-F6244-364SHPA	0x800E	32782
8-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T + 4-port 1000BASE-X(SFP)	AX-F6244-361M	0x8037	32823
48-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ( PSU-12 内蔵 )	AX-F6244-366T12	0x8033	32819
48-port 1000BASE-X(SFP) ( PSU-12 内蔵 )	AX-F6244-366S12	0x8032	32818
4-port 10GBASE-R(XFP) ( PSU-22 内蔵 )	AX-F6244-367X22	0x8015	32789
4-port 10GBASE-R(XFP) ( PSU-33 内蔵 )	AX-F6244-367X33	0x8016	32790
4-port OC-48c/STM-16 POS(SFP,single-mode)	AX-F6244-352S	0xA010	40976
1-port OC-192c/STM-64 POS(G.652 single-mode,2km)	AX-F6244-351S	0xA000	40960
1-port OC-192c/STM-64 POS(G.652 single-mode,40km)	AX-F6244-351S4	0xA001	40961

### 3.15.10 ax7800sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )

#### ( 1 ) 識別子

ax7800sPhysLine OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sDevice 5}

ax7800sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sPhysLine 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.5.1

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) を次の表に示します。

表 3-80 ax7800sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sPhysLineTable {ax7800sPhysLine 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線情報のテーブル。	
2	ax7800sPhysLineEntry {ax7800sPhysLineTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線についての情報エントリ。 [index] {ax7800sChassisIndex, ax7800sNifBoardSlotIndex, ax7800sPhysLineIndex}	
3	ax7800sPhysLineIndex {ax7800sPhysLineEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線番号の情報を示します。 1 ~ ax7800sNifLineNumber までの値 (Line 番号 +1 の値)。	
4	ax7800sPhysLineConnectorType {ax7800sPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。物理回線状態が稼働中、運用中 (回線障害発生中) および回線テスト中の場合に表示します。 種別が不明または交換不可のトランシーバ、物理回線状態が稼働中、運用中 (回線障害発生中) および回線テスト中以外の場合は other(1) を応答します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other(1)</li> <li>• type1000BASE-LX(301)</li> <li>• type1000BASE-SX(302)</li> <li>• type1000BASE-LH(303)</li> <li>• type1000BASE-LHB(310)</li> <li>• type10GBASE-SR(401)</li> <li>• type10GBASE-LR(402)</li> <li>• type10GBASE-ER(403)</li> <li>• type10GBASE-ZR(404)</li> <li>• typeOC-48c/STM-16 POS 2km(103)</li> <li>• typeOC-48c/STM-16 POS 40km(104)</li> </ul>	
5	ax7800sPhysLineOperStatus {ax7800sPhysLineEntry 3}	INTEGER	R/O	物理回線の状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other ( 1 )</li> <li>• 稼働中 (2)</li> <li>• 初期化中 (3)</li> <li>• 障害中 (4)</li> <li>• コンフィグレーションで運用停止中 (6)</li> <li>• 保守中 (メンテナンス )(7)</li> <li>• 運用中 (回線障害発生中 )(8)</li> <li>• 回線テスト中 (9)</li> <li>• 未使用 ( コンフィグレーション未設定 )(10)</li> </ul>	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax7800sPhysLineIfIndexNumber {ax7800sPhysLineEntry 4}	INTEGER	R/O	物理回線に含まれる ifIndex 数を示します。 PSU 未実装時、または NIF 未実装時は、-1 で応答します。	
7	ax7800sPhysLineTransceiverStatus {ax7800sPhysLineEntry 5}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバの種別と実装状態 を示します。物理回線状態が稼働中、運用 中 (回線障害発生中) および回線テスト中 の場合に表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>交換可能なトランシーバではない (1)</li> <li>GBIC 実装 (10)</li> <li>GBIC 未実装 (11)</li> <li>未サポートの GBIC 実装 (12)</li> <li>GBIC の実装状態が不明 (13)</li> <li>SFP 実装 (20)</li> <li>SFP 未実装 (21)</li> <li>未サポートの SFP 実装 (22)</li> <li>SFP の実装状態が不明 (23)</li> <li>XFP 実装 (30)</li> <li>XFP 未実装 (31)</li> <li>未サポートの XFP 実装 (32)</li> <li>XFP の実装状態が不明 (33)</li> </ul>	

### 3.15.11 ax7800sInterface グループの実装仕様 ( インタフェースインデックス情報 )

#### ( 1 ) 識別子

ax7800sInterface OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sDevice 6}  
ax7800sLineIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax7800sInterface 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.6.1

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sInterface グループ ( インタフェースインデックス情報 ) を次の表に示します。

表 3-81 ax7800sInterface グループの実装仕様 ( インタフェースインデックス情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sLineIfTable {ax7800sInterface 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線 -ifIndex 対応のテーブル情報。	
2	ax7800sLineIfEntry {ax7800sLineIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線に割り当てられている ifIndex に 関するエントリ。 [index] {ax7800sChassisIndex, ax7800sNifBoardSlotIndex, ax7800sPhysLineIndex, ax7800sLineIfIndex}	
3	ax7800sLineIfIndex {ax7800sLineIfEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するイン デックス値を示します。 1 ~ ax7800sPhysLineIfIndexNumber まで の値。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax7800sIfIndex {ax7800sLineIfEntry 2}	INTEGER	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex の値を示します。 このインタフェースに、ifIndex 未割り当ての場合は、0 を応答します。	
5	ax7800sIfIpAddress {ax7800sLineIfEntry 3}	IpAddress	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex に対応する IP アドレスを示します。 IP アドレス未割り当ての場合、または IPv6 アドレスが割り当てられている場合、0.0.0.0 とします。	
6	ax7800sIfIpv6Address {ax7800sLineIfEntry 4}	OCTET STRING	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex に対応する IPv6 アドレスを示します。 IPv6 アドレス未割り当ての場合または、IPv4 アドレスだけが割り当てられている場合、00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 とします。	

## 3.16 ax7800sManagementMIB グループ ( 装置の状態 / 情報の変更を行う ) 【AX7800S】

### 3.16.1 ax7800sFdbClearMIB グループ (FDB Clear 用 MIB)

#### ( 1 ) 識別子

ax7800sMib OBJECT IDENTIFIER ::= { axSEx 2 }  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2

ax7800sManagementMIB OBJECT IDENTIFIER ::= { ax7800sMib 3 }  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.3

ax7800sOperationCommand OBJECT IDENTIFIER ::= { ax7800sManagementMIB 1 }  
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.3.1

#### ( 2 ) 実装仕様

ax7800sFdbClearMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-82 ax7800sFdbClearMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax7800sFdbClearMIB {ax7800sOperationCommand 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Fdb 情報をクリアするための MIB グループ	
2	ax7800sFdbClearSet {ax7800sFdbClearMIB 1}	INTEGER	R/W	Fdb clear 情報。 { 初期値 (0), clear 処理中 (1), clear 失敗 (2), clear 成功 (3) } Set を行う場合, 1 を設定する。	
3	ax7800sFdbClearReqTime {ax7800sFdbClearMIB 2}	TimeTicks	R/O	最も最近に Fdb 情報のクリア要求を受付けた時間 (sysUpTime)。	
4	ax7800sFdbClearSuccessTime {ax7800sFdbClearMIB 3}	TimeTicks	R/O	Fdb 情報のクリアが行われた最新の時間 (sysUpTime)。	

## 3.17 ax5400sSwitch グループ ( 装置のモデル情報 MIB )【AX5400S】

### ( 1 ) 識別子

```
ax5400sMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 3}

ax5400sSwitch OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1

ax5400sLicense OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sSwitch 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6
```

### ( 2 ) 実装仕様

ax5400sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-83 ax5400sSwitch グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax5400sModelType {ax5400sSwitch 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報 ( 数値 ) • AX5402S(200) • AX5404S(201)	
2	ax5400sSoftware {ax5400sSwitch 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	本装置のソフトウェア情報。	
3	ax5400sSoftwareName {ax5400sSoftware 1}	DisplayStrin g	R/O	運用中のソフトウェア型名を文字列で示 します ( 最大 16 文字 ) 。	
4	ax5400sSoftwareAbbreviation {ax5400sSoftware 2}	DisplayStrin g	R/O	運用中のソフトウェアの略称を文字列で示 します ( 最大 16 文字 ) 。	
5	ax5400sSoftwareVersion {ax5400sSoftware 3}	DisplayStrin g	R/O	運用中のソフトウェアのバージョンを文字 列で示します ( 最大 16 文字 ) 。	
6	ax5400sSystemMsg {ax5400sSwitch 3}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	システムメッセージ関連情報。	
7	ax5400sSystemMsgText {ax5400sSystemMsg 1}	DisplayStrin g	R/O	運用ログ上の最新ログ情報 ( 文字列 ) 。	
				システムメッセージログの最新エントリ情 報 ( 最大 256 文字 ) 。	
				ログフォーマットは、「メッセージ・ログレ ファレンス 1.4.3 運用ログのフォーマッ ト」を参照してください。	
8	ax5400sSystemMsgType {ax5400sSystemMsg 2}	OCTET STRING	R/O	イベント種別を 1 バイトで示します。 イベントが発生した (01) イベントが回復した (02)	
9	ax5400sSystemMsgTimeStamp {ax5400sSystemMsg 3}	DisplayStrin g	R/O	イベント発生時刻 ( 月日時分秒 ) を 14 バイ トの文字列で示します。 "MM/DD hh:mm:ss" で表示します。 • MM : 月 ( 01 ~ 12 ) • DD : 日 ( 01 ~ 31 ) • hh : 時 ( 00 ~ 23 ) • mm : 分 ( 00 ~ 59 ) • ss : 秒 ( 00 ~ 59 )  DD と hh の間は、1 バイトのスペース文字 が入ります。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ax5400sSystemMsgLevel {ax5400sSystemMsg 4}	OCTET STRING	R/O	最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。 ・致命的障害 (9) ・重度障害 (8) ・RM 部障害 (7) ・NIF 障害 (6) ・待機系障害 (5) ・ネットワーク系障害 (4) ・警告 (3) ・予備 (2) ・予備 (1)	
11	ax5400sSystemMsgEventPoint {ax5400sSystemMsg 5}	DisplayString	R/O	システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。 イベント発生部位の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(3) イベント発生部位」に対応します。	
12	ax5400sSystemMsgEventInterfaceID {ax5400sSystemMsg 6}	DisplayString	R/O	システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します (最大 40 文字)。 識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(4) イベント発生インタフェース識別子」に対応します。	
13	ax5400sSystemMsgEventCode {ax5400sSystemMsg 7}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します。 0x00000000 ~ 0xFFFFFFFF コードの内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(5) メッセージ識別子および付加情報」に対応します。	
14	ax5400sSystemMsgAdditionalCode {ax5400sSystemMsg 8}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します。 0x000000000000 ~ 0xFFFFFFFFFFFFFFF コードの内容は、保守用のため公開していません。	
15	ax5400sSnmpAgent {ax5400sSwitch 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SNMP 関連情報。	
16	ax5400sSnmpSendReceiveSize {ax5400sSnmpAgent 1}	INTEGER	R/O	エージェントが送受信可能な SNMP パケットサイズ。 [単位: バイト数]	
17	ax5400sSnmpReceiveDelay {ax5400sSnmpAgent 2}	INTEGER	R/O	SNMP パケット推奨受信遅延間隔。[単位: ミリ秒]	
18	ax5400sSnmpContinuousSend {ax5400sSnmpAgent 3}	INTEGER	R/O	推奨 SNMP パケット連続送信数。	
19	ax5400sSnmpObjectMaxNumber {ax5400sSnmpAgent 4}	INTEGER	R/O	推奨 SNMP パケット当たりのオブジェクト数。	
20	ax5400sLicense {ax5400sSwitch 6}	INTEGER	R/O	ライセンス情報。	
21	ax5400sLicenseNumber {ax5400sLicense 1}	INTEGER	R/O	設定されたライセンスシリアル番号の数。	
22	ax5400sLicenseTable {ax5400sLicense 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のテーブル。	
23	ax5400sLicenseEntry {ax5400sLicenseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のエントリ。INDEX {ax5400sLicenseIndex}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
24	ax5400sLicenseIndex {ax5400sLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。 1 ~ ax5400sLicenseNumber までの数。	
25	ax5400sLicenseSerialNumber {ax5400sLicenseEntry 2}	DisplayString	R/O	シリアル番号。	
26	ax5400sLicenseOptionNumber {ax5400sLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス数。	
27	ax5400sLicenseOptionTable {ax5400sLicense 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のテーブル。	
28	ax5400sLicenseOptionEntry {ax5400sLicenseOptionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のエントリ。 INDEX {ax5400sLicenseOptionIndex ax5400sLicenseOptionNumberIndex }	
29	ax5400sLicenseOptionIndex {ax5400sLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。 ax5400sLicenseIndex と同じ番号。	
30	ax5400sLicenseOptionNumberIndex {ax5400sLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のインデックス番号。 1 ~ ax5400sLicenseOptionNumber までの数。	
31	ax5400sLicenseOptionSoftwareName {ax5400sLicenseOptionEntry 3}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア型名。	
32	ax5400sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax5400sLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア略称。	

## 3.18 ax5400sDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 【AX5400S】

### 3.18.1 ax5400sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

#### (1) 識別子

```
ax5400sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 1}

ax5400sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sChassis 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.1

ax5400sChassisTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sChassis 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2
```

#### (2) 実装仕様

ax5400sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) を次の表に示します。

表 3-84 ax5400sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax5400sChassisMaxNumber {ax5400sChassis 1}	INTEGER	R/O	本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。 AX5402S, AX5404S の場合 1 固定。	
2	ax5400sChassisTable {ax5400sChassis 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	筐体情報のテーブル。	
3	ax5400sChassisEntry {ax5400sChassisTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体についての情報エントリ。 [index] {ax5400sChassisIndex}	
4	ax5400sChassisIndex {ax5400sChassisEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ax5400sChassisEntry を特定するための番号。 1 固定。	
5	ax5400sChassisType {ax5400sChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプを示します。 • AX5402S(200) • AX5404S(201)	
6	ax5400sChassisStatus {ax5400sChassisEntry 3}	INTEGER	R/O	筐体の現在のステータス。 稼働中 (2) 固定。	
7	ax5400sBcuBoardDuplexMode {ax5400sChassisEntry 4}	INTEGER	R/O	BCU の二重化モードを示します。 • BCU 一重化構成 (1) • BCU 二重化構成 (2)	
8	ax5400sPowerUnitNumber {ax5400sChassisEntry 5}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる電源の数。 • AX5402S の場合 : 2 • AX5404S の場合 : 4	
9	ax5400sFanNumber {ax5400sChassisEntry 6}	INTEGER	R/O	この筐体のメインファンの数。 • AX5402S の場合 : 6 • AX5404S の場合 : 12	
10	ax5400sCifNumber {ax5400sChassisEntry 7}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載可能な最大クラスタインタ フェース (CIF) の数。0 固定。	
11	ax5400sBcuBoardNumber {ax5400sChassisEntry 8}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる最大ベースコント ロールユニット (BCU) の数。 • AX5402S の場合 : 1 • AX5404S の場合 : 2	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ax5400sBsuBoardNumber {ax5400sChassisEntry 9}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できるベーススイッチング プロセッシングユニット ( BSU ) の数。 • AX5402S の場合 : 1 • AX5404S の場合 : 2	
13	ax5400sNifBoardNumber {ax5400sChassisEntry 10}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できるネットワークインタ フェース ( NIF ) ボードの数。 • AX5402S の場合 : 2 • AX5404S の場合 : 4	
14	ax5400sChassisMacAddress {ax5400sChassisEntry 11}	MacAddress	R/O	筐体の MAC アドレス	
15	ax5400sChassisSerialNumber {ax5400sChassisEntry 12}	DisplayString	R/O	筐体の管理情報 ( シリアル番号 ) 最大 30 文 字の文字列で示します。未実装もしくは close 時は , レングス 0 で応答します。	

### 3.18.2 ax5400sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

#### ( 1 ) 識別子

ax5400sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= { ax5400sDevice 1 }

ax5400sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= { ax5400sChassis 3 }  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.3

#### ( 2 ) 実装仕様

ax5400sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) を次の表に示します。

表 3-85 ax5400sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax5400sPowerUnitTable {ax5400sChassis 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報のテーブル。	
2	ax5400sPowerUnitEntry {ax5400sPowerUnitTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源情報エントリ。 [index] {ax5400sChassisIndex, ax5400sPowerUnitIndex}	
3	ax5400sPowerUnitIndex {ax5400sPowerUnitEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源位置を示すインデックスです。 1 ~ ax5400sPowerUnitNumber までの値。 • AX5402S の場合 : 2 • AX5404S の場合 : 4	
4	ax5400sPowerConnectStatus {ax5400sPowerUnitEntry 2}	INTEGER	R/O	電源の実装状態を示します。 • 実装 (2) • 未実装 (32)	
5	ax5400sPowerSupplyStatus {ax5400sPowerUnitEntry 3}	INTEGER	R/O	電源の運用状態を示します。 • 稼働中 (2) • 障害中 (4)  電源未実装時は , -1 で応答します。	

### 3.18.3 ax5400sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )

#### ( 1 ) 識別子

```
ax5400sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 1}

ax5400sFanTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sChassis 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.4
```

#### ( 2 ) 実装仕様

ax5400sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) を次の表に示します。

表 3-86 ax5400sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	ax5400sFanTable {ax5400sChassis 4}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ファン情報のテーブル。	
2	ax5400sFanEntry {ax5400sFanTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ファン情報エントリ。 [index] {ax5400sChassisIndex, ax5400sFanIndex}	
3	ax5400sFanIndex {ax5400sFanEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	メインファン位置を示すインデックスです。 • AX5402S の場合 : 6 • AX5404S の場合 : 12	
4	ax5400sFanStatus {ax5400sFanEntry 2}	INTEGER	R/O	メインファンの運用状態を示します。 • 稼働中 (2) • 高速回転中 (3) • 障害中 (4)	

### 3.18.4 ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報 )

#### ( 1 ) 識別子

```
ax5400sBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 2}

ax5400sBcuBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sBcuBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1
```

#### ( 2 ) 実装仕様

ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 ( BCU 情報 ) を次の表に示します。

表 3-87 ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 ( BCU 情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	ax5400sBcuBoardTable {ax5400sBcuBoard 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU 搭載情報テーブル。	
2	ax5400sBcuBoardEntry {ax5400sBcuBoardTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU エントリ。 [index] {ax5400sChassisIndex, ax5400sBcuBoardIndex }	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ax5400sBcuBoardIndex {ax5400sBcuBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax5400sBcuBoardNumber までの値。 (BCU 搭載スロット番号 +1 の値) • AX5402S の場合：1 固定 • AX5404S の場合：1 ~ 2	
4	ax5400sBcuIoBoardType {ax5400sBcuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	BCU(IO) ボード ID を示します。 • AX5402S 用 BCU-C5MS (0x00001008)(4104) • AX5404S 用 BCU-S5MS (0x00001108)(4360)  BCU(IO) ボード未実装時は、-1 で応答します。	
5	ax5400sBcuCpuBoardType {ax5400sBcuBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	BCU(CPU) ボード ID を示します。 BCU 用 BCU(CPU) ボード ID 0x0400(1024) BCU(CPU) ボード未実装時は、-1 で応答します。	
6	ax5400sBcuOperStatus {ax5400sBcuBoardEntry 4}	INTEGER	R/O	BCU の STATUS LED の状態を示します。 • other (1) • 稼働中 (2) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • 未実装 (32)	
7	ax5400sBcuOperModeStatus {ax5400sBcuBoardEntry 5}	INTEGER	R/O	BCU の運用状態を示します。 • other(1) • 運用系 BCU として稼働中 (2) • 待機系 BCU として稼働中 (3) • コンフィグレーション不一致による非同期中 (4) • S/W バージョン不一致による非同期中 (5) • 障害中 (6) • 保守中 (メンテナンス)(7)  BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
8	ax5400sBcuActiveLedStatus {ax5400sBcuBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	装置の ACTIVE LED の状態を示します。 • 緑点灯 (2) • 消灯 (6)  BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	
9	ax5400sBcuReadyLedStatus {ax5400sBcuBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	装置の READY LED の状態を示します。 • 緑点灯 (2) • 消灯 (6)  BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	
10	ax5400sBcuAlarmLedStatus {ax5400sBcuBoardEntry 8}	INTEGER	R/O	装置の ALARM LED の状態を示します。 • 赤点灯 (4) • 消灯 (6)  BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	ax5400sBcuErrorLedStatus {ax5400sBcuBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	装置の ERROR LED の状態を示します。 • 黄点灯 (5) • 消灯 (6)  BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	
12	ax5400sBcuEmaLedStatus {ax5400sBcuBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	装置の EMA SUPPRESS LED の状態を示します。 • 黄点灯 (5) • 消灯 (6)  BCU 未実装時、または LED 状態が不明のとき、-1 で応答します。	
13	ax5400sBcuMgmtPortStatus {ax5400sBcuBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	リモートマネージメントポートの状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス )(7) • 回線テスト中 (9) • 未使用 (コンフィグレーション未設定 )(10)  BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
14	ax5400sBcuMaintenancePortStatus {ax5400sBcuBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	メンテナンスポートの状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス )(7) • 回線テスト中 (9)  BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
15	ax5400sBcuAtaCardNumber {ax5400sBcuBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	MC のスロットの数を示します。BCU 未実装時は、0 で応答します。	
16	ax5400sBcuAtaBootDev {ax5400sBcuBoardEntry 15}	INTEGER	R/O	ブート MC のスロット位置の情報を数値で示します。(MC スロット番号 +1 の値) • MC スロット #0(1) • MC スロット #1(2)  BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
17	ax5400sBcuBoardName {ax5400sBcuBoardEntry 16}	DisplayString	R/O	BCU ボード型名を最大 16 文字の文字列で示します。 BCU 未実装時は、長さ 0 で応答します。	
18	ax5400sBcuBoardAbbreviation {ax5400sBcuBoardEntry 17}	DisplayString	R/O	BCU ボードの略称を最大 16 文字の文字列で示します。 BCU 未実装時は、長さ 0 で応答します。	
19	ax5400sBcuIoBoardProductCode {ax5400sBcuBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	BCU(IO) ボードの製造管理番号を示します。 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
20	ax5400sBcuCpuBoardProductCode {ax5400sBcuBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	BCU(CPU) ボードの製造管理番号を示します。 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
21	ax5400sBcuRmCpuName {ax5400sBcuBoardEntry 20}	DisplayString	R/O	BCU 搭載 CPU 名称を最大 16 文字の文字列で示します。(例: "AMD K5") BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	
22	ax5400sBcuRmCpuClock {ax5400sBcuBoardEntry 21}	INTEGER	R/O	BCU 搭載 CPU クロックを数値で示します。 [単位: MHz] (例: 200) BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
23	ax5400sBcuRmMemoryTotalSize {ax5400sBcuBoardEntry 22}	INTEGER	R/O	搭載メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
24	ax5400sBcuRmMemoryUsedSize {ax5400sBcuBoardEntry 23}	INTEGER	R/O	使用メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
25	ax5400sBcuRmMemoryFreeSize {ax5400sBcuBoardEntry 24}	INTEGER	R/O	未使用メモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
26	ax5400sBcuRmRomVersion {ax5400sBcuBoardEntry 25}	DisplayString	R/O	BCU 搭載 ROM のバージョンを文字列で示します。 (例: "ROM 01-01 Rev0 BIOS Rev.:R1.02.E4") BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	
27	ax5400sBcuRmCpuLoad1m {ax5400sBcuBoardEntry 26}	INTEGER	R/O	1 分間の BCU CPU 使用率を数値 (0 ~ 100) で示します。	
28	ax5400sBcuTemperatureStatus Number {ax5400sBcuBoardEntry 27}	INTEGER	R/O	この BCU での最大の ax5400sTemperatureStatus の数。 該当 BCU が温度測定機能をサポートしない場合、または BCU 未実装時は 0 で応答します。	
29	ax5400sBcuCpOperStatus {ax5400sBcuBoardEntry 28}	INTEGER	R/O	CP の状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other(1)</li> <li>• 稼働中 (2)</li> <li>• 初期化中 (3)</li> <li>• 障害中 (4)</li> <li>• 待機系 BCU 未実装 (32)</li> </ul>	
30	ax5400sBcuCpCpuName {ax5400sBcuBoardEntry 29}	DisplayString	R/O	CP CPU 名称を最大 16 文字の文字列で示します。 (例: "MIPS RM5261") 待機系 BCU 未実装時は、レンジ 0 で応答します。	
31	ax5400sBcuCpCpuClock {ax5400sBcuBoardEntry 30}	INTEGER	R/O	CP CPU クロックを数値で示します。 [単位: MHz] (例: 250) 待機系 BCU 未実装時は、-1 で応答します。	
32	ax5400sBcuCpMemoryTotalSize {ax5400sBcuBoardEntry 31}	INTEGER	R/O	CP のメインメモリサイズを数値で示します。 [単位: kB] (例: 32768)	
33	ax5400sBcuCpCpuLoad1m {ax5400sBcuBoardEntry 32}	INTEGER	R/O	1 分間の CP CPU 使用率を数値 (0 ~ 100) で示します。 CP の状態が運用中以外は、CPU 使用率は、0 で応答します。また、待機系 BCU 内の CP CPU 使用率は、0 を応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
34	ax5400sBcuSerialNumber {ax5400sBcuBoardEntry 33}	DisplayString	R/O	BCU ボードのカード管理情報 (シリアル番号) 最大 30 文字の文字列で示します。 未実装または close 時は、レングス 0 で応答します。	
35	ax5400sBcuVoltage150 {ax5400sBcuBoardEntry 34}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
36	ax5400sBcuVoltage180 {ax5400sBcuBoardEntry 35}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 183) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
37	ax5400sBcuVoltage250 {ax5400sBcuBoardEntry 36}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 250) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
38	ax5400sBcuVoltage330 {ax5400sBcuBoardEntry 37}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 328) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
39	ax5400sBcuVoltage500 {ax5400sBcuBoardEntry 38}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 493) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	
40	ax5400sBcuVoltage330-2 {ax5400sBcuBoardEntry 45}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の 2 箇所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 328) 待機系 BCU 未実装時または close 時は 0 を応答します。	

### 3.18.5 ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

#### (1) 識別子

```
ax5400sBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 2}

ax5400sAtaCardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sBcuBoard 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2
```

#### (2) 実装仕様

ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) を次の表に示します。

表 3-88 ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax5400sAtaCardTable {ax5400sBcuBoard 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報のテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	ax5400sAtaCardEntry {ax5400sAtaCardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報エントリ。 [index] {ax5400sChassisIndex, ax5400sBcuBoardIndex, ax5400sAtaCardIndex}	
3	ax5400sAtaCardIndex {ax5400sAtaCardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 挿入スロットの接続位置を示します。 (MC 挿入スロット番号 +1 の値)。 1 ~ ax5400sBcuAtaCardNumber までの値。 AX5400S 全モデル共通 : 1 ~ 2	
4	ax5400sAtaCardConnection {ax5400sAtaCardEntry 2}	INTEGER	R/O	MC 接続状態を示します。 • 接続 (2) • 未接続 (32)	
5	ax5400sAtaCardTotalSize {ax5400sAtaCardEntry 3}	INTEGER	R/O	MC の総容量を数値で示します。[ 単位 : kB] MC 未接続の場合 , -1 で応答します。	
6	ax5400sAtaCardUsedSize {ax5400sAtaCardEntry 4}	INTEGER	R/O	MC の使用容量を数値で示します。[ 単位 : kB] MC 未接続の場合 , -1 で応答します。	
7	ax5400sAtaCardFreeSize {ax5400sAtaCardEntry 5}	INTEGER	R/O	MC の残容量を数値で示します。[ 単位 : kB] MC 未接続の場合 , -1 で応答します。	
8	ax5400sAtaCardName {ax5400sAtaCardEntry 6}	DisplayString	R/O	MC の型名を最大 16 文字の文字列で示します。不明 MC の場合 , "unknown" を示します。MC 未接続の場合は , レングス 0 で応答します。	
9	ax5400sAtaCardAbbreviation {ax5400sAtaCardEntry 7}	DisplayString	R/O	MC の種別を最大 16 文字の文字列で示します。( 例 : "MC256","unknown" ) MC 未接続の場合は , レングス 0 で応答します。	
10	ax5400sAtaCardMountStatus {ax5400sAtaCardEntry 8}	INTEGER	R/O	MC のマウント状態を示します。 • アンマウント (1) • マウント (2)  MC 未接続の場合 , -1 で応答します。	

### 3.18.6 ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 ( 温度情報 )

#### ( 1 ) 識別子

ax5400sBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 2}

ax5400sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sBcuBoard 3}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.3

#### ( 2 ) 実装仕様

ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 ( 温度情報 ) を次の表に示します。

表 3-89 ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 ( 温度情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax5400sTemperatureStatusTable {ax5400sBcuBoard 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU についての温度状態のテーブル	
2	ax5400sTemperatureStatusEntry {ax5400sTemperatureStatusTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU についての温度状態のエントリ。 INDEX {ax5400sChassisIndex, ax5400sBcuBoardIndex, ax5400sTemperatureStatusIndex}	
3	ax5400sTemperatureStatusIndex {ax5400sTemperatureStatusEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BCU の温度監視部分ごとに付けられたユニークなインデックス番号。	
4	ax5400sTemperatureStatusDescription {ax5400sTemperatureStatusEntry 2}	DisplayString	R/O	この温度監視部分の説明。 • "BCU board Temperature" : BCU ボードの温度	
5	ax5400sTemperatureStatusValue {ax5400sTemperatureStatusEntry 3}	Integer32	R/O	この温度監視部分の現在の温度。	
6	ax5400sTemperatureThreshold {ax5400sTemperatureStatusEntry 4}	Integer32	R/O	装置が停止状態になる, この温度監視部分の温度。	
7	ax5400sTemperatureState {ax5400sTemperatureStatusEntry 5}	INTEGER	R/O	この温度監視部分の現在の温度状態。 { 正常 (1), 注意 (2), 警告 (3), 異常 (4)}	

### 3.18.7 ax5400sBcuBoard グループ (SOP 情報 )

#### ( 1 ) 識別子

```
ax5400sBcuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 2}

ax5400sSopTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sBcuBoard 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.4
```

#### ( 2 ) 実装仕様

ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) を次の表に示します。

表 3-90 ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax5400sSopTable {ax5400sBcuBoard 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のテーブル。	
2	ax5400sSopEntry {ax5400sSopTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のエントリ。 INDEX {ax5400sChassisIndex, ax5400sBcuBoardIndex }	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ax5400sSopAlarmLevel {ax5400sSopEntry 1}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のエラーレベルを文字列で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>致命的障害 (E9)</li> <li>重度障害 (E8)</li> <li>RM 部障害 (E7)</li> <li>NIF 障害 (E6)</li> <li>待機系障害 (E5)</li> </ul>	
4	ax5400sSopAlarmEventPoint {ax5400sSopEntry 2}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害発生部位を文字列で表示します。	
5	ax5400sSopAlarmEventCode {ax5400sSopEntry 3}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージ識別子を表示します。識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 3. 装置関連の障害およびイベント情報」に対応します。	
6	ax5400sSopAlarmEventInterface ID {ax5400sSopEntry 4}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害発生部位のインタフェース識別子を表示します。識別子の内容は、「メッセージ・ログレファレンス 1.4.5(4) イベント発生インタフェース識別子」に対応します。	
7	ax5400sSopAlarmMsgText {ax5400sSopEntry 5}	Display String	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージテキストを表示します。	

### 3.18.8 ax5400sBsuBoard グループの実装仕様 (BSU 情報)

#### (1) 識別子

ax5400sBsuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 3}

ax5400sBsuBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sBsuBoard 1}

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1

#### (2) 実装仕様

ax5400sBsuBoard グループの実装仕様 (BSU 情報) を次の表に示します。

表 3-91 ax5400sBsuBoard グループの実装仕様 (BSU 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax5400sBsuBoardTable {ax5400sBsuBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体について BSU 情報のテーブル。	
2	ax5400sBsuBoardEntry {ax5400sBsuBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体の BSU 情報エントリ。 [index] {ax5400sChassisIndex, ax5400sBsuBoardIndex}	
3	ax5400sBsuBoardIndex {ax5400sBsuBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BSU 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax5400sBsuBoardNumber までの値。 (BSU 搭載スロット番号 +1 の値) <ul style="list-style-type: none"> <li>AX5402S の場合: 1 固定</li> <li>AX5404S の場合: 1 ~ 2</li> </ul>	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax5400sBsuBoardType {ax5400sBsuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	BSU ボードのタイプを数値で示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• bsu-c1(0x6000) ( 24576 )</li> <li>• bsu-s1(0x6100) ( 24832 )</li> </ul> BSU 未実装時または、実装している BSU ボードを特定できない場合、-1 で応答します。	
5	ax5400sBsuOperStatus {ax5400sBsuBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	BSU の STATUS LED の状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other(1)</li> <li>• 稼働中 (2)</li> <li>• 初期化中 (3)</li> <li>• 障害中 (4)</li> <li>• 保守中 (5)</li> <li>• コンフィグレーションで運用停止中 (6)</li> <li>• 未実装 (32)</li> </ul> 実装している BSU ボードの状態が特定できない場合、other(1) を応答します。	
6	ax5400sBsuOperModeStatus {ax5400sBcuBoardEntry 4}	INTEGER	R/O	BSU の運用状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other(1)</li> <li>• 現用系 BSU として稼働中 (2)</li> <li>• 待機系 BSU として稼働中 (3)</li> <li>• 障害中 (6)</li> <li>• 保守中 (メンテナンス) (7)</li> </ul> BSU 未実装時は、-1 で応答します。	
7	ax5400sBsuBoardName {ax5400sBsuBoardEntry 5}	DisplayString	R/O	BSU のボード型名を最大 16 文字の文字列で示します。 ( 例: "AX-xxxxxxx-xx" ) BSU 未実装時または、実装している BSU ボードを特定できない場合、長さ 0 で応答します。	
8	ax5400sBsuBoardAbbreviation {ax5400sBsuBoardEntry 6}	DisplayString	R/O	BSU のボード略称を最大 16 文字の文字列で示します。 ( 例: "BSU-1" ) BSU 未実装時または、実装している BSU ボードを特定できない場合、長さ 0 で応答します。	
9	ax5400sBsuBoardProductCode {ax5400sBsuBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	BSU のボードのレビジョンを最大 16 文字の文字列で示します。BSU 未実装時または、実装している BSU ボードを特定できない場合、-1 で応答します。	
10	ax5400sBsuSerialNumber {ax5400sBsuBoardEntry 8}	DisplayString	R/O	BSU ボードのカード管理情報 ( シリアル番号 ) 最大 30 文字の文字列で示します。未実装または close 時は、長さ 0 で応答します。	
11	ax5400sBsuVoltage120 {ax5400sBsuBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位: 10mV ] ( 例: 148 ) BSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ax5400sBsuVoltage150 {ax5400sBsuBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148) BSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
13	ax5400sBsuVoltage180 {ax5400sBsuBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 183) BSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
14	ax5400sBsuVoltage250 {ax5400sBsuBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 250) BSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
15	ax5400sBsuVoltage330 {ax5400sBsuBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 328) BSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
16	ax5400sBsuVoltage500 {ax5400sBsuBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 493) BSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
17	ax5400sBsuVoltage150-2 {ax5400sBsuBoardEntry 22}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の 2 箇所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 148) BSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	
18	ax5400sBsuVoltage250-2 {ax5400sBsuBoardEntry 23}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の 2 箇所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [単位: 10mV] (例: 250) BSU 未実装または close 時は 0 を応答します。	

### 3.18.9 ax5400sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)

#### (1) 識別子

```
ax5400sNifBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 4}
ax5400sNifBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sNifBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1
```

#### (2) 実装仕様

ax5400sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) を次の表に示します。ax5400sNifBoardType 値を「表 3-93 ax5400sNifBoardType 値」に示します。

表 3-92 ax5400sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
1	ax5400sNifBoardTable {ax5400sNifBoard 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	スロットに搭載した NIF ボード情報のテー ブル。	
2	ax5400sNifBoardEntry {ax5400sNifBoardTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体の NIF 情報エントリ。 [index] {ax5400sChassisIndex, ax5400sNifBoardSlotIndex}	
3	ax5400sNifBoardSlotIndex {ax5400sNifBoardEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 1 ~ ax5400sNifBoardNumber までの値。 (NIF 搭載スロット番号 +1 の値) • AX5402S の場合: 1 ~ 2 • AX5404S の場合: 1 ~ 4	
4	ax5400sNifBoardType {ax5400sNifBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	実装している NIF ボードのタイプを示しま す。値は「表 3-93 ax5400sNifBoardType 値」を参照してください。 BSU が UP 時以外、または NIF が未実装 もしくは close 時は、-1 で応答します。	
5	ax5400sNifBoardOperStatus {ax5400sNifBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	NIF の STATUS LED の状態を示します。 • other(1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 未実装 (32)  BSU が UP 時以外は (32) で応答します。	
6	ax5400sNifBoardName {ax5400sNifBoardEntry 4}	DisplayStrin g	R/O	NIF ボード型名を最大 16 文字の文字列で 示します。BSU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、レンジ 0 で応答します。	
7	ax5400sNifBoardAbbreviation {ax5400sNifBoardEntry 5}	DisplayStrin g	R/O	NIF ボード略称を最大 16 文字の文字列で 示します。BSU が UP 時以外、または NIF が未実装もしくは close 時は、レンジ 0 で応答します。	
8	ax5400sNifBoardProductCode {ax5400sNifBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	NIF ボード製造管理コードを示します。 BSU が UP 時以外、または NIF が未実装 もしくは close 時は、-1 で応答します。	
9	ax5400sNifPhysLineNumber {ax5400sNifBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	NIF の物理回線数 (最大 12)。 ax5400sNifBoardType の値が -1、または other(1) のとき -1 で応答します。	
10	ax5400sNifSerialNumber {ax5400sNifBoardEntry 8}	DisplayStrin g	R/O	NIF ボードのカード管理情報 (シリアル番 号) 最大 30 文字の文字列で示します。 BSU が UP 時以外、または NIF が未実装 もしくは close 時は、レンジ 0 で応答し ます。	
11	ax5400sNifVoltageAM520 {ax5400sNifBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	-5.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値 で示します。 [ 単位: 10mV] 0 固定。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ax5400sNifVoltage150 {ax5400sNifBoardEntry 10}	INTEGER	R/O	1.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 148 ) BSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
13	ax5400sNifVoltage180 {ax5400sNifBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 178 ) BSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
14	ax5400sNifVoltageA180 {ax5400sNifBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	アナログ 1.8V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] 0 固定。	
15	ax5400sNifVoltage250 {ax5400sNifBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	2.5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 250 ) BSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
16	ax5400sNifVoltage330 {ax5400sNifBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 328 ) BSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
17	ax5400sNifVoltageA330 {ax5400sNifBoardEntry 15}	INTEGER	R/O	アナログ 3.3V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] 0 固定。	
18	ax5400sNifVoltageA500 {ax5400sNifBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	5V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 493 ) BSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
19	ax5400sNifVoltage120 {ax5400sNifBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	1.2V 電圧の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 118 ) BSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	
20	ax5400sNifVoltage330-2 {ax5400sNifBoardEntry 22}	INTEGER	R/O	3.3V 電圧の 2 個所目の観測ポイントでの電圧を数値で示します。 [ 単位 : 10mV ] ( 例 : 328 ) BSU が UP 時以外, または NIF が未実装もしくは close 時は, 0 を応答します。	

注 NF1G-48T, NFMX-44, NFMX-34 ボード以外を使用している場合, 0 固定になります。

表 3-93 ax5400sNifBoardType 値

NIF 名称	ax5400sNifBoardName 値	ax5400sNifBoardType 値	
		16 進	10 進
48-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	AX-F6243-362T	0x8072	32882

NIF 名称	ax5400sNifBoardName 値	ax5400sNifBoardType 値	
		16 進	10 進
6-port 1000BASE-X(GBIC)	AX-F6243-362G	0x8074	32884
32-port 1000BASE-X(SFP)	AX-F6243-362S	0x8076	32886
48-port 10BASE-T/100BASE-TX マイナーチェンジ版	AX-F6243-361TA	0x8078	32888
40-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T + 4-port 1000BASE-X(SFP)	AX-F6243-363	0x8080	32896
32-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T + 2-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T or 1000BASE-X(SFP)	AX-F6243-364	0x8081	32897

### 3.18.10 ax5400sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )

#### ( 1 ) 識別子

```
ax5400sPhysLine OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 5}

ax5400sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sPhysLine 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.5.1
```

#### ( 2 ) 実装仕様

ax5400sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報) を次の表に示します。

表 3-94 ax5400sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報)

項 番	オブジェクト識別子	SYNTAX	ア ク セ ス	実装仕様	実装 有無
1	ax5400sPhysLineTable {ax5400sPhysLine 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	物理回線情報のテーブル。	
2	ax5400sPhysLineEntry {ax5400sPhysLineTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	物理回線についての情報エントリ。 [index] {ax5400sChassisIndex, ax5400sNifBoardSlotIndex, ax5400sPhysLineIndex }	
3	ax5400sPhysLineIndex {ax5400sPhysLineEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	物理回線番号の情報を示します。 1 ~ ax5400sNifLineNumber までの値 (Line 番号 +1 の値)。	
4	ax5400sPhysLineConnectorType {ax5400sPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。物理回線状態が稼働中、運用中 (回線障害発生中) および回線テスト中の場合に表示します。 種別が不明または交換不可のトランシーバ、物理回線状態が稼働中、運用中 (回線障害発生中) および回線テスト中以外の場合は other(1) を応答します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other(1)</li> <li>• type1000BASE-LX(301)</li> <li>• type1000BASE-SX(302)</li> <li>• type1000BASE-LH(303)</li> <li>• type1000BASE-LHB(310)</li> </ul>	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ax5400sPhysLineOperStatus {ax5400sPhysLineEntry 3}	INTEGER	R/O	物理回線の状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• other ( 1 )</li> <li>• 稼働中 (2)</li> <li>• 初期化中 (3)</li> <li>• 障害中 (4)</li> <li>• コンフィギュレーションで運用停止中 (6)</li> <li>• 保守中 (メンテナンス)(7)</li> <li>• 運用中 (回線障害発生中)(8)</li> <li>• 回線テスト中 (9)</li> </ul>	
6	ax5400sPhysLineIfIndexNumber {ax5400sPhysLineEntry 4}	INTEGER	R/O	物理回線に含まれる ifIndex 数を示します。 BSU 未実装時、または NIF 未実装時は、 -1 で応答します。	
7	ax5400sPhysLineTransceiverStatus {ax5400sPhysLineEntry 5}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバの種別と実装状態を示します。物理回線状態が稼働中、運用中 (回線障害発生中) および回線テスト中の場合に表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 交換可能なトランシーバではない (1)</li> <li>• GBIC 実装 (10)</li> <li>• GBIC 未実装 (11)</li> <li>• 未サポートの GBIC 実装 (12)</li> <li>• GBIC の実装状態が不明 (13)</li> <li>• SFP 実装 (20)</li> <li>• SFP 未実装 (21)</li> <li>• 未サポートの SFP 実装 (22)</li> <li>• SFP の実装状態が不明 (23)</li> </ul>	

### 3.18.11 ax5400sInterface グループの実装仕様 ( インタフェースインデックス情報 )

#### ( 1 ) 識別子

```
ax5400sInterface OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sDevice 6}

ax5400sLineIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sInterface 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.6.1
```

#### ( 2 ) 実装仕様

ax5400sInterface グループ ( インタフェースインデックス情報 ) を次の表に示します。

表 3-95 ax5400sInterface グループの実装仕様 ( インタフェースインデックス情報 )

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax5400sLineIfTable {ax5400sInterface 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線 -ifIndex 対応のテーブル情報。	
2	ax5400sLineIfEntry {ax5400sLineIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理回線に割り当てられている ifIndex に関するエントリ。 [index] {ax5400sChassisIndex, ax5400sNifBoardSlotIndex, ax5400sPhysLineIndex, ax5400sLineIfIndex}	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
3	ax5400sLineIfIndex {ax5400sLineIfEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するイン デックス値を示します。 1 ~ ax5400sPhysLineIfIndexNumber まで の値。	
4	ax5400sIfIndex {ax5400sLineIfEntry 2}	INTEGER	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex の 値を示します。 このインタフェースに、ifIndex 未割り当て の場合は、0 を応答します。	
5	ax5400sIfIpAddress {ax5400sLineIfEntry 3}	IpAddress	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex に 対応する IP アドレスを示します。 IP アドレス未割り当ての場合、または IPv6 アドレスが割り当てられている場合、 0.0.0.0 とします。	
6	ax5400sIfIpv6Address {ax5400sLineIfEntry 4}	OCTET STRING	R/O	この物理回線に割り当てられた ifIndex に 対応する IPv6 アドレスを示します。 IPv6 アドレス未割り当ての場合または、 IPv4 アドレスだけが割り当てられている場 合、00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 とします。	

## 3.19 ax5400sManagementMIB グループ ( 装置の状態 / 情報の変更を行う ) 【AX5400S】

### 3.19.1 ax5400sFdbClearMIB グループ (FDB Clear 用 MIB)

#### ( 1 ) 識別子

ax5400sMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 3}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3

ax5400sManagementMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sMib 3}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.3

ax5400sOperationCommand OBJECT IDENTIFIER ::= {ax5400sManagementMIB 1}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.3.1

#### ( 2 ) 実装仕様

ax5400sFdbClearMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-96 ax5400sFdbClearMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax5400sFdbClearMIB {ax5400sOperationCommand 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Fdb 情報をクリアするための MIB グループ	
2	ax5400sFdbClearSet {ax5400sFdbClearMIB 1}	INTEGER	R/W	Fdb clear 情報。 { 初期値 (0), clear 処理中 (1), clear 失敗 (2), clear 成功 (3)} Set を行う場合 , 1 を設定する。	
3	ax5400sFdbClearReqTime {ax5400sFdbClearMIB 2}	TimeTicks	R/O	最も最近に Fdb 情報のクリア要求を受付けた時間 (sysUpTime)。	
4	ax5400sFdbClearSuccessTime {ax5400sFdbClearMIB 3}	TimeTicks	R/O	Fdb 情報のクリアが行われた最新の時間 (sysUpTime)。	

## 3.20 icmp グループ (HP プライベート MIB)

(1) 識別子

hp OBJECT IDENTIFIER ::= {enterprises 11}  
nm OBJECT IDENTIFIER ::= {hp 2}  
  
icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {nm 7}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.11.2.7

(2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-97 icmp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	icmpEchoReq {icmp 1}	INTEGER	R/O	ICMP Echo Reply を受信するのに要した時間。 [ 単位：ミリ秒 ] INDEX[ PacketSize , TimeOut , IPAddress ] PacketSize : 32 ~ 2048 TimeOut : 1 ~ 60[Second] IP Address : 対象 IP アドレス ICMP Echo Reply を正しく受信しなかった場合、次に示す値を応答します。 -1 : 内部エラー -2 : タイムアウト -3 : ICMP Echo Reply の値不正 -4 : 送信パケットサイズエラー -5 : 設定タイムアウト値不正	

## 3.21 sFlow グループ (InMon プライベート MIB)

### (1) 識別子

```
InMon OBJECT IDENTIFIER ::= {enterprises 4300}
sFlowMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {InMon 1}
sFlowAgent OBJECT IDENTIFIER ::= {sFlowMIB 1}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.4300.1.1

### (2) 実装仕様

sFlow グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-98 sFlow グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sFlowVersion { sFlowAgent 1 }	SnmpAdminString	R/O	[ 規格 ] sFlow のバージョン文字列を示す。 "<MIB Version>;<Organization>;<Software Revision>" の形式で表記する。 [ 実装 ] 規格に同じ。ただし, "1.2;" 固定値とする。	
2	sFlowAgentAddressType { sFlowAgent 2 }	InetAddressType	R/O	[ 規格 ] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレスタイプを示す。 {ipv4(1), ipv6(2)} [ 実装 ] 規格に同じ。	1
3	sFlowAgentAddress { sFlowAgent 3 }	InetAddress	R/O	[ 規格 ] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレスを示す。(IPv4,IPv6) [ 実装 ] 規格に同じ。	1 2
4	sFlowTable { sFlowAgent 4 }	NOT-ACCESSIBLE	不可	[ 規格 ] sFlow datagram に関する情報を格納するテーブル。 [ 実装 ] 規格に同じ。	
5	sFlowEntry { sFlowTable 1 }	NOT-ACCESSIBLE	不可	[ 規格 ] sFlow datagram の情報リスト。 INDEX {sFlowDataSource} [ 実装 ] 規格に同じ。	
6	sFlowDataSource { sFlowEntry 1 }	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[ 規格 ] sFlow datagram の情報源を示す。 上位 1 バイト : 情報源のタイプ 0 = ifIndex 1 = smonVlanDataSource 下位 3 バイト : Index 値 [ 実装 ] 規格に同じ。	
7	sFlowOwner { sFlowEntry 2 }	OwnerString	R/NW	[ 規格 ] sFlow サンプラを利用しているオーナー [ 実装 ] 規格に同じ。ただし, "" 固定値とする。	
8	sFlowTimeout { sFlowEntry 3 }	Integer32	R/NW	[ 規格 ] サンプラが開放され停止するまでの時間 (秒単位) [ 実装 ] 規格に同じ。ただし, "0" 固定値とする。	
9	sFlowPacketSamplingRate { sFlowEntry 4 }	Integer32	R/NW	[ 規格 ] sFlow datagram のサンプリング間隔。 [ 実装 ] 規格に同じ。	1

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	sFlowCounterSamplingInterval { sFlowEntry 5 }	Integer32	R/NW	[ 規格 ] カウンタサンプルのコレクタへの送信間隔を示す。 [ 実装 ] 規格に同じ。	1
11	sFlowMaximumHeaderSize { sFlowEntry 6 }	Integer32	R/NW	[ 規格 ] サンプルパケットの先頭からコピーされる最大バイト数を示す。 [ 実装 ] 規格に同じ。	1
12	sFlowMaximumDatagramSize { sFlowEntry 7 }	Integer32	R/NW	[ 規格 ] サンプルデータグラムで送ることができる最大データバイト数を示す。 [ 実装 ] 規格に同じ。	1
13	sFlowCollectorAddressType { sFlowEntry 8 }	InetAddressType	R/NW	[ 規格 ] コレクタの IP アドレスタイプを示す。 {ipv4(1), ipv6(2)} [ 実装 ] 規格に同じ。	1
14	sFlowCollectorAddress { sFlowEntry 9 }	InetAddress	R/NW	[ 規格 ] コレクタの IP アドレスを示す。 [ 実装 ] 規格に同じ。	1 2
15	sFlowCollectorPort { sFlowEntry 10 }	Integer32	R/NW	[ 規格 ] sFlow datagram の宛先ポートを示す。 [ 実装 ] 規格に同じ。	1 2
16	sFlowDatagramVersion { sFlowEntry 11 }	Integer32	R/NW	[ 規格 ] sFlow datagram のバージョンを示す。Version=4 をサポートする。 [ 実装 ] 規格に同じ。ただし、4 固定値とする。	1

注 1  
sFlow 統計のコンフィグレーションコマンドで設定した値になります。

注 2  
複数コレクタを設定時は一番最後に定義されているコレクタの情報が入ります。



# 4

## サポート MIB トラップ

この章ではサポート MIB のトラップについて説明しています。

---

4.1 サポートトラップおよび発行契機

---

4.2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【AX7800S】

---

4.3 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【AX5400S】

---

## 4.1 サポートトラップおよび発行契機

サポートトラップおよび発行契機を次の表に示します。

coldStart トラップ以外のトラップは、装置の起動（装置電源オンまたは運用系 BCU を再起動）時から coldStart トラップの発行契機までの間は送信しません。また、coldStart トラップの発行契機前に各トラップの発行契機が発生しても、あとから coldStart トラップと同時に各トラップの送信はしません。

表 4-1 サポートトラップおよび発行契機

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
1	coldStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更される可能性がある	<p>次に示す 1 ～ 5 の契機で、cold start trap を発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 装置を起動（装置電源オンまたは運用系 BCU を再起動）したとき。</li> <li>2. copy backup-config コマンドによってスタートアップコンフィグレーションファイルを変更したとき。</li> <li>3. IP のコンフィグレーション（config ip コマンド）を追加、削除したとき。</li> <li>4. 運用系 BCU から待機系 BCU へ系切替したとき。</li> <li>5. set calendar コマンド、または rdate コマンドで時間を変更したとき。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 の事象が発生してからログインプロンプト表示後、約 5 分後にトラップを送信します。</li> <li>2, 4 は、事象が発生してから 5 分後にトラップを送信します。</li> <li>3, 5 は、事象が発生時にトラップを送信します。</li> <li>IP のコンフィグレーション（config ip コマンド）の追加、削除とは、あるインタフェースに対して、初めて ip を定義した場合または ip の定義を削除した場合が該当します。すでに ip の定義があり、ip のパラメータを変更した場合は該当（トラップを発行）しません。</li> <li>また、ip 以外のコンフィグレーションの追加、削除も、cold start trap の発行契機の対象とはなりません。</li> <li>2, 3, 5 は、SNMP のコンフィグレーションの unlimited_coldstart_trap を設定した場合にだけ cold start trap を発行します。</li> </ul>	
2	warmStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更されない	<p>次に示す 1 ～ 2 の事象が発生した時点で、warm start trap を発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. SNMP のコンフィグレーションを追加、変更または削除したとき。</li> <li>2. snmpd（MIB を応答するプログラム）を再起動したとき。</li> </ol>	
3	linkDown	回線障害検出	cold start trap 発行後に、インタフェースの動作状態が ACTIVE（通信可能状態）から DISABLE（通信不可状態）に変化したとき。	
4	linkUp	回線障害回復	cold start trap 発行後に、インタフェースの動作状態が DISABLE（通信不可状態）から ACTIVE（通信可能状態）に変化したとき。	
5	authentication Failure	確認エラー	不正なコミュニティから SNMP パケットを受信したとき（認証エラー発生時）。	
6	egpNeighborLoss	EGP プロトコルでネイバルータとのリンクが切れた	-	×

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
7	ospfVirtNbrStateChange 【OP-OSPF(A X5400S)】	仮想リンクの隣接状態の遷移	仮想リンクにおいて、次に示す 1 ~ 4 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、仮想リンクの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。 1. Full になったとき（隣接関係確立） 2. ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り） 3. Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り） 4. Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り）	
8	ospfNbrStateChange 【OP-OSPF(A X5400S)】	OSPF の隣接状態の遷移	仮想リンク以外のインタフェースにおいて、次に示す 1 ~ 5 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、OSPF インタフェースの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。 1. Full になったとき（隣接関係確立） 2. ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り） 3. Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り） 4. Full から 2Way へ逆行したとき（代表ルータ変更による隣接関係打ち切り） 5. Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り）	
9	ospfVirtIfStateChange 【OP-OSPF(A X5400S)】	仮想リンクのインタフェース状態の遷移	次に示す 1 ~ 2 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。 1. 仮想リンクが Up したとき（仮想リンク上で OSPF 動作を開始） 2. 仮想リンクが Down したとき（通過エリアの障害や仮想リンクのコンフィグレーション削除等により、仮想リンク上で OSPF 動作を停止）	
10	ospfIfStateChange 【OP-OSPF(A X5400S)】	OSPF インタフェース状態の遷移	次に示す 1 ~ 3 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。 1. ポイント - ポイント型の OSPF インタフェースが Up したとき。 2. ブロードキャスト型インタフェースにおいて、DR, Backup, DROther 状態になったとき（代表ルータの決定や Wait タイマーのタイムアウト等） 3. OSPF インタフェース（仮想リンク除く）が Down したとき（物理的なダウンや OSPF インタフェースのコンフィグレーション削除等）	
11	ospfVirtIfConfigError 【OP-OSPF(A X5400S)】	仮想リンクで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	次に示す 1 ~ 4 のエラーパケットの受信契機で発行します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. 送信元がコンフィグレーションで指定した仮想リンクの隣接ルータでない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval）が一致していない。 4. Hello パケットまたは Database Description パケットのオプションフィールドがコンフィグレーションの定義内容と一致していない。	

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装 有無
12	ospfIfConfigError 【OP-OSPF(A X5400S)】	OSPF インタフェースで受信したパケットのコンフィギュレーションエラー	次に示す 1 ~ 5 のエラーパケットの受信契機で発行します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. OSPF ヘッダのエリア ID が OSPF パケットを受信したインタフェースに定義されているエリア ID と一致しない。 3. NBMA であるインタフェースで DR である際、未定義の相手ルータからパケットを受信したとき。 4. Hello パケットの場合、各パラメータ (HelloInterval, RouterDeadInterval, ネットマスク) が一致していない。 5. Hello パケットまたは Database Description パケットのオプションフィールドがコンフィギュレーションの定義内容と一致していない。	
13	ospfVirtIfAuthFailure 【OP-OSPF(A X5400S)】	仮想リンクで受信したパケットの認証エラー	仮想リンクにおいて、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で、発行します。	
14	ospfIfAuthFailure 【OP-OSPF(A X5400S)】	OSPF インタフェースで受信したパケットの認証エラー	仮想リンク以外のインタフェースにおいて、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で発行します。	
15	bgpEstablished 【OP-BGP】	BGP リンク確立	BGP プロトコルで FSM ( Finite State Machine ) が、Establish 状態になったとき。	
16	bgpBackwardTransitions 【OP-BGP】	BGP リンク切断	BGP プロトコルで FSM が closed 状態になったとき。	
17	risingAlarm	上方閾値を超えた	RMON のアラームの上方閾値を超えたとき。	
18	fallingAlarm	下方閾値を下回った	RMON のアラームの下方閾値を下回ったとき。	
19	vrrpTrapNewMaster	仮想ルータのマスタ通知	仮想ルータがマスタ状態に遷移したとき。	
20	vrrpTrapAuthFailure	VRRP パケット認証エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信したパケットの認証タイプが異なるとき。</li> <li>受信したパケットの認証に失敗したとき。</li> </ul>	
21	vrrpTrapProtocolError	VRRP プロトコルエラー	受信したパケットで次に示すエラーを検出したとき。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ホップリミットエラー</li> <li>バージョンエラー</li> <li>チェックサムエラー</li> <li>VRRPID エラー</li> </ul>	
22	axsOspfVirtNeighborStateChange 【OP-OSPF(A X5400S)】	仮想リンクの隣接状態の遷移	仮想リンクにおいて、次に示す 1 ~ 4 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、仮想リンクの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。 <ol style="list-style-type: none"> <li>Full になったとき ( 隣接関係確立 )。</li> <li>ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき ( Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り )。</li> <li>Full から ExStart へ逆行したとき ( シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り )。</li> <li>Full から Init へ逆行したとき ( 隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り )。</li> </ol>	

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装有無
23	axsOspfNbrStateChange 【OP-OSPF(A X5400S)】	OSPF の隣接状態の遷移	<p>仮想リンク以外のインタフェースにおいて、次に示す 1 ~ 5 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、OSPF インタフェースの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Full になったとき（隣接関係確立）</li> <li>2. ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り）</li> <li>3. Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り）</li> <li>4. Full から 2Way へ逆行したとき（代表ルータ変更による隣接関係打ち切り）</li> <li>5. Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り）</li> </ol>	
24	axsOspfVirtIfStateChange 【OP-OSPF(A X5400S)】	仮想リンクのインタフェース状態の遷移	<p>次に示す 1 ~ 2 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 仮想リンクが Up したとき（仮想リンク上で OSPF 動作を開始）</li> <li>2. 仮想リンクが Down したとき（通過エリアの障害や仮想リンクのコンフィグレーション削除等により、仮想リンク上で OSPF 動作を停止）</li> </ol>	
25	axsOspfIfStateChange 【OP-OSPF(A X5400S)】	OSPF インタフェース状態の遷移	<p>次に示す 1 ~ 3 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ポイント - ポイント型の OSPF インタフェースが Up したとき。</li> <li>2. ブロードキャスト型インタフェースにおいて、DR, Backup, DROther 状態になったとき（代表ルータの決定や Wait タイマーのタイムアウト等）</li> <li>3. OSPF インタフェース（仮想リンク除く）が Down したとき（物理的なダウンや、OSPF インタフェースのコンフィグレーション削除等）</li> </ol>	
26	axsOspfVirtIfConfigError 【OP-OSPF(A X5400S)】	仮想リンクで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	<p>次に示す 1 ~ 4 のエラーパケットの受信契機で発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。</li> <li>2. 送信元がコンフィグレーションで指定した仮想リンクの隣接ルータでない。</li> <li>3. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval）が一致していない。</li> <li>4. Hello パケットまたは Database Description パケットのオプションフィールドがコンフィグレーションの定義内容と一致していない。</li> </ol>	
27	axsOspfIfConfigError 【OP-OSPF(A X5400S)】	OSPF インタフェースで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	<p>次に示す 1 ~ 5 のエラーパケットの受信契機で発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。</li> <li>2. OSPF ヘッダのエリア ID が OSPF パケットを受信したインタフェースに定義されているエリア ID と一致しない。</li> <li>3. NBMA であるインタフェースで DR である際、未定義の相手ルータからパケットを受信したとき。</li> <li>4. Hello パケットの場合、各パラメータ（HelloInterval, RouterDeadInterval, ネットマスク）が一致していない。</li> <li>5. Hello パケットまたは Database Description パケットのオプションフィールドがコンフィグレーションの定義内容と一致していない。</li> </ol>	
28	axsOspfVirtIfAuthFailure 【OP-OSPF(A X5400S)】	仮想リンクで受信したパケットの認証エラー	<p>仮想リンクにおいて、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で発行します。</p>	

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装 有無
29	axsOspfIfAuthFailure 【OP-OSPF(A X5400S)】	OSPF インタフェースで受信したパケットの認証エラー	仮想リンク以外のインタフェースにおいて、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で発行します。	
30	axsIsisAdjacencyChange 【OP-ISIS】	IS-IS 隣接ルータ状態変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>IS-IS 隣接ルータの状態が変わったとき。</li> <li>IS-IS 隣接ルータが新たにできたとき。</li> <li>IS-IS 隣接ルータがなくなったとき。</li> </ul>	
31	axsStaticGatewayStateChange	スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態変更	IPv4 スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態が到達不可能から到達可能へ遷移したとき、または到達可能から到達不可能へ遷移したときを契機に発行します。	
32	axsStaticIpv6GatewayStateChange	スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態変更	IPv6 スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態が到達不可能から到達可能へ遷移したとき、または到達可能から到達不可能へ遷移したときを契機に発行します。	
33	axsOadpNeighborCachelastrChangeTrap	OADP 隣接ノードに関する情報が更新された。	OADP 隣接ノードに関する情報が更新された場合。	
34	ax7800sAirFanStopTrap 【AX7800S】 ax5400sAirFanStopTrap 【AX5400S】	ファンが故障した。	ファンの故障を検出した場合。	
35	ax7800sPowerSupplyFailureTrap 【AX7800S】 ax5400sPowerSupplyFailureTrap 【AX5400S】	電源が故障した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実装された電源のうちひとつでも異常が発生した場合。</li> <li>装置から電源を抜いた場合。</li> </ul>	
36	ax7800sLoginSuccessTrap 【AX7800S】 ax5400sLoginSuccessTrap 【AX5400S】	装置利用者がログインに成功した。	console , aux , telnet , rlogin , ftp によるログインに成功した場合。	
37	ax7800sLoginFailureTrap 【AX7800S】 ax5400sLoginFailureTrap 【AX5400S】	装置利用者のログインが失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>console , aux , telnet , rlogin , ftp によるログインにおいて、同一セッションで 3 回の認証に失敗したときに 1 回送信する。</li> <li>リモートアクセス制限による切断や、login: または Password: プロンプト表示状態でのタイムアウトや強制切断時には送信しない (login: プロンプト出力状態での Enter キーだけ入力も送信しない)。</li> </ul>	
38	ax7800sLogoutTrap 【AX7800S】 ax5400sLogoutTrap 【AX5400S】	装置利用者がログアウトした。	console , aux , telnet , rlogin , ftp によるログアウトが成功した場合。	

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装 有無
39	ax7800sMemoryUsageTrap 【AX7800S】 ax5400sMemoryUsageTrap 【AX5400S】	使用可能なメモリが少なくなった。	使用可能なメモリが下限値を下回った場合。	
40	ax7800sSystemMsgTrap 【AX7800S】 ax5400sSystemMsgTrap 【AX5400S】	システムメッセージ出力	システムメッセージを出力したとき。	
41	ax7800sStandbySystemUpTrap 【AX7800S】 ax5400sStandbySystemUpTrap 【AX5400S】	待機系 BCU 正常再起動	BCU 二重化装置で、Cold Start 以降に待機系 BCU が正常動作中であると判断したとき（運用状態が simplex でない場合に、待機系 BCU がアップしたとき、または CSW 障害の回復によって待機系 BCU がアップしたときに発行します）。	
42	ax7800sStandbySystemDownTrap 【AX7800S】 ax5400sStandbySystemDownTrap 【AX5400S】	待機系 BCU 異常検出	BCU 二重化装置で、Cold Start 以降に待機系 BCU が障害であると判断したとき（運用状態が simplex でない場合に、待機系 BCU がダウンしたとき、または待機系で CSW 障害を検出したときに発行します）。	
43	ax7800sTemperatureTrap 【AX7800S】 ax5400sTemperatureTrap 【AX5400S】	温度状態の遷移	BCU の監視している温度が、正常、注意、警告、異常の各状態に遷移したとき。	
44	ax7800sGsrpStatusTransitionTrap 【AX7800S】 ax5400sGsrpStatusTransitionTrap 【AX5400S】	GSRP の VLAN グループ状態の遷移通知	GSRP の VLAN グループの状態（マスタ、バックアップ、バックアップ（マスタ待ち）、バックアップ（隣接不明）、バックアップ（固定））が、各状態間で遷移したとき。ただし、バックアップ・バックアップ（マスタ待ち）間の遷移を除く。	
45	ax7800sFrameErrorReceiveTrap 【AX7800S】 ax5400sFrameErrorReceiveTrap 【AX5400S】	フレーム受信エラーが発生	フレーム受信エラーが発生した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で行うことができます。	
46	ax7800sFrameErrorSendTrap 【AX7800S】 ax5400sFrameErrorSendTrap 【AX5400S】	フレーム送信エラーが発生	フレーム送信エラーが発生した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で行うことができます。	

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	トラップの種類	意味	発行契機	実装 有無
47	ax7800sEfmoamUldPortInactivateTrap 【AX7800S】 ax5400sEfmoamUldPortInactivateTrap 【AX5400S】	片方向リンク障害検出によるポート close	片方向リンク障害を検出し、ポートを close した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoamで行うことができます。	
48	ax7800sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX7800S】 ax5400sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX5400S】	ループ検出によるポート close	ループ状態を検出し、ポートを close した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoamで行うことができます。	
49	axsPimNeighborFound	PIM 隣接ノードの検出	PIM 隣接ノードの検出契機で発行します。 検出した隣接ノードの IP アドレスを、付加する MIB (pimNeighborIfIndex) のオブジェクト識別子に格納して通知します。	
50	axsPimNeighborLoss	PIM 隣接ノードの喪失	PIM 隣接ノードの喪失契機で発行します。 喪失した隣接ノードの IP アドレスを、付加する MIB (pimNeighborIfIndex) のオブジェクト識別子に格納して通知します。 ・ PIM 隣接ノードタイムアウト時 ・ Holdtime 値 0 の Hello パケット受信時	

( 凡例 )

- : 本装置でサポート ( 応答 ) するトラップを示しています。
- × : 本装置でサポート ( 応答 ) しないトラップを示しています。
- : 該当しません。

## 4.2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【AX7800S】

サポートトラップ -PDU 内パラメータについて、SNMPv1 の場合を「表 4-2 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)」に、SNMPv2/SNMPv3 の場合を「表 4-3 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2c/SNMPv3 の場合)」に示します。

表 4-2 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)

項 番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
1	coldStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.2	特定の IP アドレス	0	0	sysUpTime の値	なし
2	warmStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.2	特定の IP アドレス	1	0	sysUpTime の値	なし
3	linkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.2	特定の IP アドレス	2	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグ レーションコマンド の snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場 合は、下記の MIB に なります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.2	特定の IP アドレス	3	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグ レーションコマンド の snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場 合は、下記の MIB に なります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authenticationFailure	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.2	特定の IP アドレス	4	0	sysUpTime の値	なし
6	ospfVirtIfStateChange	ospfTraps の オブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
7	ospfNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
8	ospfVirtNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState
9	ospfIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
10	ospfVirtIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
11	ospfIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
12	ospfVirtIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
13	ospfIfStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
14	bgpEstablished 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState
15	bgpBackwardTransitions 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
16	risingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
17	fallingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
18	vrrpTrapNewMaster	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	vrrpOperationsMasterIpAddress, vrrpTrapNewMasterReason
19	vrrpTrapAuthFailure	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	vrrpTrapPacketSrc, vrrpTrapAuthErrorType
20	vrrpTrapProtoError	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoErrorReason
21	axsOspfVirtIfStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState
22	axsOspfNbrStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState
23	axsOspfVirtNbrStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
24	axsOspfIfConfigError	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
25	axsOspfVirtIfConfigError	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
26	axsOspfIfAuthFailure	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
27	axsOspfVirtIfAuthFailure	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
28	axsOspfIfStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfIfState
29	axsIsisAdjacencyChange 【OP-ISIS】	axsIsisNotifications のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.3 7.2	特定の IP アドレス	6	17	sysUpTime の値	axsIsisSysInstance axsIsisSysLevelIndex axsIsisCircIfIndex axsIsisPduLspId axsIsisAdjState

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
30	axsStaticGatewayStateChangeTrap	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.3.8.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
31	axsStaticIpv6GatewayStateChangeTrap	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.3.8.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState
32	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	axsOadpMIBNotifications のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.7.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCacheLastChange
33	ax7800sAirFanStopTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	8	sysUpTime の値	なし
34	ax7800sPowerSupplyFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	9	sysUpTime の値	なし
35	ax7800sLoginSuccessTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	10	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
36	ax7800sLoginFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	11	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
37	ax7800sLogoutTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	12	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
38	ax7800sMemoryUsageTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	13	sysUpTime の値	なし

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
39	ax7800sSystemMsgTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ax7800sSystemMsgType ax7800sSystemMsgTimeStamp ax7800sSystemMsgLevel ax7800sSystemMsgEventPoint ax7800sSystemMsgEventInterfaceID ax7800sSystemMsgEventCode ax7800sSystemMsgAdditionalCode ax7800sSystemMsgText
40	ax7800sStandbySystemUpTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ax7800sChassisIndex ax7800sBcuBoardIndex
41	ax7800sStandbySystemDownTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ax7800sChassisIndex ax7800sBcuBoardIndex
42	ax7800sTemperatureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ax7800sChassisIndex ax7800sBcuBoardIndex ax7800sTemperatureStatusIndex ax7800sTemperatureStatusDescr ax7800sTemperatureStatusValue ax7800sTemperatureState
43	ax7800sGsrpStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
44	ax7800sFrameErrorReceiveTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	18	sysUpTime の値	ifIndex
45	ax7800sFrameErrorSendTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	19	sysUpTime の値	ifIndex
46	ax7800sEfmoamUldPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	29	sysUpTime の値	ifIndex
47	ax7800sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.2	特定の IP アドレス	6	30	sysUpTime の値	ifIndex

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
48	axsPimNeighborFound	axsPimMIB Objects のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.2.4.1	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	pimNeighborIfIndex
49	axsPimNeighborLoss	axsPimMIB Objects のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.2.4.1	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	pimNeighborIfIndex

## 注

コンフィグレーションに SNMP の agent-addr が設定されている場合は、その IP アドレスを使用します。SNMP の agent-addr が設定されていない場合は、次のどちらかになります。

- ローカルアドレスが定義されている場合は、その IP アドレスを使用します（ローカルアドレスは、JP1/Cm2 からの管理可能）。
- ローカルアドレスが定義されていない場合は、最若番ポートの IP アドレスを使用します。

表 4-3 サポートトラップ-PDU 内パラメーター一覧（SNMPv2c/SNMPv3 の場合）

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
1	coldStart	sysUpTime の値	coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1)	なし
2	warmStart	sysUpTime の値	warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2)	なし
3	linkDown	sysUpTime の値	linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、下記の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
4	linkUp	sysUpTime の値	linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、下記の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authentication Failure	sysUpTime の値	authenticationFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5)	なし
6	ospfVirtIfStateChange	sysUpTime の値	ospfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.1)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState
7	ospfNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.2)	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
8	ospfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.3)	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState
9	ospfIfConfigError	sysUpTime の値	ospfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.4)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
10	ospfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	ospfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.5)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
11	ospfIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.6)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
12	ospfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.7)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
13	ospfIfStateChange	sysUpTime の値	ospfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.16)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
14	bgpEstablished 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpEstablished のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.1)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
15	bgpBackwardTransitions 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpBackwardTransitions のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.2)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
16	risingAlarm	sysUpTime の値	risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1)	alarmIndex,alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
17	fallingAlarm	sysUpTime の値	fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
18	vrrpTrapNewMaster	sysUpTime の値	vrrpTrapNewMaster のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.1)	vrrpOperationsMasterIpAddr, vrrpTrapNewMasterReason
19	vrrpTrapAuthFailure	sysUpTime の値	vrrpTrapAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.2)	vrrpTrapPacketSrc, vrrpTrapAuthErrorType
20	vrrpTrapProtoError	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.3)	vrrpTrapProtoErrReason
21	axsOspfVirtIfStateChange	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.1)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState
22	axsOspfNbrStateChange	sysUpTime の値	axsOspfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.2)	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddr, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState
23	axsOspfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.3)	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState
24	axsOspfIfConfigError	sysUpTime の値	axsOspfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.4)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
25	axsOspfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.5)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
26	axsOspfIfAuthFailure	sysUpTime の値	axsOspfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.6)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
27	axsOspfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.7)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
28	axsOspfIfStateChange	sysUpTime の値	axsOspfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.16)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfIfState
29	axsIsisAdjacencyChange 【OP-ISIS】	sysUpTime の値	axsIsisAdjacencyChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.2.0.17)	axsIsisSysInstance axsIsisSysLevelIndex axsIsisCircIfIndex axsIsisPduLspId axsIsisAdjState
30	axsStaticGatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticGatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2.0.1)	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
31	axsStaticIpv6GatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticIpv6GatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2.0.2)	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState
32	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.2.0.1)	axsOadpNeighborCacheLastChange
33	ax7800sAirFanStopTrap	sysUpTime の値	ax7800sAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.8)	なし
34	ax7800sPowerSupplyFailureTrap	sysUpTime の値	ax7800sPowerSupplyFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.9)	なし
35	ax7800sLoginSuccessTrap	sysUpTime の値	ax7800sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.10)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
36	ax7800sLoginFailureTrap	sysUpTime の値	ax7800sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.11)	axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
37	ax7800sLogoutTrap	sysUpTime の値	ax7800sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.12)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
38	ax7800sMemoryUsageTrap	sysUpTime の値	ax7800sMemoryUsageTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.13)	なし
39	ax7800sSystemMsgTrap	sysUpTime の値	ax7800sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.1)	ax7800sSystemMsgType ax7800sSystemMsgTimeStamp ax7800sSystemMsgLevel ax7800sSystemMsgEventPoint ax7800sSystemMsgEventInterfaceID ax7800sSystemMsgEventCode ax7800sSystemMsgAdditionalCode ax7800sSystemMsgText
40	ax7800sStandbySystemUpTrap	sysUpTime の値	ax7800sStandbySystemUpTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.2)	ax7800sChassisIndex ax7800sBcuBoardIndex
41	ax7800sStandbySystemDownTrap	sysUpTime の値	ax7800sStandbySystemDownTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.3)	ax7800sChassisIndex ax7800sBcuBoardIndex
42	ax7800sTemperatureTrap	sysUpTime の値	ax7800sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.4)	ax7800sChassisIndex ax7800sBcuBoardIndex ax7800sTemperatureStatusIndex ax7800sTemperatureStatusDescr ax7800sTemperatureStatusValue ax7800sTemperatureState
43	ax7800sGsrpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax7800sGsrpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.6)	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
44	ax7800sFrameErrorReceiveTrap	sysUpTime の値	ax7800sFrameErrorReceiveTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.18)	ifIndex
45	ax7800sFrameErrorSendTrap	sysUpTime の値	ax7800sFrameErrorSendTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.19)	ifIndex
46	ax7800sEfmoamUdldPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax7800sEfmoamUdldPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.29)	ifIndex
47	ax7800sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax7800sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.2.0.30)	ifIndex

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
48	axsPimNeighborFound	sysUpTime の値	axsPimNeighborFound のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.24.1.0.1)	pimNeighborIfIndex
49	axsPimNeighborLoss	sysUpTime の値	axsPimNeighborLoss のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.24.1.0.2)	pimNeighborIfIndex

## 4.3 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【AX5400S】

サポートトラップ -PDU 内パラメータについて、SNMPv1 の場合を「表 4-4 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)」に、SNMPv2/SNMPv3 の場合を「表 4-5 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2c/SNMPv3 の場合)」に示します。

表 4-4 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)

項 番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
1	coldStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	0	0	sysUpTime の値	なし
2	warmStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	1	0	sysUpTime の値	なし
3	linkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	2	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、下記の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	3	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、下記の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authenticationFailure	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	4	0	sysUpTime の値	なし
6	ospfVirtIfStateChange 【OP-OSPF(AX5400S)】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
7	ospfNbrStateChange 【OP-OSPF(AX5400S)】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
8	ospfVirtNbrStateChange 【OP-OSPF(AX5400S)】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState
9	ospfIfConfigError 【OP-OSPF(AX5400S)】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
10	ospfVirtIfConfigError 【OP-OSPF(AX5400S)】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
11	ospfIfAuthFailure 【OP-OSPF(AX5400S)】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
12	ospfVirtIfAuthFailure 【OP-OSPF(AX5400S)】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
13	ospfIfStateChange 【OP-OSPF(AX5400S)】	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
14	bgpEstablished 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState
15	bgpBackwardTransitions 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState
16	risingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
17	fallingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
18	vrrpTrapNewMaster	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	vrrpOperationsMasterIpAddr, vrrpTrapNewMasterReason
19	vrrpTrapAuthFailure	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	vrrpTrapPacketSrc, vrrpTrapAuthErrorType
20	vrrpTrapProtoError	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoErrReason
21	axsOspfVirtIfStateChange 【OP-OSPF(AX5400S)】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState
22	axsOspfNbrStateChange 【OP-OSPF(AX5400S)】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddr, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState
23	axsOspfVirtNbrStateChange 【OP-OSPF(AX5400S)】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState
24	axsOspfIfConfigError 【OP-OSPF(AX5400S)】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
25	axsOspfVirtIfConfigError 【OP-OSPF(AX5400S)】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
26	axsOspfIfAuthFailure 【OP-OSPF(AX5400S)】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
27	axsOspfVirtIfAuthFailure 【OP-OSPF(AX5400S)】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
28	axsOspfIfStateChange 【OP-OSPF(AX5400S)】	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfIfState
29	axsIsisAdjacencyChange 【OP-ISIS】	axsIsisNotifications のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.3.7.2	特定の IP アドレス	6	17	sysUpTime の値	axsIsisSysInstance axsIsisSysLevelIndex axsIsisCircIfIndex axsIsisPduLspId axsIsisAdjState
30	axsStaticGatewayStateChangeTrap	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.3.8.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
31	axsStaticIpv6GatewayStateChangeTrap	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.3.8.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
32	axsOadpNeighborCachelastChangeTrap	axsOadpMI BNotificatio ns のオブ ジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2 1839.2.2.1.7 .2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCac heLastChange
33	ax5400sAirFanStopTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	8	sysUpTime の値	なし
34	ax5400sPowerSupplyFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	9	sysUpTime の値	なし
35	ax5400sLoginSuccessTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	10	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
36	ax5400sLoginFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	11	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginFailureTime , axsLoginLocation, axsLoginLine
37	ax5400sLogoutTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	12	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
38	ax5400sMemoryUsageTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	13	sysUpTime の値	なし
39	ax5400sSystemMsgTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ax5400sSystemMsgT ype ax5400sSystemMsgTi meStamp ax5400sSystemMsgL evel ax5400sSystemMsgE ventPoint ax5400sSystemMsgE ventInterfaceID ax5400sSystemMsgE ventCode ax5400sSystemMsgA dditionalCode ax5400sSystemMsgT ext
40	ax5400sStandbySystemUpTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ax5400sChassisIndex ax5400sBcuBoardInd ex

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
41	ax5400sStandbySystemDownTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ax5400sChassisIndex ax5400sBcuBoardIndex
42	ax5400sTemperatureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ax5400sChassisIndex ax5400sBcuBoardIndex ax5400sTemperatureStatusIndex ax5400sTemperatureStatusDescr ax5400sTemperatureStatusValue ax5400sTemperatureState
43	ax5400sGsrpStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
44	ax5400sFrameErrorReceiveTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	18	sysUpTime の値	ifIndex
45	ax5400sFrameErrorSendTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	19	sysUpTime の値	ifIndex
46	ax5400sEfmoamUldPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	29	sysUpTime の値	ifIndex
47	ax5400sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.3	特定の IP アドレス	6	30	sysUpTime の値	ifIndex
48	axsPimNeighborFound	axsPimMIB Objects のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.2.4.1	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	pimNeighborIfIndex
49	axsPimNeighborLoss	axsPimMIB Objects のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.2.4.1	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	pimNeighborIfIndex

注 コンフィグレーションに SNMP の agent-addr が設定されている場合は、その IP アドレスを使用します。

SNMP の agent-addr が設定されていない場合は、次のどちらかになります。

- ローカルアドレスが定義されている場合は、その IP アドレスを使用します（ローカルアドレスは、JP1/Cm2 から管理可能）。
- ローカルアドレスが定義されていない場合は、最若番ポートの IP アドレスを使用します。

表 4-5 サポートトラップ -PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2c/SNMPv3 の場合)

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
1	coldStart	sysUpTime の値	coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1)	なし
2	warmStart	sysUpTime の値	warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2)	なし
3	linkDown	sysUpTime の値	linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、次の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	sysUpTime の値	linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp または default で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、次の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authentication Failure	sysUpTime の値	authenticationFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5)	なし
6	ospfVirtIfStateChange 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	ospfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.1)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState
7	ospfNbrStateChange 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	ospfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.2)	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
8	ospfVirtNbrStateChange 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	ospfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.3)	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState
9	ospfIfConfigError or 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	ospfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.4)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
10	ospfVirtIfConfigError 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	ospfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.5)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
11	ospfIfAuthFailure 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	ospfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.6)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
12	ospfVirtIfAuthFailure 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	ospfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.7)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
13	ospfIfStateChange 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	ospfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.16)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
14	bgpEstablished 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpEstablished のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.1)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
15	bgpBackwardTransitions 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpBackwardTransitions のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.2)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
16	risingAlarm	sysUpTime の値	risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
17	fallingAlarm	sysUpTime の値	fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
18	vrrpTrapNewMaster	sysUpTime の値	vrrpTrapNewMaster のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.1)	vrrpOperationsMasterIpAddress, vrrpTrapNewMasterReason
19	vrrpTrapAuthFailure	sysUpTime の値	vrrpTrapAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.2)	vrrpTrapPacketSrc, vrrpTrapAuthErrorType
20	vrrpTrapProtoError	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.3)	vrrpTrapProtoErrReason
21	axsOspfVirtIfStateChange 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.1)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
22	axsOspfNbrSta teChange 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	axsOspfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14. 16.2.0.2)	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState
23	axsOspfVirtNb rStateChange 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrStateChan ge のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14. 16.2.0.3)	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState
24	axsOspflfConfi gError 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	axsOspflfConfigError のオ ブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14. 16.2.0.4)	axsOspflfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspflfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
25	axsOspfVirtIfC onfigError 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14. 16.2.0.5)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
26	axsOspflfAuth Failure 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	axsOspflfAuthFailure の オブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14. 16.2.0.6)	axsOspflfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspflfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
27	axsOspfVirtIfA uthFailure 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14. 16.2.0.7)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
28	axsOspflfState Change 【OP-OSPF(AX 5400S)】	sysUpTime の値	axsOspflfStateChange の オブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14. 16.2.0.16)	axsOspflfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspflfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspflfState
29	axsIsisAdjacen cyChange 【OP-ISIS】	sysUpTime の値	axsIsisAdjacencyChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37. 2.0.17)	axsIsisSysInstance axsIsisSysLevelIndex axsIsisCircIfIndex axsIsisPduLspId axsIsisAdjState
30	axsStaticGate wayStateChan ge	sysUpTime の値	axsStaticGatewayStateCh ange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38. 2.0.1)	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
31	axsStaticIpv6G atewayStateCh ange	sysUpTime の値	axsStaticIpv6GatewaySta teChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38. 2.0.2)	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState

#### 4. サポート MIB トラップ

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
32	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.2.0.1)	axsOadpNeighborCacheLastChange
33	ax5400sAirFanStopTrap	sysUpTime の値	ax5400sAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.8)	なし
34	ax5400sPowerSupplyFailureTrap	sysUpTime の値	ax5400sPowerSupplyFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.9)	なし
35	ax5400sLoginSuccessTrap	sysUpTime の値	ax5400sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.10)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
36	ax5400sLoginFailureTrap	sysUpTime の値	ax5400sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.11)	axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
37	ax5400sLogoutTrap	sysUpTime の値	ax5400sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.12)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
38	ax5400sMemoryUsageTrap	sysUpTime の値	ax5400sMemoryUsageTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.13)	なし
39	ax5400sSystemMsgTrap	sysUpTime の値	ax5400sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.1)	ax5400sSystemMsgType ax5400sSystemMsgTimeStamp ax5400sSystemMsgLevel ax5400sSystemMsgEventPoint ax5400sSystemMsgEventInterfaceID ax5400sSystemMsgEventCode ax5400sSystemMsgAdditionalCode ax5400sSystemMsgText
40	ax5400sStandbySystemUpTrap	sysUpTime の値	ax5400sStandbySystemUpTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.2)	ax5400sChassisIndex ax5400sBcuBoardIndex
41	ax5400sStandbySystemDownTrap	sysUpTime の値	ax5400sStandbySystemDownTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.3)	ax5400sChassisIndex ax5400sBcuBoardIndex
42	ax5400sTemperatureTrap	sysUpTime の値	ax5400sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.4)	ax5400sChassisIndex ax5400sBcuBoardIndex ax5400sTemperatureStatusIndex ax5400sTemperatureStatusDescr ax5400sTemperatureStatusValue ax5400sTemperatureState

項番	種類	トラップ PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~ ]
43	ax5400sGsrpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax5400sGsrpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.6)	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
44	ax5400sFrameErrorReceiveTrap	sysUpTime の値	ax5400sFrameErrorReceiveTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.18)	ifIndex
45	ax5400sFrameErrorSendTrap	sysUpTime の値	ax5400sFrameErrorSendTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.19)	ifIndex
46	ax5400sEfmoamUddPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax5400sEfmoamUddPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.29)	ifIndex
47	ax5400sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax5400sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.3.0.30)	ifIndex
48	axsPimNeighborFound	sysUpTime の値	axsPimNeighborFound のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.24.1.0.1)	pimNeighborIfIndex
49	axsPimNeighborLoss	sysUpTime の値	axsPimNeighborLoss のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.24.1.0.2)	pimNeighborIfIndex



# 付録

---

## 付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

## 付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

本装置で使用するプライベート MIB，HP プライベート MIB および InMon プライベート MIB について，MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

### 付録 A.1 プライベート MIB

プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

#### (1) axsStats グループ

axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-1 axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1
axsPhysStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1
axsPhysStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1
axsPhysStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1
axsPhysStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.1
axsPhysStatsIfDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.2
axsPhysStatsIfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.3
axsPhysStatsInFCs	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.4
axsPhysStatsInAborts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.5
axsPhysStatsOverrun	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.6
axsPhysStatsUnderrun	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.7
axsPhysStatsInOddbits	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.8
axsPhysStatsInShortfrms	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.9
axsPhysStatsSendTimeout	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.10
axsPhysStatsOutAborts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.11
axsPhysStatsInLongfrms	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.1.1.1.12
axsSonetStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3
axsSonetSectionStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.1
axsSonetSectionStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.1.1
axsSonetSectionStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.1.1.1
axsSonetSectionStatsLOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.1.1.2
axsSonetSectionStatsLOF	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.1.1.3
axsSonetSectionStatsOOF	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.1.1.4
axsSonetSectionStatsBIP8	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.1.1.5
axsSonetSectionStatsB2EBER	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.1.1.6
axsSonetSectionStatsB2SD	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.1.1.7
axsSonetLineStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2
axsSonetLineStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsSonetLineStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2.1.1
axsSonetLineStatsAIS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2.1.2
axsSonetLineStatsRDI	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2.1.3
axsSonetLineStatsBIP24	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2.1.4
axsSonetLineStatsFEBE	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2.1.5
axsSonetLineStatsBIP384	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2.1.6
axsSonetLineStatsBIP1536	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2.1.7
axsSonetLineStatsREI	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.2.1.8
axsSonetPathStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3
axsSonetPathStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1
axsSonetPathStatsIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.1
axsSonetPathStatsLOP	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.2
axsSonetPathStatsAIS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.3
axsSonetPathStatsRDI	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.4
axsSonetPathStatsBIP8	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.5
axsSonetPathStatsFEBE	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.6
axsSonetPathStatsREI	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.7
axsSonetRDIPathStatsAISLOP	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.8
axsSonetRDIPathStatsUNEQ	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.9
axsSonetRDIPathStatsPLM	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.10
axsSonetPathStatsUNEQ	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.11
axsSonetPathStatsPLM	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.3.3.1.12
axsIfStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4
axsIfStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1
axsIfStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1
axsIfStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.1
axsIfStatsName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.2
axsIfStatsInMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.3
axsIfStatsInUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.4
axsIfStatsInMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.5
axsIfStatsInBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.6
axsIfStatsOutMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.7
axsIfStatsOutUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.8
axsIfStatsOutMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.9
axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.10
axsIfStatsHighSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.11
axsQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6
axsEtherTxQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1
axsEtherTxQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1
axsEtherTxQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsEtherTxQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.1
axsEtherTxQoSStatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.2
axsEtherTxQoSStatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.3
axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.4
axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.5
axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.6
axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.7
axsEtherTxQoSStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2
axsEtherTxQoSStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1
axsEtherTxQoSStatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.1
axsEtherTxQoSStatsQueueQueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.2
axsEtherTxQoSStatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.3
axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.4
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.5
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.6
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.7
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.8
axsEthShaper	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4
axsEthShaperStatsFlowOtherFrmTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4.3
axsEthShaperStatsFlowOtherFrmEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4.3.1
axsEthShaperStatsFlowOtherFrmNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4.3.1.1
axsEthShaperStatsFlowOtherFrmLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4.3.1.2
axsEthShaperStatsFlowOtherFrmOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4.3.1.3
axsEthShaperStatsFlowOtherFrmOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4.3.1.4
axsEthShaperStatsFlowOtherFrmDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4.3.1.5
axsEthShaperStatsFlowOtherFrmDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.4.3.1.6
axsEthShaperAgQue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5
axsEthShaperAgQueStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.1
axsEthShaperAgQueStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.1.1
axsEthShaperAgQueStatsNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.1.1.1
axsEthShaperAgQueStatsLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.1.1.2
axsEthShaperAgQueStatsAgNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.1.1.3
axsEthShaperAgQueStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.1.1.4
axsEthShaperAgQueStatsTotalOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.1.1.5
axsEthShaperAgQueStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.1.1.6
axsEthShaperAgQueStatsTotalDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.1.1.7
axsEthShaperAgQueStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2
axsEthShaperAgQueStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2.1
axsEthShaperAgQueStatsQueueNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2.1.1
axsEthShaperAgQueStatsQueueLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axsEthShaperAgQueStatsQueueAgNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2.1.3
axsEthShaperAgQueStatsQueueQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2.1.4
axsEthShaperAgQueStatsQueueOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2.1.5
axsEthShaperAgQueStatsQueueOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2.1.6
axsEthShaperAgQueStatsQueueDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2.1.7
axsEthShaperAgQueStatsQueueDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.2.1.8
axsEthShaperDefAgQueStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.3
axsEthShaperDefAgQueStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.3.1
axsEthShaperDefAgQueStatsNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.3.1.1
axsEthShaperDefAgQueStatsLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.3.1.2
axsEthShaperDefAgQueStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.3.1.3
axsEthShaperDefAgQueStatsTotalOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.3.1.4
axsEthShaperDefAgQueStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.3.1.5
axsEthShaperDefAgQueStatsTotalDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.3.1.6
axsEthShaperDefAgQueStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.4
axsEthShaperDefAgQueStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.4.1
axsEthShaperDefAgQueStatsQueueNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.4.1.1
axsEthShaperDefAgQueStatsQueueLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.4.1.2
axsEthShaperDefAgQueStatsQueueQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.4.1.3
axsEthShaperDefAgQueStatsQueueOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.4.1.4
axsEthShaperDefAgQueStatsQueueOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.4.1.5
axsEthShaperDefAgQueStatsQueueDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.4.1.6
axsEthShaperDefAgQueStatsQueueDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.5.4.1.7
axsDHCP	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10
axsDHCPAddrValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10.1
axsDHCPFreeAddrValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10.2
axsVlanStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11
axsVlanStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1
axsVlanStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1.1
axsVlanStatsVlanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1.1.1
axsVlanStatsPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1.1.2
axsVlanStatsInOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1.1.3
axsVlanStatsInFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1.1.4
axsVlanStatsInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1.1.5
axsVlanStatsOutOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1.1.6
axsVlanStatsOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1.1.7
axsVlanStatsOutDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.11.1.1.8
axsIpStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.12
axsIpNullInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.12.1
axsIpv6NullInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.12.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axsIpPimRegisterDiscards <b>【OP-MLT】</b>	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.12.3

## (2) axsGsrpMIB グループ

axsGsrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-2 axsGsrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsGsrp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4
axsGsrpGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1
axsGsrpGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1
axsGsrpGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.1
axsGsrpGroupRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.2
axsGsrpMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.3
axsGsrpAdvertiseHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.4
axsGsrpAdvertiseInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.5
axsGsrpSelectionPattern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.6
axsGsrpLayer3Redundancy	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.7
axsGsrpVlanGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2
axsGsrpVlanGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1
axsGsrpVlanGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.1
axsGsrpVlanGroupRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.2
axsGsrpState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.3
axsGsrpPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.4
axsGsrpActivePorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.5
axsGsrpTransitionToMasterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.6
axsGsrpTransitionFromMasterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.7
axsGsrpLastTransitionTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.8
axsGsrpVirtualMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.9
axsGsrpNeighborGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3
axsGsrpNeighborGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1
axsGsrpNeighborGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.1
axsGsrpNeighborMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.2
axsGsrpNeighborAdvertiseHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.3
axsGsrpNeighborAdvertiseInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.4
axsGsrpNeighborSelectionPattern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.5
axsGsrpNeighborVlanGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4
axsGsrpNeighborVlanGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1
axsGsrpNeighborVlanGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.1
axsGsrpNeighborState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.2
axsGsrpNeighborPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsGsrpNeighborActivePorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.4

### (3) axsFdb グループ

axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-3 axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFdb	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5
axsFdbCounterTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1
axsFdbCounterEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1
axsFdbCounterNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.1
axsFdbCounterLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.2
axsFdbCounterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.3
axsFdbCounterType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.4
axsFdbCounterLimits	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.5

### (4) axsVlan グループ

axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-4 axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6
axsVlanBridge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1
axsVlanBridgeBase	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
axsVBBaseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1
axsVBBaseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1
axsVBBaseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.1
axsVBBaseBridgeAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.2
axsVBBaseNumPorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.3
axsVBBaseType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.4
axsVBBaseVlanIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.5
axsVBBaseVlanType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.6
axsVBBaseVlanID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.7
axsVBBaseAssociatedPrimaryVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.8
axsVBBaseIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.9
axsVBBaseLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.10
axsVBBasePrivateVlanType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.11
axsVBBasePortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2
axsVBBasePortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1
axsVBBasePortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVBBasePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.2
axsVBBasePortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.3
axsVBBasePortCircuit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.4
axsVBBasePortDelayExceededDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.5
axsVBBasePortMtuExceededDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.6
axsVBBasePortState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.7
axsVBBasePortTaggedState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.8
axsVBBasePortTranslatedTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.9
axsVlanBridgeStp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2
axsVBStpTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1
axsVBStpEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1
axsVBStpIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.1
axsVBStpProtocolSpecification	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.2
axsVBStpPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.3
axsVBStpTimeSinceTopologyChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.4
axsVBStpTopChanges	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.5
axsVBStpDesignatedRoot	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.6
axsVBStpRootCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.7
axsVBStpRootPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.8
axsVBStpMaxAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.9
axsVBStpHelloTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.10
axsVBStpHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.11
axsVBStpForwardDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.12
axsVBStpBridgeMaxAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.13
axsVBStpBridgeHelloTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.14
axsVBStpBridgeForwardDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.15
axsVBStpPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2
axsVBStpPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1
axsVBStpPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.1
axsVBStpPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.2
axsVBStpPortPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.3
axsVBStpPortState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.4
axsVBStpPortEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.5
axsVBStpPortPathCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.6
axsVBStpPortDesignatedRoot	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.7
axsVBStpPortDesignatedCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.8
axsVBStpPortDesignatedBridge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.9
axsVBStpPortDesignatedPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.10
axsVBStpPortForwardTransitions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.11
axsVlanBridgeTp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVBTpTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1
axsVBTpEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1
axsVBTpIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.1
axsVBTpLearnedEntryDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.2
axsVBTpAgingTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.3
axsVBTpFdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2
axsVBTpFdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1
axsVBTpFdbIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.1
axsVBTpFdbAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.2
axsVBTpFdbPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.3
axsVBTpFdbStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.4
axsVBTpPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3
axsVBTpPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1
axsVBTpPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.1
axsVBTpPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.2
axsVBTpPortMaxInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.3
axsVBTpPortInFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.4
axsVBTpPortOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.5
axsVBTpPortInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.6
axsVlanBridgeStatic	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5
axsVBStaticTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1
axsVBStaticEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1
axsVBStaticIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.1
axsVBStaticAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.2
axsVBStaticReceivePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.3
axsVBStaticAllowedToGoTo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.4
axsVBStaticStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.5
axsVlanBridgeMaxVlans	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.101
axsVlanBridgeMaxSpans	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.102
axsVlanTagTranslation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10
axsVlanTagTranslationTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1
axsVlanTagTranslationEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1
axsVlanTagTranslationVlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.1
axsVlanTagTranslationTranslatedId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.2
axsVlanTagTranslationPorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.3

## (5) axsOadp グループ

axsOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-5 axsOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOadp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7
axsOadpMIBObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1
axsOadpGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1
axsOadpGlobalActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.1
axsOadpGlobalCdpActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.2
axsOadpGlobalMessageInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.3
axsOadpGlobalHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.4
axsOadpGlobalCacheLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.5
axsOadpGlobalName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.6
axsOadpGlobalNameType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.7
axsOadpPortInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2
axsOadpPortConfigTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1
axsOadpPortConfigEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1.1
axsOadpPortConfigIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1.1.1
axsOadpPortConfigActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1.1.2
axsOadpNeighborInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3
axsOadpNeighborTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1
axsOadpNeighborEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1
axsOadpIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.1
axsOadpTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.2
axsOadpNeighborIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.3
axsOadpNeighborTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.4
axsOadpNeighborVendorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.5
axsOadpNeighborSNMPAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.6
axsOadpNeighborSNMPAgentAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.7
axsOadpNeighborDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.8
axsOadpNeighborDeviceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.9
axsOadpNeighborSlotPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.10
axsOadpNeighborIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.11
axsOadpNeighborIfSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.12
axsOadpNeighborDeviceType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.13
axsOadpNeighborService	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.14
axsOadpNeighborVTPMgmtDomain	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.15
axsOadpNeighborNativeVLAN	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.16
axsOadpNeighborDuplex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.17
axsOadpNeighborApplianceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.18
axsOadpNeighborVlanID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.19
axsOadpNeighborPowerConsumption	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.20
axsOadpNeighborMTU	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.21

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOadpNeighborSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.22
axsOadpNeighborSysObjectID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.23
axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.24
axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.25
axsOadpNeighborPhysLocation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.26
axsOadpNeighborCacheLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.27
axsOadpNeighborIfHighSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.28

## (6) axsFlow グループ

axsFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-6 axsFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowResources	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2
axsFlowResourcesSystemUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.1
axsFlowResourcesSystemFree	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.2
axsFlowResourcesSystemMax	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.3
axsFlowResourcesSystemNetflowUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.4
axsFlowResourcesSystemPolicyUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.5
axsFlowResourcesSystemPolicyMax	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.6
axsFlowResourcesTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7
axsFlowResourcesEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1
axsFlowResourcesIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1.1
axsFlowResourcesFilterUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1.2
axsFlowResourcesFilterFree	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1.3
axsFlowResourcesQosUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1.4
axsFlowResourcesNetflowUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1.5
axsFlowResourcesQosFree	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1.6
axsFlowResourcesUpcUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1.7
axsFlowResourcesUpcFree	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1.8
axsFlowResourcesPolicyUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.7.1.9
axsFlowResourcesFilterInterfaceInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.8
axsFlowResourcesFilterInterfaceInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.8.1
axsFlowResourcesFilterInterfaceInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.8.1.1
axsFlowResourcesFilterInterfaceInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.8.1.2
axsFlowResourcesFilterInterfaceInUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.8.1.3
axsFlowResourcesFilterInterfaceOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.9
axsFlowResourcesFilterInterfaceOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.9.1
axsFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.9.1.1
axsFlowResourcesFilterInterfaceOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.9.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowResourcesFilterInterfaceOutUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.9.1.3
axsFlowResourcesQosInterfaceInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.10
axsFlowResourcesQosInterfaceInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.10.1
axsFlowResourcesQosInterfaceInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.10.1.1
axsFlowResourcesQosInterfaceInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.10.1.2
axsFlowResourcesQosInterfaceInUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.10.1.3
axsFlowResourcesQosInterfaceOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.11
axsFlowResourcesQosInterfaceOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.11.1
axsFlowResourcesQosInterfaceOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.11.1.1
axsFlowResourcesQosInterfaceOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.11.1.2
axsFlowResourcesQosInterfaceOutUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.11.1.3
axsFlowResourcesFilterListInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.12
axsFlowResourcesFilterListInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.12.1
axsFlowResourcesFilterListInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.12.1.1
axsFlowResourcesFilterListInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.12.1.2
axsFlowResourcesFilterListInNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.12.1.3
axsFlowResourcesFilterListInUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.12.1.4
axsFlowResourcesFilterListOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.13
axsFlowResourcesFilterListOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.13.1
axsFlowResourcesFilterListOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.13.1.1
axsFlowResourcesFilterListOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.13.1.2
axsFlowResourcesFilterListOutNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.13.1.3
axsFlowResourcesFilterListOutUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.13.1.4
axsFlowResourcesQosListInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.14
axsFlowResourcesQosListInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.14.1
axsFlowResourcesQosListInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.14.1.1
axsFlowResourcesQosListInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.14.1.2
axsFlowResourcesQosListInNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.14.1.3
axsFlowResourcesQosListInUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.14.1.4
axsFlowResourcesQosListOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.15
axsFlowResourcesQosListOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.15.1
axsFlowResourcesQosListOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.15.1.1
axsFlowResourcesQosListOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.15.1.2
axsFlowResourcesQosListOutNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.15.1.3
axsFlowResourcesQosListOutUsed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.2.15.1.4
axsFlowFilter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3
axsFlowFilterInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1
axsFlowFilterInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1
axsFlowFilterInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.1
axsFlowFilterInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowFilterInListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.3
axsFlowFilterInSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.4
axsFlowFilterInSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.5
axsFlowFilterInSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.6
axsFlowFilterInDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.7
axsFlowFilterInDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.8
axsFlowFilterInDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.9
axsFlowFilterInEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.10
axsFlowFilterInUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.11
axsFlowFilterInLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.12
axsFlowFilterInHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.13
axsFlowFilterInProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.14
axsFlowFilterInIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.15
axsFlowFilterInSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.16
axsFlowFilterInSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.17
axsFlowFilterInSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.18
axsFlowFilterInSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.19
axsFlowFilterInDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.20
axsFlowFilterInDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.21
axsFlowFilterInDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.22
axsFlowFilterInDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.23
axsFlowFilterInDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.24
axsFlowFilterInPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.25
axsFlowFilterInUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.26
axsFlowFilterInLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.27
axsFlowFilterInFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.28
axsFlowFilterInSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.29
axsFlowFilterInSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.30
axsFlowFilterInSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.31
axsFlowFilterInDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.32
axsFlowFilterInDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.33
axsFlowFilterInDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.34
axsFlowFilterInAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.35
axsFlowFilterInSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.36
axsFlowFilterInIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.37
axsFlowFilterInIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.38
axsFlowFilterInIgmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.1.1.39
axsFlowFilterOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2
axsFlowFilterOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1
axsFlowFilterOutIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowFilterOutIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.2
axsFlowFilterOutListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.3
axsFlowFilterOutSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.4
axsFlowFilterOutSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.5
axsFlowFilterOutSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.6
axsFlowFilterOutDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.7
axsFlowFilterOutDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.8
axsFlowFilterOutDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.9
axsFlowFilterOutEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.10
axsFlowFilterOutUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.11
axsFlowFilterOutLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.12
axsFlowFilterOutHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.13
axsFlowFilterOutProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.14
axsFlowFilterOutIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.15
axsFlowFilterOutSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.16
axsFlowFilterOutSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.17
axsFlowFilterOutSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.18
axsFlowFilterOutSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.19
axsFlowFilterOutDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.20
axsFlowFilterOutDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.21
axsFlowFilterOutDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.22
axsFlowFilterOutDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.23
axsFlowFilterOutDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.24
axsFlowFilterOutPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.25
axsFlowFilterOutUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.26
axsFlowFilterOutLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.27
axsFlowFilterOutFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.28
axsFlowFilterOutSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.29
axsFlowFilterOutSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.30
axsFlowFilterOutSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.31
axsFlowFilterOutDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.32
axsFlowFilterOutDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.33
axsFlowFilterOutDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.34
axsFlowFilterOutAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.35
axsFlowFilterOutSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.36
axsFlowFilterOutIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.37
axsFlowFilterOutIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.38
axsFlowFilterOutIgmptype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.2.1.39
axsFlowFilterInActTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.3
axsFlowFilterInActEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.3.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowFilterInActifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.3.1.1
axsFlowFilterInActifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.3.1.2
axsFlowFilterInActListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.3.1.3
axsFlowFilterInActInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.3.1.4
axsFlowFilterOutActTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.4
axsFlowFilterOutActEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.4.1
axsFlowFilterOutActifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.4.1.1
axsFlowFilterOutActifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.4.1.2
axsFlowFilterOutActListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.4.1.3
axsFlowFilterOutActInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.3.4.1.4
axsFlowFilterStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4
axsFlowFilterStatsInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.1
axsFlowFilterStatsInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.1.1
axsFlowFilterStatsInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.1.1.1
axsFlowFilterStatsInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.1.1.2
axsFlowFilterStatsInListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.1.1.3
axsFlowFilterStatsInDropPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.1.1.4
axsFlowFilterStatsInForwardPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.1.1.5
axsFlowFilterStatsInPolicyRoutedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.1.1.6
axsFlowFilterStatsOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.2
axsFlowFilterStatsOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.2.1
axsFlowFilterStatsOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.2.1.1
axsFlowFilterStatsOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.2.1.2
axsFlowFilterStatsOutListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.2.1.3
axsFlowFilterStatsOutDropPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.2.1.4
axsFlowFilterStatsOutForwardPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.4.2.1.5
axsFlowQos	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5
axsFlowQosInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1
axsFlowQosInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1
axsFlowQosInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.1
axsFlowQosInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.2
axsFlowQosInListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.3
axsFlowQosInSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.4
axsFlowQosInSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.5
axsFlowQosInSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.6
axsFlowQosInDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.7
axsFlowQosInDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.8
axsFlowQosInDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.9
axsFlowQosInEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.10
axsFlowQosInUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.11

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowQosInLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.12
axsFlowQosInHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.13
axsFlowQosInProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.14
axsFlowQosInIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.15
axsFlowQosInSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.16
axsFlowQosInSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.17
axsFlowQosInSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.18
axsFlowQosInSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.19
axsFlowQosInDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.20
axsFlowQosInDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.21
axsFlowQosInDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.22
axsFlowQosInDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.23
axsFlowQosInDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.24
axsFlowQosInPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.25
axsFlowQosInUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.26
axsFlowQosInLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.27
axsFlowQosInFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.28
axsFlowQosInSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.29
axsFlowQosInSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.30
axsFlowQosInSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.31
axsFlowQosInDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.32
axsFlowQosInDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.33
axsFlowQosInDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.34
axsFlowQosInAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.35
axsFlowQosInSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.36
axsFlowQosInIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.37
axsFlowQosInIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.38
axsFlowQosInIgmptype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.1.1.39
axsFlowQosInPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2
axsFlowQosInPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1
axsFlowQosInPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.1
axsFlowQosInPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.2
axsFlowQosInPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.3
axsFlowQosInPremSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.4
axsFlowQosInPremSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.5
axsFlowQosInPremSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.6
axsFlowQosInPremDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.7
axsFlowQosInPremDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.8
axsFlowQosInPremDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.9
axsFlowQosInPremEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.10

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowQosInPremUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.11
axsFlowQosInPremLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.12
axsFlowQosInPremHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.13
axsFlowQosInPremProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.14
axsFlowQosInPremIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.15
axsFlowQosInPremSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.16
axsFlowQosInPremSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.17
axsFlowQosInPremSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.18
axsFlowQosInPremSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.19
axsFlowQosInPremDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.20
axsFlowQosInPremDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.21
axsFlowQosInPremDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.22
axsFlowQosInPremDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.23
axsFlowQosInPremDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.24
axsFlowQosInPremPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.25
axsFlowQosInPremUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.26
axsFlowQosInPremLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.27
axsFlowQosInPremFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.28
axsFlowQosInPremSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.29
axsFlowQosInPremSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.30
axsFlowQosInPremSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.31
axsFlowQosInPremDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.32
axsFlowQosInPremDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.33
axsFlowQosInPremDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.34
axsFlowQosInPremAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.35
axsFlowQosInPremSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.36
axsFlowQosInPremIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.37
axsFlowQosInPremIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.38
axsFlowQosInPremIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.2.1.39
axsFlowQosOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3
axsFlowQosOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1
axsFlowQosOutIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.1
axsFlowQosOutIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.2
axsFlowQosOutListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.3
axsFlowQosOutSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.4
axsFlowQosOutSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.5
axsFlowQosOutSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.6
axsFlowQosOutDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.7
axsFlowQosOutDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.8
axsFlowQosOutDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.9

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowQosOutEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.10
axsFlowQosOutUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.11
axsFlowQosOutLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.12
axsFlowQosOutHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.13
axsFlowQosOutProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.14
axsFlowQosOutIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.15
axsFlowQosOutSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.16
axsFlowQosOutSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.17
axsFlowQosOutSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.18
axsFlowQosOutSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.19
axsFlowQosOutDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.20
axsFlowQosOutDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.21
axsFlowQosOutDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.22
axsFlowQosOutDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.23
axsFlowQosOutDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.24
axsFlowQosOutPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.25
axsFlowQosOutUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.26
axsFlowQosOutLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.27
axsFlowQosOutFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.28
axsFlowQosOutSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.29
axsFlowQosOutSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.30
axsFlowQosOutSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.31
axsFlowQosOutDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.32
axsFlowQosOutDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.33
axsFlowQosOutDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.34
axsFlowQosOutAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.35
axsFlowQosOutSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.36
axsFlowQosOutIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.37
axsFlowQosOutIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.38
axsFlowQosOutIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.3.1.39
axsFlowQosOutPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4
axsFlowQosOutPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1
axsFlowQosOutPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.1
axsFlowQosOutPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.2
axsFlowQosOutPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.3
axsFlowQosOutPremSrcMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.4
axsFlowQosOutPremSrcMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.5
axsFlowQosOutPremSrcMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.6
axsFlowQosOutPremDestMacOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.7
axsFlowQosOutPremDestMac	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.8

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowQosOutPremDestMacMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.9
axsFlowQosOutPremEthernetType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.10
axsFlowQosOutPremUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.11
axsFlowQosOutPremLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.12
axsFlowQosOutPremHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.13
axsFlowQosOutPremProtocolNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.14
axsFlowQosOutPremIpAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.15
axsFlowQosOutPremSrcIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.16
axsFlowQosOutPremSrcIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.17
axsFlowQosOutPremSrcIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.18
axsFlowQosOutPremSrcIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.19
axsFlowQosOutPremDestIpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.20
axsFlowQosOutPremDestIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.21
axsFlowQosOutPremDestIpLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.22
axsFlowQosOutPremDestIpRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.23
axsFlowQosOutPremDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.24
axsFlowQosOutPremPrecedence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.25
axsFlowQosOutPremUpperLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.26
axsFlowQosOutPremLowerLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.27
axsFlowQosOutPremFragments	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.28
axsFlowQosOutPremSrcPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.29
axsFlowQosOutPremSrcPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.30
axsFlowQosOutPremSrcPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.31
axsFlowQosOutPremDestPortOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.32
axsFlowQosOutPremDestPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.33
axsFlowQosOutPremDestPortRange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.34
axsFlowQosOutPremAckFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.35
axsFlowQosOutPremSynFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.36
axsFlowQosOutPremIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.37
axsFlowQosOutPremIcmpCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.38
axsFlowQosOutPremIcmpType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.4.1.39
axsFlowQosInActTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5
axsFlowQosInActEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1
axsFlowQosInActIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.1
axsFlowQosInActIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.2
axsFlowQosInActListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.3
axsFlowQosInActMaxRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.4
axsFlowQosInActMaxRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.5
axsFlowQosInActMaxUpcRedMinBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.6
axsFlowQosInActMaxUpcRedMaxBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.7

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowQosInActMaxUpcRedProbability	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.8
axsFlowQosInActMinRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.9
axsFlowQosInActMinRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.10
axsFlowQosInActMinUpcRedMinBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.11
axsFlowQosInActMinUpcRedMaxBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.12
axsFlowQosInActMinUpcRedProbability	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.13
axsFlowQosInActAgQueueOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.14
axsFlowQosInActAgQueue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.15
axsFlowQosInActPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.16
axsFlowQosInActMaxUnderPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.17
axsFlowQosInActMinOverPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.18
axsFlowQosInActMinUnderPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.19
axsFlowQosInActDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.20
axsFlowQosInActMaxUnderDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.21
axsFlowQosInActMinOverDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.22
axsFlowQosInActMinUnderDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.23
axsFlowQosInActDscpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.24
axsFlowQosInActDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.25
axsFlowQosInActMaxUnderDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.26
axsFlowQosInActMinOverDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.27
axsFlowQosInActMinUnderDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.28
axsFlowQosInActUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.29
axsFlowQosInActMaxUnderUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.30
axsFlowQosInActMinOverUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.31
axsFlowQosInActMinUnderUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.5.1.32
axsFlowQosInActPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.6
axsFlowQosInActPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.6.1
axsFlowQosInActPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.6.1.1
axsFlowQosInActPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.6.1.2
axsFlowQosInActPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.6.1.3
axsFlowQosInActPremMaxRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.6.1.4
axsFlowQosInActPremMinRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.6.1.5
axsFlowQosOutActTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7
axsFlowQosOutActEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1
axsFlowQosOutActifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.1
axsFlowQosOutActifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.2
axsFlowQosOutActListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.3
axsFlowQosOutActMaxRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.4
axsFlowQosOutActMaxRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.5
axsFlowQosOutActMaxUpcRedMinBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowQosOutActMaxUpcRedMaxBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.7
axsFlowQosOutActMaxUpcRedProbability	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.8
axsFlowQosOutActMinRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.9
axsFlowQosOutActMinRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.10
axsFlowQosOutActMinUpcRedMinBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.11
axsFlowQosOutActMinUpcRedMaxBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.12
axsFlowQosOutActMinUpcRedProbability	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.13
axsFlowQosOutActAgQueueOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.14
axsFlowQosOutActAgQueue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.15
axsFlowQosOutActPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.16
axsFlowQosOutActMaxUnderPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.17
axsFlowQosOutActMinOverPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.18
axsFlowQosOutActMinUnderPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.19
axsFlowQosOutActDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.20
axsFlowQosOutActMaxUnderDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.21
axsFlowQosOutActMinOverDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.22
axsFlowQosOutActMinUnderDiscard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.23
axsFlowQosOutActDscpOp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.24
axsFlowQosOutActDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.25
axsFlowQosOutActMaxUnderDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.26
axsFlowQosOutActMinOverDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.27
axsFlowQosOutActMinUnderDscp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.28
axsFlowQosOutActUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.29
axsFlowQosOutActMaxUnderUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.30
axsFlowQosOutActMinOverUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.31
axsFlowQosOutActMinUnderUserPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.7.1.32
axsFlowQosOutActPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.8
axsFlowQosOutActPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.8.1
axsFlowQosOutActPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.8.1.1
axsFlowQosOutActPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.8.1.2
axsFlowQosOutActPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.8.1.3
axsFlowQosOutActPremMaxRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.8.1.4
axsFlowQosOutActPremMinRateBurst	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.5.8.1.5
axsFlowQosStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6
axsFlowQosStatsInTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1
axsFlowQosStatsInEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1.1
axsFlowQosStatsInifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1.1.1
axsFlowQosStatsInifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1.1.2
axsFlowQosStatsInListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1.1.3
axsFlowQosStatsInHitPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFlowQosStatsInMaxOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1.1.5
axsFlowQosStatsInMaxUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1.1.6
axsFlowQosStatsInMinOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1.1.7
axsFlowQosStatsInMinUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.1.1.8
axsFlowQosStatsInPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.2
axsFlowQosStatsInPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.2.1
axsFlowQosStatsInPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.2.1.1
axsFlowQosStatsInPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.2.1.2
axsFlowQosStatsInPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.2.1.3
axsFlowQosStatsInPremMaxOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.2.1.4
axsFlowQosStatsInPremMaxUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.2.1.5
axsFlowQosStatsInPremMinOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.2.1.6
axsFlowQosStatsInPremMinUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.2.1.7
axsFlowQosStatsOutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3
axsFlowQosStatsOutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3.1
axsFlowQosStatsOutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3.1.1
axsFlowQosStatsOutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3.1.2
axsFlowQosStatsOutListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3.1.3
axsFlowQosStatsOutHitPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3.1.4
axsFlowQosStatsOutMaxOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3.1.5
axsFlowQosStatsOutMaxUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3.1.6
axsFlowQosStatsOutMinOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3.1.7
axsFlowQosStatsOutMinUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.3.1.8
axsFlowQosStatsOutPremTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.4
axsFlowQosStatsOutPremEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.4.1
axsFlowQosStatsOutPremifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.4.1.1
axsFlowQosStatsOutPremifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.4.1.2
axsFlowQosStatsOutPremListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.4.1.3
axsFlowQosStatsOutPremMaxOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.4.1.4
axsFlowQosStatsOutPremMaxUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.4.1.5
axsFlowQosStatsOutPremMinOverPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.4.1.6
axsFlowQosStatsOutPremMinUnderPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.6.4.1.7

## (7) axsOspf グループ【OP-OSPF(AX5400S)】

axsOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-7 axsOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14
axsOspfGeneralTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfGeneralEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1
axsOspfGeneralDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.1
axsOspfRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.2
axsOspfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.3
axsOspfVersionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.4
axsOspfAreaBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.5
axsOspfASBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.6
axsOspfExternLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.7
axsOspfExternLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.8
axsOspfTOSSupport	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.9
axsOspfOriginateNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.10
axsOspfRxNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.11
axsOspfExtLsdbLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.12
axsOspfMulticastExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.13
axsOspfAreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2
axsOspfAreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1
axsOspfAreaDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.1
axsOspfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.2
axsOspfAuthType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.3
axsOspfImportAsExtern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.4
axsOspfSpfRuns	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.5
axsOspfAreaBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.6
axsOspfAsBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.7
axsOspfAreaLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.8
axsOspfAreaLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.9
axsOspfAreaSummary	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.10
axsOspfAreaStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.11
axsOspfStubAreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3
axsOspfStubAreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1
axsOspfStubDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.1
axsOspfStubAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.2
axsOspfStubTOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.3
axsOspfStubMetric	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.4
axsOspfStubStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.5
axsOspfStubMetricType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.6
axsOspfLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4
axsOspfLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1
axsOspfLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.1
axsOspfLsdbAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.2
axsOspfLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.4
axsOspfLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.5
axsOspfLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.6
axsOspfLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.7
axsOspfLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.8
axsOspfLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.9
axsOspfAreaRangeTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5
axsOspfAreaRangeEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1
axsOspfAreaRangeDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.1
axsOspfAreaRangeAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.2
axsOspfAreaRangeNet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.3
axsOspfAreaRangeMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.4
axsOspfAreaRangeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.5
axsOspfAreaRangeEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.6
axsOspfIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7
axsOspfIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1
axsOspfIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.1
axsOspfIfIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.2
axsOspfAddressLessIf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.3
axsOspfIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.4
axsOspfIfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.5
axsOspfIfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.6
axsOspfIfRtrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.7
axsOspfIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.8
axsOspfIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.9
axsOspfIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.10
axsOspfIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.11
axsOspfIfPollInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.12
axsOspfIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.13
axsOspfIfDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.14
axsOspfIfBackupDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.15
axsOspfIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.16
axsOspfIfAuthKey	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.17
axsOspfIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.18
axsOspfIfMulticastForwarding	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.19
axsOspfIfMetricTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8
axsOspfIfMetricEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1
axsOspfIfMetricDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.1
axsOspfIfMetricIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.2
axsOspfIfMetricAddressLessIf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfIfMetricTOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.4
axsOspfIfMetricValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.5
axsOspfIfMetricStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.6
axsOspfVirtIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9
axsOspfVirtIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1
axsOspfVirtIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.1
axsOspfVirtIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.2
axsOspfVirtIfNeighbor	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.3
axsOspfVirtIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.4
axsOspfVirtIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.5
axsOspfVirtIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.6
axsOspfVirtIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.7
axsOspfVirtIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.8
axsOspfVirtIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.9
axsOspfVirtIfAuthKey	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.10
axsOspfVirtIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.11
axsOspfNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10
axsOspfNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1
axsOspfNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.1
axsOspfNbrIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.2
axsOspfNbrAddressLessIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.3
axsOspfNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.4
axsOspfNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.5
axsOspfNbrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.6
axsOspfNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.7
axsOspfNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.8
axsOspfNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.9
axsOspfNbmaNbrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.10
axsOspfNbmaNbrPermanence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.11
axsOspfVirtNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11
axsOspfVirtNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1
axsOspfVirtNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.1
axsOspfVirtNbrArea	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.2
axsOspfVirtNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.3
axsOspfVirtNbrIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.4
axsOspfVirtNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.5
axsOspfVirtNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.6
axsOspfVirtNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.7
axsOspfVirtNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.8
axsOspfExtLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfExtLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1
axsOspfExtLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.1
axsOspfExtLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.2
axsOspfExtLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.3
axsOspfExtLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.4
axsOspfExtLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.5
axsOspfExtLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.6
axsOspfExtLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.7
axsOspfExtLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.8
axsOspfAreaAggregateTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14
axsOspfAreaAggregateEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1
axsOspfAreaAggregateDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.1
axsOspfAreaAggregateAreaID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.2
axsOspfAreaAggregateLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.3
axsOspfAreaAggregateNet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.4
axsOspfAreaAggregateMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.5
axsOspfAreaAggregateStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.6
axsOspfAreaAggregateEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.7
axsOspfTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16
axsOspfTrapControlTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1
axsOspfTrapControlEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1
axsOspfTrapDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.1
axsOspfSetTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.2
axsOspfConfigErrorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.3
axsOspfPacketType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.4
axsOspfPacketSrc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.5
axsOspfTraps	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2

## (8) axsOspfv3MIB グループ【OP-OSPF(AX5400S)】

axsOspfv3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-8 axsOspfv3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfv3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15
axsOspfv3GeneralTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1
axsOspfv3GeneralEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1
axsOspfv3GeneralDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.1
axsOspfv3RouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.2
axsOspfv3AdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.3
axsOspfv3VersionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3AreaBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.5
axsOspfV3ASBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.6
axsOspfV3AsScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.7
axsOspfV3AsScopeLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.8
axsOspfV3OriginateNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.9
axsOspfV3RxNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.10
axsOspfV3ExtAreaLsdbLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.11
axsOspfV3MulticastExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.12
axsOspfV3DemandExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.14
axsOspfV3TrafficEngineeringSupport	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.15
axsOspfV3AreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2
axsOspfV3AreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1
axsOspfV3AreaDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.1
axsOspfV3AreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.2
axsOspfV3ImportAsExtern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.3
axsOspfV3SpfRuns	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.4
axsOspfV3AreaBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.5
axsOspfV3AsBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.6
axsOspfV3AreaScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.7
axsOspfV3AreaScopeLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.8
axsOspfV3AreaSummary	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.9
axsOspfV3AreaStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.10
axsOspfV3StubMetric	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.11
axsOspfV3AsLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3
axsOspfV3AsLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1
axsOspfV3AsLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.1
axsOspfV3AsLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.2
axsOspfV3AsLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.3
axsOspfV3AsLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.4
axsOspfV3AsLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.5
axsOspfV3AsLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.6
axsOspfV3AsLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.7
axsOspfV3AsLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.8
axsOspfV3AreaLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4
axsOspfV3AreaLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1
axsOspfV3AreaLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.1
axsOspfV3AreaLsdbAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.2
axsOspfV3AreaLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.3
axsOspfV3AreaLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.4
axsOspfV3AreaLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.5

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3AreaLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.6
axsOspfV3AreaLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.7
axsOspfV3AreaLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.8
axsOspfV3AreaLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.9
axsOspfV3LinkLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5
axsOspfV3LinkLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1
axsOspfV3LinkLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.1
axsOspfV3LinkLsdbIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.2
axsOspfV3LinkLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.3
axsOspfV3LinkLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.4
axsOspfV3LinkLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.5
axsOspfV3LinkLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.6
axsOspfV3LinkLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.7
axsOspfV3LinkLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.8
axsOspfV3LinkLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.9
axsOspfV3IfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7
axsOspfV3IfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1
axsOspfV3IfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.1
axsOspfV3IfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.2
axsOspfV3IfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.3
axsOspfV3IfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.4
axsOspfV3IfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.5
axsOspfV3IfRtrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.6
axsOspfV3IfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.7
axsOspfV3IfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.8
axsOspfV3IfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.9
axsOspfV3IfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.10
axsOspfV3IfPollInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.11
axsOspfV3IfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.12
axsOspfV3IfDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.13
axsOspfV3IfBackupDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.15
axsOspfV3IfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.16
axsOspfV3IfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.18
axsOspfV3IfMulticastForwarding	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.19
axsOspfV3IfDemand	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.20
axsOspfV3IfMetricValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.21
axsOspfV3IfLinkScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.22
axsOspfV3IfLinkLsaChecksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.23
axsOspfV3IfInstId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.24
axsOspfV3VirtIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3VirtIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1
axsOspfV3VirtIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.1
axsOspfV3VirtIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.2
axsOspfV3VirtIfNeighbor	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.3
axsOspfV3VirtIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.4
axsOspfV3VirtIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.5
axsOspfV3VirtIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.6
axsOspfV3VirtIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.7
axsOspfV3VirtIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.8
axsOspfV3VirtIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.9
axsOspfV3VirtIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.10
axsOspfV3VirtIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.11
axsOspfV3VirtIfLinkScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.12
axsOspfV3VirtIfLinkLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.13
axsOspfV3NbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9
axsOspfV3NbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1
axsOspfV3NbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.1
axsOspfV3NbrIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.2
axsOspfV3NbrIpv6Addr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.3
axsOspfV3NbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.4
axsOspfV3NbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.5
axsOspfV3NbrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.6
axsOspfV3NbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.7
axsOspfV3NbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.8
axsOspfV3NbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.9
axsOspfV3NbrHelloSuppressed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.12
axsOspfV3NbrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.13
axsOspfV3VirtNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10
axsOspfV3VirtNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1
axsOspfV3VirtNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.1
axsOspfV3VirtNbrArea	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.2
axsOspfV3VirtNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.3
axsOspfV3VirtNbrIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.4
axsOspfV3VirtNbrIpv6Addr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.5
axsOspfV3VirtNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.6
axsOspfV3VirtNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.7
axsOspfV3VirtNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.8
axsOspfV3VirtNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.9
axsOspfV3VirtNbrHelloSuppressed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.10
axsOspfV3VirtNbrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.11

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3AreaAggregateTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11
axsOspfV3AreaAggregateEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1
axsOspfV3AreaAggregateDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.1
axsOspfV3AreaAggregateAreaID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.2
axsOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.3
axsOspfV3AreaAggregateIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.4
axsOspfV3AreaAggregatePrefix	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.5
axsOspfV3AreaAggregatePrefixLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.6
axsOspfV3AreaAggregateStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.7
axsOspfV3AreaAggregateEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.8

### ( 9 ) axsIsmMIB グループ【OP-ISIS】

axsIsmMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-9 axsIsmMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsIsmMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37
axsIsmObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1
axsIsmSystem	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.1
axsIsmSysTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.1.1
axsIsmSysEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.1.1.1
axsIsmSysInstance	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.1.1.1.1
axsIsmSysLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.2
axsIsmSysLevelTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.2.1
axsIsmSysLevelEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.2.1.1
axsIsmSysLevelIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.2.1.1.1
axsIsmCirc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.3
axsIsmCircTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.3.1
axsIsmCircEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.3.1.1
axsIsmCircIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.3.1.1.1
axsIsmNotification	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.10
axsIsmNotificationTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.10.1
axsIsmNotificationEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.10.1.1
axsIsmPduLspId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.10.1.1.1
axsIsmAdjState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.37.1.10.1.1.9

### ( 10 ) axsStatic グループ

axsStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-10 axsStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsStatic	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38
axsStaticTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1
axsStaticGatewayEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1.1
axsStaticGatewayAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1.1.1
axsStaticGatewayState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1.1.2
axsStaticIpv6Table	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3
axsStaticIpv6GatewayEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1
axsStaticIpv6Ifindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1.1
axsStaticIpv6GatewayAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1.2
axsStaticIpv6GatewayState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1.3

## ( 11 ) axsBootManagement グループ

axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-11 axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsBootManagement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51
axsBootReason	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51.1

## ( 12 ) axsLogin グループ

axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-12 axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsLogin	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52
axsLoginName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.1
axsLoginTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.2
axsLogoutTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.3
axsLoginFailureTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.4
axsLoginLocation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.5
axsLoginLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.6
axsLogoutStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.7

## ( 13 ) axslldp グループ

axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-13 axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axslldp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100

MIB 名称	オブジェクト ID
axsldpConfiguration	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1
axsldpMessageTxInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1
axsldpMessageTxHoldMultiplier	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.2
axsldpReinitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.3
axsldpTxDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.4
axsldpPortConfigTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6
axsldpPortConfigEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1
axsldpPortConfigPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.2
axsldpPortConfigAdminStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.3
axsldpPortConfigTLVsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.4
axsldpPortConfigRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.5
axsldpConfigManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7
axsldpConfigManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1
axsldpConfigManAddrPortsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1.1
axsldpStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2
axsldpStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1
axsldpStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1
axsldpStatsPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.2
axsldpStatsOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.3
axsldpStatsFramesInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.4
axsldpStatsFramesInTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.5
axsldpStatsFramesOutTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.6
axsldpStatsTLVsInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.7
axsldpStatsTLVsDiscardedTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.8
axsldpStatsCounterDiscontinuityTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.9
axsldpLocalSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3
axsldpLocChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1
axsldpLocChassisId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.2
axsldpLocSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.3
axsldpLocSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.4
axsldpLocSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.5
axsldpLocSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.6
axsldpLocPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7
axsldpLocPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1
axsldpLocPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.1
axsldpLocPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.2
axsldpLocPortId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.3
axsldpLocPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.4
axsldpLocManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8
axsldpLocManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axslldpLocManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1
axslldpLocManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.2
axslldpLocManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.3
axslldpLocManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.4
axslldpLocManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.5
axslldpRemoteSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4
axslldpRemTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1
axslldpRemEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1
axslldpRemTimeMark	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.1
axslldpRemLocalPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.2
axslldpRemIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.3
axslldpRemRemoteChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.4
axslldpRemRemoteChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.5
axslldpRemRemotePortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.6
axslldpRemRemotePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.7
axslldpRemPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.8
axslldpRemSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.9
axslldpRemSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.10
axslldpRemSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.11
axslldpRemSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.12
axslldpRemManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2
axslldpRemManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1
axslldpRemManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.1
axslldpRemManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.2
axslldpRemManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.3
axslldpRemManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.4
axslldpRemManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.5
axslldpRemOrgDefInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3
axslldpRemOrgDefInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1
axslldpRemOrgDefInfoOUI	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.1
axslldpRemOrgDefInfoSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.2
axslldpRemOrgDefInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.3
axslldpRemOrgDefInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.4
axslldpRemoteOriginInfoData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20
axslldpRemOriginInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1
axslldpRemOriginInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1
axslldpRemOriginInfoPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.1
axslldpRemOriginInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.2
axslldpRemOriginInfoLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.3
axslldpRemOriginInfoHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
axsldpRemOriginInfoIPv4Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.5
axsldpRemOriginInfoIPv4PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.6
axsldpRemOriginInfoIPv4VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.7
axsldpRemOriginInfoIPv6Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.8
axsldpRemOriginInfoIPv6PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.9
axsldpRemOriginInfoIPv6VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.10

#### ( 14 ) ax7800sSwitch グループ【AX7800S】

ax7800sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-14 ax7800sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800sSwitch	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1
ax7800sModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.1
ax7800sSoftware	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.2
ax7800sSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.2.1
ax7800sSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.2.2
ax7800sSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.2.3
ax7800sSystemMsg	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.3
ax7800sSystemMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.3.1
ax7800sSystemMsgType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.3.2
ax7800sSystemMsgTimeStamp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.3.3
ax7800sSystemMsgLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.3.4
ax7800sSystemMsgEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.3.5
ax7800sSystemMsgEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.3.6
ax7800sSystemMsgEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.3.7
ax7800sSystemMsgAdditionalCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.3.8
ax7800sSnmpAgent	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.4
ax7800sSnmpSendReceiveSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.4.1
ax7800sSnmpReceiveDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.4.2
ax7800sSnmpContinuousSend	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.4.3
ax7800sSnmpObjectMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.4.4
ax7800sLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6
ax7800sLicenseNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.1
ax7800sLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.2
ax7800sLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.2.1
ax7800sLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.2.1.1
ax7800sLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.2.1.2
ax7800sLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.2.1.3
ax7800sLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.3

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800sLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.3.1
ax7800sLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.3.1.1
ax7800sLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.3.1.2
ax7800sLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.3.1.3
ax7800sLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.1.6.3.1.4

### ( 15 ) ax7800sDevice グループ【AX7800S】

ax7800sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-15 ax7800sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800sDevice	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2
ax7800sChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1
ax7800sChassisMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1
ax7800sChassisTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2
ax7800sChassisEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1
ax7800sChassisIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.1
ax7800sChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.2
ax7800sChassisStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.3
ax7800sBcuBoardDuplexMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.4
ax7800sPowerUnitNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.5
ax7800sFanNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.6
ax7800sCifNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.7
ax7800sBcuBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.8
ax7800sPsuNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.9
ax7800sNifBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.2.1.10
ax7800sPowerUnitTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.3
ax7800sPowerUnitEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.3.1
ax7800sPowerUnitIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.3.1.1
ax7800sPowerConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.3.1.2
ax7800sPowerSupplyStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.3.1.3
ax7800sFanTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.4
ax7800sFanEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.4.1
ax7800sFanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.4.1.1
ax7800sFanStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.4.1.2
ax7800sBcuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2
ax7800sBcuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1
ax7800sBcuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.1
ax7800sBcuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.1.1
ax7800sBcuIoBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800sBcuCpuBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.3
ax7800sBcuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.4
ax7800sBcuOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.5
ax7800sBcuActiveLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.6
ax7800sBcuReadyLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.7
ax7800sBcuAlarmLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.8
ax7800sBcuErrorLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.9
ax7800sBcuEmaLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.10
ax7800sBcuRmEthernetStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.12
ax7800sBcuAtaCardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.13
ax7800sBcuAtaBootDev	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.14
ax7800sBcuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.15
ax7800sBcuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.16
ax7800sBcuIoBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.17
ax7800sBcuCpuBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.18
ax7800sBcuRmCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.19
ax7800sBcuRmCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.20
ax7800sBcuRmMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.21
ax7800sBcuRmMemoryUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.22
ax7800sBcuRmMemoryFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.23
ax7800sBcuRmRomVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.24
ax7800sBcuRmCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.25
ax7800sBcuTemperatureStatusNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.26
ax7800sBcuCpOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.27
ax7800sBcuCpCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.28
ax7800sBcuCpCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.29
ax7800sBcuCpMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.30
ax7800sBcuCpCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.33
ax7800sBcuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.34
ax7800sBcuVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.35
ax7800sBcuVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.36
ax7800sBcuVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.37
ax7800sBcuVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.38
ax7800sBcuVoltage500	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.1.1.39
ax7800sAtaCardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2
ax7800sAtaCardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1
ax7800sAtaCardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.1
ax7800sAtaCardConnection	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.2
ax7800sAtaCardTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.3
ax7800sAtaCardUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800sAtaCardFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.5
ax7800sAtaCardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.6
ax7800sAtaCardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.7
ax7800sAtaCardMountStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.1.8
ax7800sTemperatureStatusTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.3
ax7800sTemperatureStatusEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.3.1
ax7800sTemperatureStatusIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.3.1.1
ax7800sTemperatureStatusDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.3.1.2
ax7800sTemperatureStatusValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.3.1.3
ax7800sTemperatureThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.3.1.4
ax7800sTemperatureState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.3.1.5
ax7800sSopTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.4
ax7800sSopEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.4.1
ax7800sSopAlarmLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.4.1.1
ax7800sSopAlarmEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.4.1.2
ax7800sSopAlarmEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.4.1.3
ax7800sSopAlarmEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.4.1.4
ax7800sSopAlarmMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.2.4.1.5
ax7800sPsuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3
ax7800sPsuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1
ax7800sPsuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1
ax7800sPsuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.1
ax7800sPsuBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.2
ax7800sPsuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.3
ax7800sPsuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.4
ax7800sPsuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.5
ax7800sPsuBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.6
ax7800sPsuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.7
ax7800sPsuVoltage120	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.8
ax7800sPsuVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.9
ax7800sPsuVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.10
ax7800sPsuVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.11
ax7800sPsuVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.12
ax7800sPsuVoltage500	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.13
ax7800sPsuVoltage120-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.14
ax7800sPsuVoltage120-3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.15
ax7800sPsuVoltage120-4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.16
ax7800sPsuVoltage120-5	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.17
ax7800sPsuVoltage120-6	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.18
ax7800sPsuVoltage120-7	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.2.3.1.1.19

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800sPsuVoltage120-8	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.3.1.1.20
ax7800sNifBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4
ax7800sNifBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1
ax7800sNifBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1
ax7800sNifBoardSlotIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.1
ax7800sNifBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.2
ax7800sNifBoardOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.3
ax7800sNifBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.4
ax7800sNifBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.5
ax7800sNifBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.6
ax7800sNifPhysLineNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.7
ax7800sNifSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.8
ax7800sNifVoltageAM520	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.9
ax7800sNifVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.10
ax7800sNifVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.11
ax7800sNifVoltageA180	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.12
ax7800sNifVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.13
ax7800sNifVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.14
ax7800sNifVoltageA330	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.15
ax7800sNifVoltageA500	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.16
ax7800sNifVoltage330S	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.17
ax7800sNifVoltage500S	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.18
ax7800sNifVoltage120	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.19
ax7800sNifVoltageA500-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.20
ax7800sNifVoltage150S	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.4.1.1.21
ax7800sPhysLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.5
ax7800sPhysLineTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.5.1
ax7800sPhysLineEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.5.1.1
ax7800sPhysLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.5.1.1.1
ax7800sPhysLineConnectorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.5.1.1.2
ax7800sPhysLineOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.5.1.1.3
ax7800sPhysLineIfIndexNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.5.1.1.4
ax7800sPhysLineTransceiverStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.5.1.1.5
ax7800sInterface	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.6
ax7800sLineIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.6.1
ax7800sLineIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.6.1.1
ax7800sLineIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.6.1.1.1
ax7800sIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.6.1.1.2
ax7800sIfIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.6.1.1.3
ax7800sIfIpv6Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.6.1.1.4

## ( 16 ) ax7800sManagementMIB グループ【AX7800S】

ax7800sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-16 ax7800sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax7800sManagementMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.3
ax7800sOperationCommand	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.3.1
ax7800sFdbClearMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.3.1.1
ax7800sFdbClearSet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.3.1.1.1
ax7800sFdbClearReqTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.3.1.1.2
ax7800sFdbClearSuccessTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.2.3.1.1.3

## ( 17 ) ax5400sSwitch グループ【AX5400S】

ax5400sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-17 ax5400sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax5400sSwitch	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1
ax5400sModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.1
ax5400sSoftware	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.2
ax5400sSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.2.1
ax5400sSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.2.2
ax5400sSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.2.3
ax5400sSystemMsg	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.3
ax5400sSystemMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.3.1
ax5400sSystemMsgType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.3.2
ax5400sSystemMsgTimeStamp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.3.3
ax5400sSystemMsgLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.3.4
ax5400sSystemMsgEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.3.5
ax5400sSystemMsgEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.3.6
ax5400sSystemMsgEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.3.7
ax5400sSystemMsgAdditionalCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.3.8
ax5400sSnmpAgent	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.4
ax5400sSnmpSendReceiveSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.4.1
ax5400sSnmpReceiveDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.4.2
ax5400sSnmpContinuousSend	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.4.3
ax5400sSnmpObjectMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.4.4
ax5400sLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6
ax5400sLicenseNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.1
ax5400sLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.2
ax5400sLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.2.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax5400sLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.2.1.1
ax5400sLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.2.1.2
ax5400sLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.2.1.3
ax5400sLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.3
ax5400sLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.3.1
ax5400sLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.3.1.1
ax5400sLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.3.1.2
ax5400sLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.3.1.3
ax5400sLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.1.6.3.1.4

## ( 18 ) ax5400sDevice グループ【AX5400S】

ax5400sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-18 ax5400sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax5400sDevice	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2
ax5400sChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1
ax5400sChassisMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.1
ax5400sChassisTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2
ax5400sChassisEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1
ax5400sChassisIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.1
ax5400sChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.2
ax5400sChassisStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.3
ax5400sBcuBoardDuplexMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.4
ax5400sPowerUnitNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.5
ax5400sFanNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.6
ax5400sCifNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.7
ax5400sBcuBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.8
ax5400sBsuBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.9
ax5400sNifBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.10
ax5400sChassisMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.11
ax5400sChassisSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.2.1.12
ax5400sPowerUnitTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.3
ax5400sPowerUnitEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.3.1
ax5400sPowerUnitIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.3.1.1
ax5400sPowerConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.3.1.2
ax5400sPowerSupplyStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.3.1.3
ax5400sFanTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.4
ax5400sFanEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.4.1
ax5400sFanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.4.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax5400sFanStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.1.4.1.2
ax5400sBcuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2
ax5400sBcuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1
ax5400sBcuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1
ax5400sBcuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.1
ax5400sBcuIoBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.2
ax5400sBcuCpuBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.3
ax5400sBcuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.4
ax5400sBcuOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.5
ax5400sBcuActiveLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.6
ax5400sBcuReadyLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.7
ax5400sBcuAlarmLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.8
ax5400sBcuErrorLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.9
ax5400sBcuEmaLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.10
ax5400sBcuMgmtPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.12
ax5400sBcuMaintenancePortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.13
ax5400sBcuAtaCardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.14
ax5400sBcuAtaBootDev	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.15
ax5400sBcuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.16
ax5400sBcuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.17
ax5400sBcuIoBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.18
ax5400sBcuCpuBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.19
ax5400sBcuRmCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.20
ax5400sBcuRmCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.21
ax5400sBcuRmMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.22
ax5400sBcuRmMemoryUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.23
ax5400sBcuRmMemoryFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.24
ax5400sBcuRmRomVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.25
ax5400sBcuRmCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.26
ax5400sBcuTemperatureStatusNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.27
ax5400sBcuCpOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.28
ax5400sBcuCpCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.29
ax5400sBcuCpCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.30
ax5400sBcuCpMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.31
ax5400sBcuCpCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.32
ax5400sBcuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.33
ax5400sBcuVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.34
ax5400sBcuVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.35
ax5400sBcuVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.36
ax5400sBcuVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.37

MIB 名称	オブジェクト ID
ax5400sBcuVoltage500	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.38
ax5400sBcuVoltage330-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.1.1.45
ax5400sAtaCardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2
ax5400sAtaCardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2.1
ax5400sAtaCardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2.1.1
ax5400sAtaCardConnection	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2.1.2
ax5400sAtaCardTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2.1.3
ax5400sAtaCardUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2.1.4
ax5400sAtaCardFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2.1.5
ax5400sAtaCardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2.1.6
ax5400sAtaCardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2.1.7
ax5400sAtaCardMountStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.2.1.8
ax5400sTemperatureStatusTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.3
ax5400sTemperatureStatusEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.3.1
ax5400sTemperatureStatusIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.3.1.1
ax5400sTemperatureStatusDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.3.1.2
ax5400sTemperatureStatusValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.3.1.3
ax5400sTemperatureThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.3.1.4
ax5400sTemperatureState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.3.1.5
ax5400sSopTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.4
ax5400sSopEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.4.1
ax5400sSopAlarmLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.4.1.1
ax5400sSopAlarmEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.4.1.2
ax5400sSopAlarmEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.4.1.3
ax5400sSopAlarmEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.4.1.4
ax5400sSopAlarmMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.2.4.1.5
ax5400sBsuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3
ax5400sBsuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1
ax5400sBsuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1
ax5400sBsuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.1
ax5400sBsuBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.2
ax5400sBsuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.3
ax5400sBsuOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.4
ax5400sBsuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.5
ax5400sBsuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.6
ax5400sBsuBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.7
ax5400sBsuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.8
ax5400sBsuVoltage120	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.9
ax5400sBsuVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.10
ax5400sBsuVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.11

MIB 名称	オブジェクト ID
ax5400sBsuVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.12
ax5400sBsuVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.13
ax5400sBsuVoltage500	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.14
ax5400sBsuVoltage150-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.22
ax5400sBsuVoltage250-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.3.1.1.23
ax5400sNifBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4
ax5400sNifBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1
ax5400sNifBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1
ax5400sNifBoardSlotIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.1
ax5400sNifBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.2
ax5400sNifBoardOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.3
ax5400sNifBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.4
ax5400sNifBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.5
ax5400sNifBoardProductCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.6
ax5400sNifPhysLineNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.7
ax5400sNifSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.8
ax5400sNifVoltageAM520	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.9
ax5400sNifVoltage150	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.10
ax5400sNifVoltage180	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.11
ax5400sNifVoltageA180	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.12
ax5400sNifVoltage250	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.13
ax5400sNifVoltage330	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.14
ax5400sNifVoltageA330	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.15
ax5400sNifVoltageA500	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.16
ax5400sNifVoltage300S	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.17
ax5400sNifVoltage500S	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.18
ax5400sNifVoltage120	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.19
ax5400sNifVoltage330-2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.4.1.1.22
ax5400sPhysLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.5
ax5400sPhysLineTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.5.1
ax5400sPhysLineEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.5.1.1
ax5400sPhysLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.5.1.1.1
ax5400sPhysLineConnectorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.5.1.1.2
ax5400sPhysLineOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.5.1.1.3
ax5400sPhysLineIfIndexNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.5.1.1.4
ax5400sPhysLineTransceiverStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.5.1.1.5
ax5400sInterface	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.6
ax5400sLineIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.6.1
ax5400sLineIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.6.1.1
ax5400sLineIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.6.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax5400sIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.6.1.1.2
ax5400sIfIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.6.1.1.3
ax5400sIfIpv6Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.2.6.1.1.4

### ( 19 ) ax5400sManagementMIB グループ【AX5400S】

ax5400sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-19 ax5400sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax5400sManagementMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.3
ax5400sOperationCommand	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.3.1
ax5400sFdbClearMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.3.1.1
ax5400sFdbClearSet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.3.1.1.1
ax5400sFdbClearReqTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.3.1.1.2
ax5400sFdbClearSuccessTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.3.3.1.1.3

## 付録 A.2 HP プライベート MIB

HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を次の表に示します。

表 A-20 HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
icmp	1.3.6.1.4.1.11.2.7
icmpEchoReq	1.3.6.1.4.1.11.2.7.1

## 付録 A.3 InMon プライベート MIB

InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-21 InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
sFlowAgent	1.3.6.1.4.1.4300.1.1
sFlowVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.1
sFlowAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.2
sFlowAgentAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.3
sFlowTable	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4
sFlowEntry	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1
sFlowDataSource	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.1
sFlowOwner	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.2
sFlowTimeout	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.3
sFlowPacketSamplingRate	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
sFlowCounterSamplingInterval	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.5
sFlowMaximumHeaderSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.6
sFlowMaximumDatagramSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.7
sFlowCollectorAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.8
sFlowCollectorAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.9
sFlowCollectorPort	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.10
sFlowDatagramVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.11



---

# 索引

## 数字

---

802.1X MIB グループ 175

## A

---

Alarm グループ 96

at グループ (MIB-II) 33

ax5400sBcuBoard グループ (SOP 情報) 361

ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報) 355

ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) 359

ax5400sBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報) 360

ax5400sBsuBoard グループの実装仕様 (BSU 情報) 362

ax5400sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) 353

ax5400sChassis グループの実装仕様 (電源情報) 354

ax5400sChassis グループの実装仕様 (ファン情報) 355

ax5400sDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 353

ax5400sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 446

ax5400sFdbClearMIB グループ (FDB Clear 用 MIB) 370

ax5400sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報) 368

ax5400sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う) 370

ax5400sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 450

ax5400sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) 364

ax5400sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線)情報) 367

ax5400sSwitch グループ (装置のモデル情報 MIB) 350

ax5400sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 445

ax7800sBcuBoard グループ (SOP 情報) 339

ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報) 332

ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) 337

ax7800sBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報) 338

ax7800sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) 329

ax7800sChassis グループの実装仕様 (電源情報) 330

ax7800sChassis グループの実装仕様 (ファン情報) 331

ax7800sDevice グループ (装置の筐体情報 MIB) 329

ax7800sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 441

ax7800sFdbClearMIB グループ (FDB Clear 用 MIB) 349

ax7800sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報) 347

ax7800sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う) 349

ax7800sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 445

ax7800sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) 342

ax7800sPhysLine グループの実装仕様 (line(物理回線)情報) 346

ax7800sPsuBoard グループの実装仕様 (PSU 情報) 340

ax7800sSwitch グループ (装置のモデル情報 MIB) 326

ax7800sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 440

axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB) 313

axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 437

axsDHCP グループ 212

axsFdb グループ (Fdb グループ MIB) 219

axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 413

axsFlowFilterStats グループ 251

axsFlowFilter グループ 241

axsFlowQosStats グループ 279

axsFlowQos グループ 254

axsFlowResources グループ 236

axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB) 236

axsFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 417

axsGsrpGroupTable グループ 215

axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報) 215

axsGsrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 412  
 axsGsrpNeighborGroupTable グループ 216  
 axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ 217  
 axsGsrpVlanGroupTable グループ 215  
 axsIfStats グループ 206  
 axsIpStats グループ 214  
 axsIsisCircTable グループ 309  
 axsIsisMIB グループ (IS-IS 情報 MIB) 308  
 axsIsisMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 436  
 axsIsisNotificationTable グループ 309  
 axsIsisSysLevelTable グループ 308  
 axsIsisSysTable グループ 308  
 axslldpConfiguration グループ 316  
 axslldpLocalSystemData グループ 318  
 axslldpRemoteOriginInfoData グループ 324  
 axslldpRemoteSystemData グループ 321  
 axslldpStats グループ 317  
 axslldp グループ (LLDP 情報 MIB) 316  
 axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 437  
 axsLogin グループ (ログイン情報 MIB) 314  
 axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 437  
 axsOadpGlobalInfo グループ 231  
 axsOadpNeighborInfo グループ 232  
 axsOadpPortInfo グループ 232  
 axsOadp グループ (OADP 情報 MIB) 231  
 axsOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 416  
 axsOspfAreaAggregateTable 294  
 axsOspfAreaRangeTable 287  
 axsOspfAreaTable 285  
 axsOspfExtLsdbTable 293  
 axsOspfGeneralTable 284  
 axsOspfIfMetricTable 290  
 axsOspfIfTable 288  
 axsOspfLsdbTable 287  
 axsOspfMIB グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB) 284  
 axsOspfNbrTable 291  
 axsOspfStubAreaTable 286  
 axsOspfTrap 295  
 axsOspfv3AreaAggregateTable 306  
 axsOspfv3AreaLsdbTable 300  
 axsOspfv3AreaTable 298  
 axsOspfv3AsLsdbTable 299  
 axsOspfv3GeneralTable 297  
 axsOspfv3IfTable 302

axsOspfv3LinkLsdbTable 301  
 axsOspfv3MIB グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB) 297  
 axsOspfv3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 432  
 axsOspfv3NbrTable 304  
 axsOspfv3VirtIfTable 303  
 axsOspfv3VirtNbrTable 305  
 axsOspfVirtIfTable 291  
 axsOspfVirtNbrTable 293  
 axsOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 428  
 axsPhysStats グループ 203  
 axsQoS グループ 207  
 axsSonetStats グループ 204  
 axsStaticIpv6Table グループ 311  
 axsStaticTable グループ 311  
 axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB) 311  
 axsStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 437  
 axsStats グループ (統計情報 MIB) 203  
 axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 408  
 axsVBBasePortTable グループ 221  
 axsVBBaseTable グループ 220  
 axsVBStaticTable グループ 228  
 axsVBStpPortTable グループ 224  
 axsVBStpTable グループ 223  
 axsVBTpFdbTable グループ 226  
 axsVBTpPortTable グループ 227  
 axsVBTpTable グループ 225  
 axsVlanBridge (その他) グループ 229  
 axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報) 220  
 axsVlanStats グループ 213  
 axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB) 229  
 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB) 220  
 axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 413

---

## B

bgp 87  
 bgp4PathAttrTable 89  
 bgpPeerTable 87  
 bgp グループ (BGP4 MIB) 87

---

## D

dot1dBase グループ 100

dot1dBridge グループ 100  
 dot1dStp グループ 101  
 dot1dTp グループ 103  
 dot3adAggPort グループ 170  
 dot3adAgg グループ 169  
 dot3adTablesLastChanged グループ 174  
 dot3 グループ (Ethernet Like MIB) 48

## E

---

Ethernet History グループ 94  
 Ethernet Statistics グループ 91  
 Event グループ 97

## H

---

History Control グループ 93  
 HP プライベート MIB 450  
 HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 450

## I

---

icmp グループ (HP プライベート MIB) 371  
 icmp グループ (MIB-II) 41  
 IEEE8023-LAG-MIB グループ 169  
 ifMIB (POS の場合) 115  
 ifMIB (イーサネットの場合) 113  
 ifMIB (トンネルの場合) 117  
 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB) 113  
 igmpCacheTable 147  
 igmpInterfaceTable 146  
 igmpStdMIB グループ (IGMP MIB) 146  
 InMon プライベート MIB 450  
 InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 450  
 interfaces グループ (MIB-II) 21  
 interfaces グループ (POS の場合) 25  
 interfaces グループ (イーサネットの場合) 21  
 interfaces グループ (その他の場合) 29  
 interfaces グループ (トンネルインタフェースの場合) 27  
 ip 34  
 ipAddrTable 35  
 ipForward 38  
 ipMRouteBoundaryTable 143  
 ipMRouteEnable 138  
 ipMRouteEntryCount 144  
 ipMRouteInterfaceTable 141  
 ipMRouteNextHopTable 140  
 ipMRouteScopeNameTable 143

ipMRouteStdMIB グループ (IPv4 MRoute MIB) 138  
 ipMRouteTable 138  
 ipNetToMediaTable 37  
 ipRouteTable 36  
 ipv6AddrPrefixTable 123  
 ipv6AddrTable 124  
 ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB) 128  
 ipv6IfStatsTable 121  
 ipv6IfTable 120  
 ipv6MIB 120  
 ipv6MIB グループ (IPv6 MIB) 120  
 ipv6NetToMediaTable 126  
 ipv6RouteTable 125  
 ipv6TcpConnTable 44  
 ipv6UdpTable 46  
 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB) 34

## M

---

MIB 一覧 4  
 MIB 体系図 2  
 MIB の記述形式 13

## O

---

ospfAreaAggregateTable 84  
 ospfAreaRangeTable 77  
 ospfAreaTable 74  
 ospfExtLsdbTable 84  
 ospfGeneralGroup 73  
 ospfHostTable 77  
 ospfIfMetricTable 80  
 ospfIfTable 78  
 ospfLsdbTable 76  
 ospfNbrTable 81  
 ospfStubAreaTable 75  
 ospfTrap 85  
 ospfv3AreaAggregateTable 167  
 ospfv3AreaLsdbTable 160  
 ospfv3AreaTable 158  
 ospfv3AsLsdbTable 159  
 ospfv3GeneralGroup 157  
 ospfv3IfTable 162  
 ospfv3LinkLsdbTable 161  
 ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB) 157  
 ospfv3NbrTable 165  
 ospfv3VirtIfTable 164  
 ospfv3VirtNbrTable 166  
 ospfVirtIfTable 80  
 ospfVirtNbrTable 83

ospf グループ (OSPFv2 MIB) 73

## P

pBridgeMIB グループ 104  
 pimCandidateRPTTable 154  
 pimComponentTable 155  
 pimInterfaceTable 149  
 pimIpMRouteNextHopTable 154  
 pimIpMRouteTable 151  
 pimJoinPruneInterval 149  
 pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB) 149  
 pimNeighborTable 150  
 pimRPSetTable 153  
 pimRPTTable 152  
 pppIp 52  
 pppLcp 50  
 ppp グループ (PPP MIB) 50

## Q

qBridgeMIB グループ 106

## R

rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)  
 91

## S

sFlow グループ (InMon プライベート MIB) 372  
 snmpCommunityMIB グループ (SNMP-  
 COMMUNITY-MIB) 197  
 snmpFrameworkMIB グループ (SNMP-  
 FRAMEWORK-MIB) 183  
 snmpModules グループ (SNMPv3 情報 MIB) 183  
 snmpMPDMIB グループ (SNMP-MPD-MIB) 183  
 snmpNotificationMIB グループ (SNMP-  
 NOTIFICATION-MIB) 188  
 snmpProxyMIB グループ (SNMP-PROXY-MIB) 190  
 snmpTargetMIB グループ (SNMP-TARGET-MIB)  
 184  
 snmpUsmMIB グループ (SNMP-USER-BASED-SM-  
 MIB) 191  
 snmpVacmMIB グループ (SNMP-VIEW-BASED-  
 ACM-MIB) 193  
 snmp グループ (MIB-II) 71  
 SONET/SDH Far End Line Current Table 59  
 SONET/SDH Far End Line Interval Table 60  
 SONET/SDH Far End Line グループ 59  
 SONET/SDH Far End Path Current Table 64  
 SONET/SDH Far End Path Interval Table 65

SONET/SDH Far End Path グループ 64  
 SONET/SDH Far End VT Current Table 68  
 SONET/SDH Far End VT Interval Table 69  
 SONET/SDH Far End VT グループ 68  
 SONET/SDH Line Current Table 57  
 SONET/SDH Line Interval Table 58  
 SONET/SDH Line グループ 57  
 SONET/SDH Medium グループ 54  
 SONET/SDH Path Current Table 61  
 SONET/SDH Path Interval Table 63  
 SONET/SDH Path グループ 61  
 SONET/SDH Section Current Table 55  
 SONET/SDH Section Interval Table 56  
 SONET/SDH Section グループ 55  
 SONET/SDH Virtual Tributary グループ 66  
 SONET/SDH VT Current Table 66  
 SONET/SDH VT Interval Table 67  
 SONET/SDH グループ (SONET/SDH MIB) 54  
 SYNTAX 13  
 system グループ (MIB-II) 19

## T

tcp 43  
 tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6) 43

## U

udp 46  
 udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6) 46

## V

vrrpMIB グループ 131  
 vrrpOperations グループ 131  
 vrrpStatistics グループ 134

## あ

アクセス 14

## お

オブジェクト識別子 13

## さ

サポート MIB トラップ 375  
 サポート MIB の概要 1  
 サポートトラップ・PDU 内パラメータ [AX5400S]  
 395  
 サポートトラップ・PDU 内パラメータ [AX7800S]  
 383

サポートトラップおよび発行契機 376

## し

---

識別子 13

実装有無 15

実装仕様 13, 15

## ひ

---

標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB) 17

## ふ

---

プライベート MIB 201, 408

プライベート MIB 定義ファイルの入手方法 12

プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値 408